

世論調査結果報告書
令和元年 6 月調査

都民生活に関する世論調査

令和元年 1 1 月

 東京都生活文化局

ま え が き

「都民生活に関する世論調査」は、都民の日常生活に関わる意識や、都政に何を望んでいるかなどを調査し、今後の都政運営に役立てることを目的として実施しています。

経年調査の項目（「暮らし」「住んでいる地域」「東京」「都政への要望」）では、過去の調査結果をもとに意識の変化を把握しています。

今回は、経年調査の他に「人権」を取り上げ、関心のある人権問題、「東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例」、人権啓発などに関する都民の意識等を調査しました。

この世論調査が、行政担当者のみならず、広く都民の方々や、都民の生活意識に関心のある方々のお役に立てれば幸いです。

最後に、この世論調査にご協力いただいた多くの皆様に深く感謝申し上げます。

※ 「都民生活に関する世論調査」は、昭和43年から毎年実施してきた「都市生活に関する世論調査」と、昭和47年から毎年実施してきた「都民要望に関する世論調査」を平成10年に統合したものです。

令和元年11月

東京都生活文化局広報広聴部

目 次

※印は過去の調査との比較がある質問項目

調査実施の概要	①～⑤
調査結果の詳細	1
1 暮らし	3
※1-1 暮らしむきの変化	3
※1-2 暮らしの余裕	9
※1-3 生活程度	14
※1-4 これからの暮らしむき	18
※1-5 今後切りつめていくもの	23
※1-6 生活満足度	26
※1-7 満足の理由	30
※1-8 不満の理由	33
※1-9 今後の生活の不安	36
※1-10 税金への関心度とその内容	40
2 住んでいる地域	46
※2-1 地域の住みよさ	46
※2-2 地域定住意向	50
3 東 京	60
※3-1 東京の住みよさ	60
※3-2 東京定住意向	66
4 都政への要望	79
※4-1 これからの都政の進め方	79
※4-2 都政への要望	82
4-3 具体的な要望施策	86
5 人権	92
※5-1 日本社会の人権尊重の有無	92
※5-2 関心のある人権問題	95
5-3 人権尊重に関する条例制定の認知度	99
5-4 「性自認」の理解度	103
5-5 「性的指向」の理解度	106
5-6 「L G B T」の理解度	109
5-7 L G B T等に関する人権問題	112
5-8 ヘイトスピーチを見聞きした経験	114
※5-9 効果があると思う啓発手段	118
調査票及び単純集計結果	123
付属資料	143

調査実施の概要

1 調査目的

都民の日常生活に関わる意識や東京に対する意識を捉えるとともに、都政に対する都民の意識や意見・要望を把握し、今後の都政運営の参考とする。

また、今回は随時テーマとして、関心のある人権問題、「東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例」、人権啓発などに関する都民の意識等を調査した。

2 調査項目

- (1) 暮らし
- (2) 住んでいる地域
- (3) 東 京
- (4) 都政への要望
- (5) 人権

3 調査設計

- (1) 調 査 対 象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 標 本 数：3,000標本
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調 査 方 法：調査員による個別訪問面接聴取法
- (5) 調 査 期 間：令和元年6月21日～7月7日/7月25日～8月5日
- (6) 調査実施機関：株式会社 サーベイリサーチセンター

4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率） 1,845標本（61.5%）
- (2) 未完了標本数（率） 1,155標本（38.5%）

未完了標本内訳

	転 居	長期不在	一時不在	住所不明	拒 否	その他
1,155標本	92	83	477	58	406	39
比率(%)	8.0	7.2	41.3	5.0	35.2	3.4

(3) 性・年齢別回収結果

	男性			女性			合計		
	標本数	回収数	回収率(%)	標本数	回収数	回収率(%)	標本数	回収数	回収率(%)
18・19歳	30	8	26.7	29	9	31.0	59	17	28.8
20代	203	98	48.3	201	116	57.7	404	214	53.0
30代	259	152	58.7	247	154	62.3	506	306	60.5
40代	300	151	50.3	288	150	52.1	588	301	51.2
50代	234	177	75.6	219	147	67.1	453	324	71.5
60代	197	144	73.1	197	120	60.9	394	264	67.0
70歳以上	246	199	80.9	350	220	62.9	596	419	70.3
合計	1,469	929	63.2	1,531	916	59.8	3,000	1,845	61.5

（注）平成28年度より、選挙年齢の引下げに伴い、18・19歳を調査対象者に加えた。

5 標本構成 (n=1,845)

上段：実数
下段：(%)

(1) 性 別

男	女	計
929	916	1,845
50.4	49.6	100.0

(2) 年 齢

	18・19 歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳 以上	計
男	8	98	152	151	177	144	199	929
	0.4	5.3	8.2	8.2	9.6	7.8	10.8	50.4
女	9	116	154	150	147	120	220	916
	0.5	6.3	8.3	8.1	8.0	6.5	11.9	49.6
計	17	214	306	301	324	264	419	1,845
	0.9	11.6	16.6	16.3	17.6	14.3	22.7	100.0

(3) 職 業 ※ 年齢別職業分布はP④参照

自営・家族従業 (計)					勤 め (計)							無職				無回答	計
農林漁業	商工・サービス業	自由業	無回答		経営・管理職	専門・技術職	事務職	労務・技能職	サービス職	販売・無回答		主婦・主夫	無職の学生	その他の無職			
235	5	174	47	9	997	62	27	571	130	140	67	340	54	179	40		1,845
12.7	0.3	9.4	2.5	0.5	54.0	3.4	1.5	30.9	7.0	7.6	3.6	18.4	2.9	9.7	2.2		100.0

(4) 雇用形態 (勤めのみ n=997)

正社員、正規職員			派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど			無回答	計
男	女		男	女			
638	427	211	332	94	238	27	997
64.0	42.8	21.2	33.3	9.4	23.9	2.7	100.0

(5) 住居形態

持家 (計)	持家以外 (計)		持家以外 (計)	民間の借家 (二戸建)						無回答	計
	持家 (二戸建)	持家 (分譲マンションなど集合住宅)		民間の借家 (二戸建)	民間の借家 (賃貸マンション・アパートなど集合住宅)	都市機構 (旧公団)・公社・公営の賃貸住宅・アパート	社宅・公務員住宅など給与住宅	住み込み・寮・寄宿舎など	その他		
1,202	932	270	620	36	418	104	40	9	13	23	1,845
65.1	50.5	14.6	33.6	2.0	22.7	5.6	2.2	0.5	0.7	1.2	100.0

(6) 未・既婚

未 婚 (計)			既 婚 (計)	有配偶				離・死別		無回答	計
男	女	男		女	男	女					
513	277	236	1,316	577	492	68	179	16	1,845		
27.8	15.0	12.8	71.3	31.3	26.7	3.7	9.7	0.9	100.0		

(7) 共働き状況（既婚・有配偶のみ n = 1,069）

共働きをしている（計）			共働きをしていない（計）			無回答	計
	男	女		男	女		
516	266	250	510	283	227	43	1,069
48.3	24.9	23.4	47.7	26.5	21.2	4.0	100.0

(8) 子供の数

いない	いる						無回答	計
		1人	2人	3人	4人	5人以上		
725	1,101	282	603	187	27	2	19	1,845
39.3	59.7	15.3	32.7	10.1	1.5	0.1	1.0	100.0

(9) 家族人数

1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答	計
373	513	400	333	138	52	18	18	1,845
20.2	27.8	21.7	18.0	7.5	2.8	1.0	1.0	100.0

(10) 居住地生まれか否か

居住地 生まれ	居住地 以外生まれ	無回答	計
496	1,343	6	1,845
26.9	72.8	0.3	100.0

(11) 東京生まれか否か

東京生まれ	東京以外 からきた	無回答	計
880	926	39	1,845
47.7	50.2	2.1	100.0

(12) 地域居住年数

1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～30年 未満	30年以上	わから ない	無回答	計
50	117	103	215	191	120	265	767	5	12	1,845
2.7	6.3	5.6	11.7	10.4	6.5	14.4	41.6	0.3	0.7	100.0

(13) 東京居住年数

1年未満	1～3年 未満	3～5年 未満	5～10年 未満	10～15年 未満	15～20年 未満	20～30年 未満	30年以上	わから ない	無回答	計
19	42	50	118	123	102	260	1,112	6	13	1,845
1.0	2.3	2.7	6.4	6.7	5.5	14.1	60.3	0.3	0.7	100.0

(14) 世帯年収

200万 円未満	200～ 300万 円未満	300～ 400万 円未満	400～ 500万 円未満	500～ 700万 円未満	700～ 900万 円未満	900～ 1,100 万円 未満	1,100 ～ 1,300 万円 未満	1,300 ～ 1,500 万円 未満	1,500 ～ 2,000 万円 未満	2,000 万円 以上	わから ない	無回答	計
180	191	190	163	242	172	136	84	34	43	43	278	89	1,845
9.8	10.4	10.3	8.8	13.1	9.3	7.4	4.6	1.8	2.3	2.3	15.1	4.8	100.0

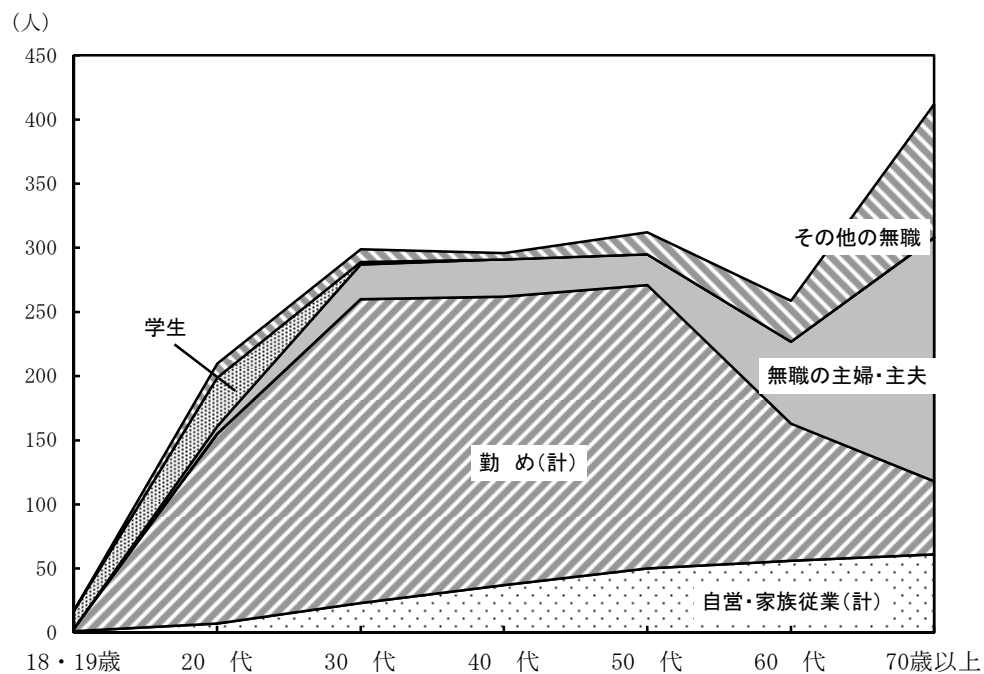
(15) インターネットの利用

利用して いる (計)			利用して いない (計)			無回答	計
	よく利用 している	ときどき 利用している		あまり利用 していない	利用して いない		
1,367	1,109	258	472	101	371	6	1,845
74.1	60.1	14.0	25.6	5.5	20.1	0.3	100.0

(16) 居住エリア ※各エリアの範囲はP⑤参照

区 部 (計)				市町村部 (計)					計
	センター ・コア	区部東部 ・北部	区部西部 ・南部		多摩東部	多 摩 中央部北	多 摩 中央部南	多摩西部 ・島しょ	
1,206	297	392	517	639	221	92	280	46	1,845
65.4	16.1	21.2	28.0	34.6	12.0	5.0	15.2	2.5	100.0

※ 年齢別職業分布



	18・19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	計
自営・家族従業(計)	1	7	23	37	50	56	61	235
勤め(計)	2	148	237	225	221	107	57	997
無職の主婦・主夫	-	6	27	29	24	64	190	340
学 生	14	38	2	-	-	-	-	54
そ の 他 の 無 職	-	11	10	5	17	32	104	179
計	17	210	299	296	312	259	412	1,805

(注) 無回答を除く

※ 層（エリア）

〔区 部〕

センター・コア・エリア ----- 千代田・中央・港・新宿・文京・台東・墨田・江東・渋谷・豊島・荒川区

区部東部・北部エリア ----- 北・板橋・足立・葛飾・江戸川区

区部西部・南部エリア ----- 品川・目黒・大田・世田谷・中野・杉並・練馬区

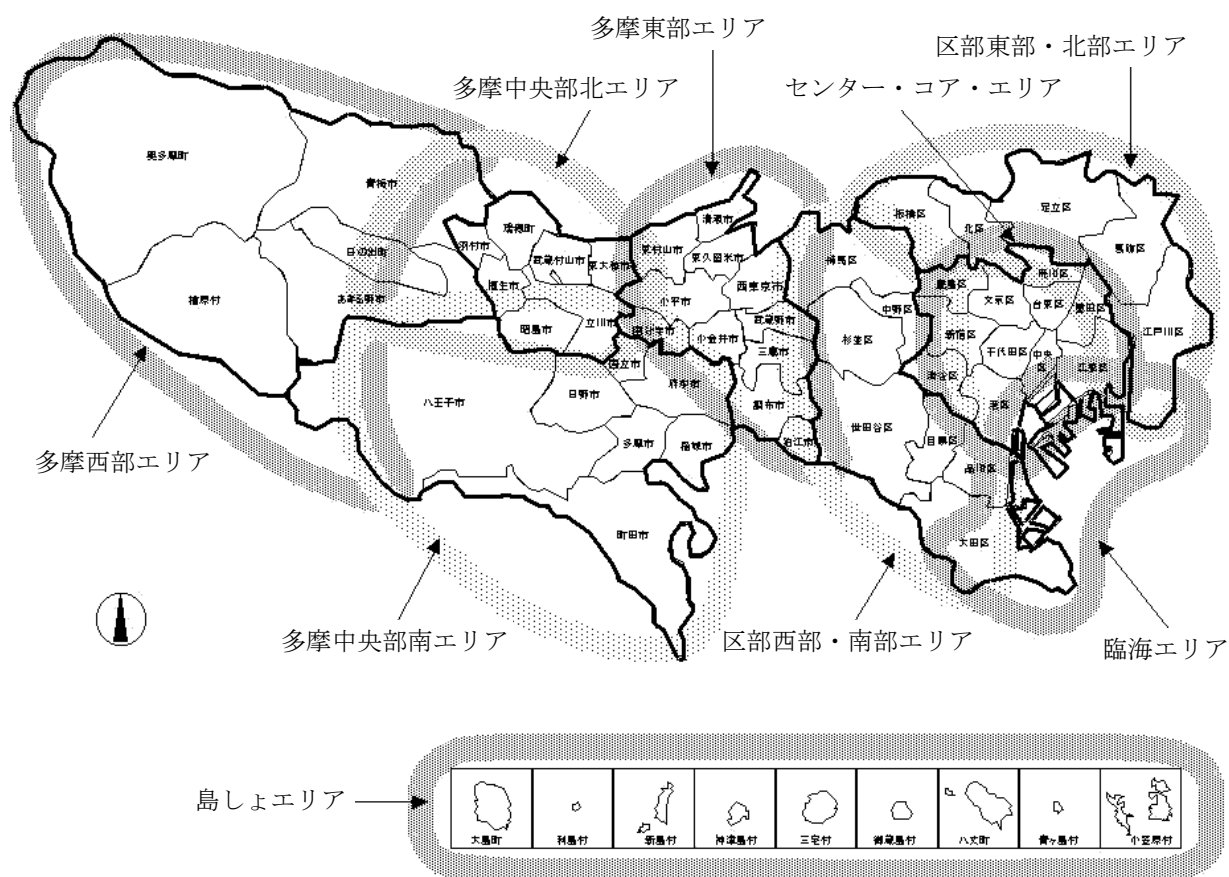
〔市町村部〕

多摩東部エリア ----- 武蔵野・三鷹・調布・小金井・小平・東村山・国分寺・狛江・清瀬・東久留米・西東京市

多摩中央部北エリア ----- 立川・昭島・福生・東大和・武蔵村山・羽村市、瑞穂町

多摩中央部南エリア ----- 八王子・府中・町田・日野・国立・多摩・稲城市

多摩西部・島しょエリア ----- 青梅・あきる野市、日の出町、檜原村、奥多摩・大島町、利島・新島・神津島・三宅・御蔵島村、八丈町、青ヶ島・小笠原村



(注) 上記、世論調査における7つのエリアは、東京構想2000の9つのエリアを基に、従前の世論調査との継続性を考慮して、行政区域単位に便宜上、区分した。

調査結果の詳細

【報告書を読む際の注意】

注1) 用語・符号等

- n ——— Number of case の略
質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す。
- S Q ——— Sub-Question の略
前問で特定の回答をした一部の回答者のみに続けて行った質問。
- M. A. ——— Multiple Answers の略
回答者に2つ以上の回答を認める質問。
- M. T. ——— Multiple Total の略
M. A. の場合に、回答の合計を回答者数（n）で割った比率で、通常100%を超える。
- 図中「0」 }
表中「-」 } ——— 皆無の結果を示す。
- 図中「0.0」 }
表中「0.0」 } ——— 0.05%未満の結果を示す。

注2) 結果数値（%） ——— 数値は、各実数を基に比率表示し、小数第2位を四捨五入している。
したがって、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
また、結果の説明においては、小数第1位を四捨五入している。

注3) 調査結果には、統計上多少誤差（標本誤差）が生じることがある。なお、層化二段無作為抽出法による標本誤差は次の式で算出される。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \cdot \frac{P(100-P)}{n}}$$

Nは母集団数（人）、nは回答者数（人）、Pは回答率（%）を表す。

注4) 調査結果の標本誤差の範囲は、以下の標本誤差早見表のとおりとなる。（信頼度：95%）

回答の比率 基礎 (n) \ (P)	10%又は 90%	20%又は 80%	30%又は 70%	40%又は 60%	50%
1,845	±2.0%	±2.6%	±3.0%	±3.2%	±3.3%
1,500	±2.2%	±2.9%	±3.3%	±3.6%	±3.7%
1,000	±2.7%	±3.6%	±4.1%	±4.4%	±4.5%
500	±3.8%	±5.1%	±5.8%	±6.2%	±6.3%
300	±4.9%	±6.5%	±7.5%	±8.0%	±8.2%
100	±8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%

注5) 調査結果の分析においては、全体平均と比べ、統計的に有意差のあるものを中心にふれている。

なお、誤差を考慮し、nが50未満のものについてはふれていない場合が多い。

注6) 一部の図表では、対比を明確にするために選択肢の順序を入れ替えている。

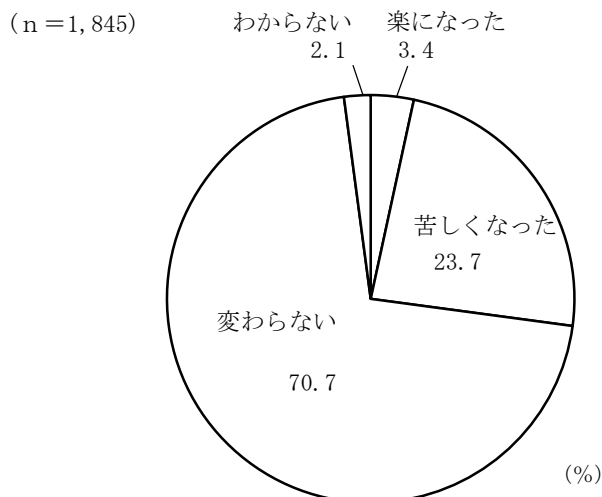
1 暮らし

※1-1 暮らしむきの変化

図1-1-1

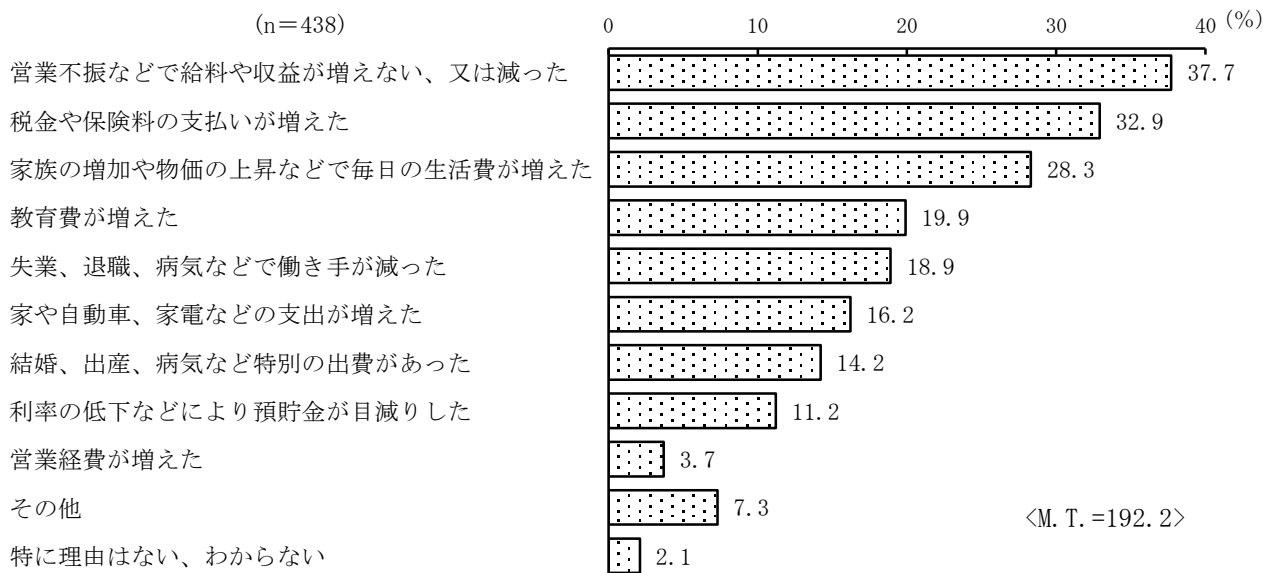
(全員に)

Q1 さっそくですが、お宅の暮らしは、昨年の今ごろと比べて楽になりましたか、苦しくなりましたか、それとも、変わりませんか。



(Q1で「苦しくなった」と答えた方に)

SQ それはなぜでしょうか。この中から、いくつでもあげてください。(M. A.)



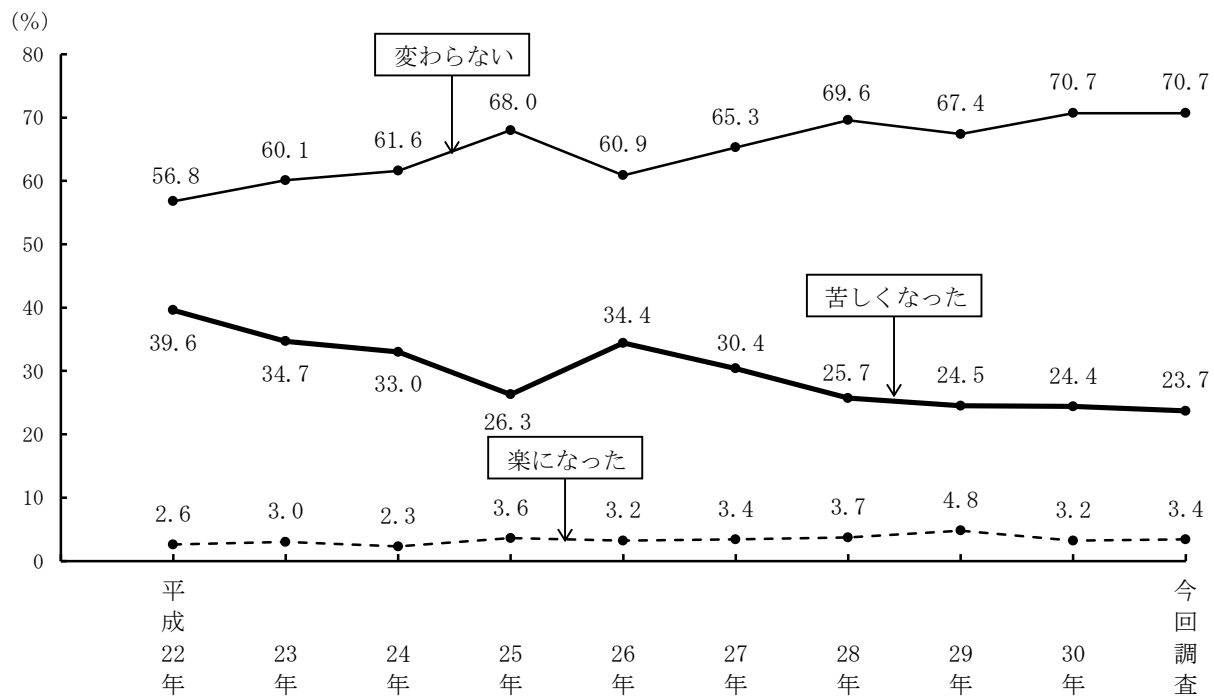
暮らしは、昨年の今ごろと比べて楽になったか、苦しくなったかを聞いたところ、「楽になった」3%、「苦しくなった」24%、「変わらない」71%となっている。

暮らしむきが「苦しくなった」と答えた人(438人)にその理由を聞いたところ、「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」38%と最も多く、次いで「税金や保険料の支払いが増えた」が33%、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」28%、「教育費が増えた」20%などの順となっている。(図1-1-1)

暮らしむきの変化を過去との比較でみると、「変わらない」は昨年と同率となっている。(図1-1-2)

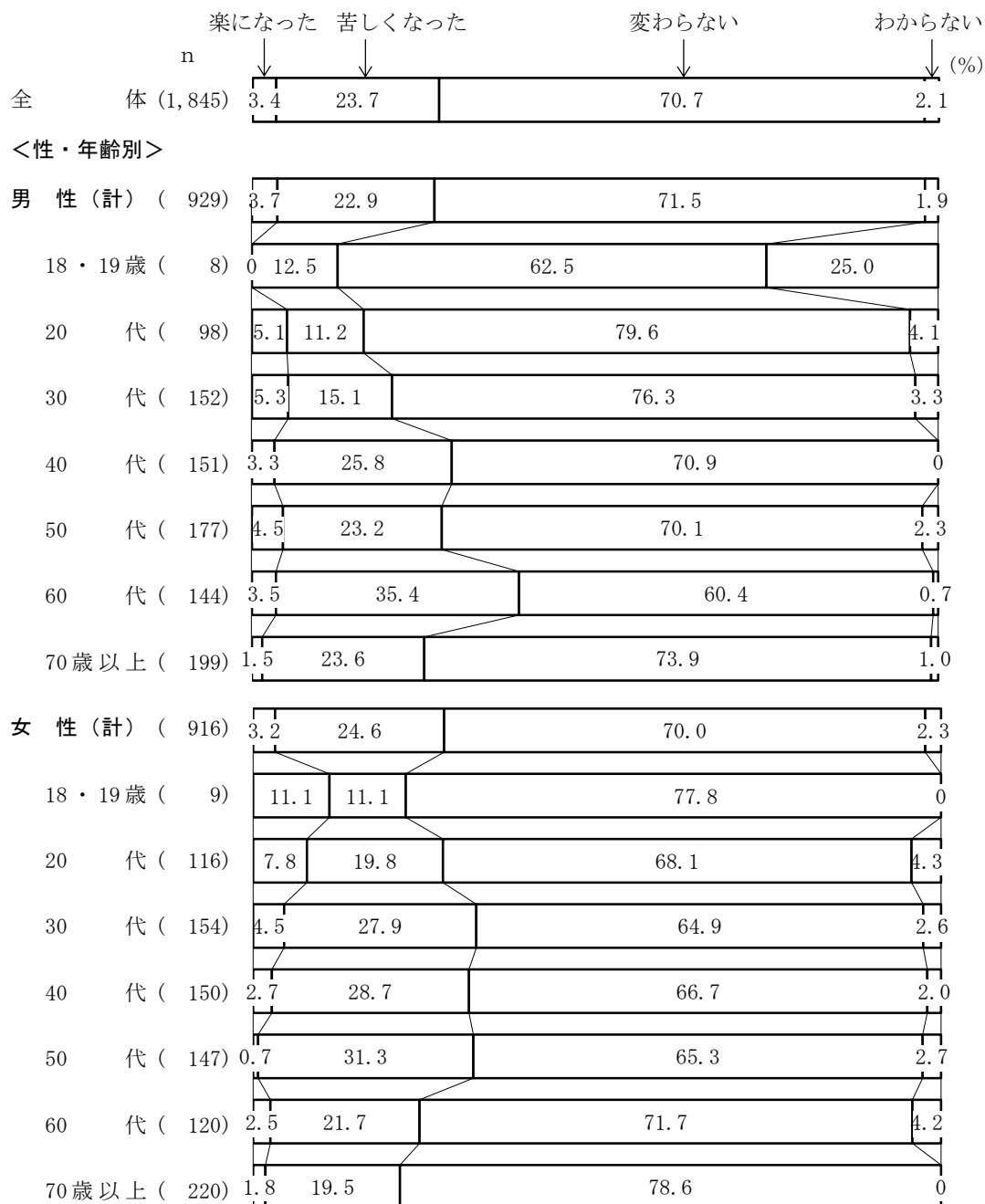
なお、暮らしむきの変化の昭和46年からの時系列比較を巻末の付属資料（P145 図1）に掲載している。

図1-1-2 暮らしむきの変化－過去との比較



性・年齢別にみると、「苦しくなった」は男性60代、女性50代でいずれも3割を超えて多くなっている。
(図1-1-3)

図1-1-3 暮らしむきの変化－性・年齢別

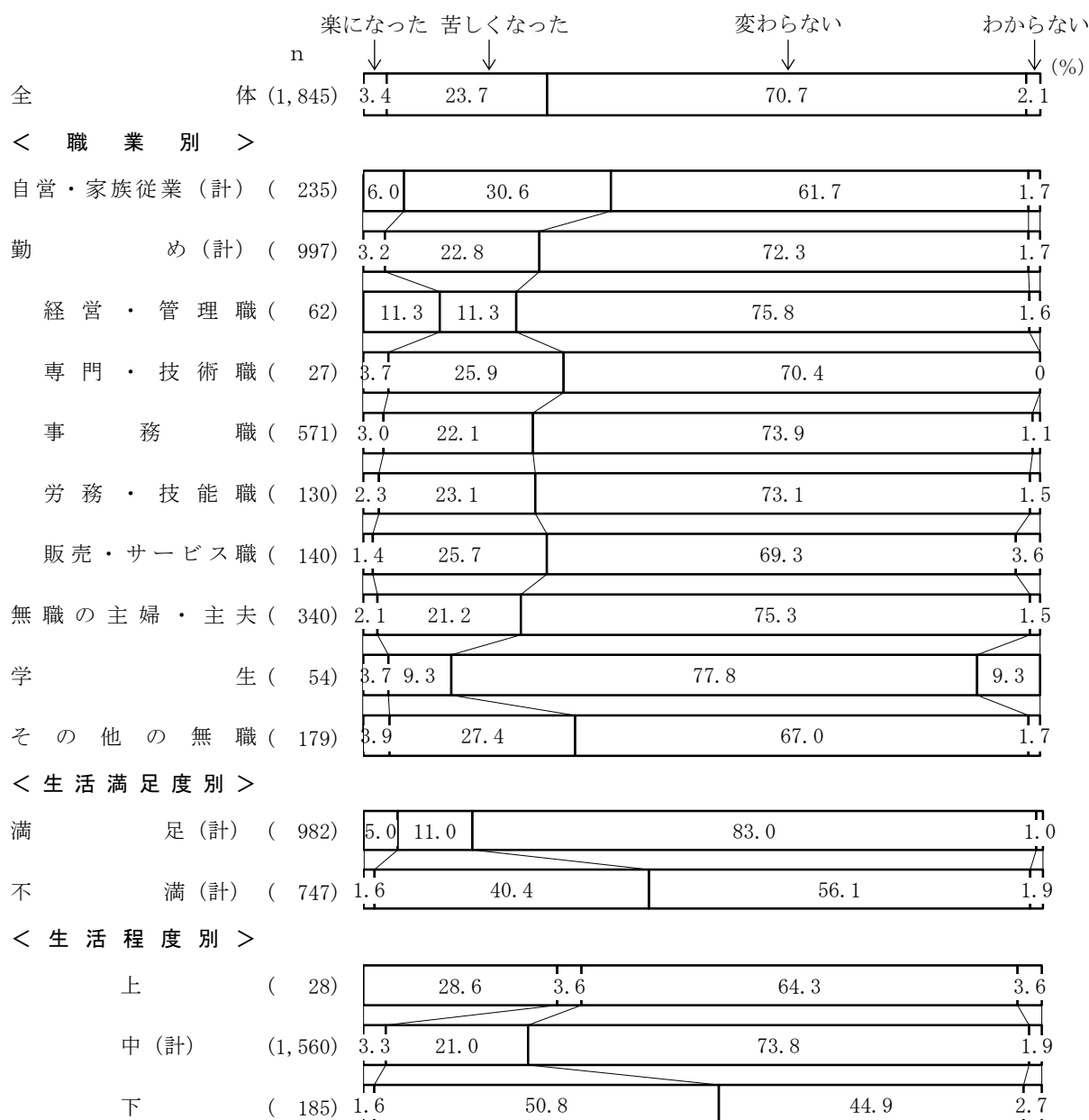


職業別にみると、「楽になった」は経営・管理職で1割を超えている。

生活満足度（Q5 P26）との関係でみると、「苦しくなった」は『不満（計）』で約4割と多くなっている。一方、「変わらない」は『満足（計）』で8割を超えて多くなっている。

生活程度（Q3 P14）との関係でみると、「苦しくなった」は“下”で5割を超えて多くなっている。一方、「変わらない」は『中（計）』で7割半ばと多くなっている。（図1-1-4）

図1-1-4 暮らしむきの変化－職業別、生活満足度別、生活程度別



暮らしむきが苦しくなった理由を過去との比較でみると、昨年よりも「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」と「家や自動車、家電などの支出が増えた」は3ポイント増加している。一方、「税金や保険料の支払いが増えた」は5ポイント減少している。(表1-1-1)

表1-1-1 暮らしむきが苦しくなった理由－過去との比較

(%)

	n	営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った	税金や保険料の支払いが増えた	毎日の増加や物価の上昇などで家族の生活費が増えた	教育費が増えた	失業、退職、病気などで働き手が減った	家や自動車、家電などの支出が増えた	結婚、出産、病気など特別の出費があつた	利率の低下などにより預貯金が目減りした	営業経費が増えた	その他	特に理由はない、わからない
<過去との比較>												
今回調査	438	37.7	32.9	28.3	19.9	18.9	16.2	14.2	11.2	3.7	7.3	2.1
平成 30 年	453	35.1	37.5	26.7	19.2	19.0	13.7	16.6	10.6	4.4	11.9	2.4
29 年	444	33.1	34.0	30.4	24.1	20.0	14.0	16.9	13.1	3.8	14.0	1.4
28 年	463	37.8	33.9	33.0	17.9	18.4	12.3	13.6	12.7	3.7	7.8	1.9
27 年	578	36.3	39.6	40.3	16.3	19.2	12.5	16.1	10.2	4.2	8.8	1.2
26 年	637	36.6	45.1	44.1	16.8	14.8	15.4	14.3	12.2	5.0	9.1	1.7
25 年	529	42.2	32.9	23.3	19.8	20.4	12.1	14.7	11.2	3.6	10.6	2.3
24 年	661	49.8	34.8	21.3	17.7	20.1	10.0	11.8	14.4	3.2	10.3	1.7
23 年	698	51.0	25.8	21.1	19.9	21.5	13.6	11.9	13.5	4.0	9.3	1.9
22 年	798	54.8	28.3	17.0	16.3	22.1	12.2	13.7	13.9	3.5	5.9	1.3

年齢別にみると、「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」は30代で4割半ばと多くなっている。また「教育費が増えた」は40代で4割半ば、50代で3割半ばと多くなっている。

職業別にみると、「営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った」は自営・家族従業（計）で6割近くと多くなっている。「教育費が増えた」は勤め（計）で2割半ばと多くなっている。「失業、退職、病気などで働き手が減った」はその他の無職で5割近くと多くなっている。（表1-1-2）

表1-1-2 暮らしむきが苦しくなった理由－年齢別、職業別

(%)

	n	営業不振など 給料や収益が 減った	税金や保険料の 支払いが増えた	家族の増加や 物価の上昇など で毎日の生活費 が増えた	教育費が増えた	失業、退職、 病気などで 働き手が減った	家や自動車、 家電などの 支出が増えた	結婚、出産、 病気など 特別の出費 があった	利率の低下 などにより 預貯金が 目減りした	営業経費が 増えた	その他	特に理由 はない、 わからない
全 体	438	37.7	32.9	28.3	19.9	18.9	16.2	14.2	11.2	3.7	7.3	2.1
< 年 齢 別 >												
18 ・ 19 歳	2	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-
20 代	34	38.2	44.1	26.5	2.9	11.8	26.5	8.8	5.9	-	5.9	2.9
30 代	66	48.5	36.4	45.5	21.2	10.6	24.2	18.2	10.6	3.0	3.0	-
40 代	82	41.5	29.3	28.0	43.9	11.0	12.2	15.9	6.1	2.4	6.1	2.4
50 代	87	44.8	23.0	27.6	34.5	17.2	18.4	11.5	12.6	3.4	5.7	-
60 代	77	35.1	42.9	20.8	6.5	28.6	16.9	10.4	14.3	3.9	6.5	1.3
70 歳 以 上	90	22.2	30.0	24.4	1.1	27.8	7.8	17.8	14.4	6.7	13.3	5.6
< 職 業 別 >												
自営・家族従業（計）	72	58.3	44.4	18.1	18.1	12.5	15.3	11.1	19.4	16.7	2.8	4.2
勤 め （ 計 ）	227	44.1	30.8	30.0	25.6	13.7	18.1	12.3	6.6	1.3	7.0	0.4
経 営 ・ 管 理 職	7	14.3	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	-	-	14.3	-
専 門 ・ 技 術 職	7	42.9	57.1	28.6	14.3	-	28.6	14.3	28.6	14.3	14.3	-
事 務 職	126	43.7	31.0	32.5	27.0	11.1	17.5	14.3	7.1	0.8	8.7	-
労 務 ・ 技 能 職	30	43.3	23.3	33.3	20.0	23.3	16.7	-	3.3	-	-	-
販 売 ・ サ ー ビ ス 職	36	61.1	38.9	27.8	27.8	19.4	11.1	11.1	5.6	2.8	2.8	2.8
無 職 の 主 婦 ・ 主 夫	72	18.1	25.0	33.3	13.9	25.0	12.5	25.0	16.7	-	13.9	-
学 生	5	-	60.0	20.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-	20.0	-
そ の 他 の 無 職	49	8.2	34.7	30.6	2.0	49.0	12.2	10.2	16.3	-	6.1	8.2

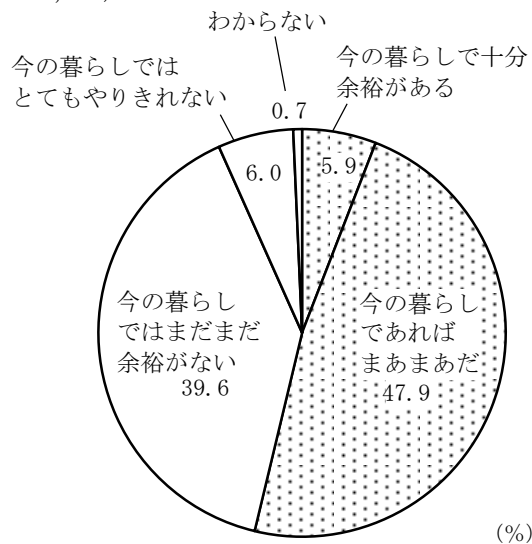
※1-2 暮らしの余裕

図1-2-1

(全員に)

Q2 お宅の暮らしは、このように分けるとどれに当たりますか。あなたの感じ方に一番近いものを1つだけ選んでください。

(n = 1,845)



余裕がある (計)	余裕がない (計)
53.7	45.6

(注) 『余裕がある (計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない (計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

暮らしの余裕について聞いたところ、『余裕がある (計)』は54%、『余裕がない (計)』は46%となっている。(図1-2-1)

暮らしの余裕を過去との比較でみると、『余裕がない（計）』は昨年よりも1ポイント増加している。一方、『余裕がある（計）』は昨年よりも1ポイント減少している。（図1-2-2）

なお、暮らしの余裕の昭和46年からの時系列比較を巻末の付属資料（P147 表1）に掲載している。

図1-2-2 暮らしの余裕－過去との比較

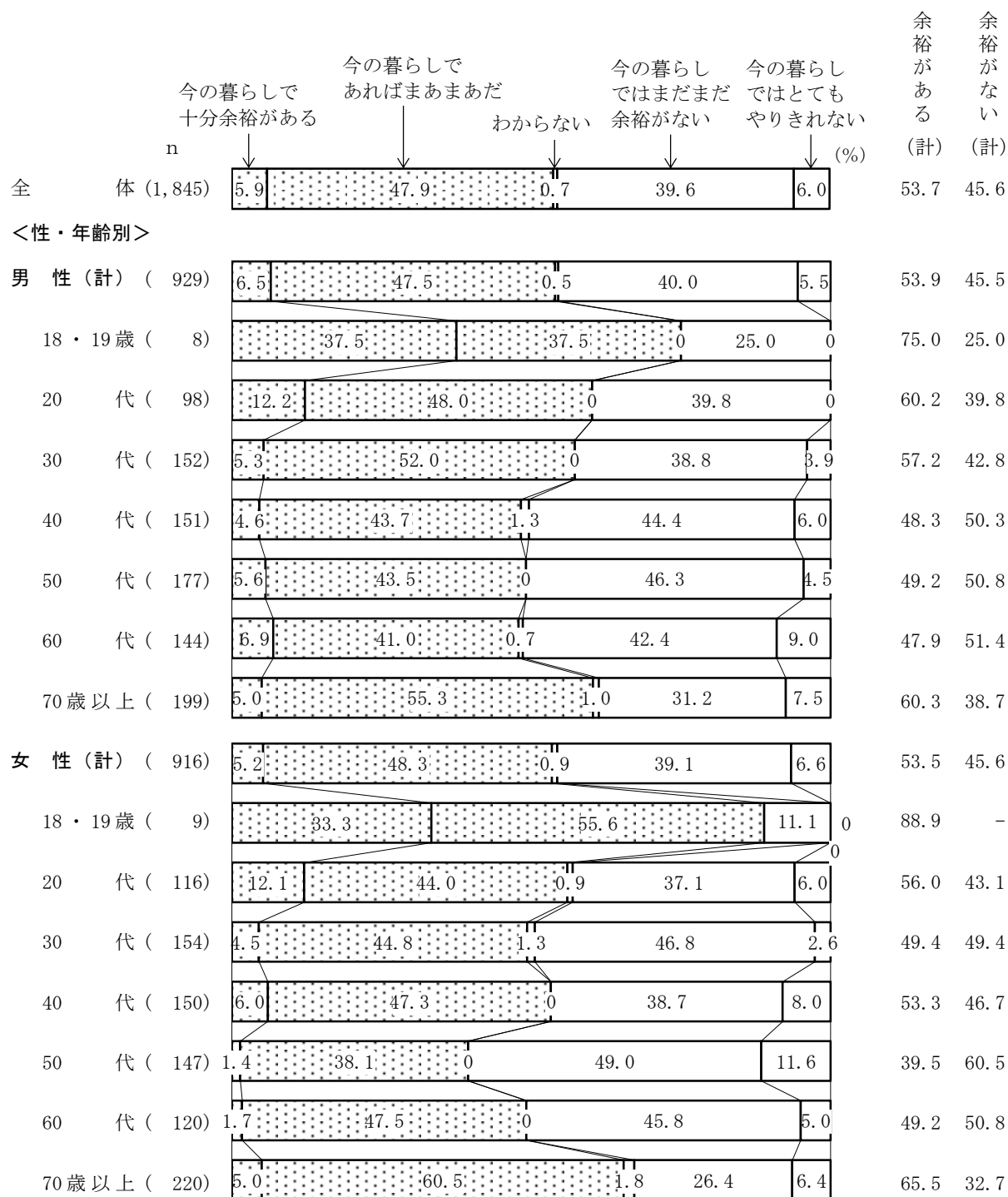
	今の暮らしで 十分余裕がある	今の暮らしで あればまあまあだ	わからない	今の暮らし ではまだまだ 余裕がない	今の暮らし ではとても やりきれない	(%)	余 裕 が あ る (計)	余 裕 が な い (計)
n								
今回調査 (1,845)	5.9	47.9	0.7	39.6	6.0		53.7	45.6
平成30年 (1,856)	5.2	49.1	0.8	38.1	6.8		54.3	44.9
29年 (1,810)	5.4	49.6	2.1	36.7	6.3		54.9	43.0
28年 (1,805)	4.7	47.1	0.9	40.1	7.1		51.9	47.2
27年 (1,900)	3.6	46.2	0.9	41.7	7.6		49.8	49.3
26年 (1,850)	4.5	45.9	0.7	40.4	8.4		50.4	48.9
25年 (2,010)	4.8	43.9	2.6	41.2	7.4		48.8	48.7
24年 (2,002)	3.6	44.7	2.4	41.0	8.3		48.3	49.3
23年 (2,009)	4.0	45.2	2.5	40.5	7.8		49.2	48.3
22年 (2,013)	4.0	41.9	0.7	45.4	8.0		45.9	53.4

(注) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

性・年齢別にみると、『余裕がない（計）』は女性50代で約6割と多くなっている。
一方、『余裕がある（計）』は女性70歳以上で6割半ばと多くなっている。（図1-2-3）

図1-2-3 暮らしの余裕－性・年齢別

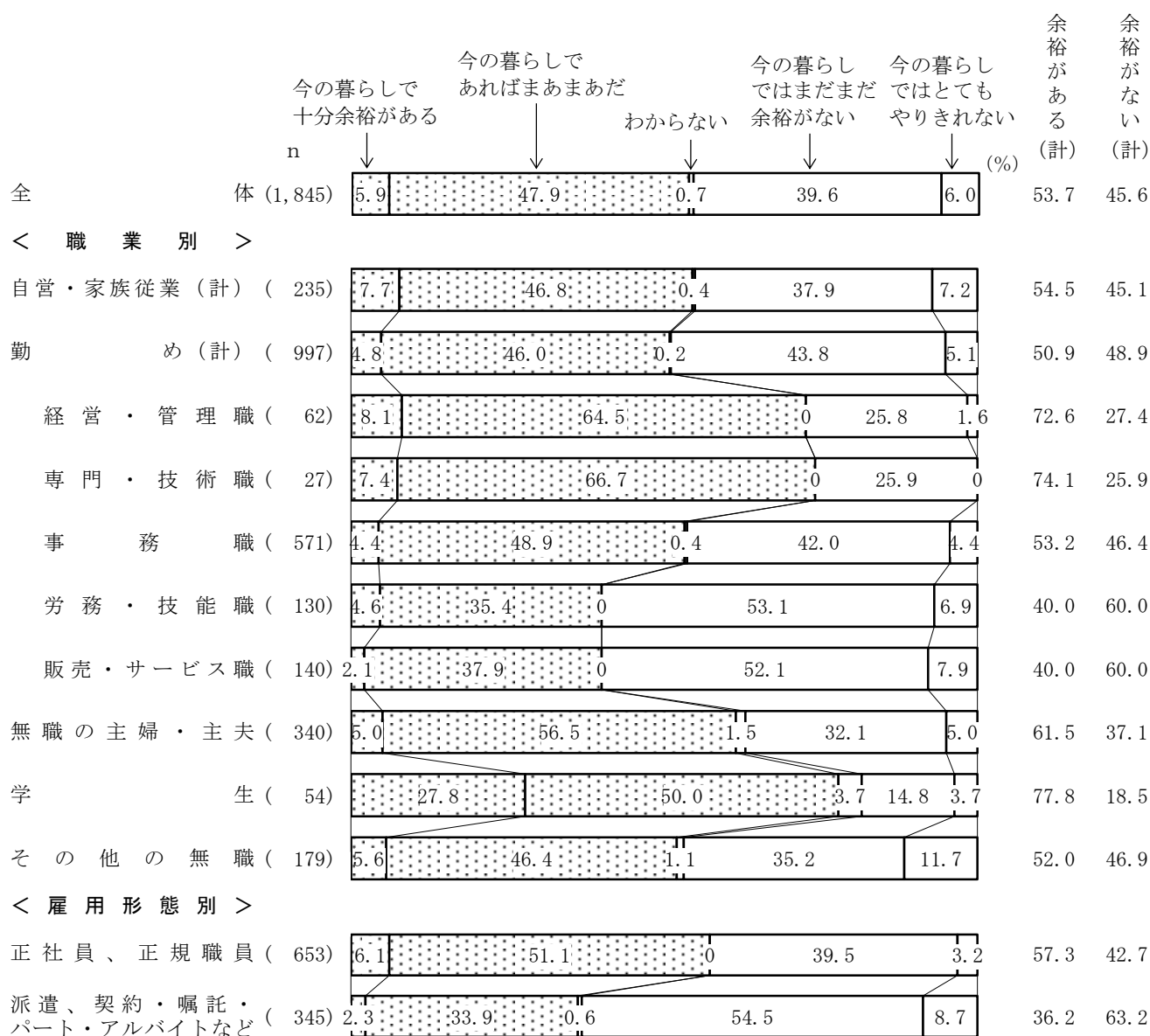


(注) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計
『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

職業別にみると、『余裕がある（計）』は学生、経営・管理職でいずれも7割台と多くなっている。一方、『余裕がない（計）』は労務・技能職、販売・サービス職でいずれも6割と多くなっている。

雇用形態別にみると、『余裕がない（計）』は「派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど」で6割を超えて多くなっている。（図1-2-4）

図1-2-4 暮らしの余裕－職業別、雇用形態別



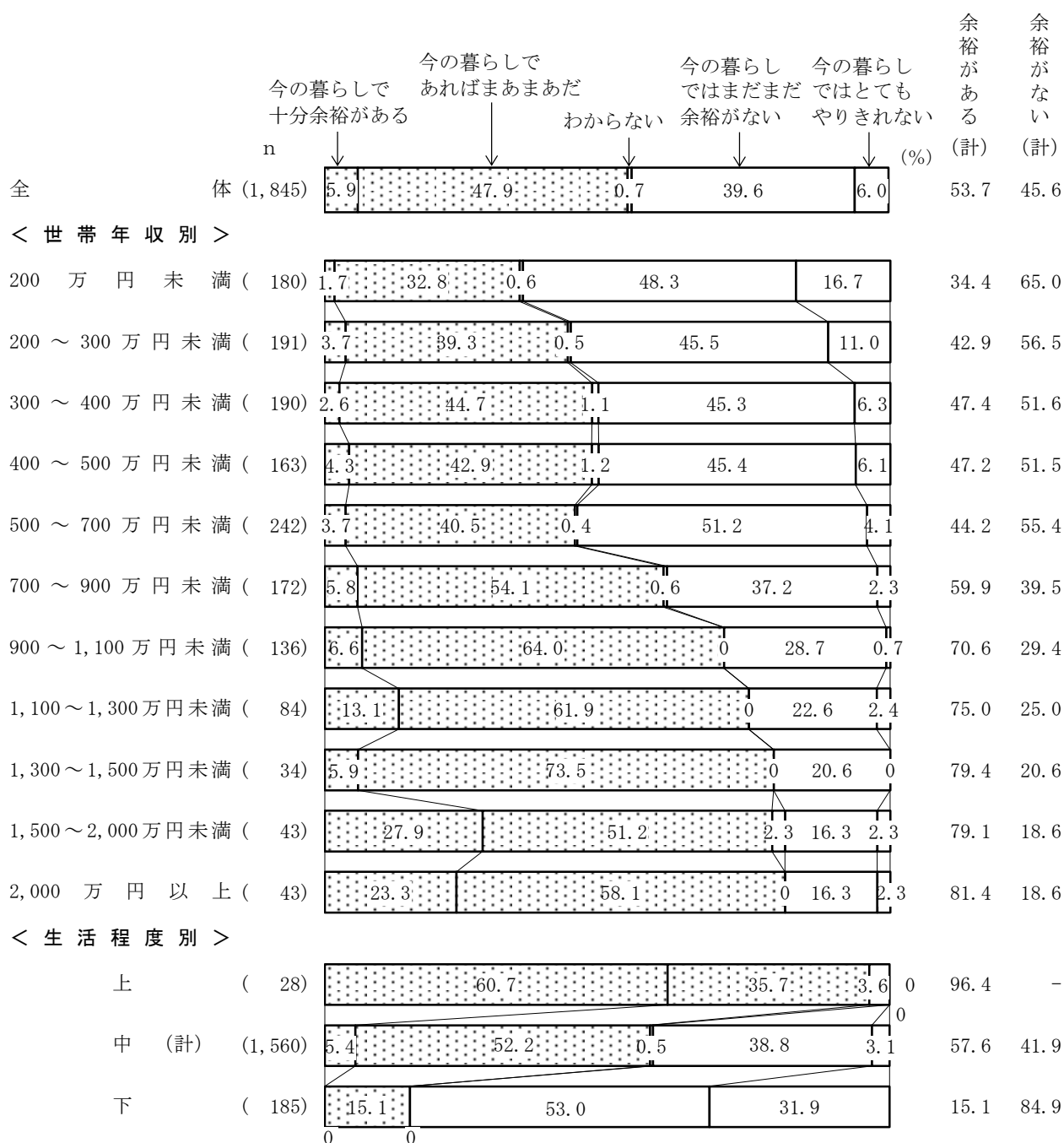
(注) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

世帯年収別にみると、『余裕がある（計）』はおおむね世帯年収が多くなるほど割合が高くなる傾向にあり、年収900万円以上の世帯でいずれも7割から8割と多くなっている。一方、『余裕がない（計）』は年収200万円未満の世帯で6割半ば、年収200万円以上500万円未満の世帯でいずれも5割台と多くなっている。

生活程度（Q3 P14）との関係でみると、“下”と答えた人では『余裕がない（計）』が8割半ばと多くなっている。（図1-2-5）

図1-2-5 暮らしの余裕－世帯年収別、生活程度別



(注) 『余裕がある（計）』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計

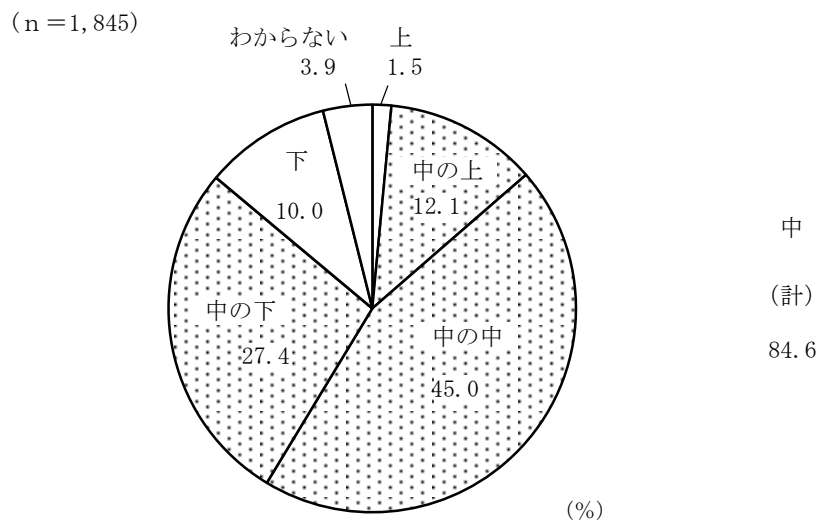
『余裕がない（計）』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

※1-3 生活程度

図1-3-1

(全員に)

Q3 お宅の生活程度は、世間一般からみて、この中のどれに入りますか。

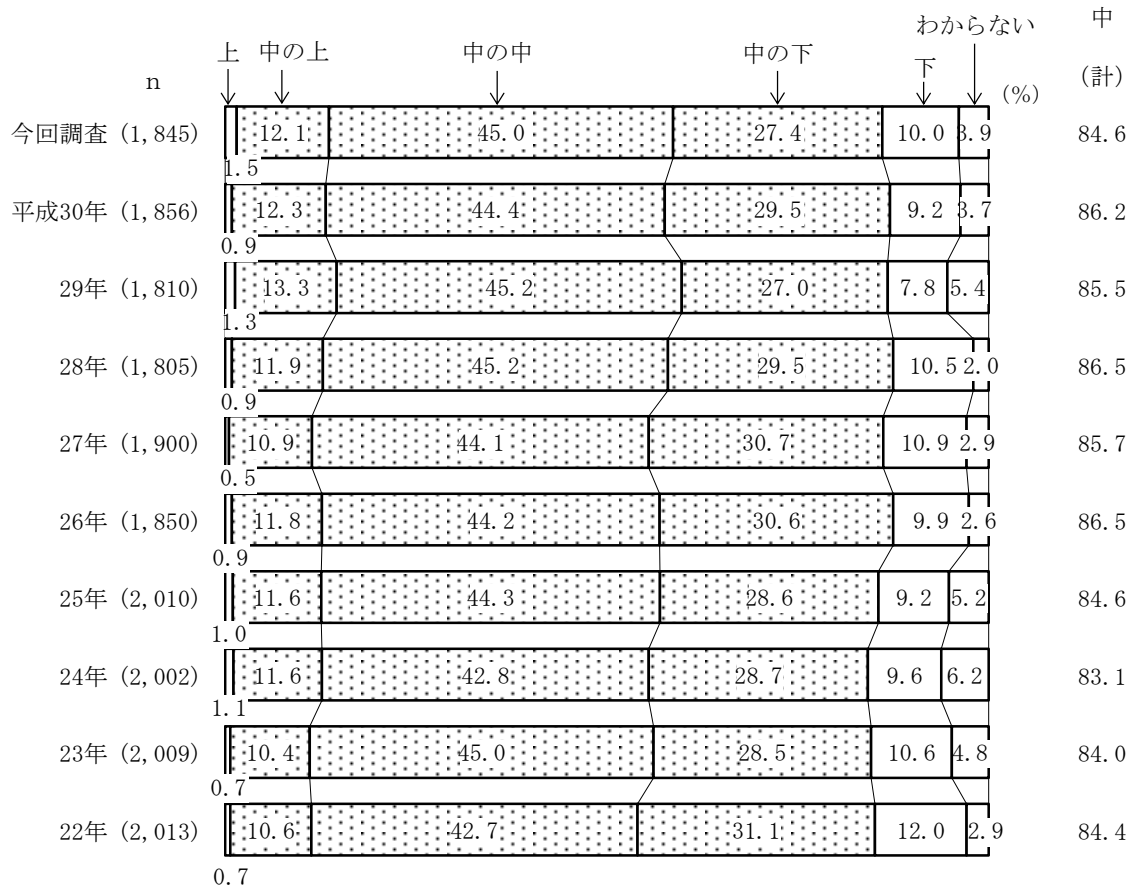


(注) 『中 (計)』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

5段階に分けた生活程度がどれにあたると思うか聞いたところ、「上」2%、「中の上」12%、「中の中」45%、「中の下」27%、「下」10%となっている。「中の上」、「中の中」、「中の下」を合わせた『中 (計)』は85%となっている。(図1-3-1)

生活程度を過去との比較でみると、『中（計）』は平成22年以降は8割台で推移し、「下」がおおむね1割前後となっている。（図1-3-2）

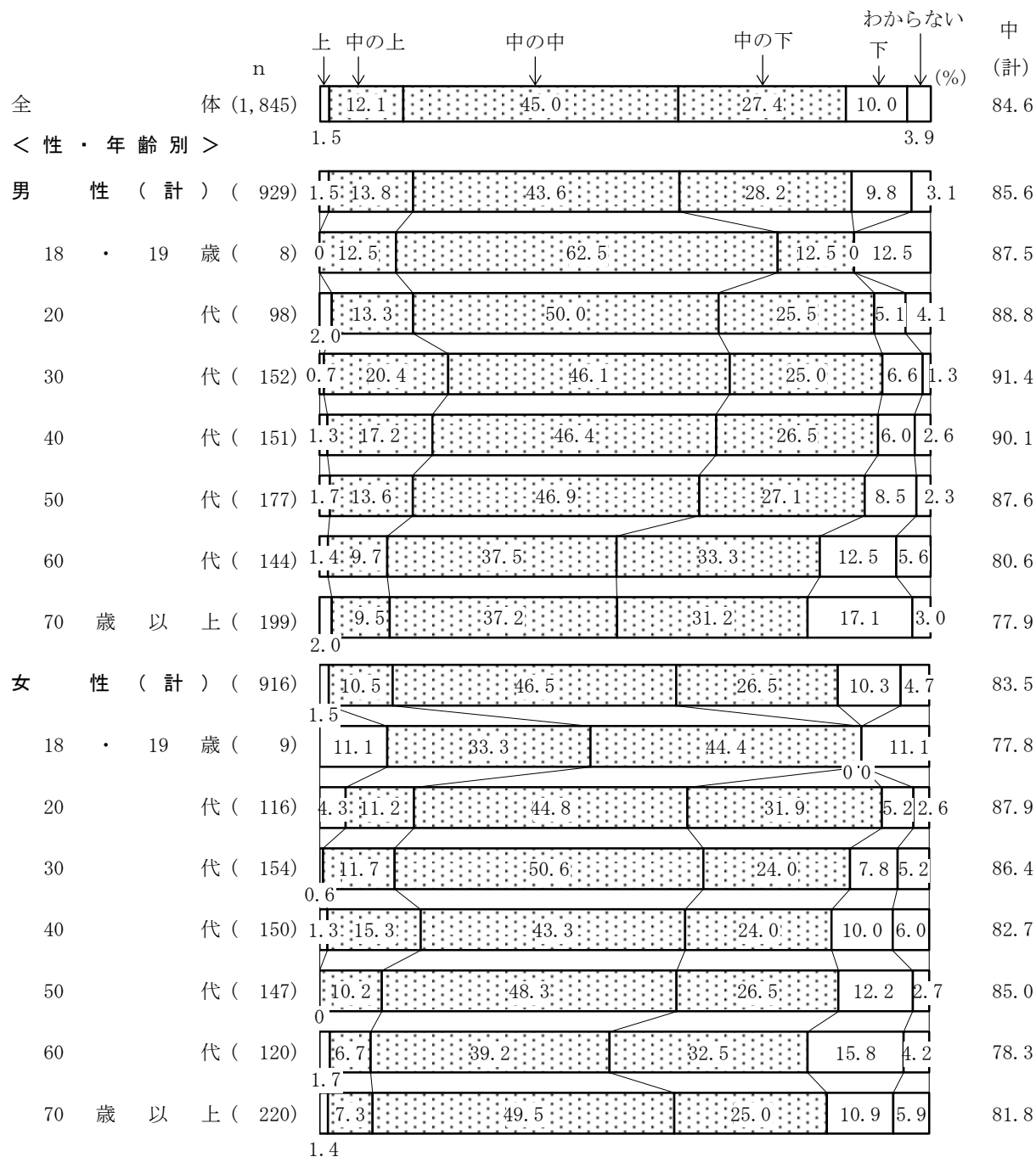
図1-3-2 生活程度－過去との比較



（注）『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

性・年齢別にみると、『中（計）』は男性30代で9割を超えて多くなっている。（図1-3-3）

図1-3-3 生活程度－性・年齢別

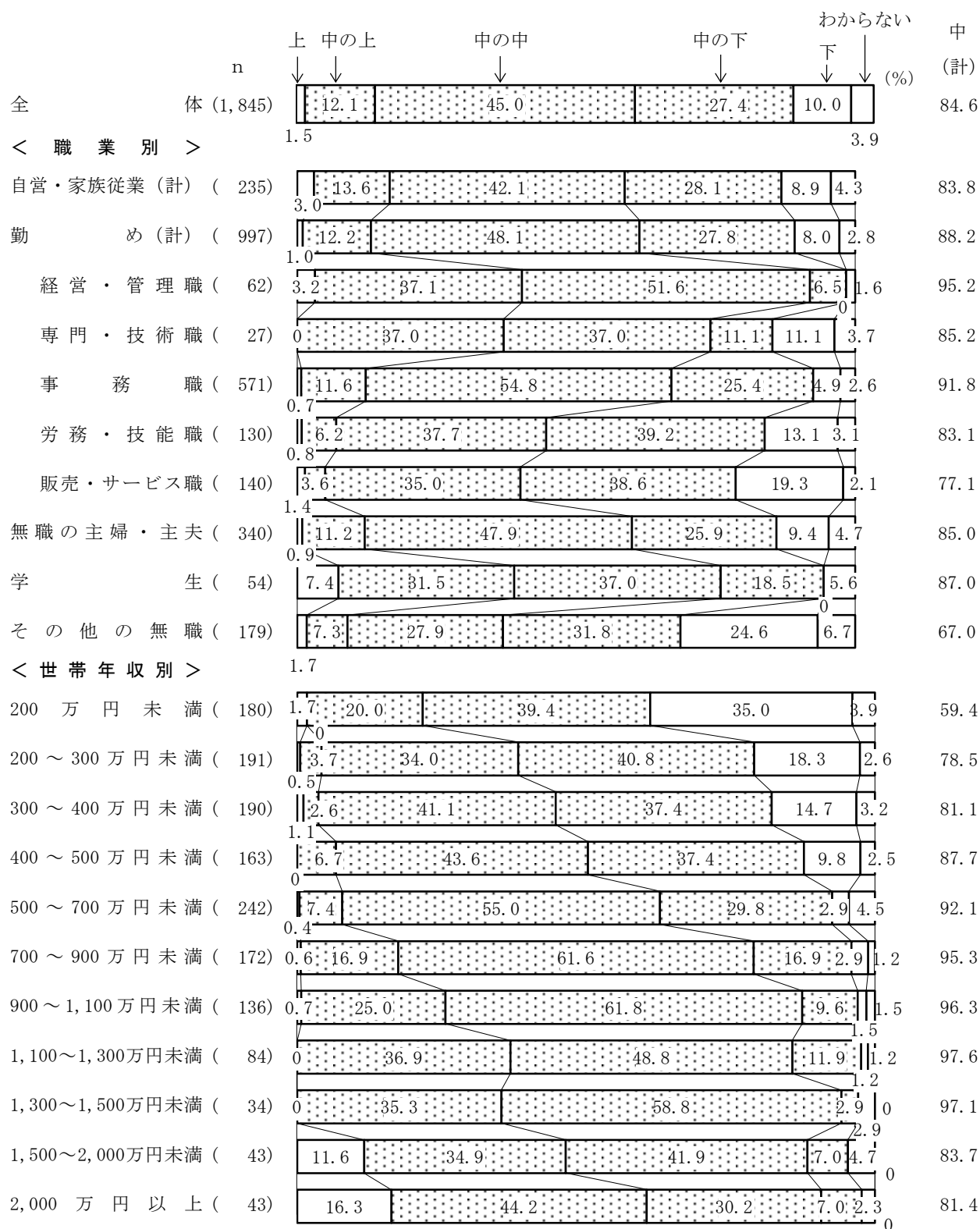


（注）『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

職業別にみると、『中（計）』は勤め（計）で9割近くと多くなっている。一方、「下」はその他の無職で2割半ばとなっている。

世帯年収別にみると、「上」は年収1500万円以上で1割を超えている。『中（計）』は年収500万円以上1,300万円未満の世帯で9割台と多くなっている。一方、「下」は年収200万円未満の世帯で3割半ば、年収200～300万円未満の世帯で2割近くとなっている。（図1-3-4）

図1-3-4 生活程度－職業別、世帯年収別



（注）『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

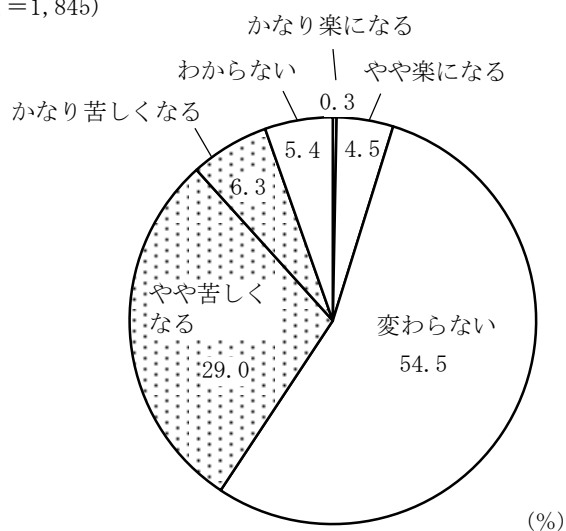
※1-4 これからの暮らしむき

図1-4-1

(全員に)

Q4 あなたの暮らしむきは、これから1年間楽になると思いますか、苦しくなると思いますか。それとも変わらないと思いますか。

(n=1,845)



楽になる (計)	苦しくなる (計)
4.8	35.3

(注)『楽になる (計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計

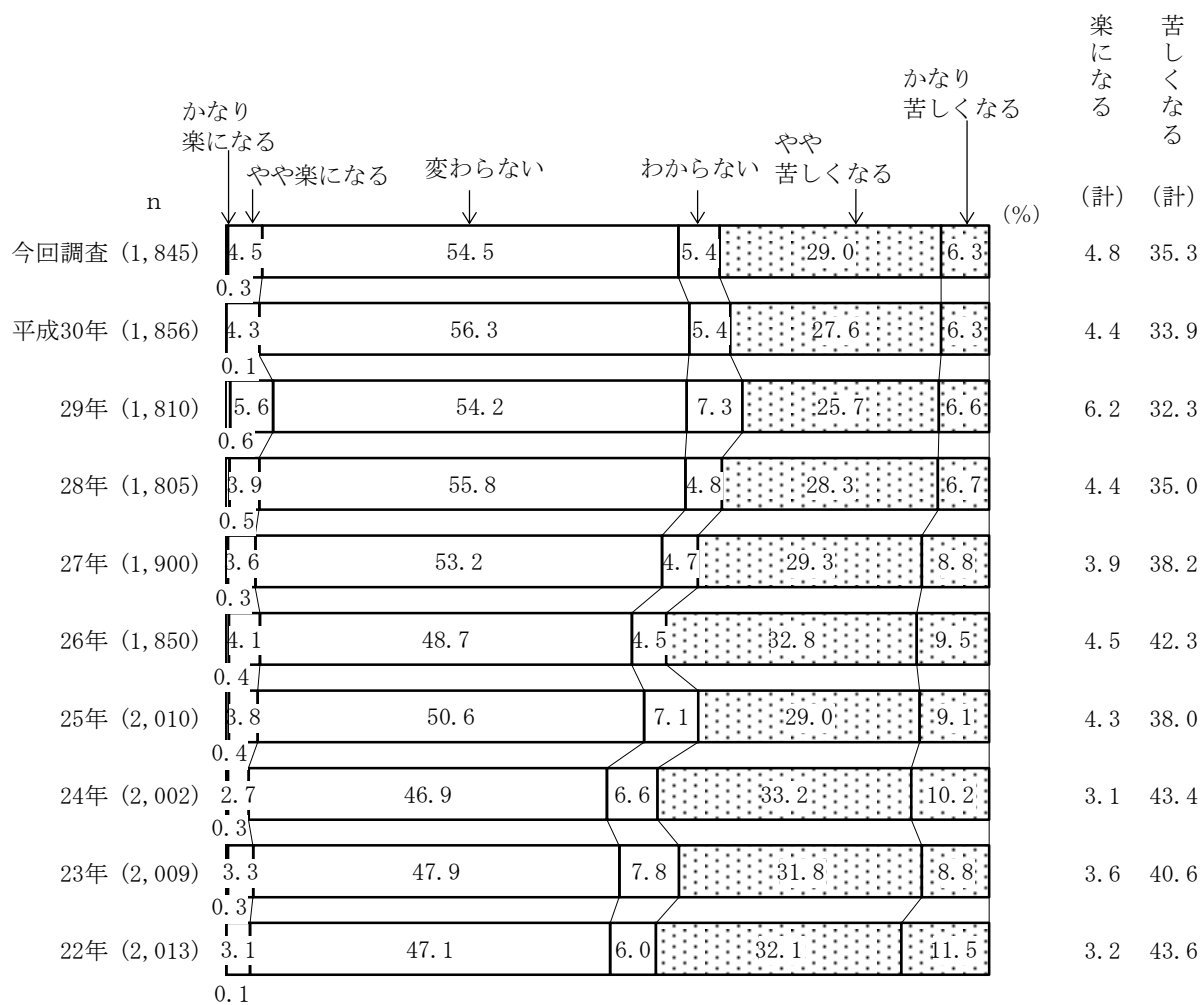
『苦しくなる (計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

これから1年間の暮らしむきを聞いたところ、『楽になる (計)』は5%、『苦しくなる (計)』は35%となっており、「変わらない」が55%となっている。(図1-4-1)

これからの暮らしむきを過去との比較でみると、『苦しくなる（計）』は昨年よりも1ポイント増加している。一方、「変わらない」は昨年よりも2ポイント減少している。（図1-4-2）

なお、これからの暮らしむきの昭和55年からの時系列比較を巻末の付属資料（P147 表2）に掲載している。

図1-4-2 これからの暮らしむき—過去との比較

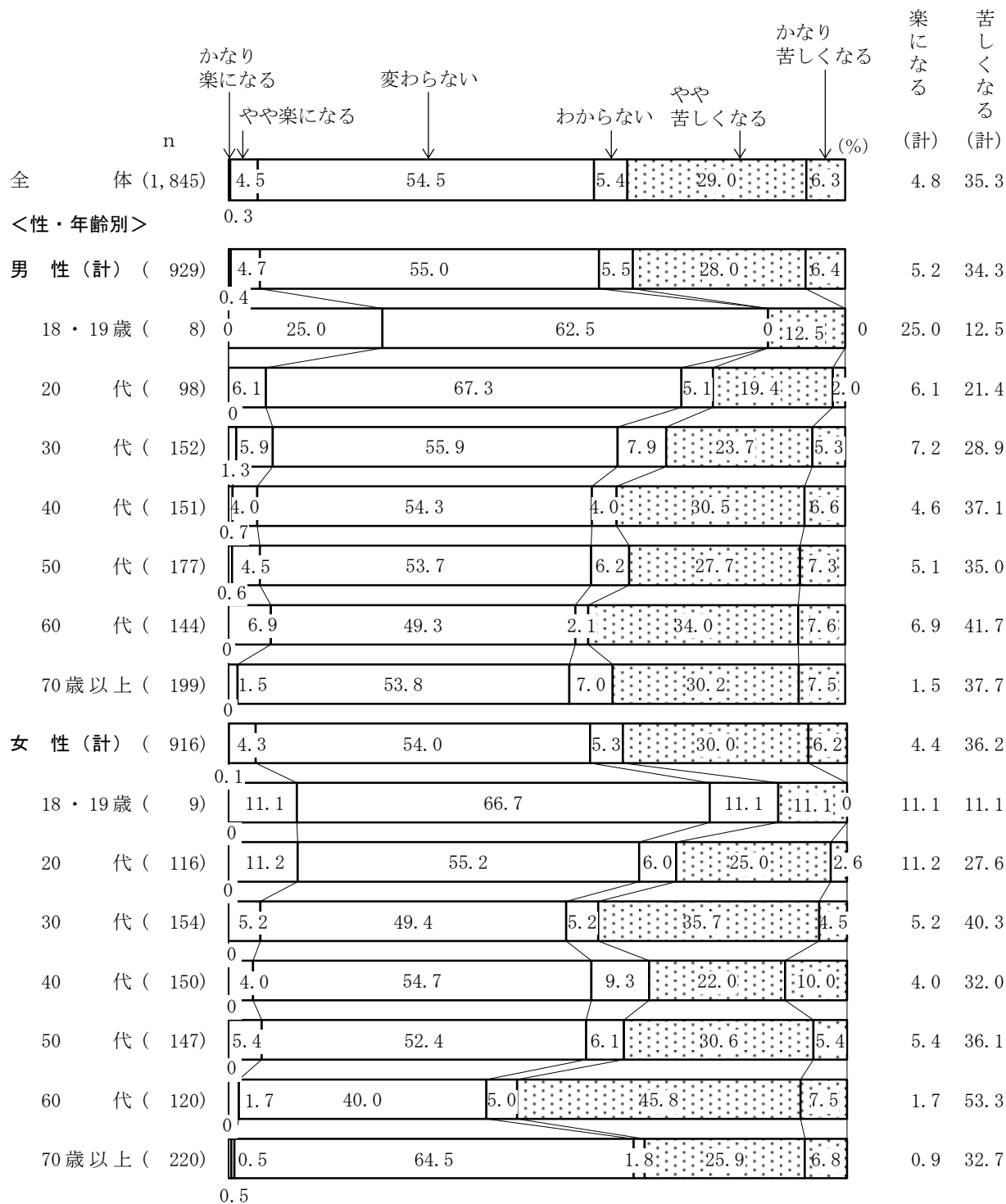


(注) 『楽になる（計）』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計

『苦しくなる（計）』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

性・年齢別にみると、『楽になる（計）』は女性20代で1割を超えている。一方、『苦しくなる（計）』は女性60歳代で5割を超えて多くなっている。（図1-4-3）

図1-4-3 これからの暮らしむき－性・年齢別

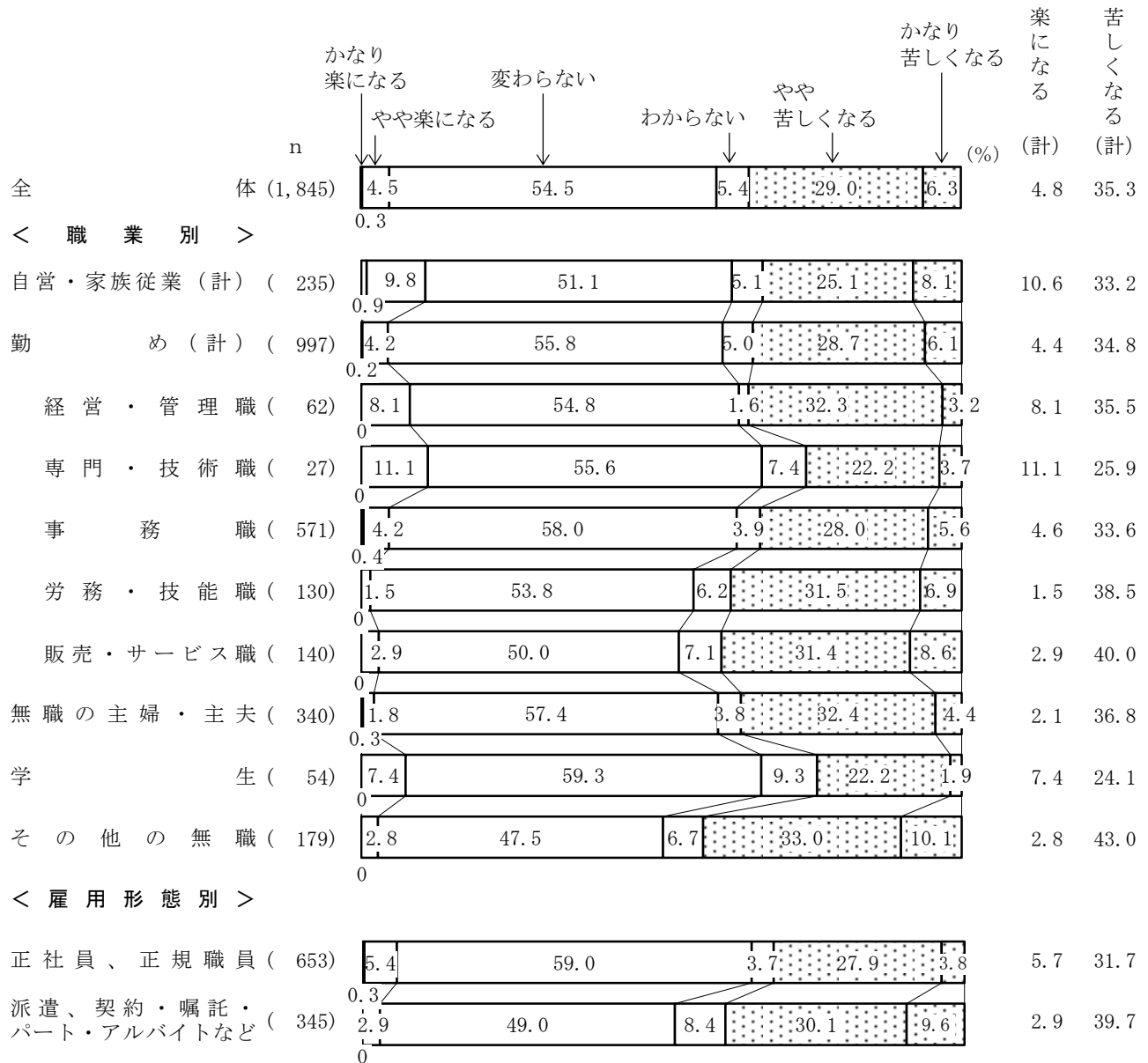


（注）『楽になる（計）』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計

『苦しくなる（計）』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

職業別にみると、『楽になる（計）』は自営・家族従業（計）で1割を超えている。一方、『苦しくなる（計）』はその他の無職で4割を超えて多くなっている。（図1-4-4）

図1-4-4 これからの暮らしむき－職業別、雇用形態別



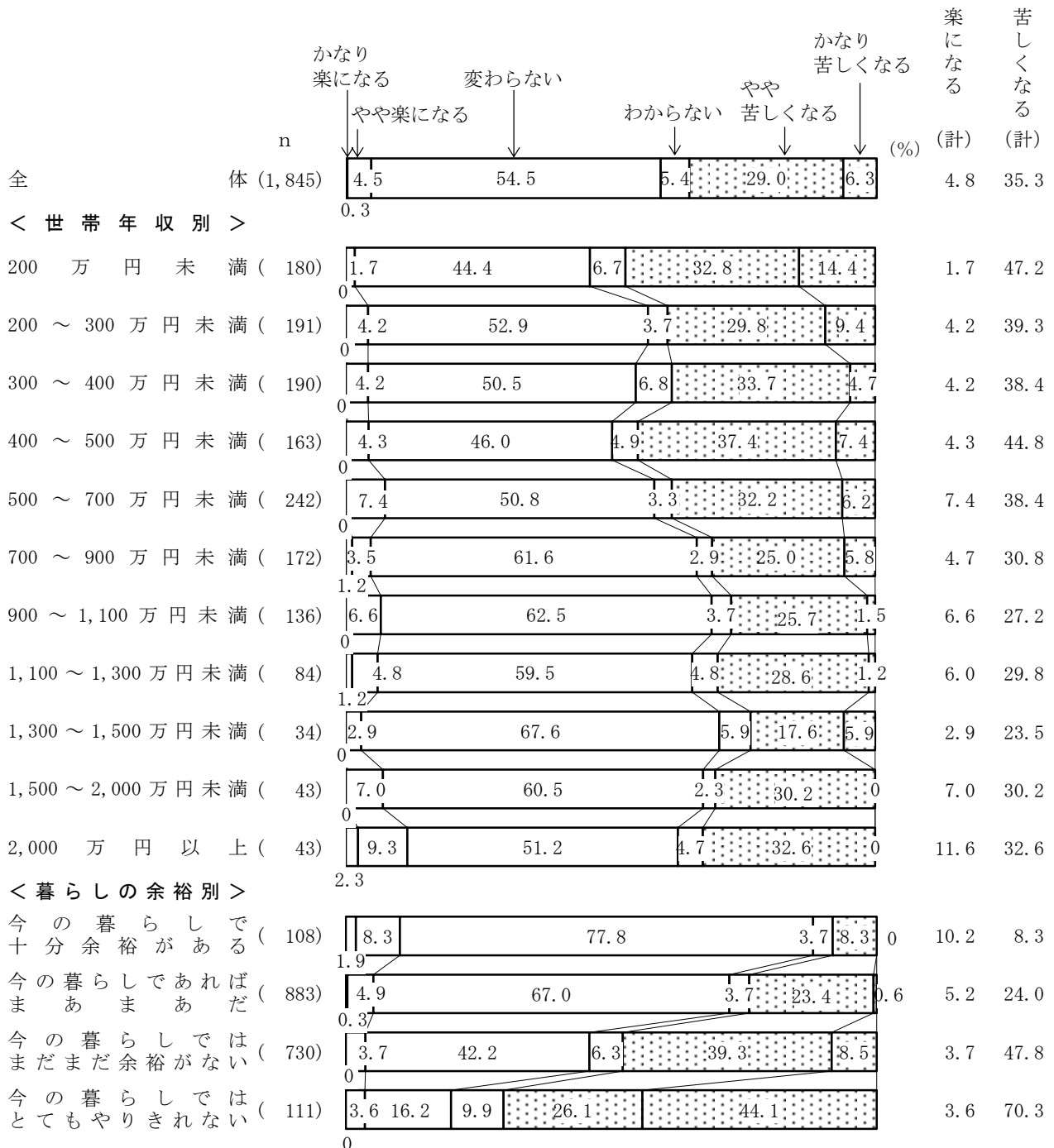
（注）『楽になる（計）』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計

『苦しくなる（計）』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

世帯年収別にみると、『苦しくなる（計）』は年収200万円未満の世帯で5割近くと多くなっている。

暮らしの余裕（Q2 P9）との関係でみると、『苦しくなる（計）』は余裕の度合いが低くなるほど割合が高くなる傾向にあり、“今の暮らしではとてもやりきれない”と答えた人では約7割、“今の暮らしではまだまだ余裕がない”と答えた人では5割近くと多くなっている。（図1-4-5）

図1-4-5 これからの暮らしむき―世帯年収別、暮らしの余裕別



(注)『楽になる（計）』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計

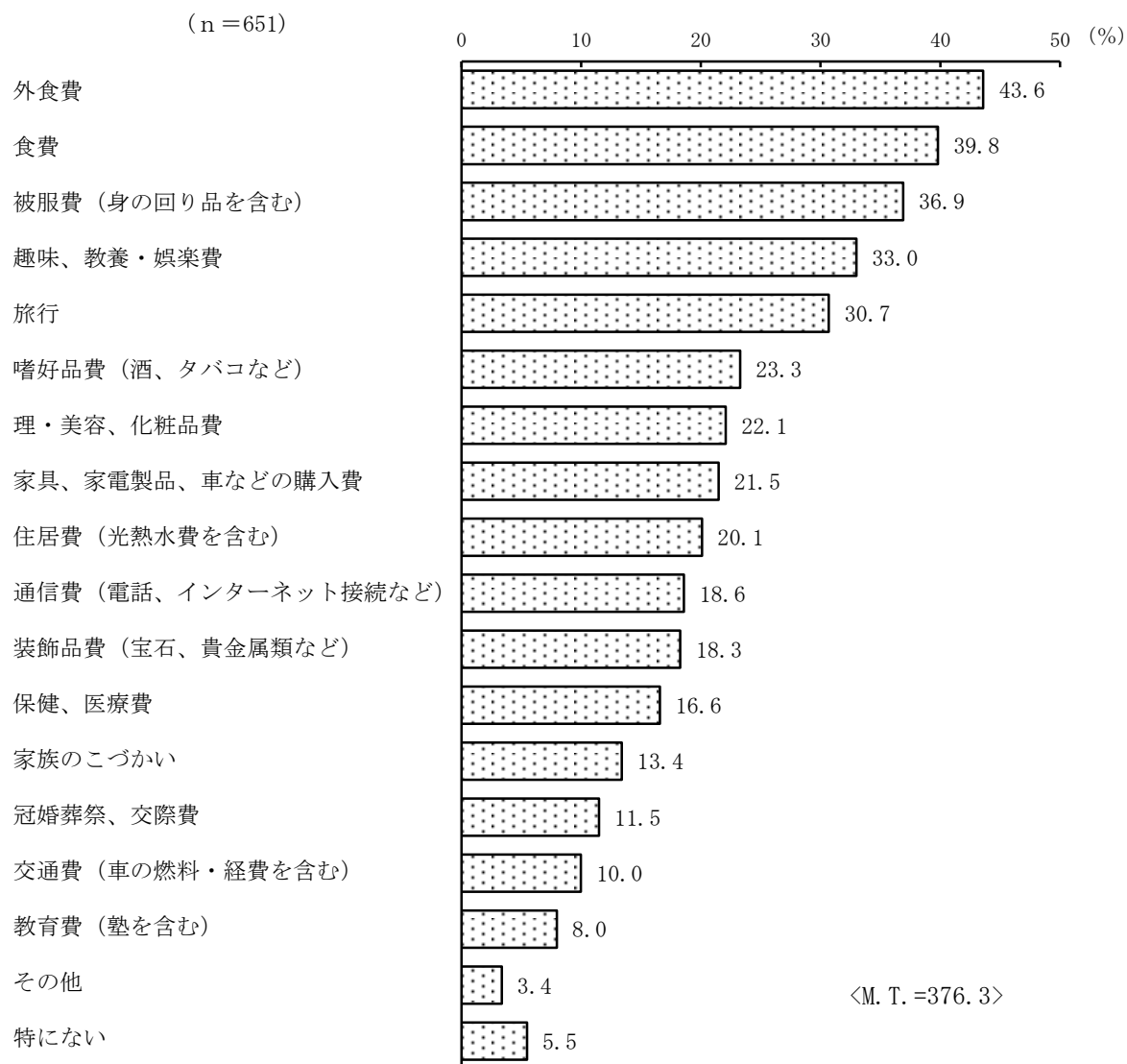
『苦しくなる（計）』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

※1-5 今後切りつめていくもの

図1-5-1

(Q4で「やや苦しくなる」「かなり苦しくなる」と答えた方に)

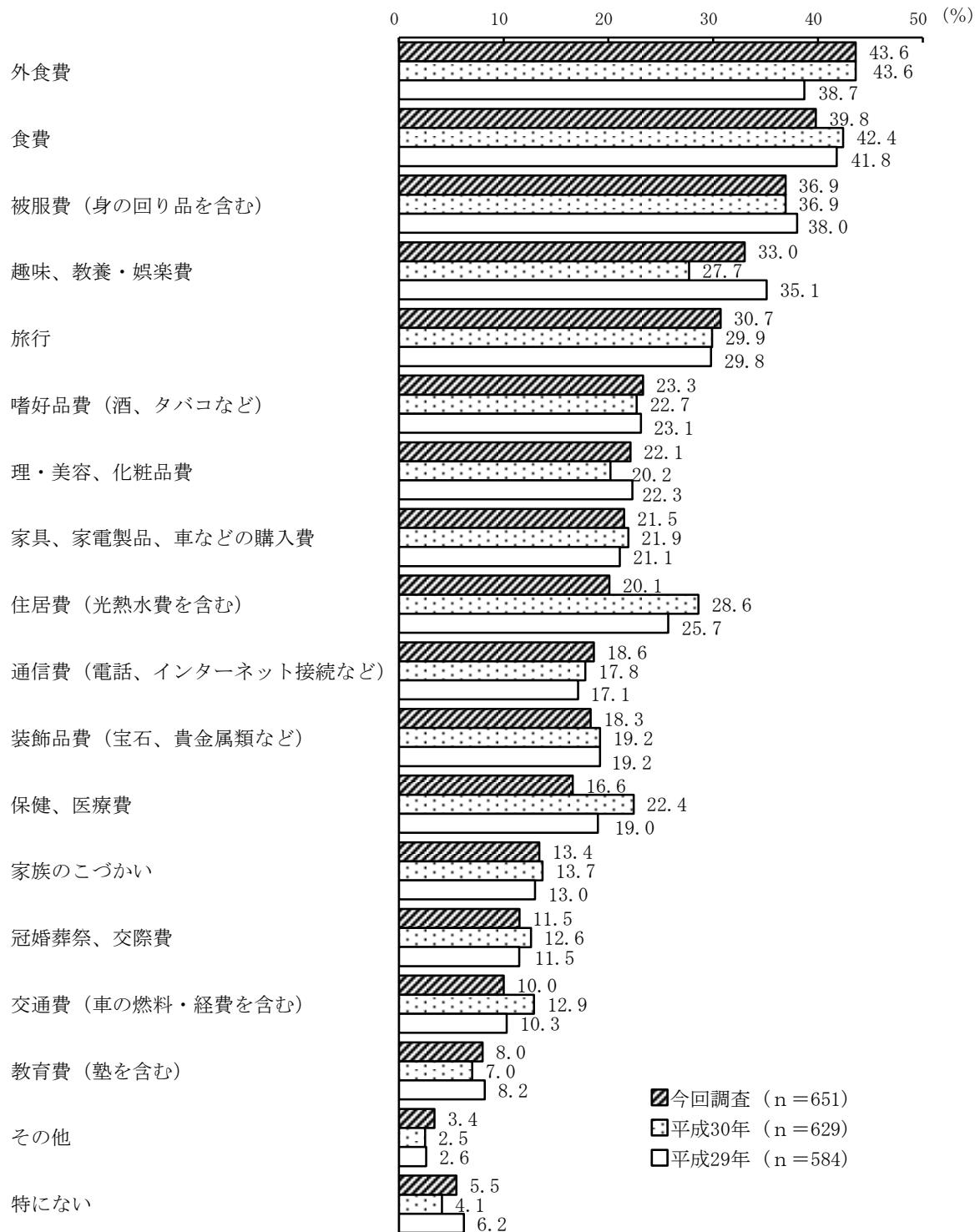
S Q では、今後、切りつめていこうと思うものがありますか。この中からいくつかでもお答えください。(M. A.)



これから1年間の暮らしむきが苦しくなると答えた人 (651人) に、今後切りつめていこうと思うものを聞いたところ、「外食費」が44%で最も多く、次いで「食費」40%、「被服費 (身の回り品を含む)」37%、「趣味、教養・娯楽費」33%、「旅行」31%などの順となっている。(図1-5-1)

今後切りつめていくものを過去との比較でみると、「趣味、教養・娯楽費」は昨年よりも5ポイント増加している。一方、「住居費（光熱水費を含む）」は昨年よりも9ポイント減少している。（図1-5-2）

図1-5-2 今後切りつめていくもの—過去との比較



性・年齢別にみると、女性は男性よりも「理・美容、化粧品費」が18ポイント高く、特に女性50代で4割を超えて多くなっている。また、「被服費（身の回り品を含む）」も女性は男性より15ポイント高くなっている。

生活程度（Q3 P14）との関係でみると、「食費」は“下”と答えた人で5割半ばと多くなっている。また、「住居費（光熱水費を含む）」も“下”と答えた人で3割を超えて多くなっている。一方、“中の下”と答えた人では、「被服費（身の回り品を含む）」が5割近く、「趣味、教養・娯楽費」が4割を超えて多くなっている。（表1-5-1）

表1-5-1 今後切りつめていくもの－性・年齢別、生活程度別

(%)

		外 食 費	食 費	被 服 費 （身の回り品を含む）	趣 味、 教 養・ 娯 楽 費	旅 行	嗜 好 品 費 （酒、 タバコなど）	理・美 容、 化 粧 品 費	家 具、 家 電 製 品、 車 な ど の 購 入 費	住 居 費 （光熱水費を含む）	通 信 費 （電話、 イン ター ネ ット 接 続 な ど）	装 飾 品 費 （宝石、 貴金 属 類 な ど）	保 健、 医 療 費	家 族 の こ づ か い	冠 婚 葬 祭、 交 際 費	交 通 費 （車の燃料・ 経費を含む）	教 育 費 （塾を含む）	そ の 他	特 に な い
全 体	651	43.6	39.8	36.9	33.0	30.7	23.3	22.1	21.5	20.1	18.6	18.3	16.6	13.4	11.5	10.0	8.0	3.4	5.5
< 性・年齢別 >																			
男 性（計）	319	43.9	38.9	29.5	37.3	30.1	25.7	13.2	23.5	18.5	16.3	16.0	16.0	14.7	10.7	11.6	6.3	2.8	5.3
18 ・ 19 歳	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-
20 代	21	38.1	28.6	19.0	42.9	14.3	28.6	9.5	9.5	14.3	4.8	4.8	4.8	14.3	4.8	4.8	-	14.3	4.8
30 代	44	47.7	29.5	34.1	43.2	20.5	25.0	11.4	18.2	9.1	13.6	11.4	9.1	9.1	13.6	13.6	4.5	4.5	9.1
40 代	56	53.6	46.4	42.9	44.6	35.7	23.2	16.1	41.1	25.0	25.0	25.0	8.9	17.9	8.9	10.7	12.5	-	-
50 代	62	45.2	41.9	30.6	37.1	37.1	33.9	8.1	22.6	16.1	12.9	14.5	12.9	14.5	6.5	11.3	6.5	1.6	3.2
60 代	60	50.0	36.7	33.3	35.0	30.0	33.3	18.3	21.7	20.0	16.7	20.0	15.0	13.3	8.3	15.0	3.3	1.7	1.7
70 歳 以 上	75	30.7	40.0	16.0	29.3	30.7	14.7	13.3	20.0	21.3	17.3	13.3	30.7	17.3	17.3	10.7	5.3	2.7	12.0
女 性（計）	332	43.4	40.7	44.0	28.9	31.3	21.1	30.7	19.6	21.7	20.8	20.5	17.2	12.0	12.3	8.4	9.6	3.9	5.7
18 ・ 19 歳	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
20 代	32	50.0	43.8	34.4	43.8	34.4	25.0	37.5	9.4	25.0	34.4	15.6	28.1	12.5	6.3	6.3	9.4	6.3	-
30 代	62	51.6	43.5	40.3	29.0	25.8	19.4	35.5	16.1	16.1	19.4	16.1	12.9	8.1	8.1	8.1	12.9	3.2	6.5
40 代	48	54.2	43.8	43.8	35.4	31.3	29.2	27.1	22.9	14.6	22.9	16.7	14.6	12.5	8.3	6.3	25.0	6.3	-
50 代	53	47.2	43.4	47.2	39.6	37.7	22.6	41.5	26.4	26.4	22.6	24.5	13.2	17.0	11.3	5.7	3.8	3.8	5.7
60 代	64	43.8	45.3	50.0	25.0	35.9	20.3	35.9	20.3	29.7	21.9	23.4	20.3	9.4	17.2	9.4	3.1	3.1	4.7
70 歳 以 上	72	23.6	27.8	44.4	13.9	26.4	15.3	13.9	19.4	19.4	12.5	23.6	18.1	12.5	18.1	12.5	6.9	2.8	12.5
< 生活程度別 >																			
上	2	50.0	50.0	50.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-
中 の 上	57	38.6	28.1	35.1	36.8	24.6	28.1	12.3	24.6	8.8	7.0	12.3	5.3	7.0	7.0	10.5	14.0	5.3	5.3
中 の 中	235	45.1	29.4	31.9	26.4	26.8	20.0	19.6	19.1	17.9	17.4	18.7	11.9	11.5	8.1	7.7	8.5	3.0	6.4
中 の 下	238	45.0	47.1	47.1	41.2	37.4	26.1	26.9	26.5	21.0	22.3	22.7	18.1	16.0	11.3	10.1	8.0	2.1	5.5
下	107	41.1	54.2	28.0	29.9	28.0	23.4	25.2	16.8	31.8	21.5	12.1	29.0	15.0	20.6	15.9	4.7	5.6	4.7

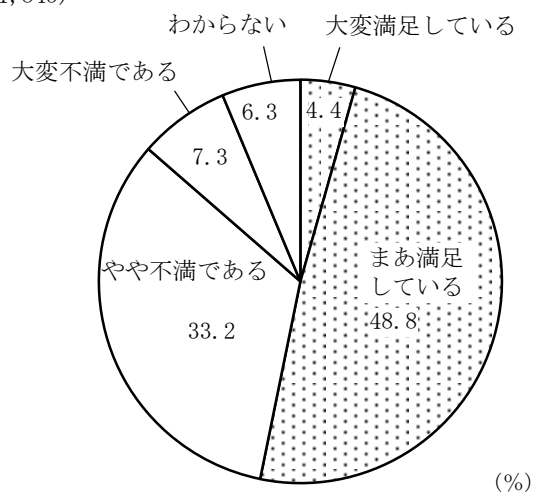
※1-6 生活満足度

図1-6-1

(全員に)

Q5 あなたは、現在のご自分の生活に満足していますか。

(n = 1,845)



満	不
足	満
(計)	(計)
53.2	40.5

(注)『満足 (計)』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計

『不満 (計)』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

現在の生活に満足しているかどうか聞いたところ、『満足 (計)』は53%、『不満 (計)』は41%となっている。(図1-6-1)

生活満足度を過去との比較でみると、『満足（計）』は昨年よりも1ポイント減少している。

(図1-6-2)

なお、生活満足度の昭和52年からの時系列比較を巻末の付属資料（P148 表3、P149 図4）に掲載している。

図1-6-2 生活満足度—過去との比較

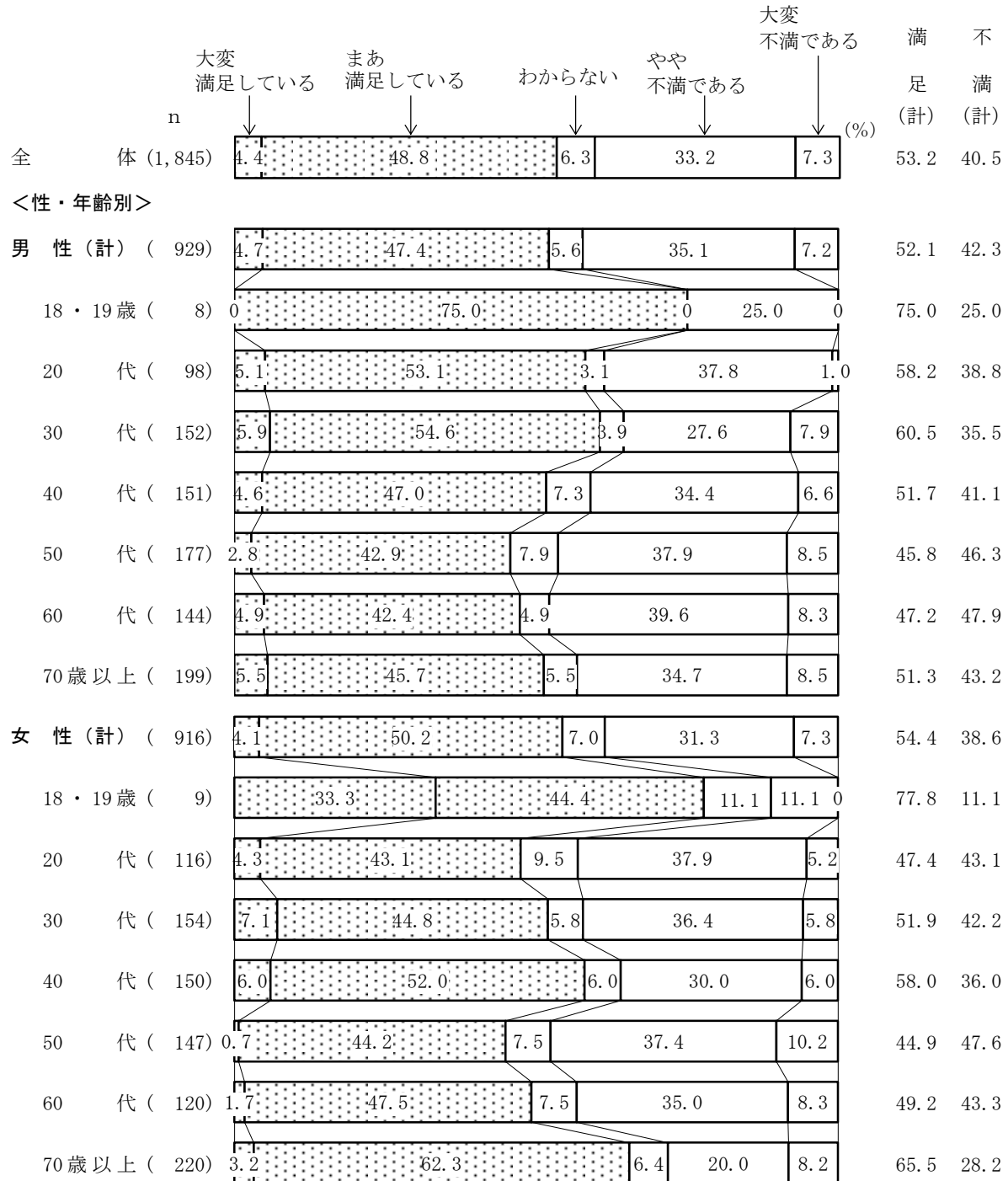
	n	大変満足している	まあ満足している	わからない	やや不満である	大変不満である	(%)	満 足 (計)	不 満 (計)
今回調査	(1,845)	4.4	48.8	6.3	33.2	7.3		53.2	40.5
平成30年	(1,856)	4.5	49.9	4.7	33.6	7.2		54.4	40.8
29年	(1,810)	4.5	49.4	5.8	33.3	7.0		54.0	40.2
28年	(1,805)	4.4	49.3	4.8	33.1	8.4		53.7	41.6
27年	(1,900)	3.0	47.8	4.1	35.9	9.1		50.8	45.1
26年	(1,850)	3.6	49.4	3.6	34.0	9.5		53.0	43.5
25年	(2,010)	4.3	49.5	4.9	32.6	8.7		53.8	41.3
24年	(2,002)	3.6	49.9	4.6	33.9	8.0		53.4	42.0
23年	(2,009)	4.0	49.4	3.8	34.1	8.6		53.5	42.7
22年	(2,013)	2.9	44.8	4.1	36.8	11.5		47.6	48.3

(注) 『満足（計）』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計

『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

性・年齢別にみると、『満足（計）』は女性70歳以上で6割半ばと多くなっている。（図1-6-3）

図1-6-3 生活満足度－性・年齢別



(注) 『満足（計）』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計

『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

住居形態別にみると、『満足（計）』は持家（計）で6割近くとなっており、持家以外（計）よりも15ポイント高くなっている。一方、『不満（計）』は持家以外（計）で5割近くとなっており、持家（計）よりも13ポイント高くなっている。

世帯年収別にみると、『満足（計）』はおおむね年収が多くなるほど割合が高くなる傾向がある。一方、『不満（計）』はおおむね年収が低くなるほど割合が高くなる傾向にあり、年収200万円未満の世帯で6割を超えて多くなっている。（図1-6-4）

図1-6-4 生活満足度－住居形態別、世帯年収別

		生活満足度					満足度（計）	
		大変満足している	まあ満足している	わからない	やや不満である	大変不満である	満足（計）	不満（計）
n		（％）						
全	体 (1,845)	4.4	48.8	6.3	33.2	7.3	53.2	40.5
< 住 居 形 態 別 >								
持	家（計） (1,202)	5.6	53.2	5.4	30.6	5.2	58.7	35.9
	持家（一戸建） (932)	6.0	54.9	5.8	28.3	4.9	60.9	33.3
	持家（分譲マンション など集合住宅） (270)	4.1	47.0	4.1	38.5	6.3	51.1	44.8
持	家以外（計） (620)	1.9	41.5	7.4	37.9	11.3	43.4	49.2
	民間の借家（一戸建） (36)	2.8	44.4	11.1	25.0	16.7	47.2	41.7
	民間の借家（賃貸マンション・ アパートなど集合住宅） (418)	1.9	39.2	8.4	39.5	11.0	41.1	50.5
	都市機構（旧公団）・公社・ 公営の賃貸住宅・アパート (104)	1.9	37.5	2.9	45.2	12.5	39.4	57.7
	社宅・公務員住宅 など給与住宅 (40)	0	70.0	5.0	22.5	2.5	70.0	25.0
	住み込み・寮・寄宿舎など (9)	0	55.6	0	11.1	33.3	55.6	44.4
< 世 帯 年 収 別 >								
200	万円未満 (180)	2.2	30.6	6.7	39.4	21.1	32.8	60.6
200	～ 300 万円未満 (191)	1.6	46.6	4.7	36.1	11.0	48.2	47.1
300	～ 400 万円未満 (190)	1.6	40.0	6.8	44.7	6.8	41.6	51.6
400	～ 500 万円未満 (163)	2.5	44.8	4.9	38.0	9.8	47.2	47.9
500	～ 700 万円未満 (242)	3.7	43.4	6.2	41.3	5.4	47.1	46.7
700	～ 900 万円未満 (172)	7.6	52.3	5.2	32.6	2.3	59.9	34.9
900	～ 1,100 万円未満 (136)	4.4	65.4	2.2	25.0	2.9	69.9	27.9
1,100	～ 1,300 万円未満 (84)	2.4	70.2	7.1	17.9	2.4	72.6	20.2
1,300	～ 1,500 万円未満 (34)	5.9	73.5	2.9	14.7	2.9	79.4	17.6
1,500	～ 2,000 万円未満 (43)	11.6	67.4	9.3	9.3	2.3	79.1	11.6
2,000	万円以上 (43)	25.6	55.8	7.0	9.3	2.3	81.4	11.6

（注）『満足（計）』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計

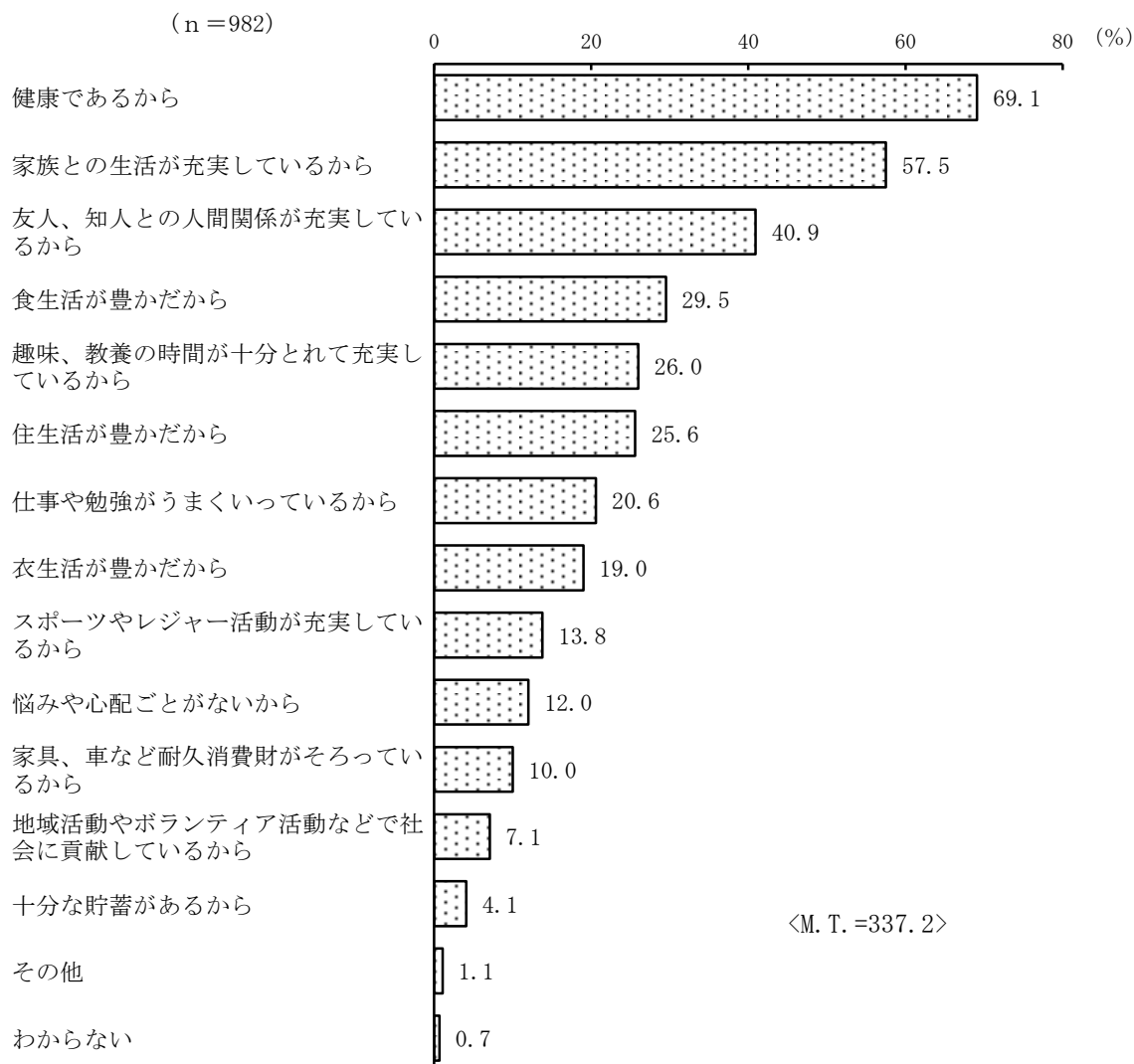
『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

※1-7 満足の原因

図1-7-1

(Q5で「大変満足している」「まあ満足している」と答えた方に)

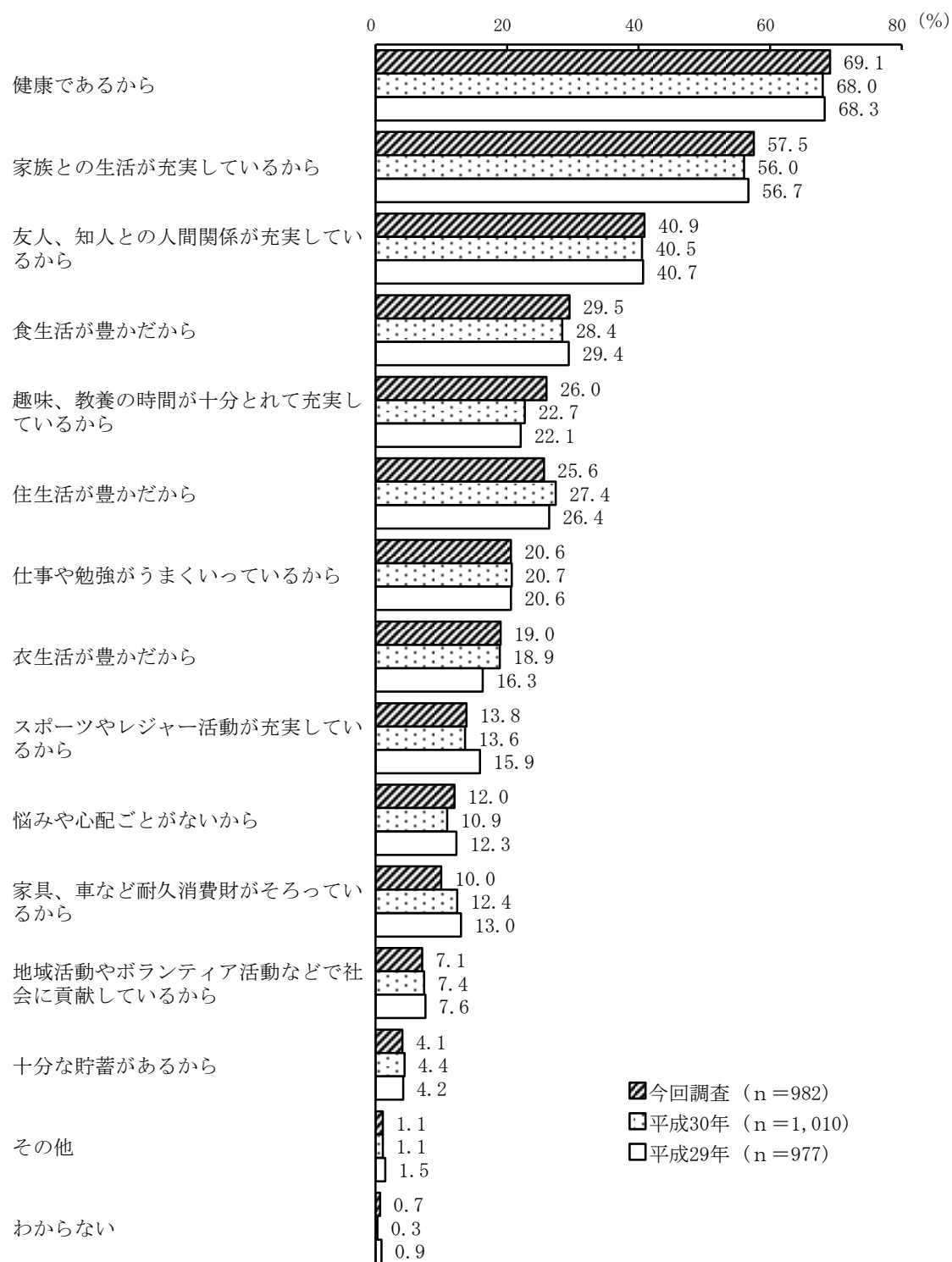
S Q1 どのような理由で満足されていますか。この中から当てはまるものをいくつでもお答えください。(M. A.)



現在の生活に満足しているという人(982人)にその理由を聞いたところ、「健康であるから」が69%で最も多く、次いで「家族との生活が充実しているから」58%、「友人、知人との人間関係が充実しているから」41%、「食生活が豊かだから」30%、「趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから」、「住生活が豊かだから」26%などの順となっている。(図1-7-1)

満足の理由を過去との比較でみると、「趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから」は昨年よりも3ポイント増加している。(図1-7-2)

図1-7-2 満足の理由—過去との比較



性・年齢別にみると、女性は男性よりも「友人、知人との人間関係が充実しているから」で14ポイント高くなっている。「健康であるから」は女性30代で8割を超え、「家族との生活が充実しているから」は女性40代で7割半ばと多くなっている。また、「スポーツやレジャー活動が充実している」は男性50代、60代で2割半ばと多くなっている。

生活程度（Q3 P14）との関係でみると、ほとんどの項目で、生活程度が高いほど割合も高くなる傾向になっている。（表1-7-1）

表1-7-1 満足の理由－性・年齢別、生活程度別

(%)

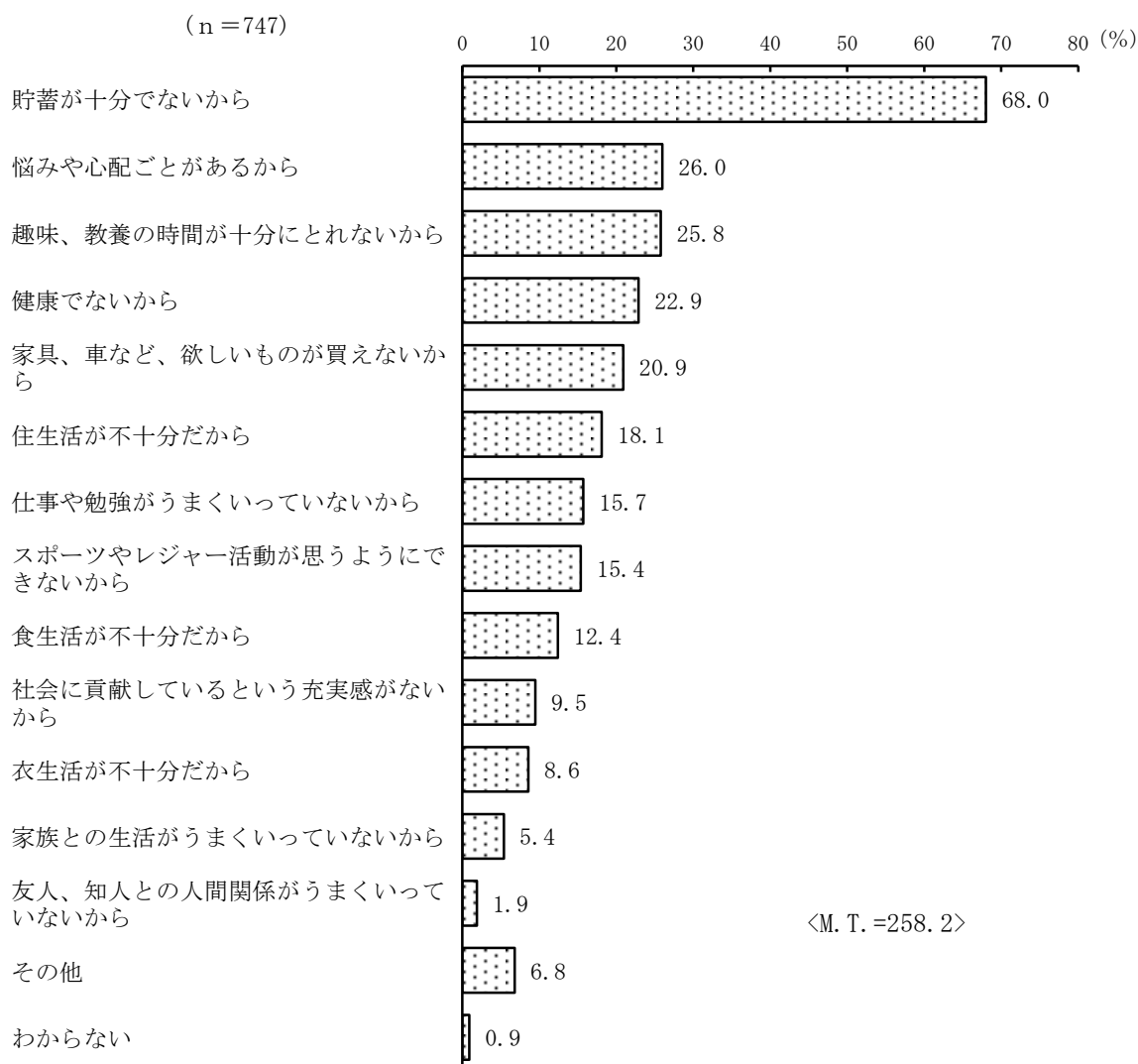
	n	健康であるから	家族との生活が充実しているから	友人、知人との人間関係が充実しているから	食生活が豊かだから	趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから	住生活が豊かだから	仕事や勉強がうまくいっているから	衣生活が豊かだから	スポーツやレジャー活動が充実しているから	悩みや心配ごとがないから	家具、車など耐久消費財がそろっているから	地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから	十分な貯蓄があるから	その他	わからない
全体	982	69.1	57.5	40.9	29.5	26.0	25.6	20.6	19.0	13.8	12.0	10.0	7.1	4.1	1.1	0.7
< 性・年齢別 >																
男性（計）	484	68.0	53.1	34.1	29.8	24.8	27.1	21.7	19.4	17.6	13.0	10.5	6.4	5.4	0.8	0.8
18・19歳	6	66.7	66.7	33.3	50.0	33.3	50.0	50.0	50.0	16.7	-	-	-	-	-	-
20代	57	66.7	43.9	47.4	40.4	33.3	22.8	24.6	19.3	7.0	12.3	7.0	1.8	3.5	1.8	-
30代	92	71.7	54.3	30.4	31.5	23.9	29.3	23.9	23.9	10.9	12.0	13.0	2.2	5.4	1.1	-
40代	78	71.8	57.7	19.2	32.1	11.5	30.8	23.1	20.5	20.5	12.8	9.0	5.1	5.1	1.3	1.3
50代	81	67.9	56.8	30.9	30.9	25.9	28.4	25.9	23.5	24.7	7.4	13.6	7.4	4.9	-	-
60代	68	70.6	48.5	39.7	17.6	23.5	22.1	22.1	11.8	25.0	16.2	8.8	11.8	5.9	1.5	1.5
70歳以上	102	60.8	52.9	40.2	26.5	30.4	25.5	11.8	14.7	16.7	17.6	10.8	9.8	6.9	-	2.0
女性（計）	498	70.3	61.8	47.6	29.3	27.1	24.1	19.5	18.7	10.2	11.0	9.4	7.8	2.8	1.4	0.6
18・19歳	7	71.4	57.1	57.1	42.9	42.9	42.9	57.1	42.9	-	28.6	-	-	14.3	-	-
20代	55	74.5	56.4	65.5	45.5	49.1	34.5	23.6	34.5	7.3	16.4	9.1	5.5	7.3	-	-
30代	80	82.5	71.3	56.3	37.5	12.5	27.5	31.3	27.5	8.8	11.3	15.0	1.3	2.5	-	-
40代	87	69.0	75.9	39.1	29.9	24.1	27.6	21.8	18.4	6.9	5.7	10.3	2.3	3.4	2.3	-
50代	66	72.7	60.6	40.9	24.2	19.7	18.2	24.2	19.7	6.1	13.6	10.6	9.1	1.5	-	1.5
60代	59	64.4	64.4	49.2	25.4	39.0	16.9	13.6	8.5	15.3	6.8	8.5	10.2	1.7	3.4	-
70歳以上	144	63.9	50.0	43.1	21.5	26.4	20.8	8.3	10.4	14.6	11.8	6.3	14.6	1.4	2.1	1.4
< 生活程度別 >																
上	26	53.8	65.4	57.7	61.5	23.1	61.5	34.6	50.0	11.5	11.5	23.1	11.5	34.6	-	-
中の上	185	74.6	63.2	42.7	49.2	33.5	44.3	26.5	34.6	21.1	5.9	16.8	7.6	8.6	0.5	-
中の中	551	71.5	59.2	40.7	26.1	24.1	21.4	20.1	16.0	14.3	12.5	8.7	6.9	2.5	0.9	0.4
中の下	166	65.1	46.4	38.6	16.3	25.9	14.5	16.3	7.8	7.2	15.1	5.4	9.0	0.6	1.2	0.6
下	24	45.8	45.8	37.5	12.5	25.0	16.7	4.2	4.2	4.2	16.7	4.2	-	-	4.2	12.5

※1-8 不満の理由

図1-8-1

(Q5で「やや不満である」「大変不満である」と答えた方に)

S Q2 どのような理由で不満であると感じていますか。この中から当てはまるものをいくつでもお答えください。(M. A.)



現在の生活に不満であるという人（747人）にその理由を聞いたところ、「貯蓄が十分でないから」が68%で最も多く、次いで「悩みや心配ごとがあるから」26%、「趣味、教養の時間が十分にとれないから」26%、「健康でないから」23%、「家具、車など、欲しいものが買えないから」21%などの順となっている。（図1-8-1）

不満の理由を過去との比較でみると、「貯蓄が十分でないから」は昨年よりも4ポイント増加している。一方、「健康でないから」、「スポーツやレジャー活動が思うようにできないから」は4ポイント減少している。(表1-8-1)

表1-8-1 不満の理由－過去との比較

		(%)														
	n	貯蓄が十分でないから	悩みや心配ごとがあるから	趣味、教養の時間が十分に とれないから	健康でないから	家具、車など、欲しいものが 買えないから	住生活が不十分だから	仕事や勉強がうまくいつて いないから	スポーツやレジャー活動が 思うようにできないから	食生活が不十分だから	社会に貢献しているという 充実感がないから	衣生活が不十分だから	家族との生活がうまくいつ ていないから	友人、知人との人間関係が うまくいつていないから	その他	わからない
<過去との比較>																
今回調査	747	68.0	26.0	25.8	22.9	20.9	18.1	15.7	15.4	12.4	9.5	8.6	5.4	1.9	6.8	0.9
平成30年	758	64.0	26.1	27.8	26.6	21.6	16.8	13.9	18.9	9.9	7.7	7.4	7.3	1.7	6.6	0.9
29年	728	64.0	30.1	29.7	23.2	22.5	15.4	19.9	21.0	9.6	8.4	7.8	6.2	2.5	5.1	1.4
28年	750	63.1	24.1	27.1	24.9	19.2	21.5	15.2	16.5	12.4	9.9	10.1	6.1	2.0	5.2	1.1
27年	856	65.5	24.1	28.2	23.1	19.9	17.8	14.6	17.4	13.8	10.0	7.6	5.1	2.7	5.3	1.3
26年	804	71.5	25.9	28.2	25.0	23.5	19.9	16.0	18.4	14.1	8.1	10.4	5.2	2.1	5.3	0.9
25年	830	66.9	26.1	25.8	22.0	24.5	19.5	16.9	17.5	10.6	9.3	7.3	5.1	2.3	6.4	2.4
24年	840	63.7	28.2	27.1	25.5	21.1	18.1	16.3	17.3	11.8	9.0	9.9	6.7	2.1	5.2	2.5
23年	858	62.2	25.2	28.1	21.9	20.2	16.9	19.9	19.3	10.3	12.1	6.6	5.8	2.4	6.4	1.3
22年	972	67.3	26.0	27.8	24.3	25.8	20.1	18.6	17.1	15.0	12.6	12.2	5.6	1.5	6.5	0.4

性・年齢別にみると、「趣味、教養の時間が十分にとれないから」は男性40代で約4割と多くなっている。「健康でないから」は女性70歳以上で4割半ば、男性70歳以上で約4割と多くなっている。

生活程度（Q3 P14）との関係でみると、ほとんどの項目で、生活程度が低いほど割合が高くなる傾向にある。（表1－8－2）

表1－8－2 不満の理由－性・年齢別、生活程度別

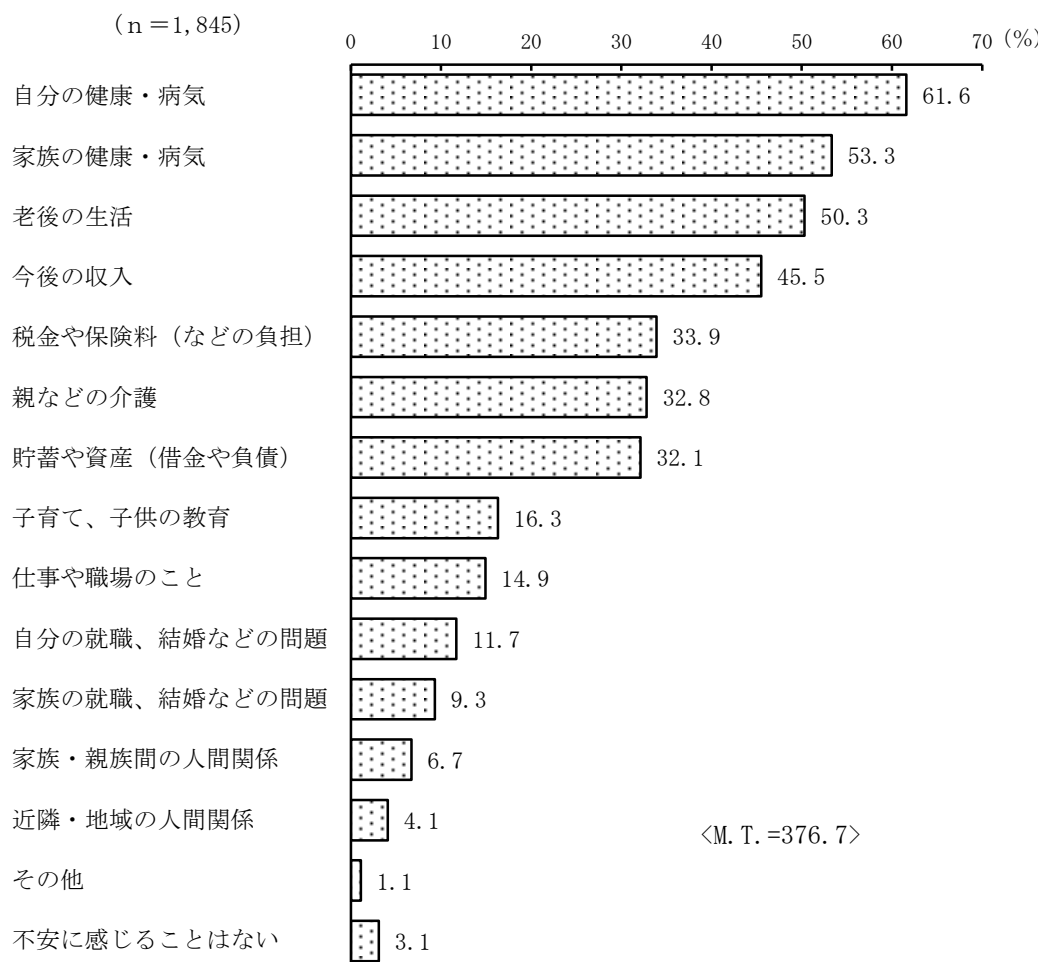
		(%)														
	n	貯蓄が十分でないから	悩みや心配ごとがあるから	趣味、教養の時間が十分にとれないから	健康でないから	家具、車などが買えないから	住生活が不十分だから	仕事や勉強がうまくいって	スポーツやレジャー活動が思うようにできないから	食生活が不十分だから	社会に貢献しているという充実感がないから	衣生活が不十分だから	家族との生活がうまくいって	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	その他	わからない
全体	747	68.0	26.0	25.8	22.9	20.9	18.1	15.7	15.4	12.4	9.5	8.6	5.4	1.9	6.8	0.9
< 性・年齢別 >																
男性（計）	393	65.1	22.4	24.9	21.1	20.6	16.8	18.1	16.3	13.0	9.7	8.9	4.6	1.3	7.1	1.3
18・19歳	2	100.0	－	－	－	100.0	－	50.0	50.0	－	50.0	－	－	－	－	－
20代	38	60.5	23.7	31.6	7.9	34.2	5.3	23.7	7.9	7.9	15.8	5.3	5.3	－	2.6	－
30代	54	64.8	25.9	31.5	9.3	25.9	18.5	20.4	25.9	13.0	9.3	7.4	5.6	3.7	5.6	－
40代	62	64.5	22.6	40.3	11.3	21.0	12.9	25.8	19.4	4.8	11.3	8.1	8.1	3.2	9.7	－
50代	82	73.2	22.0	15.9	19.5	17.1	22.0	25.6	14.6	13.4	3.7	8.5	2.4	1.2	7.3	2.4
60代	69	66.7	15.9	27.5	23.2	18.8	20.3	13.0	15.9	20.3	10.1	10.1	4.3	－	8.7	1.4
70歳以上	86	58.1	25.6	14.0	41.9	14.0	16.3	4.7	12.8	15.1	10.5	11.6	3.5	－	7.0	2.3
女性（計）	354	71.2	29.9	26.8	24.9	21.2	19.5	13.0	14.4	11.9	9.3	8.2	6.2	2.5	6.5	0.6
18・19歳	1	100.0	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－
20代	50	78.0	30.0	28.0	20.0	32.0	20.0	18.0	12.0	12.0	12.0	6.0	6.0	10.0	6.0	－
30代	65	78.5	16.9	35.4	12.3	35.4	21.5	16.9	15.4	9.2	10.8	9.2	3.1	3.1	9.2	－
40代	54	72.2	33.3	37.0	16.7	18.5	13.0	24.1	14.8	5.6	9.3	7.4	5.6	1.9	9.3	－
50代	70	81.4	32.9	25.7	20.0	20.0	21.4	11.4	7.1	15.7	7.1	11.4	10.0	－	4.3	－
60代	52	71.2	30.8	26.9	36.5	17.3	25.0	7.7	21.2	19.2	15.4	9.6	7.7	－	9.6	－
70歳以上	62	45.2	37.1	9.7	45.2	4.8	16.1	1.6	16.1	9.7	3.2	4.8	4.8	1.6	1.6	3.2
< 生活程度別 >																
上	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
中の上	30	40.0	40.0	33.3	10.0	20.0	16.7	20.0	16.7	－	6.7	－	－	3.3	16.7	－
中の中	235	58.3	20.9	28.5	18.3	18.3	13.6	15.3	18.3	8.9	8.5	6.8	4.7	0.9	6.8	0.4
中の下	322	75.5	26.4	26.1	22.0	23.3	16.8	15.5	16.8	10.9	9.9	8.1	5.3	2.2	5.3	0.9
下	140	72.9	30.7	19.3	35.0	20.7	27.9	15.7	8.6	25.0	11.4	14.3	8.6	2.1	9.3	2.1

※1-9 今後の生活の不安

図1-9-1

(全員に)

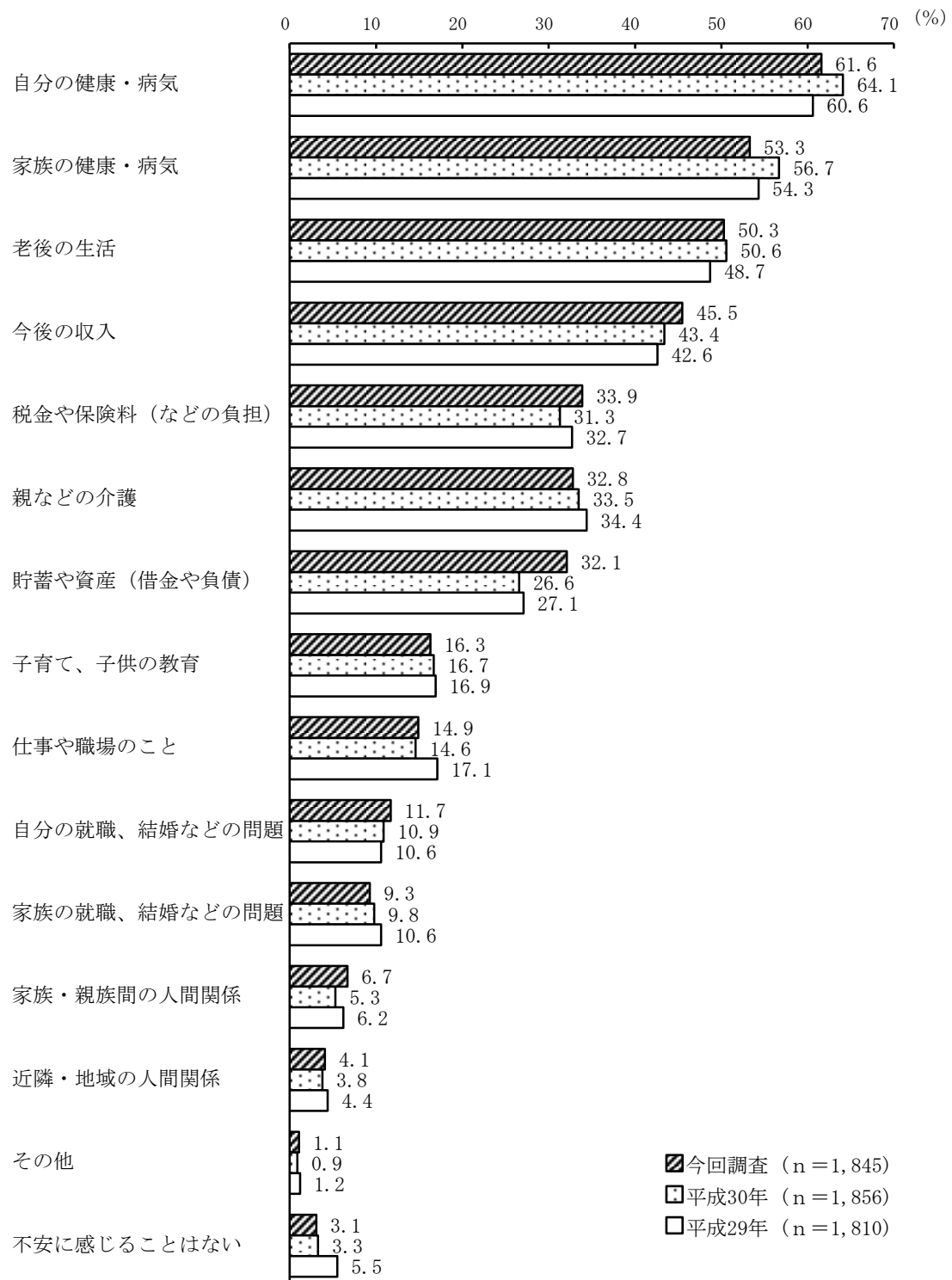
Q6 あなたが、今後の生活を考えたとき、不安に感じることがありますか。この中からいくつでもお答えください。(M. A.)



今後の生活で不安に感じることを聞いたところ、「自分の健康・病気」が62%で最も多く、次いで「家族の健康・病気」53%、「老後の生活」50%、「今後の収入」46%、「税金や保険料 (などの負担)」34%、「親などの介護」33%、「貯蓄や資産 (借金や負債)」32%などの順となっている。(図1-9-1)

今後の生活の不安を過去との比較でみると、昨年よりも「貯蓄や資産（借金や負債）」が6ポイント、「税金や保険料（などの負担）」が3ポイント増加している。一方、「家族の健康・病気」、「自分の健康・病気」は3ポイント減少している。（図1-9-2）

図1-9-2 今後の生活の不安—過去との比較



性・年齢別にみると、女性は男性よりも「老後の生活」が10ポイント高くなっている。特に女性50代で7割半ばと多くなっている。「自分の健康・病気」はおおむね年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向にあり、男女とも70歳以上で7割半ばから8割を超えて多くなっている。「今後の収入」は女性20代で6割半ばと多くなっている。(表1-9-1)

表1-9-1 今後の生活の不安－性・年齢別

(%)

	n	自分の健康・病気	家族の健康・病気	老後の生活	今後の収入	税金や保険料(などの負担)	親などの介護	貯蓄や資産(借金や負債)	子育て、子供の教育	仕事や職場のこと	自分の就職、結婚などの問題	家族の就職、結婚などの問題	家族・親族間の人間関係	近隣・地域の人間関係	その他	不安に感じることはない
全 体	1,845	61.6	53.3	50.3	45.5	33.9	32.8	32.1	16.3	14.9	11.7	9.3	6.7	4.1	1.1	3.1
< 性・年齢別 >																
男 性 (計)	929	58.7	51.2	45.4	44.2	34.1	31.6	31.6	15.8	15.2	10.8	7.1	5.2	3.6	1.0	4.0
18 ・ 19 歳	8	37.5	25.0	12.5	12.5	25.0	12.5	25.0	-	12.5	62.5	-	-	-	-	25.0
20 代	98	34.7	32.7	20.4	46.9	36.7	25.5	36.7	15.3	20.4	31.6	2.0	3.1	3.1	1.0	3.1
30 代	152	43.4	47.4	31.6	41.4	39.5	44.1	37.5	30.9	20.4	19.1	3.9	6.6	3.3	0.7	5.9
40 代	151	51.7	53.6	43.7	47.0	37.1	51.0	41.7	38.4	21.9	9.9	9.3	6.0	5.3	-	3.3
50 代	177	62.7	55.9	55.9	53.1	32.2	52.0	35.6	11.3	17.5	9.6	11.3	7.3	4.0	2.3	2.3
60 代	144	70.8	46.5	56.3	49.3	39.6	19.4	29.9	3.5	11.1	2.1	12.5	2.8	2.8	1.4	2.1
70 歳 以 上	199	75.9	61.8	53.8	32.7	24.6	2.0	15.1	1.0	4.5	-	3.0	4.5	3.0	0.5	5.5
女 性 (計)	916	64.5	55.3	55.2	46.8	33.7	34.1	32.5	16.7	14.5	12.7	11.6	8.2	4.7	1.3	2.3
18 ・ 19 歳	9	-	22.2	22.2	33.3	44.4	22.2	-	33.3	33.3	22.2	-	-	11.1	-	11.1
20 代	116	44.0	46.6	36.2	65.5	38.8	37.9	40.5	19.0	25.9	43.1	4.3	11.2	6.0	1.7	2.6
30 代	154	42.9	57.1	45.5	57.8	43.5	44.2	53.2	37.7	16.9	24.0	5.2	5.8	7.1	-	1.3
40 代	150	58.7	55.3	59.3	52.0	40.7	62.7	40.7	32.0	21.3	9.3	10.7	9.3	4.0	2.7	2.0
50 代	147	72.1	61.2	74.8	56.5	39.5	50.3	38.1	10.9	19.7	6.1	25.9	8.8	4.8	-	2.7
60 代	120	82.5	55.8	70.0	43.3	30.0	20.0	27.5	1.7	6.7	2.5	15.0	9.2	4.2	2.5	0.8
70 歳 以 上	220	82.3	55.9	49.5	21.8	17.3	2.7	8.6	1.8	2.3	0.5	9.5	6.8	2.7	1.4	3.2

世帯年収別にみると、「自分の健康・病気」は年収200万円未満の世帯で7割半ばと多くなっている。「今後の収入」は年収500～700万円未満の世帯で5割半ばと多くなっている。

生活満足度（Q5 P26）との関係でみると、『不満（計）』は『満足（計）』よりも「今後の収入」が27ポイント、「貯蓄や資産（借金や負債）」が23ポイント、「税金や保険料（などの負担）」が22ポイント、「老後の生活」で14ポイント高くなっている。（表1-9-2）

表1-9-2 今後の生活の不安－世帯年収別、生活満足度別

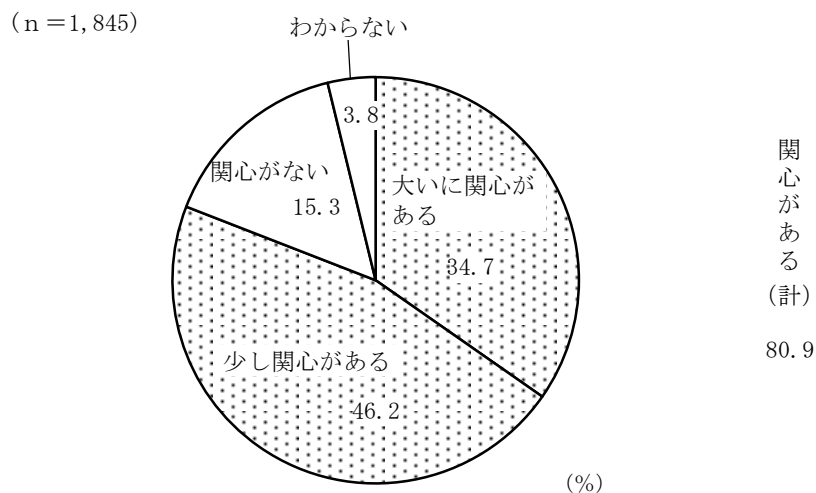
(%)																
	n	自分の健康・病気	家族の健康・病気	老後の生活	今後の収入	税金や保険料（などの負担）	親などの介護	貯蓄や資産（借金や負債）	子育て、子供の教育	仕事や職場のこと	自分の就職、結婚などの問題	家族の就職、結婚などの問題	家族・親族間の人間関係	近隣・地域の人間関係	その他	不安に感じることはない
全 体	1,845	61.6	53.3	50.3	45.5	33.9	32.8	32.1	16.3	14.9	11.7	9.3	6.7	4.1	1.1	3.1
＜ 世 帯 年 収 別 ＞																
200 万 円 未 満	180	74.4	39.4	55.0	45.6	25.0	14.4	25.0	3.9	11.1	12.2	5.0	4.4	4.4	2.2	1.7
200 ～ 300 万 円 未 満	191	68.6	52.4	55.0	52.4	36.1	18.8	29.8	8.4	13.1	10.5	8.4	5.8	2.6	0.5	2.6
300 ～ 400 万 円 未 満	190	67.9	57.4	56.8	51.6	37.9	26.3	37.4	12.1	14.7	14.2	6.8	6.8	5.3	0.5	3.7
400 ～ 500 万 円 未 満	163	62.6	56.4	54.0	51.5	43.6	43.6	39.3	12.3	16.6	12.9	11.0	9.2	4.9	0.6	1.8
500 ～ 700 万 円 未 満	242	58.7	57.0	51.7	55.4	40.5	45.0	41.3	23.1	16.5	9.1	10.3	5.4	3.3	1.7	1.7
700 ～ 900 万 円 未 満	172	53.5	53.5	49.4	43.0	33.7	48.3	34.3	31.4	17.4	11.0	10.5	6.4	4.1	－	1.7
900 ～ 1,100 万 円 未 満	136	53.7	57.4	52.9	39.7	33.1	41.9	29.4	20.6	12.5	10.3	16.2	6.6	7.4	－	3.7
1,100～1,300万円未満	84	48.8	52.4	38.1	40.5	31.0	45.2	32.1	27.4	17.9	13.1	16.7	8.3	2.4	1.2	4.8
1,300～1,500万円未満	34	55.9	58.8	50.0	32.4	23.5	35.3	38.2	26.5	20.6	2.9	11.8	8.8	－	2.9	－
1,500～2,000万円未満	43	69.8	58.1	46.5	39.5	44.2	46.5	30.2	23.3	9.3	9.3	9.3	－	2.3	－	2.3
2,000 万 円 以 上	43	60.5	69.8	41.9	23.3	25.6	32.6	25.6	20.9	14.0	4.7	2.3	4.7	4.7	－	9.3
＜ 生 活 満 足 度 別 ＞																
大 変 満 足 し て い る	82	48.8	48.8	24.4	23.2	19.5	26.8	15.9	15.9	15.9	9.8	4.9	2.4	2.4	－	11.0
ま あ 満 足 し て い る	900	61.3	56.7	46.2	34.6	25.0	32.1	22.7	15.3	11.1	9.0	9.6	6.0	4.0	0.8	3.7
や や 不 満 で あ る	613	61.2	48.8	56.6	60.0	46.0	35.7	45.5	17.3	17.6	14.8	8.6	6.0	4.2	1.8	1.3
大 変 不 満 で あ る	134	69.4	48.5	67.2	64.2	46.3	30.6	43.3	17.9	20.9	14.9	17.2	11.2	3.7	1.5	0.7
満 足 （ 計 ）	982	60.3	56.0	44.4	33.6	24.5	31.7	22.1	15.4	11.5	9.1	9.2	5.7	3.9	0.7	4.3
不 満 （ 計 ）	747	62.7	48.7	58.5	60.8	46.1	34.8	45.1	17.4	18.2	14.9	10.2	7.0	4.1	1.7	1.2

※1-10 税金への関心度とその内容

図1-10-1

(全員に)

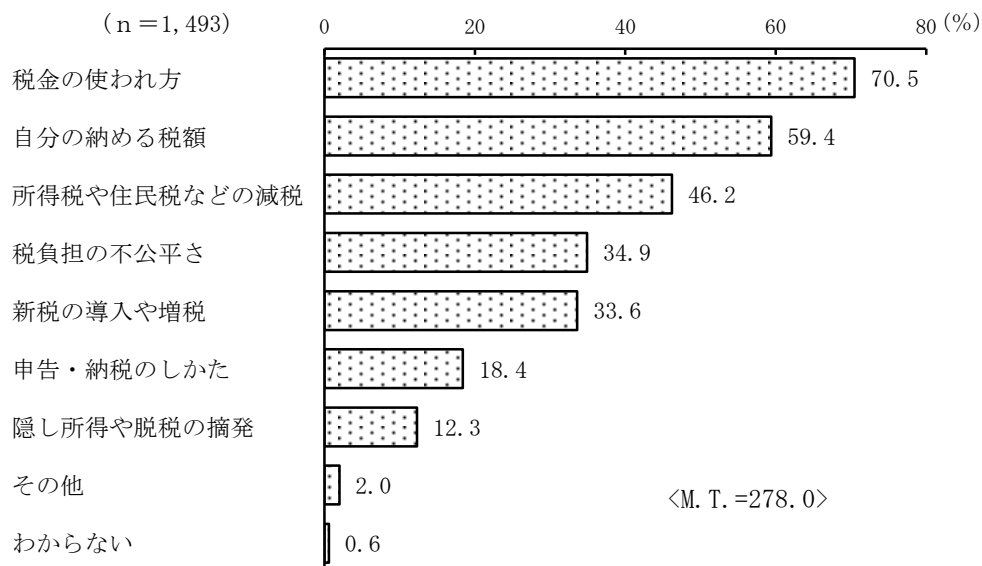
Q7 あなたは、税金について関心がありますか。



(注)『関心がある (計)』は「大いに興味がある」「少し興味がある」の合計

(Q7で「大いに興味がある」「少し興味がある」と答えた方に)

SQ では、今、関心をもっているのはどのようなことですか。この中から当てはまるものをいくつかもあげてください。(M. A.)

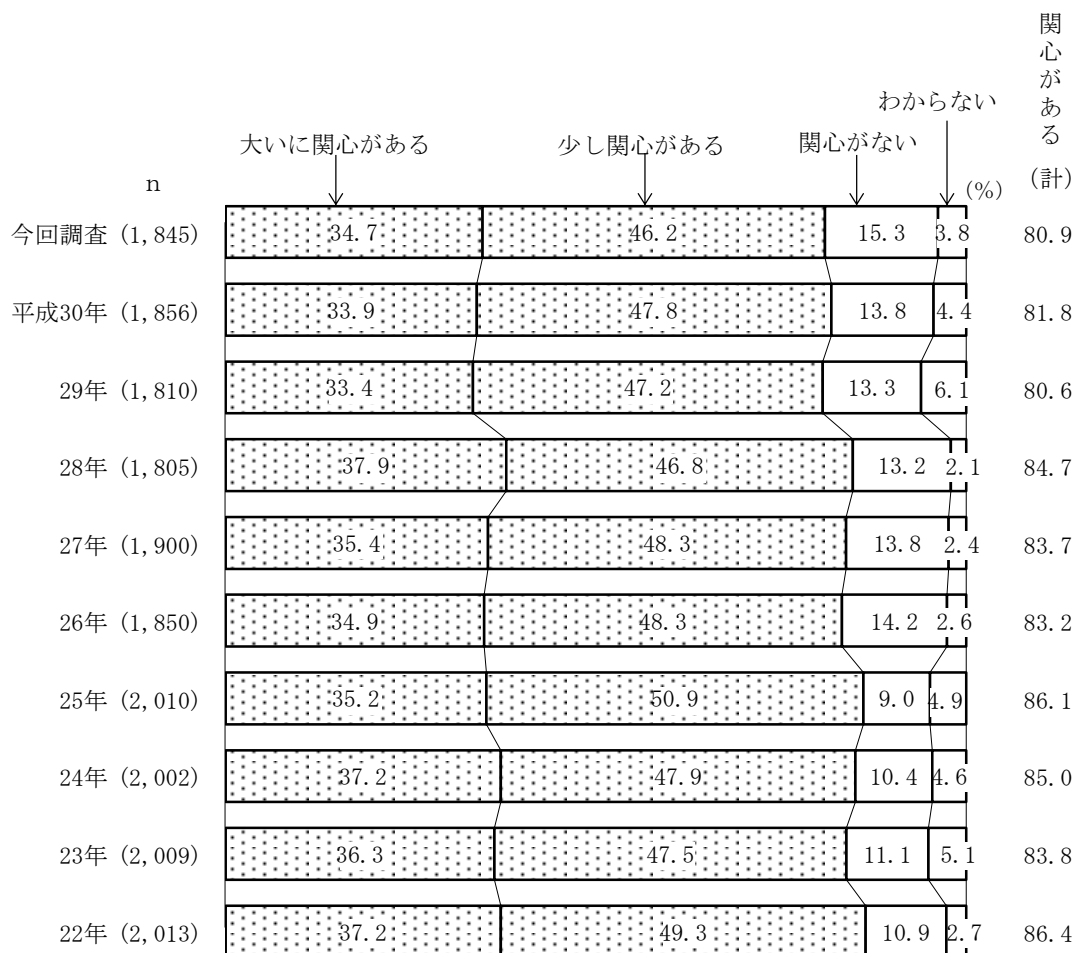


税金について関心があるかどうか聞いたところ、『関心がある (計)』は81%、「関心がない」は15%となっている。

税金に『関心がある (計)』と答えた人 (1,493人) にその内容を聞いたところ、「税金の使われ方」71%が最も多く、次いで「自分の納める税額」59%、「所得税や住民税などの減税」46%、「税負担の不公平さ」35%、「新税の導入や増税」34%などの順となっている。(図1-10-1)

税金への関心度を過去との比較でみると、『関心がない（計）』は昨年よりも2ポイント増加している。
（図1-10-2）

図1-10-2 税金への関心度—過去との比較

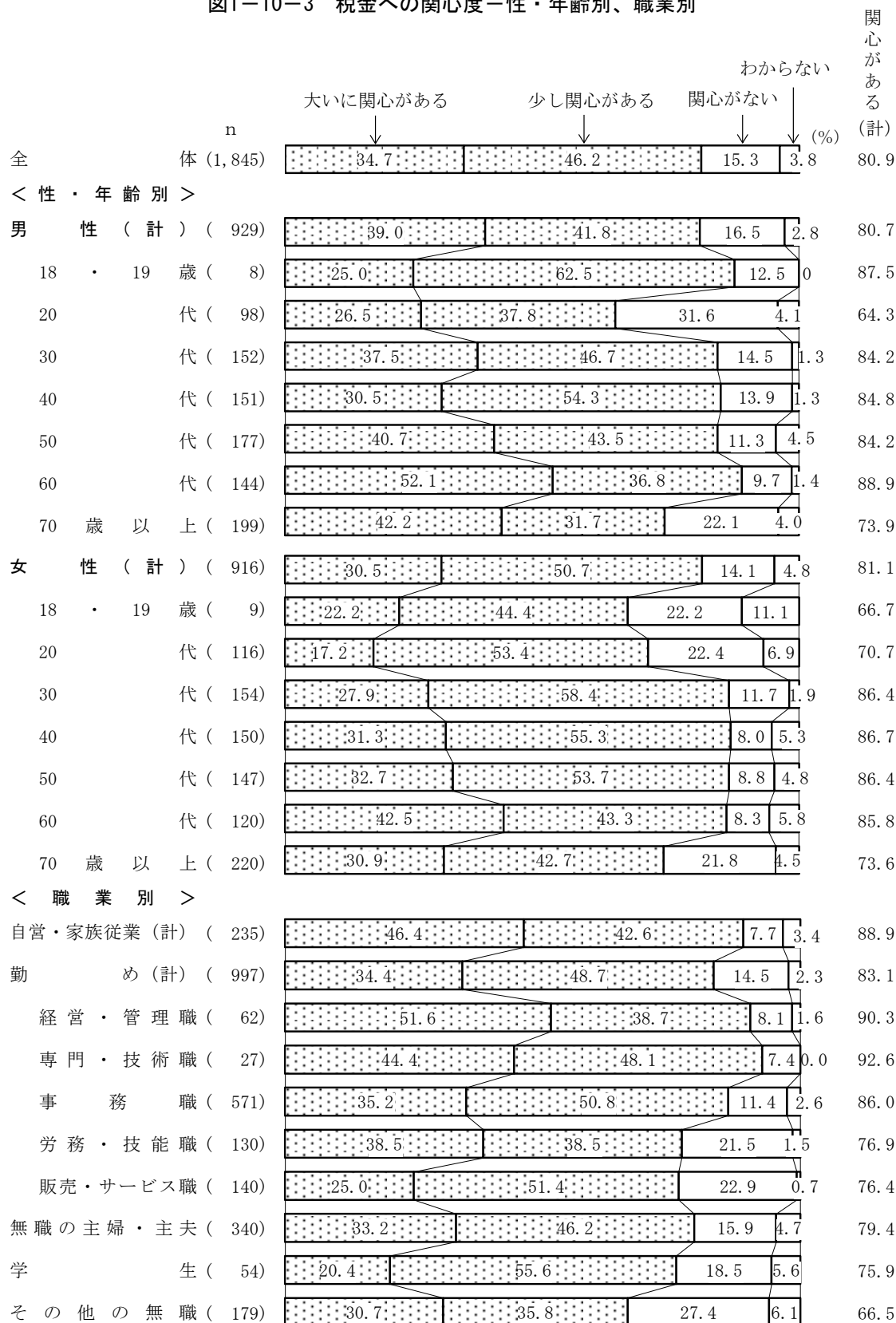


（注）『関心がある（計）』は「大いに興味がある」「少し興味がある」の合計

性・年齢別にみると、『関心がある（計）』は男性60代で9割近くと多くなっている。一方、「関心がない」は男性20代で3割を超え、男女ともに70歳以上で2割を超えて多くなっている。

職業別にみると、『関心がある（計）』は自営・家族従業（計）で9割近くと多くなっている。一方、「関心がない」はその他の無職で3割近くと多くなっている。（図1-10-3）

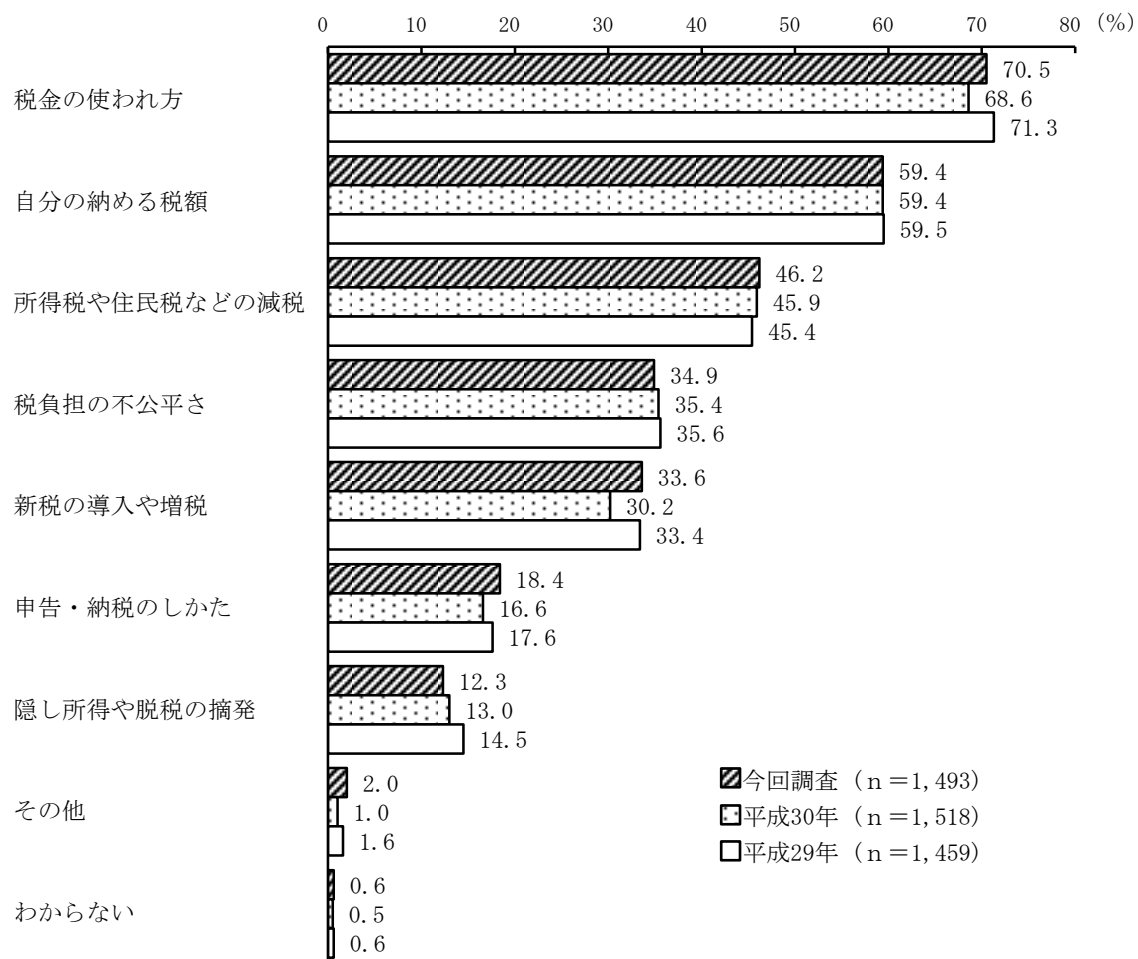
図1-10-3 税金への関心度－性・年齢別、職業別



（注）『関心がある（計）』は「大いに関心がある」「少し関心がある」の合計

税金について関心がある内容を過去との比較でみると、「新税の導入や増税」が、昨年よりも3ポイント増加している。(図1-10-4)

図1-10-4 税金への関心の内容－過去との比較



性・年齢別にみると、「税金の使われ方」は女性が男性よりも8ポイント高く、特に女性60代では8割となっている。「自分の納める税額」では、男女ともに年齢が若くなるほど割合が高くなっている。「所得税や住民税などの減税」は女性30代で6割近くと多くなっている。(表1-10-1)

表1-10-1 税金への関心の内容－性・年齢別

(%)

	n	税金の使われ方	自分の納める税額	減所得税や住民税などの	税負担の不公平さ	新税の導入や増税	申告・納税のしかた	隠し所得や脱税の摘発	その他	わからない
全 体	1,493	70.5	59.4	46.2	34.9	33.6	18.4	12.3	2.0	0.6
< 性・年齢別 >										
男 性 (計)	750	66.5	61.1	44.5	34.0	31.7	18.5	12.7	2.5	0.7
18 ・ 19 歳	7	57.1	85.7	28.6	28.6	42.9	57.1	14.3	－	－
20 代	63	65.1	74.6	54.0	22.2	25.4	31.7	14.3	3.2	－
30 代	128	60.9	66.4	46.1	33.6	32.0	18.0	16.4	0.8	－
40 代	128	67.2	66.4	43.8	34.4	37.5	10.9	10.9	3.1	1.6
50 代	149	69.1	59.1	45.6	39.6	31.5	18.8	10.7	3.4	－
60 代	128	72.7	57.8	48.4	37.5	34.4	22.7	13.3	1.6	0.8
70 歳 以 上	147	63.9	49.7	36.1	30.6	26.5	14.3	11.6	3.4	1.4
女 性 (計)	743	74.6	57.7	47.9	35.8	35.5	18.2	12.0	1.5	0.5
18 ・ 19 歳	6	50.0	100.0	16.7	16.7	33.3	33.3	－	－	－
20 代	82	75.6	75.6	53.7	34.1	30.5	25.6	13.4	2.4	1.2
30 代	133	72.9	60.9	57.9	34.6	39.1	18.8	4.5	0.8	0.8
40 代	130	78.5	58.5	46.2	33.1	43.1	12.3	11.5	1.5	－
50 代	127	78.0	61.4	51.2	44.9	36.2	18.1	14.2	2.4	－
60 代	103	79.6	54.4	49.5	39.8	34.0	19.4	12.6	1.9	－
70 歳 以 上	162	67.3	43.2	35.8	30.9	29.6	17.3	16.0	0.6	1.2

職業別にみると、「自分の納める税額」は勤め（計）で6割半ばと多くなっている。

世帯年収別にみると、「自分の納める税額」は年収400～500万円未満の世帯で7割近くと多くなっているが、年収200万円未満の世帯で約4割と少なくなっている。（表1－10－2）

表1－10－2 税金への関心の内容－職業別、世帯年収別

(%)

	n	税金の使われ方	自分の納める税額	減所得税や住民税などの	税負担の不公平さ	新税の導入や増税	申告・納税のしかた	隠し所得や脱税の摘発	その他	わからない
全 体	1,493	70.5	59.4	46.2	34.9	33.6	18.4	12.3	2.0	0.6
< 職 業 別 >										
自営・家族従業（計）	209	70.8	58.9	45.0	39.2	33.0	19.1	11.0	1.9	1.0
勤 め（計）	829	70.7	63.8	48.9	35.3	35.2	16.9	12.3	2.2	0.4
経営・管理職	56	60.7	57.1	30.4	33.9	39.3	10.7	12.5	5.4	1.8
専門・技術職	25	68.0	68.0	40.0	24.0	36.0	12.0	8.0	4.0	－
事務職	491	75.8	64.8	50.5	35.2	34.6	16.5	11.2	2.0	－
労務・技能職	100	69.0	60.0	50.0	42.0	41.0	18.0	15.0	2.0	－
販売・サービス職	107	59.8	64.5	51.4	30.8	29.9	25.2	15.9	－	1.9
無職の主婦・主夫	270	73.3	45.9	41.1	33.7	28.1	15.6	14.4	1.5	0.7
学 生	41	61.0	78.0	36.6	24.4	31.7	43.9	17.1	4.9	－
そ の 他 の 無 職	119	68.1	52.9	43.7	29.4	34.5	25.2	9.2	1.7	0.8
< 世 帯 年 収 別 >										
200 万 円 未 満	114	69.3	39.5	43.0	30.7	36.0	15.8	14.9	1.8	1.8
200 ～ 300 万 円 未 満	160	70.6	52.5	49.4	35.0	28.1	16.3	8.1	1.3	0.6
300 ～ 400 万 円 未 満	163	67.5	61.3	50.3	35.6	30.1	20.9	12.3	0.6	0.6
400 ～ 500 万 円 未 満	137	73.7	68.6	51.1	31.4	40.1	24.8	11.7	2.2	－
500 ～ 700 万 円 未 満	206	71.4	65.0	51.9	40.3	33.5	17.0	12.1	2.9	－
700 ～ 900 万 円 未 満	146	74.7	58.2	47.3	38.4	37.7	13.7	13.0	1.4	0.7
900 ～ 1,100 万 円 未 満	118	62.7	62.7	52.5	38.1	35.6	18.6	10.2	1.7	－
1,100 ～ 1,300 万 円 未 満	75	69.3	61.3	40.0	26.7	36.0	18.7	10.7	4.0	1.3
1,300 ～ 1,500 万 円 未 満	29	65.5	69.0	34.5	37.9	34.5	20.7	13.8	3.4	－
1,500 ～ 2,000 万 円 未 満	41	70.7	68.3	39.0	43.9	31.7	19.5	14.6	2.4	－
2,000 万 円 以 上	36	77.8	61.1	33.3	41.7	38.9	8.3	－	8.3	－

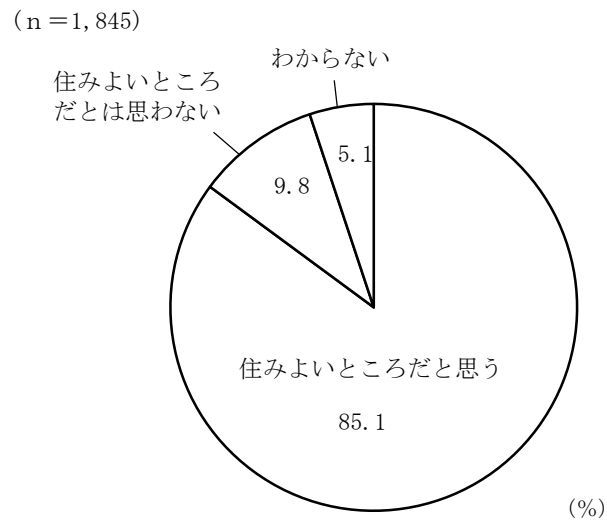
2 住んでいる地域

※2-1 地域の住みよさ

図2-1-1

(全員に)

Q8 ところで、あなたが、今住んでいらっしゃるところは、住みよいところだと思いますか。それとも、思いませんか。

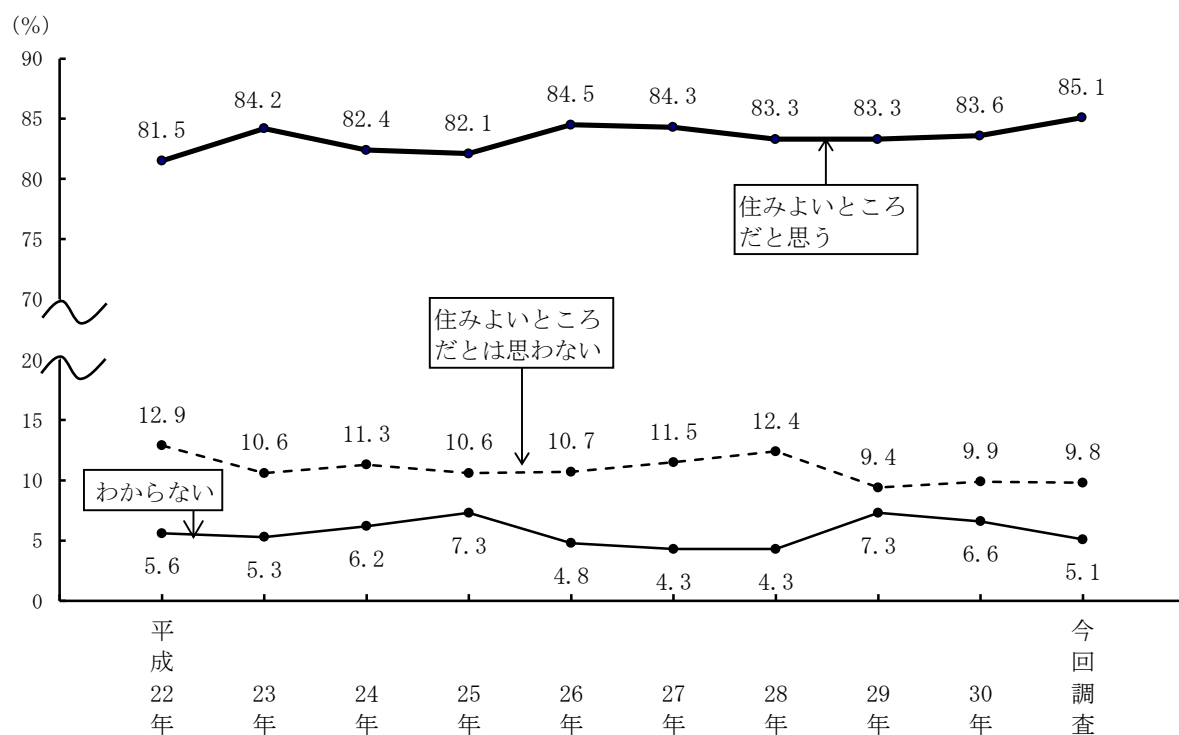


今住んでいるところが住みよいところだと思うか聞いたところ、「住みよいところだと思う」は85%、「住みよいところだとは思わない」は10%、「わからない」は5%となっている。(図2-1-1)

地域の住みよさを過去との比較でみると、「住みよいところだと思う」は昨年よりも2ポイント増加している。(図2-1-2)

なお、地域の住みよさの昭和56年からの時系列比較を巻末の付属資料(P150 図5)に掲載している。

図2-1-2 地域の住みよさー過去との比較



エリア別にみると、「住みよいところだと思う」は区部東部・北部で約8割と他のエリアより少なくなっている。

性・年齢別にみると、「住みよいところだとは思わない」は、女性50代で2割近くと多くなっている。

(図2-1-3)

図2-1-3 地域の住みよさーエリア別、性・年齢別

図2-1-3 地域の住みよさ—エリア別、性・年齢別

		住みよいところだと思う		わからない		住みよいところ だとは思わない		(%)
		↓		↓		↓		
n								
全	体 (1,845)	85.1		5.1		9.8		
< エリア別 >								
区	部 (計) (1,206)	84.7		5.8		9.5		
	センター・コア (297)	85.9		4.0		10.1		
	区部東部・北部 (392)	80.9		6.6		12.5		
	区部西部・南部 (517)	86.8		6.2		7.0		
市町村部	(計) (639)	86.1		3.8		10.2		
	多摩東部 (221)	84.6		5.0		10.4		
	多摩中央部北 (92)	88.0		2.2		9.8		
	多摩中央部南 (280)	86.4		3.6		10.0		
	多摩西部・島しょ (46)	87.0		2.2		10.9		
< 性・年齢別 >								
男	性 (計) (929)	85.1		5.6		9.3		
	18・19歳 (8)	87.5		0		12.5		
	20代 (98)	88.8		4.1		7.1		
	30代 (152)	85.5		7.2		7.2		
	40代 (151)	82.8		9.3		7.9		
	50代 (177)	83.6		4.5		11.9		
	60代 (144)	86.8		4.9		8.3		
	70歳以上 (199)	84.9		4.0		11.1		
女	性 (計) (916)	85.2		4.6		10.3		
	18・19歳 (9)	88.9		0		11.1		
	20代 (116)	85.3		6.9		7.8		
	30代 (154)	83.8		2.6		13.6		
	40代 (150)	89.3		6.7		4.0		
	50代 (147)	78.2		4.1		17.7		
	60代 (120)	84.2		5.0		10.8		
	70歳以上 (220)	88.2		3.6		8.2		

住居形態別にみると、「住みよいところだと思う」は持家（一戸建）で9割近くと多くなっている。

地域居住年数別にみると、「住みよいところだとは思わない」は1～3年未満で2割近くと多くなっている。（図2-1-4）

図2-1-4 地域の住みよさ－住居形態別、地域居住年数別

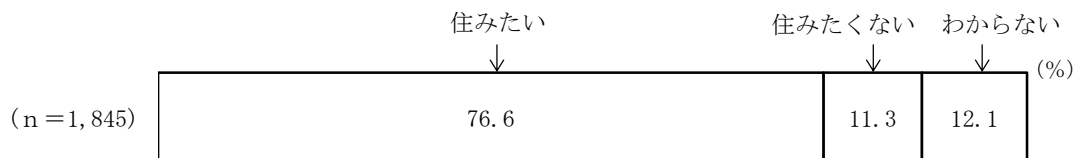
		住みよいところだと思 ↓		わからない ↓		住みよいところ だとは思わない ↓		(%)
n								
全	体 (1,845)	85.1		5.1	9.8			
< 住 居 形 態 別 >								
持	家 (計) (1,202)	87.7		4.1	8.2			
	持 家 (一 戸 建) (932)	88.5		4.1	7.4			
	持 家 (分 譲 マン シ ョ ン な ど 集 合 住 宅) (270)	84.8		4.1	11.1			
持	家 以 外 (計) (620)	80.5		6.5	13.1			
	民 間 の 借 家 (一 戸 建) (36)	75.0		2.8	22.2			
	民 間 の 借 家 (賃 貸 マン シ ョ ン ・ ア パー ト な ど 集 合 住 宅) (418)	81.3		6.5	12.2			
	都 市 機 構 (旧 公 団) ・ 公 社 ・ 公 営 の 賃 貸 住 宅 ・ ア パー ト (104)	79.8		5.8	14.4			
	社 宅 ・ 公 務 員 住 宅 な ど 給 与 住 宅 (40)	85.0		5.0	10.0			
	住 み 込 み ・ 寮 ・ 寄 宿 舎 な ど (9)	55.6	22.2	22.2				
< 地 域 居 住 年 数 別 >								
1	年 未 満 (50)	86.0		2.0	12.0			
1	～ 3 年 未 満 (117)	72.6		8.5	18.8			
3	～ 5 年 未 満 (103)	87.4		3.9	8.7			
5	～ 10 年 未 満 (215)	87.0		6.0	7.0			
10	～ 15 年 未 満 (191)	88.5		5.8	5.8			
15	～ 20 年 未 満 (120)	87.5		3.3	9.2			
20	～ 30 年 未 満 (265)	84.9		6.4	8.7			
30	年 以 上 (767)	85.8		3.8	10.4			

※2-2 地域定住意向

図2-2-1

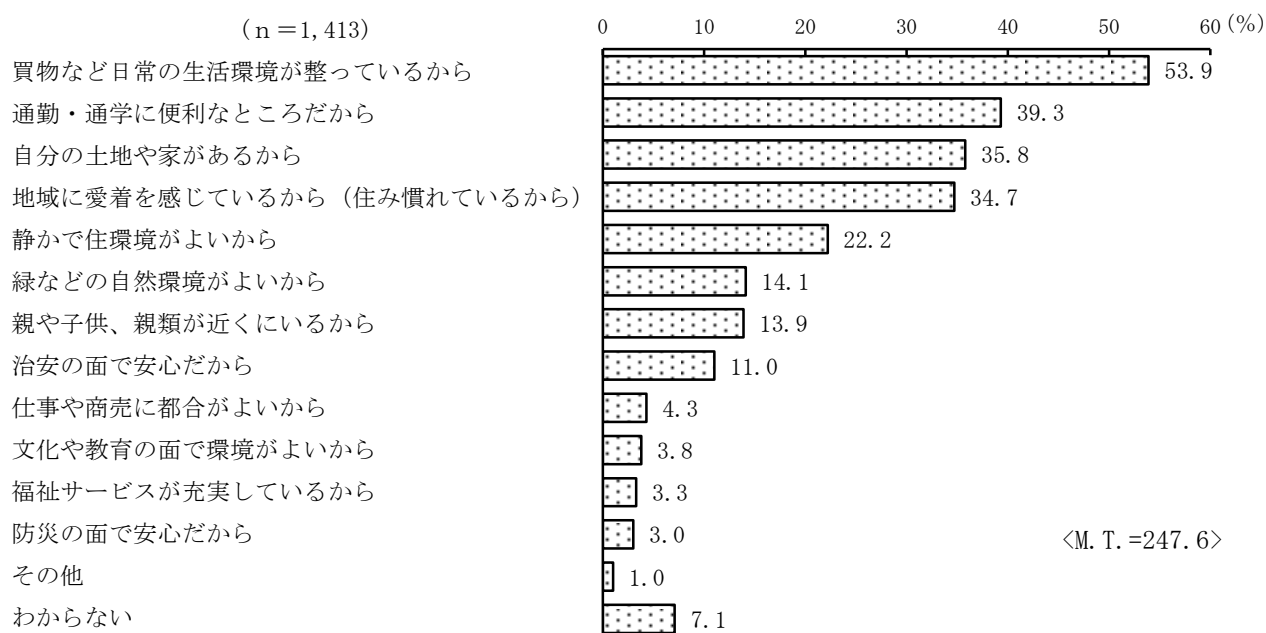
(全員に)

Q9 あなたは、今お住まいのこの地域に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたの今のお気持ちをお答えください。



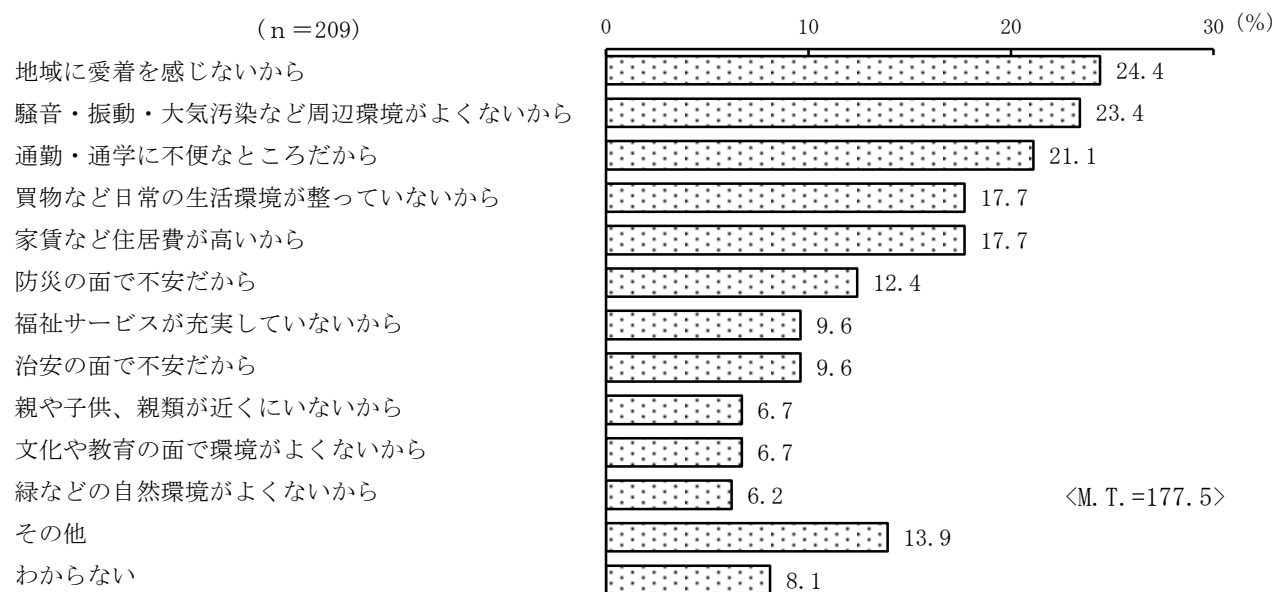
(Q9で「住みたい」と答えた方に)

SQ1 そう思うのはなぜですか。この中から3つまでお答えください。(3M. A.)



(Q9で「住みたくない」と答えた方に)

SQ2 そう思うのはなぜですか。この中から3つまでお答えください。(3M. A.)



今住んでいる地域に今後も住みたいと思うかどうか聞いたところ、「住みたい」は77%、「住みたくない」は11%となっている。

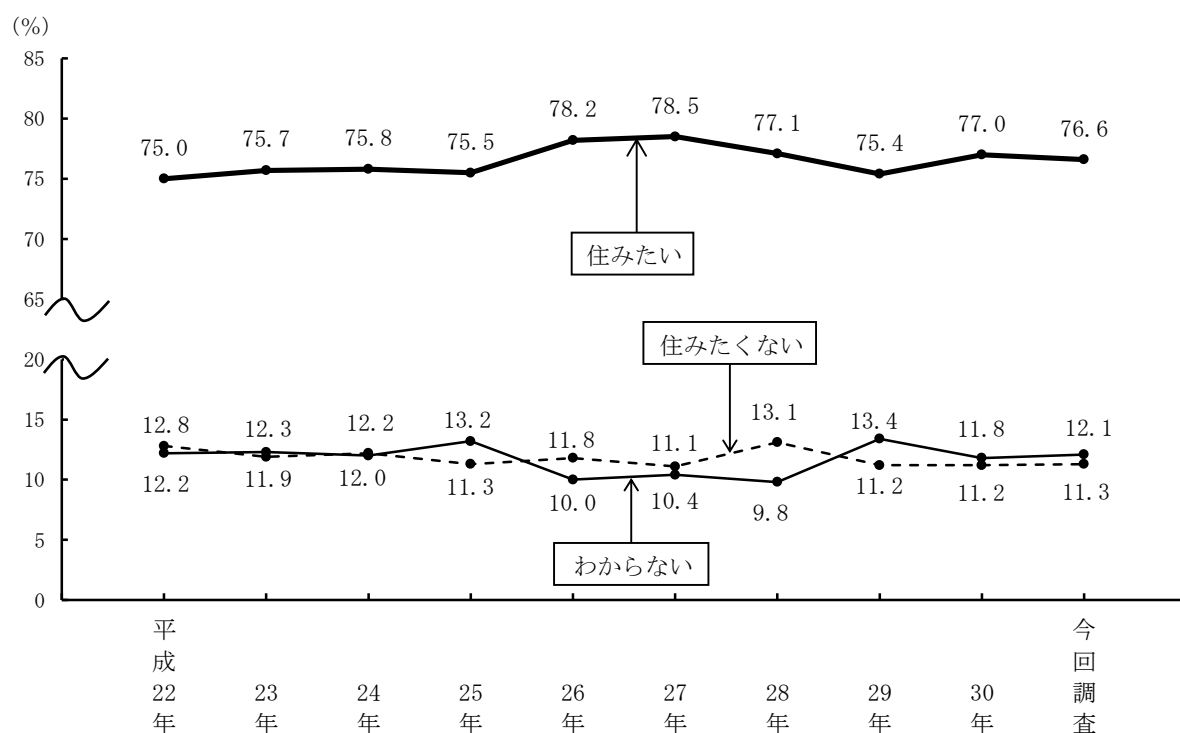
「住みたい」と答えた人（1,413人）に、その理由を聞いたところ、「買物など日常の生活環境が整っているから」が54%で最も多く、次いで「通勤・通学に便利なところだから」39%、「自分の土地や家があるから」36%、「地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）」35%、「静かで住環境がよいから」22%などの順となっている。

「住みたくない」と答えた人（209人）に、その理由を聞いたところ、「地域に愛着を感じないから」が24%で最も多く、「騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから」23%、「通勤・通学に不便なところだから」21%、「買物など日常の生活環境が整っていないから」、「家賃など住居費が高いから」18%などの順となっている。（図2-2-1）

地域定住意向を過去との比較でみると、特に大きな変化はみられない。（図2-2-2）

なお、地域定住意向の昭和52年からの時系列比較を巻末の付属資料（P151 図6）に掲載している。

図2-2-2 地域定住意向－過去との比較



エリア別にみると、特に大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、「住みたい」は男女とも70歳以上で8割半ばから9割近くと多くなっている。

(図2-2-3)

図2-2-3 地域定住意向－エリア別、性・年齢別

		住みたい	わからない	住みたくない	(%)
n		↓	↓	↓	
全	体 (1,845)	76.6	12.1	11.3	
< エリア 別 >					
区	部 (計) (1,206)	77.3	12.4	10.4	
	センター・コア (297)	80.8	12.1	7.1	
	区部東部・北部 (392)	73.2	13.0	13.8	
	区部西部・南部 (517)	78.3	12.0	9.7	
市町村部	(計) (639)	75.3	11.6	13.1	
	多摩東部 (221)	71.5	15.8	12.7	
	多摩中央部北 (92)	78.3	5.4	16.3	
	多摩中央部南 (280)	75.7	11.4	12.9	
	多摩西部・島しょ (46)	84.8	4.3	10.9	
< 性・年齢別 >					
男	性 (計) (929)	76.9	12.5	10.7	
	18・19歳 (8)	50.0	25.0	25.0	
	20代 (98)	68.4	15.3	16.3	
	30代 (152)	73.7	13.2	13.2	
	40代 (151)	68.9	21.2	9.9	
	50代 (177)	78.0	12.4	9.6	
	60代 (144)	81.3	10.4	8.3	
	70歳以上 (199)	86.4	5.0	8.5	
女	性 (計) (916)	76.3	11.7	12.0	
	18・19歳 (9)	44.4	33.3	22.2	
	20代 (116)	67.2	17.2	15.5	
	30代 (154)	70.8	14.9	14.3	
	40代 (150)	76.7	12.7	10.7	
	50代 (147)	70.7	12.9	16.3	
	60代 (120)	80.0	11.7	8.3	
	70歳以上 (220)	87.7	4.1	8.2	

住居形態別にみると、「住みたい」は持家（計）で8割を超え、持家以外（計）よりも14ポイント高くなっている。

地域居住年数別にみると、「住みたい」はおおむね居住年数が増えるほど割合が高くなり、30年以上で8割半ばと多くなっている。一方、「住みたくない」は3年未満で2割半ばから約3割と多くなっている。

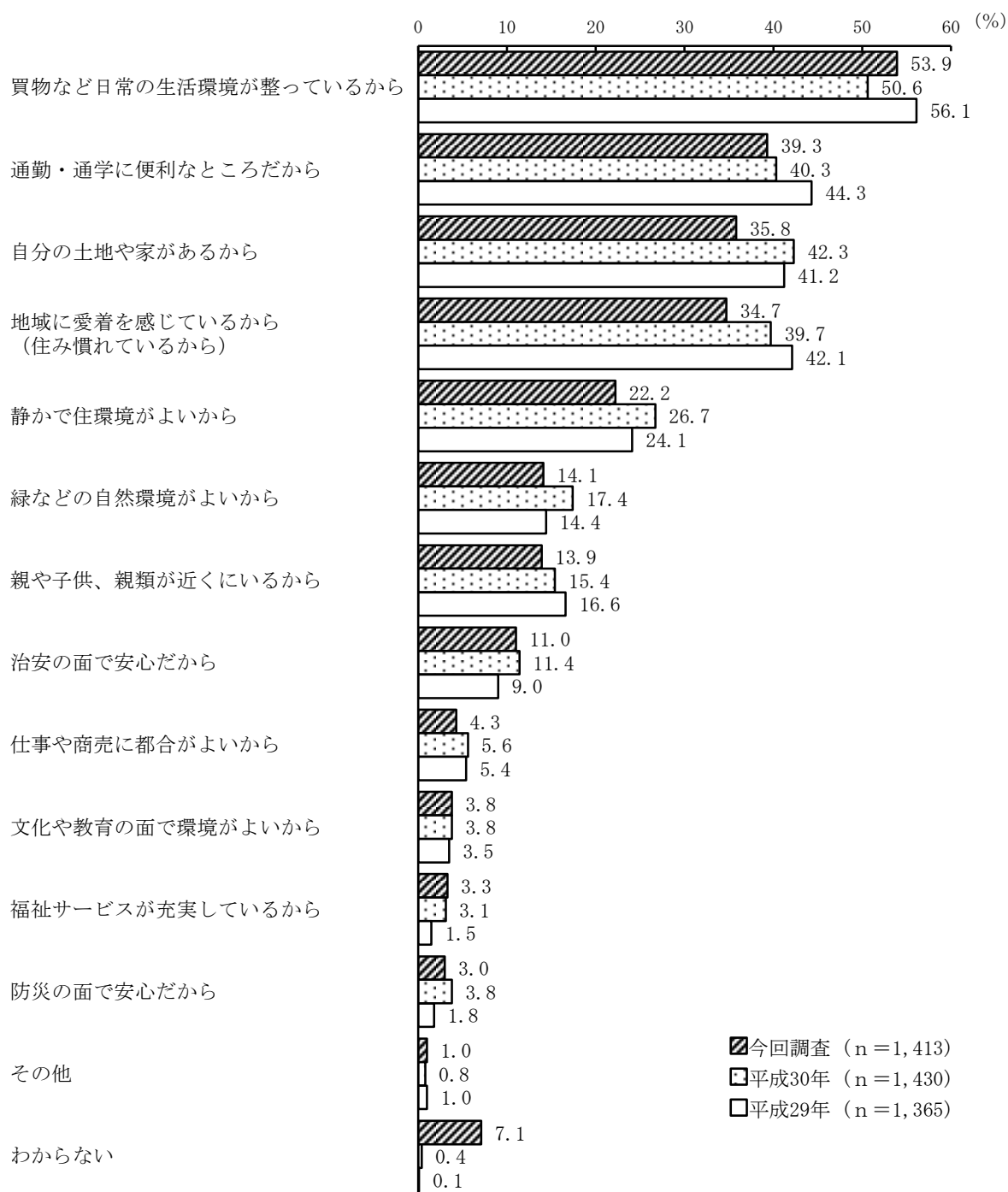
地域の住みよさ（Q8 P46）との関係でみると、「住みたい」は住んでいる地域が“住みよいところだと思ふ”と答えた人で9割近くに達している。一方、「住みたくない」は“住みよいところだとは思わない”と答えた人で7割近くと多くなっている。（図2-2-4）

図2-2-4 地域定住意向－住居形態別、地域居住年数別、地域の住みよさ別

		住みたい	わからない	住みたくない	(%)
n		↓	↓	↓	
全	体 (1,845)	76.6	12.1	11.3	
< 住 居 形 態 別 >					
持	家 (計) (1,202)	81.4	9.6	9.0	
持	家 (一 戸 建) (932)	82.7	8.8	8.5	
持	家 (分 譲 マンション な ど 集 合 住 宅) (270)	77.0	12.2	10.7	
持	家 以 外 (計) (620)	67.6	16.5	16.0	
民	間 の 借 家 (一 戸 建) (36)	63.9	13.9	22.2	
民	間 の 借 家 (賃 貸 マンション ・ アパート など 集 合 住 宅) (418)	65.8	18.4	15.8	
都	市 機 構 (旧 公 団) ・ 公 社 ・ 公 営 の 賃 貸 住 宅 ・ アパート (104)	77.9	10.6	11.5	
社	宅 ・ 公 務 員 住 宅 な ど 給 与 住 宅 (40)	57.5	15.0	27.5	
住	み 込 み ・ 寮 ・ 寄 宿 舎 など (9)	77.8	11.1	11.1	
< 地 域 居 住 年 数 別 >					
1	年 未 満 (50)	60.0	16.0	24.0	
1	～ 3 年 未 満 (117)	52.1	17.9	29.9	
3	～ 5 年 未 満 (103)	66.0	17.5	16.5	
5	～ 10 年 未 満 (215)	71.2	19.1	9.8	
10	～ 15 年 未 満 (191)	78.0	12.6	9.4	
15	～ 20 年 未 満 (120)	76.7	13.3	10.0	
20	～ 30 年 未 満 (265)	74.7	15.1	10.2	
30	年 以 上 (767)	85.3	6.4	8.3	
< 地 域 の 住 み よ さ 別 >					
住	み よ い と こ ろ (1,571)	86.5	8.6	4.9	
住	み よ い と こ ろ (180)	19.4	13.3	67.2	

居住地域に住みたい理由を過去との比較でみると、「買物など日常の生活環境が整っているから」は昨年よりも3ポイント増加している。一方、「自分の土地や家があるから」は昨年よりも7ポイント、「地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）」と「静かで住環境がよいから」は昨年よりも5ポイント減少している。（図2-2-5）

図2-2-5 居住地域に住みたい理由－過去との比較



居住地域に住みたい理由をエリア別にみると、区部（計）は市町村部（計）よりも「通勤・通学に便利なところだから」で17ポイント高くなっている。一方、市町村部（計）は区部（計）よりも「緑などの自然環境がよいから」で16ポイント、「静かで住環境がよいから」で14ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、「通勤・通学に便利なところだから」は男女20代と男性40代で5割台と多くなっている。「自分の土地や家があるから」は男性60代で5割半ば、男女とも70歳以上で5割近くと多くなっている。（表2-2-1）

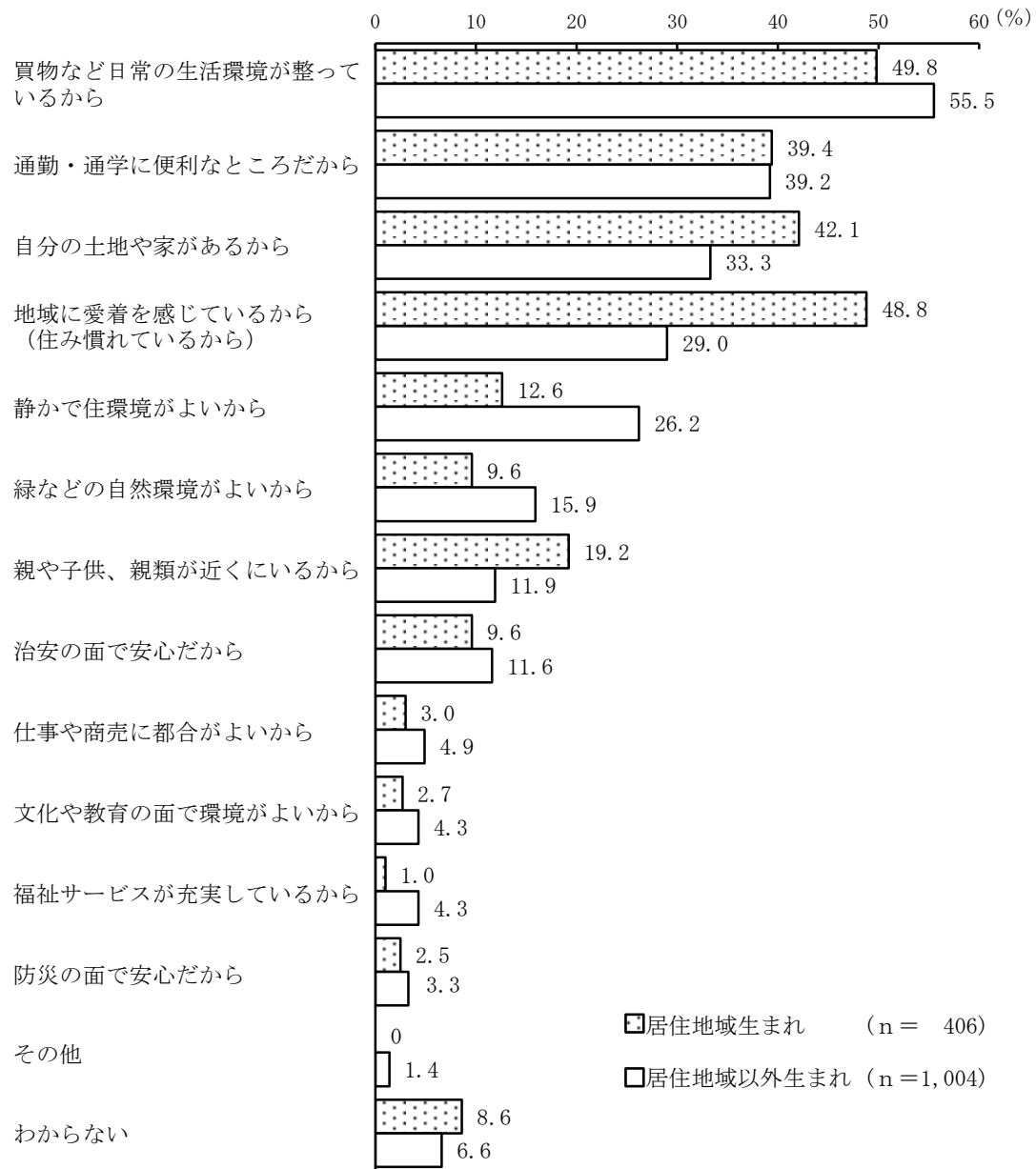
表2-2-1 居住地域に住みたい理由－エリア別、性・年齢別

(%)

	n	整 買 つ 物 な ど 日 常 の 生 活 環 境 が	だ 通 勤 ・ 通 学 に 便 利 な と こ ろ	自 分 の 土 地 や 家 が あ る か ら	ら 地 域 に 愛 着 を 感 じ て い る か （ 住 み 慣 れ て い る か ）	静 か で 住 環 境 が よ い か ら	ら 緑 な ど の 自 然 環 境 が よ い か ら	る 親 や 子 供 、 親 類 が 近 く に い る	治 安 の 面 で 安 心 だ か ら	ら 仕 事 や 商 売 に 都 合 が よ い か ら	い 文 化 や 教 育 の 面 で 環 境 が よ い	る 福 祉 サ ー ビ ス が 充 実 し て い る	防 災 の 面 で 安 心 だ か ら	そ の 他	わ か ら な い
全 体	1,413	53.9	39.3	35.8	34.7	22.2	14.1	13.9	11.0	4.3	3.8	3.3	3.0	1.0	7.1
< エリア別 >															
区 部（計）	932	55.6	45.0	32.9	34.7	17.6	8.6	12.0	10.9	4.7	4.6	3.2	2.8	1.2	9.0
センター・コア	240	48.3	45.8	27.1	32.9	15.4	6.7	10.4	12.5	4.6	8.8	4.2	3.8	1.7	13.3
区部東部・北部	287	57.5	42.9	38.7	35.5	9.4	6.3	16.7	8.7	3.1	3.1	3.5	1.0	1.7	7.0
区部西部・南部	405	58.5	45.9	32.3	35.1	24.7	11.4	9.6	11.6	5.9	3.2	2.5	3.5	0.5	7.9
市町村部（計）	481	50.5	28.5	41.4	34.9	31.2	24.7	17.7	11.0	3.5	2.3	3.5	3.5	0.6	3.5
多摩東部	158	48.1	31.0	39.2	32.3	29.7	17.7	10.8	13.9	3.8	3.2	2.5	3.8	0.6	3.8
多摩中央部北	72	56.9	33.3	36.1	29.2	23.6	19.4	23.6	4.2	5.6	4.2	－	2.8	1.4	8.3
多摩中央部南	212	47.2	25.9	40.6	40.1	33.5	31.6	20.3	11.3	2.8	1.4	4.7	4.2	0.5	2.4
多摩西部・島しょ	39	66.7	23.1	64.1	28.2	38.5	25.6	20.5	10.3	2.6	－	7.7	－	－	－
< 性・年齢別 >															
男 性（計）	714	50.4	40.1	38.4	33.2	23.5	12.7	12.9	10.9	4.5	2.2	2.0	3.2	0.7	8.0
18 ・ 19 歳	4	50.0	75.0	－	－	－	－	－	25.0	25.0	－	－	－	－	25.0
20 代	67	44.8	59.7	14.9	35.8	13.4	7.5	13.4	9.0	4.5	－	1.5	4.5	－	10.4
30 代	112	42.0	50.9	26.8	33.0	21.4	13.4	12.5	13.4	5.4	3.6	0.9	4.5	2.7	7.1
40 代	104	49.0	51.9	26.9	33.7	27.9	14.4	19.2	5.8	2.9	1.9	2.9	1.9	－	7.7
50 代	138	49.3	44.2	44.2	26.8	21.0	10.9	11.6	12.3	7.2	2.9	0.7	2.2	－	9.4
60 代	117	54.7	35.9	53.8	43.6	23.1	10.3	8.5	9.4	4.3	0.9	1.7	1.7	－	5.1
70 歳 以 上	172	57.0	16.9	47.7	30.8	29.1	16.9	13.4	12.8	2.3	2.9	3.5	4.7	1.2	8.1
女 性（計）	699	57.4	38.6	33.2	36.3	20.9	15.5	15.0	11.0	4.1	5.4	4.7	2.9	1.3	6.3
18 ・ 19 歳	4	25.0	75.0	25.0	75.0	－	－	－	75.0	－	25.0	－	－	－	－
20 代	78	59.0	55.1	9.0	30.8	24.4	5.1	14.1	14.1	7.7	5.1	－	1.3	－	10.3
30 代	109	56.9	51.4	15.6	38.5	14.7	11.0	24.8	10.1	5.5	11.9	3.7	2.8	0.9	7.3
40 代	115	51.3	48.7	27.8	35.7	18.3	20.9	20.0	10.4	2.6	7.8	4.3	0.9	0.9	8.7
50 代	104	56.7	46.2	34.6	30.8	25.0	20.2	8.7	10.6	5.8	1.9	1.9	1.0	－	6.7
60 代	96	60.4	32.3	47.9	30.2	21.9	14.6	9.4	10.4	4.2	2.1	2.1	3.1	2.1	6.3
70 歳 以 上	193	60.1	17.1	48.2	43.0	22.3	17.1	13.5	9.8	2.1	3.6	10.4	5.7	2.6	2.6

地域生まれか否か別にみると、居住地域生まれの人は居住地域以外生まれの人よりも「地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）」が20ポイント高くなっている。一方、居住地域以外生まれの人は居住地域生まれの人よりも「静かで住環境がよいから」が14ポイント高くなっている。（図2-2-6）

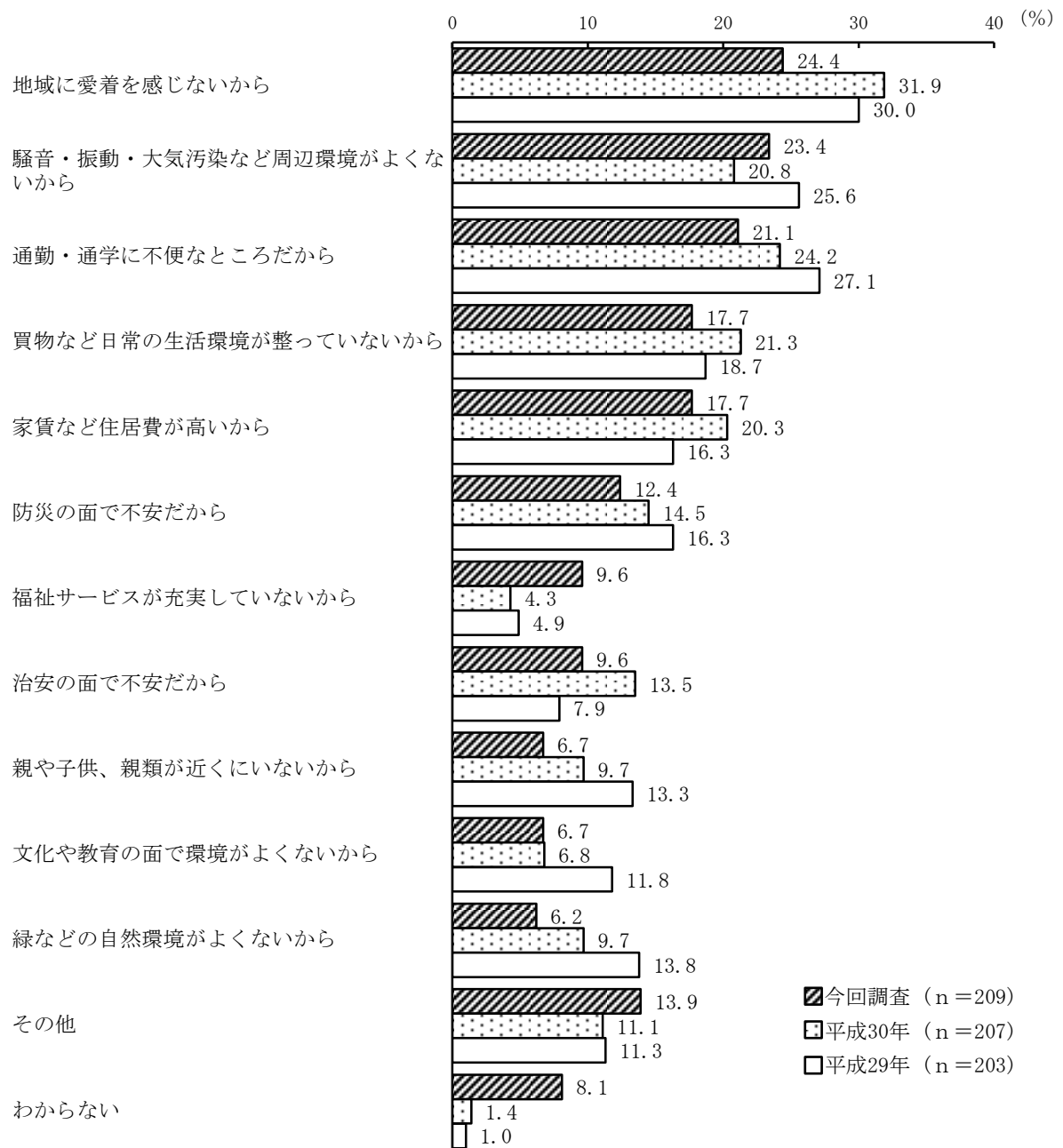
図2-2-6 居住地域に住みたい理由－地域生まれか否か別



居住地域に住みたくない理由を過去との比較でみると、「福祉サービスが充実していないから」が昨年よりも5ポイント高くなっている。一方、「地域に愛着を感じないから」が昨年よりも8ポイント、「治安の面で不安だから」と「買物など日常の生活環境が整っていないから」が4ポイント減少している。

(図2-2-7)

図2-2-7 居住地域に住みたくない理由－過去との比較



エリア別にみると、区部東部・北部は「防災の面で不安だから」で2割半ばと多くなっている。
性別、年齢別にみると、大きな差はみられない。(表2-2-2)

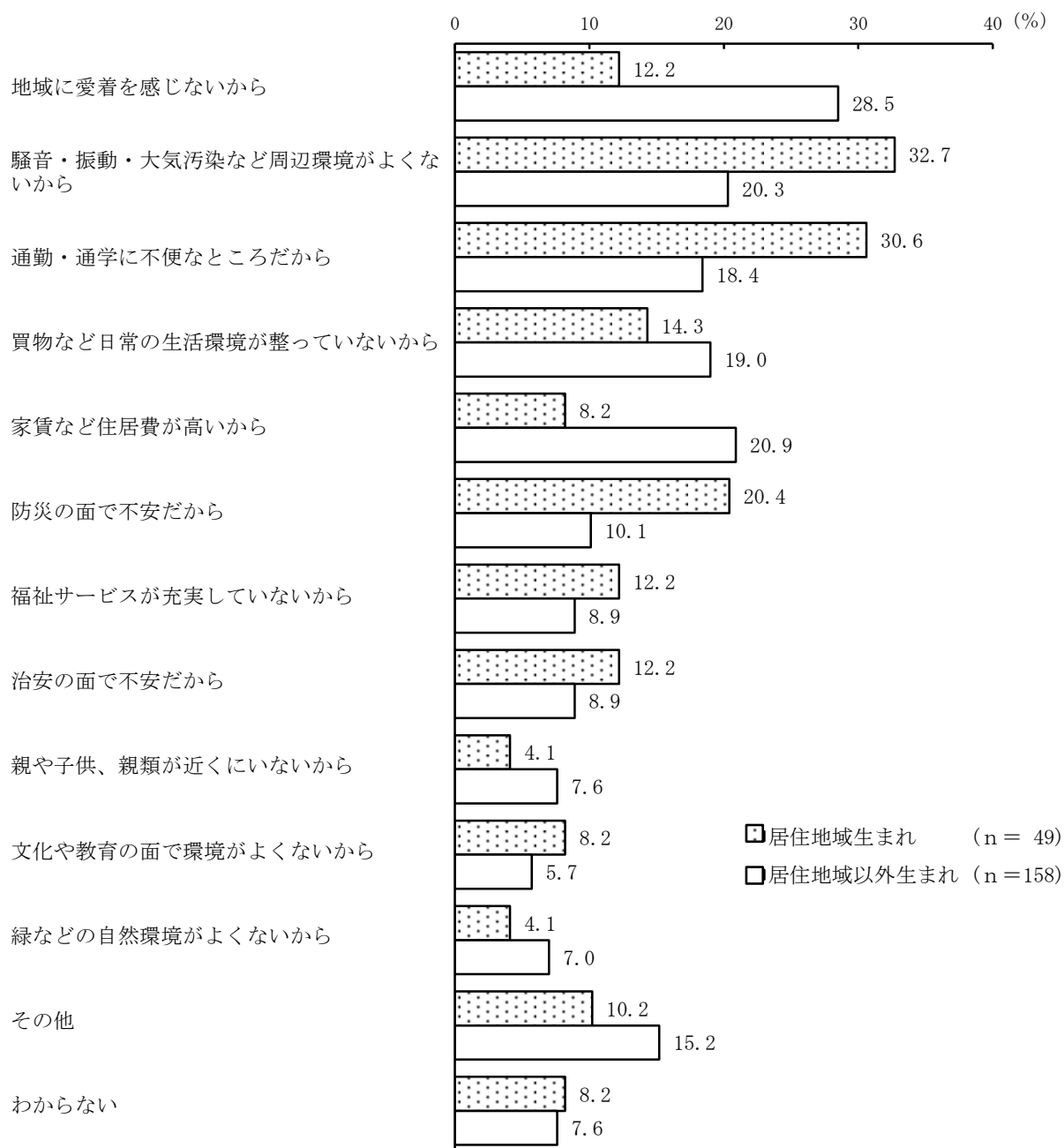
表2-2-2 居住地域に住みたくない理由－エリア別、性別、年齢別

(%)

	n	地域に愛着を感じないから	騒音・振動・大気汚染など 周辺環境がよいから	通勤・通学に不便なところ	買物など日常生活環境が 整っていないから	家賃など住居費が高いから	防災の面で不安だから	福祉サービスが充実していないから	治安の面で不安だから	親や子供、親類が近くにいないから	文化や教育の面で環境がよいから	緑などの自然環境がよいから	その他	わからない
全 体	209	24.4	23.4	21.1	17.7	17.7	12.4	9.6	9.6	6.7	6.7	6.2	13.9	8.1
< エリア別 >														
区 部 (計)	125	27.2	30.4	13.6	12.8	20.0	17.6	5.6	12.8	6.4	5.6	7.2	13.6	8.8
センター・コア	21	19.0	42.9	4.8	4.8	14.3	9.5	4.8	14.3	4.8	4.8	4.8	23.8	9.5
区部東部・北部	54	33.3	25.9	29.6	13.0	20.4	24.1	5.6	11.1	9.3	5.6	3.7	13.0	5.6
区部西部・南部	50	24.0	30.0	-	16.0	22.0	14.0	6.0	14.0	4.0	6.0	12.0	10.0	12.0
市町村部 (計)	84	20.2	13.1	32.1	25.0	14.3	4.8	15.5	4.8	7.1	8.3	4.8	14.3	7.1
多 摩 東 部	28	17.9	17.9	35.7	17.9	21.4	10.7	10.7	7.1	7.1	14.3	14.3	17.9	7.1
多摩中央部北	15	26.7	6.7	20.0	26.7	13.3	-	20.0	-	6.7	-	-	6.7	6.7
多摩中央部南	36	19.4	13.9	33.3	30.6	11.1	2.8	19.4	5.6	8.3	8.3	-	13.9	5.6
多摩西部・島しょ	5	20.0	-	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0
< 性 別 >														
男 性	99	25.3	21.2	26.3	16.2	19.2	10.1	9.1	11.1	3.0	5.1	6.1	9.1	8.1
女 性	110	23.6	25.5	16.4	19.1	16.4	14.5	10.0	8.2	10.0	8.2	6.4	18.2	8.2
< 年 齢 別 >														
18 ・ 19 歳	4	-	-	75.0	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-
20 代	34	20.6	20.6	32.4	17.6	23.5	2.9	2.9	8.8	8.8	5.9	8.8	20.6	2.9
30 代	42	35.7	16.7	26.2	19.0	16.7	11.9	7.1	11.9	4.8	9.5	4.8	16.7	7.1
40 代	31	16.1	38.7	16.1	19.4	22.6	12.9	6.5	9.7	9.7	12.9	16.1	12.9	6.5
50 代	41	24.4	26.8	24.4	9.8	9.8	12.2	12.2	9.8	4.9	7.3	2.4	12.2	14.6
60 代	22	22.7	13.6	9.1	22.7	18.2	22.7	18.2	9.1	4.5	4.5	-	4.5	4.5
70 歳 以 上	35	25.7	25.7	5.7	22.9	20.0	17.1	14.3	8.6	8.6	-	5.7	11.4	11.4

地域生まれか否か別にみると、「地域に愛着を感じないから」は居住地域以外生まれの人が居住地域生まれの人よりも16ポイント高くなっている。(図2-2-8)

図2-2-8 居住地域に住みたくない理由—地域生まれか否か別



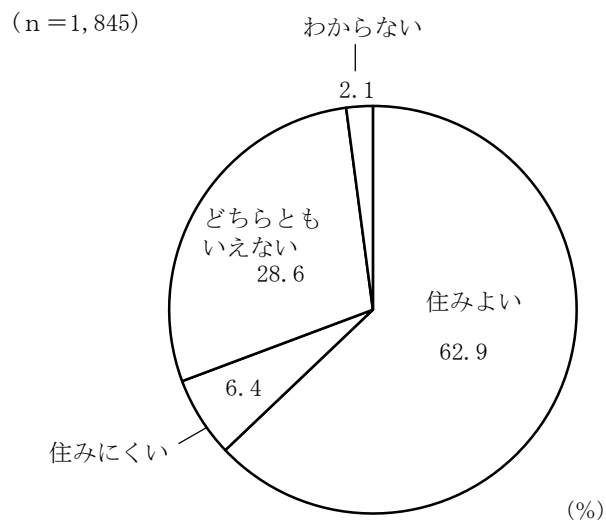
3 東 京

※3-1 東京の住みよさ

図3-1-1

(全員に)

Q10 ところで、あなたにとって東京は、全般的にみて、住みよいところですか、それとも、住みにくいところですか。

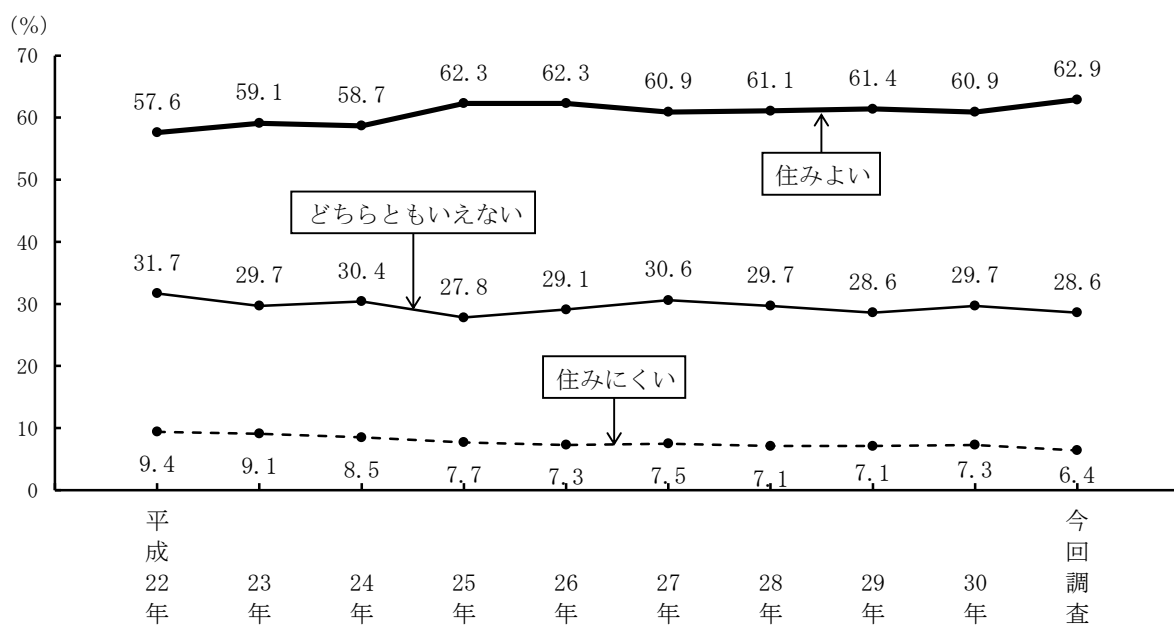


東京は全般的にみて住みよいところだと思うか聞いたところ、「住みよい」は63%、「住みにくい」は6%、「どちらともいえない」は29%となっている。(図3-1-1)

東京の住みよさを過去との比較でみると、「住みよい」は昨年より2ポイント増加している。一方、「住みにくい」は昨年より1ポイント減少している。(図3-1-2)

なお、東京の住みよさの昭和52年からの時系列比較を巻末の付属資料(P152 図7)に掲載している。

図3-1-2 東京の住みよさー過去との比較



エリア別にみると、「住みよい」はセンター・コアで7割近くと多くなっている。

性・年齢別にみると、「住みよい」は男女とも70歳以上で7割を超えて多くなっている。（図3-1-3）

図3-1-3 東京の住みよさ－エリア別、性・年齢別

		n	住みよい どちらともいえない わからない 住みにくい				(%)
全	体	(1,845)	62.9	28.6	2.1	6.4	
< エリア別 >							
区	部	(計) (1,206)	63.9	26.7	2.6	6.8	
	センター・コア	(297)	69.4	23.2	2.0	5.4	
	区部東部・北部	(392)	63.3	27.8	2.0	6.9	
	区部西部・南部	(517)	61.3	27.9	3.3	7.5	
市町村	部	(計) (639)	60.9	32.2	1.3	5.6	
	多摩東部	(221)	59.7	32.1	0.9	7.2	
	多摩中央部北	(92)	65.2	30.4		4.3	
	多摩中央部南	(280)	60.7	31.8	2.1	5.4	
	多摩西部・島しょ	(46)	58.7	39.1		2.2	
< 性・年齢別 >							
男	性	(計) (929)	61.6	29.2	2.5	6.8	
18・19歳		(8)	62.5	37.5		0	
20代		(98)	55.1	33.7	1.0	10.2	
30代		(152)	54.6	32.2	4.6	8.6	
40代		(151)	56.3	29.8	3.3	10.6	
50代		(177)	59.9	32.2	1.1	6.8	
60代		(144)	66.7	25.7	2.8	4.9	
70歳以上		(199)	71.9	23.6	2.0	2.5	
女	性	(計) (916)	64.2	28.1	1.7	6.0	
18・19歳		(9)	44.4	33.3	11.1	11.1	
20代		(116)	57.8	31.0	1.7	9.5	
30代		(154)	57.8	33.8	0.6	7.8	
40代		(150)	66.7	26.0	0.7	6.7	
50代		(147)	66.0	28.6	1.4	4.1	
60代		(120)	63.3	30.8	1.7	4.2	
70歳以上		(220)	70.5	21.8	3.2	4.5	

(図3-1-4)

東京の住みよさと地域の住みよさ（Q8 P46）を組み合わせると、「東京も地域も住みよい」58%、「地域は住みよいが東京は住みにくい」、「東京は住みよいが、地域は住みよいところだとは思わない」4%、「東京も地域も住みよいとは思わない」2%となっている。（表3-1-1）

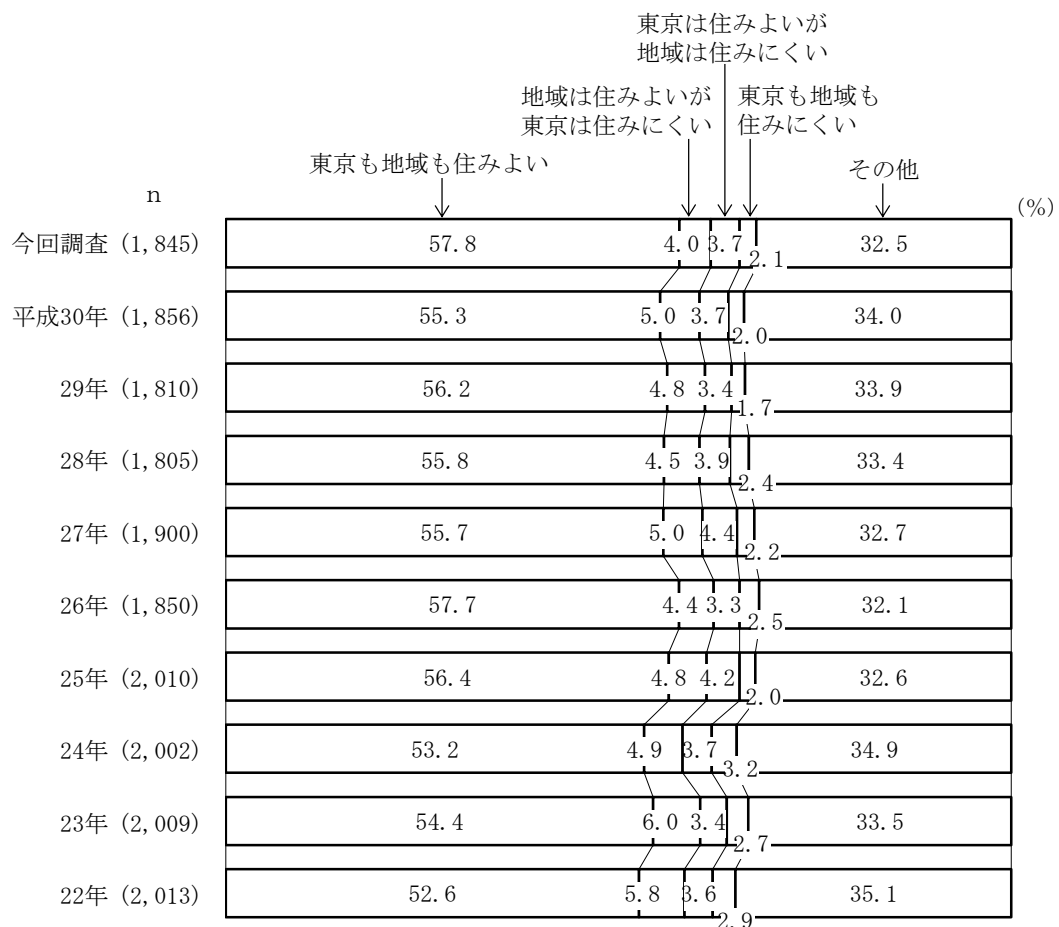
表3-1-1 東京と地域の住みよさ

		(%)		
東京の住みよさ 地域の住みよさ		住みよい	住みにくい	どちらともいえない わからない
住みよいところだと思う		57.8	4.0	23.4
住みよいところだとは思わない		3.7	2.1	4.0
わからない		1.4	0.3	3.4

(n=1,845)

東京の住みよさと地域の住みよさの組み合わせを過去との比較でみると、「東京も地域も住みよい」は昨年よりも3ポイント増加している。（図3-1-5）

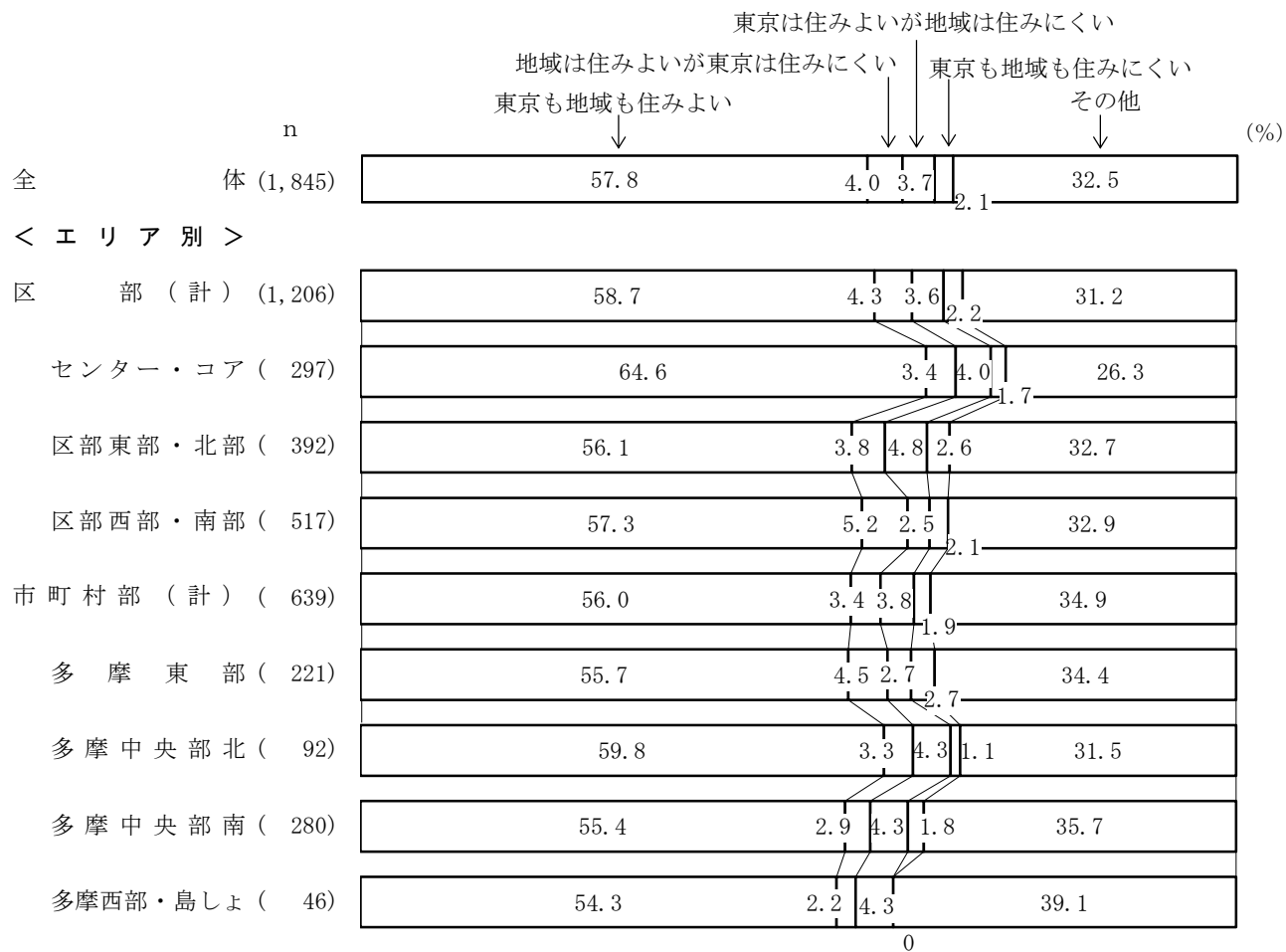
図3-1-5 東京と地域の住みよさー過去との比較



エリア別にみると、「東京も地域も住みよい」はセンター・コアで6割半ばと多くなっている。

(図3-1-6)

図3-1-6 東京と地域の住みよさーエリア別

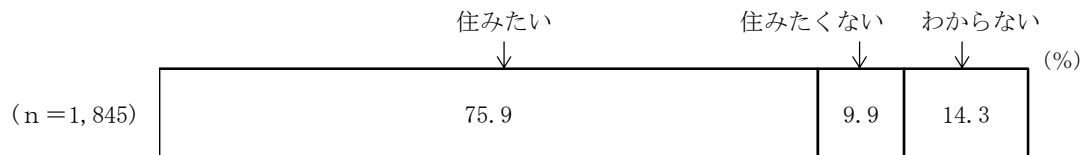


※3-2 東京定住意向

図3-2-1

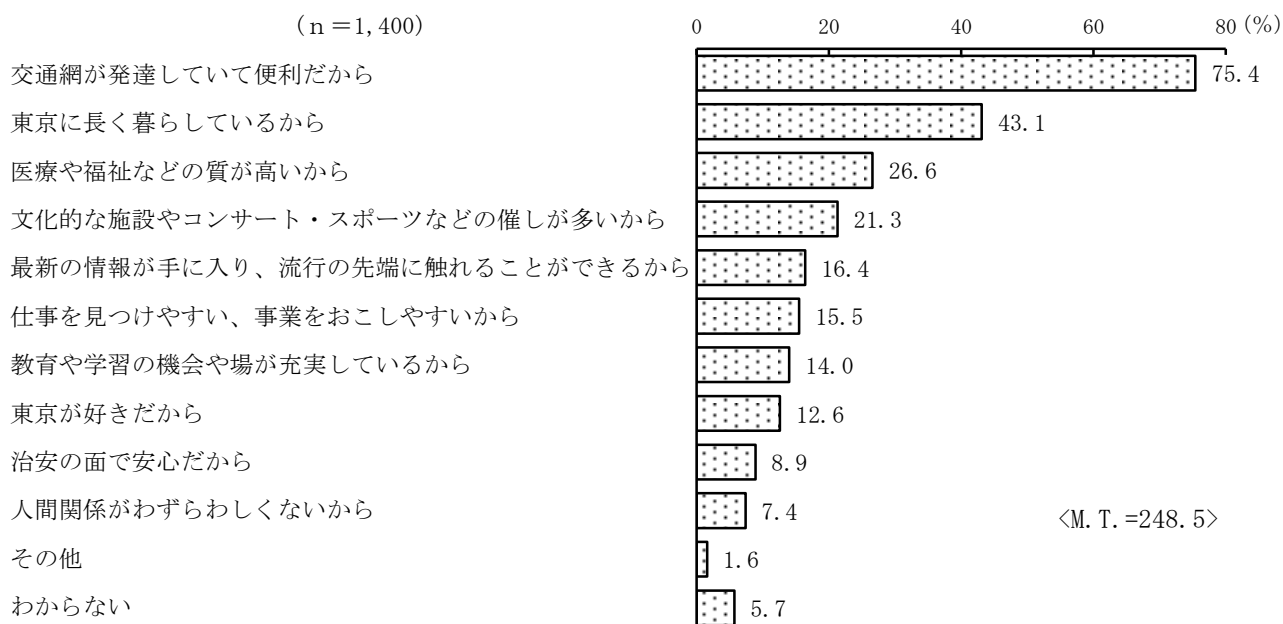
(全員に)

Q11 あなたは、東京に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。
あなたの今のお気持ちをお答えください。



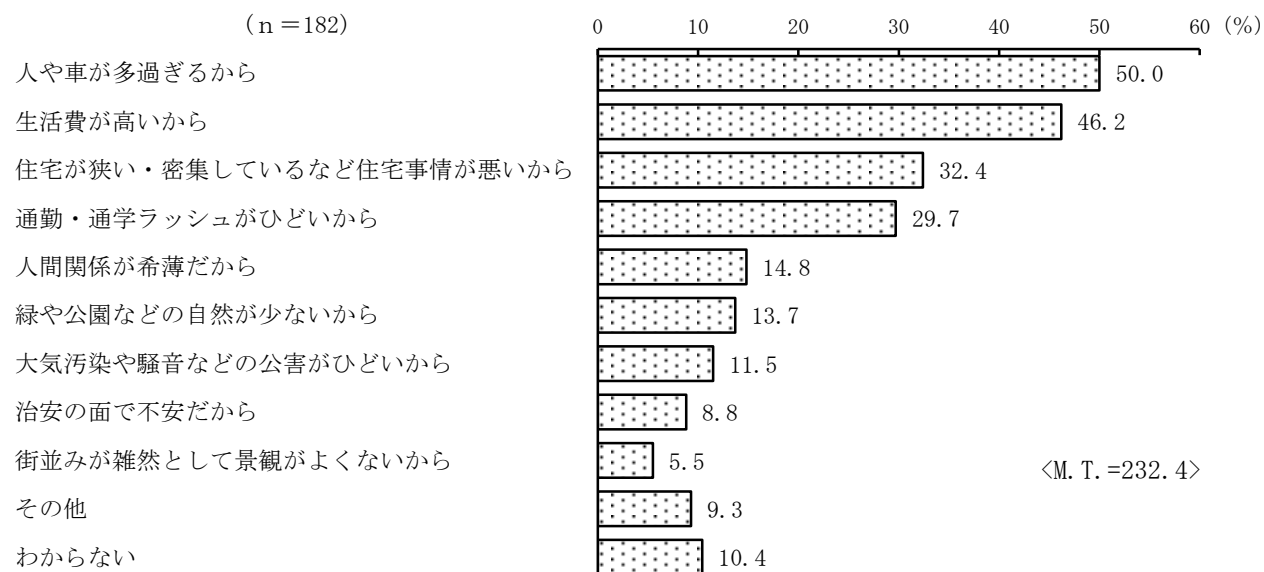
(Q11で「住みたい」と答えた方に)

S Q1 そう思うのはなぜですか。この中から3つまでお答えください。(3M. A.)



(Q11で「住みたくない」と答えた方に)

S Q2 そう思うのはなぜですか。この中から3つまでお答えください。(3M. A.)



東京に今後もずっと住みたいと思うか聞いたところ、「住みたい」は76%、「住みたくない」は10%となっている。

「住みたい」と答えた人(1,400人)にその理由を聞いたところ、「交通網が発達していて便利だから」が75%で最も多く、次いで「東京に長く暮らしているから」43%、「医療や福祉などの質が高いから」27%、「文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから」21%などの順となっている。

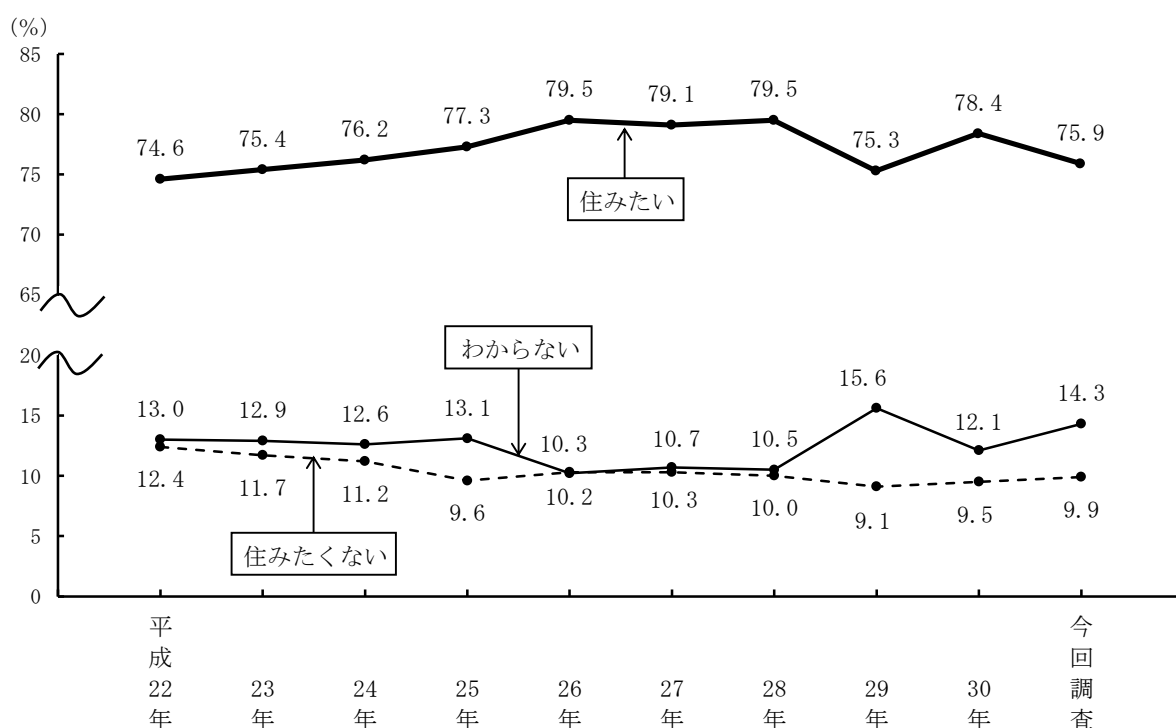
「住みたくない」と答えた人(182人)にその理由を聞いたところ、「人や車が多過ぎるから」が50%で最も多く、次いで「生活費が高いから」46%、「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」32%、「通勤・通学ラッシュがひどいから」30%などの順となっている。(図3-2-1)

東京定住意向を過去との比較でみると、「住みたい」は昨年よりも3ポイント減少している。

(図3-2-2)

なお、東京定住意向の昭和58年からの時系列比較を巻末の付属資料(P153 図8)に掲載している。

図3-2-2 東京定住意向－過去との比較



エリア別にみると、多摩中央部北で「住みたい」が8割半ばと多くなっている。

性・年齢別にみると、「住みたい」は男女とも70歳以上で8割半ばから9割近くと多くなっている。

(図3-2-3)

図3-2-3 東京定住意向－エリア別、性・年齢別

		n	住みたい	わからない	住みたくない	(%)
全	体	(1,845)	75.9	14.3	9.9	
< エリア別 >						
区	部 (計)	(1,206)	76.1	14.3	9.6	
	センター・コア	(297)	79.5	12.1	8.4	
	区部東部・北部	(392)	76.3	14.5	9.2	
	区部西部・南部	(517)	74.1	15.3	10.6	
市町村部	(計)	(639)	75.4	14.2	10.3	
	多摩東部	(221)	68.8	20.8	10.4	
	多摩中央部北	(92)	84.8	7.6	7.6	
	多摩中央部南	(280)	77.1	11.4	11.4	
	多摩西部・島しょ	(46)	78.3	13.0	8.7	
< 性・年齢別 >						
男	性 (計)	(929)	74.3	15.2	10.5	
	18・19歳	(8)	87.5	12.5	0	
	20代	(98)	72.4	13.3	14.3	
	30代	(152)	73.7	17.8	8.6	
	40代	(151)	57.6	32.5	9.9	
	50代	(177)	72.3	14.1	13.6	
	60代	(144)	80.6	9.7	9.7	
	70歳以上	(199)	84.9	6.0	9.0	
女	性 (計)	(916)	77.5	13.3	9.2	
	18・19歳	(9)	44.4	22.2	33.3	
	20代	(116)	73.3	14.7	12.1	
	30代	(154)	68.8	20.1	11.0	
	40代	(150)	73.3	16.0	10.7	
	50代	(147)	77.6	11.6	10.9	
	60代	(120)	80.8	14.2	5.0	
	70歳以上	(220)	88.2	6.4	5.5	

住居形態別にみると、「住みたい」は持家（計）で8割を超え、持家以外（計）よりも14ポイント高くなっている。一方、「住みたくない」は持家以外（計）で1割半ばとなっている。（図3-2-4）

図3-2-4 東京定住意向－住居形態別

		住みたい	わからない	住みたくない	
n					(%)
全	体 (1,845)	75.9	14.3	9.9	
< 住 居 形 態 別 >					
持	家 (計) (1,202)	80.8	11.4	7.8	
	持 家 (一戸建) (932)	82.3	10.9	6.8	
	持家(分譲マンション など集合住宅) (270)	75.6	13.0	11.5	
持	家 以 外 (計) (620)	66.9	19.2	13.9	
	民 間 の 借 家 (一戸建) (36)	69.4	22.2	8.3	
	民間の借家(賃貸マンション ・アパートなど集合住宅) (418)	64.8	20.6	14.6	
	都市機構(旧公団)・公社・ 公営の賃貸住宅・アパート (104)	76.9	13.5	9.6	
	社 宅 ・ 公 務 員 住 宅 な ど 給 与 住 宅 (40)	52.5	25.0	22.5	
	住み込み・寮・寄宿舎など (9)	66.7	0	33.3	

東京生まれか否か別にみると、「住みたい」は東京生まれの人で8割を超えて多く、東京以外生まれの人よりも13ポイント高くなっている。

東京居住年数別にみると、「住みたい」は30年以上で8割を超えて多くなっている。(図3-2-5)

図3-2-5 東京定住意向－東京生まれか否か別、東京居住年数別

		住みたい ↓ わからない ↓ 住みたくない ↓			(%)
n					
全	体 (1,845)	75.9	14.3	9.9	
<東京生まれか否か別>					
東	京 生 ま れ (880)	83.0	10.2	6.8	
東	京 以 外 生 ま れ (926)	70.4	17.2	12.4	
<東京居住年数別>					
1	年 未 満 (19)	31.6	42.1	26.3	
1	～ 3 年 未 満 (42)	59.5	14.3	26.2	
3	～ 5 年 未 満 (50)	54.0	30.0	16.0	
5	～ 10 年 未 満 (118)	60.2	24.6	15.3	
10	～ 15 年 未 満 (123)	69.9	18.7	11.4	
15	～ 20 年 未 満 (102)	66.7	16.7	16.7	
20	～ 30 年 未 満 (260)	74.2	16.5	9.2	
30	年 以 上 (1,112)	82.4	10.2	7.5	

地域定住意向（Q9 P50）との関係でみると、住んでいる地域に“住みたい”と答えた人で、東京に「住みたい」と思っている人は9割近くと多くなっている。一方、地域に“住みたくない”と答えた人で、東京にも「住みたくない」と思っている人は4割を超えている。

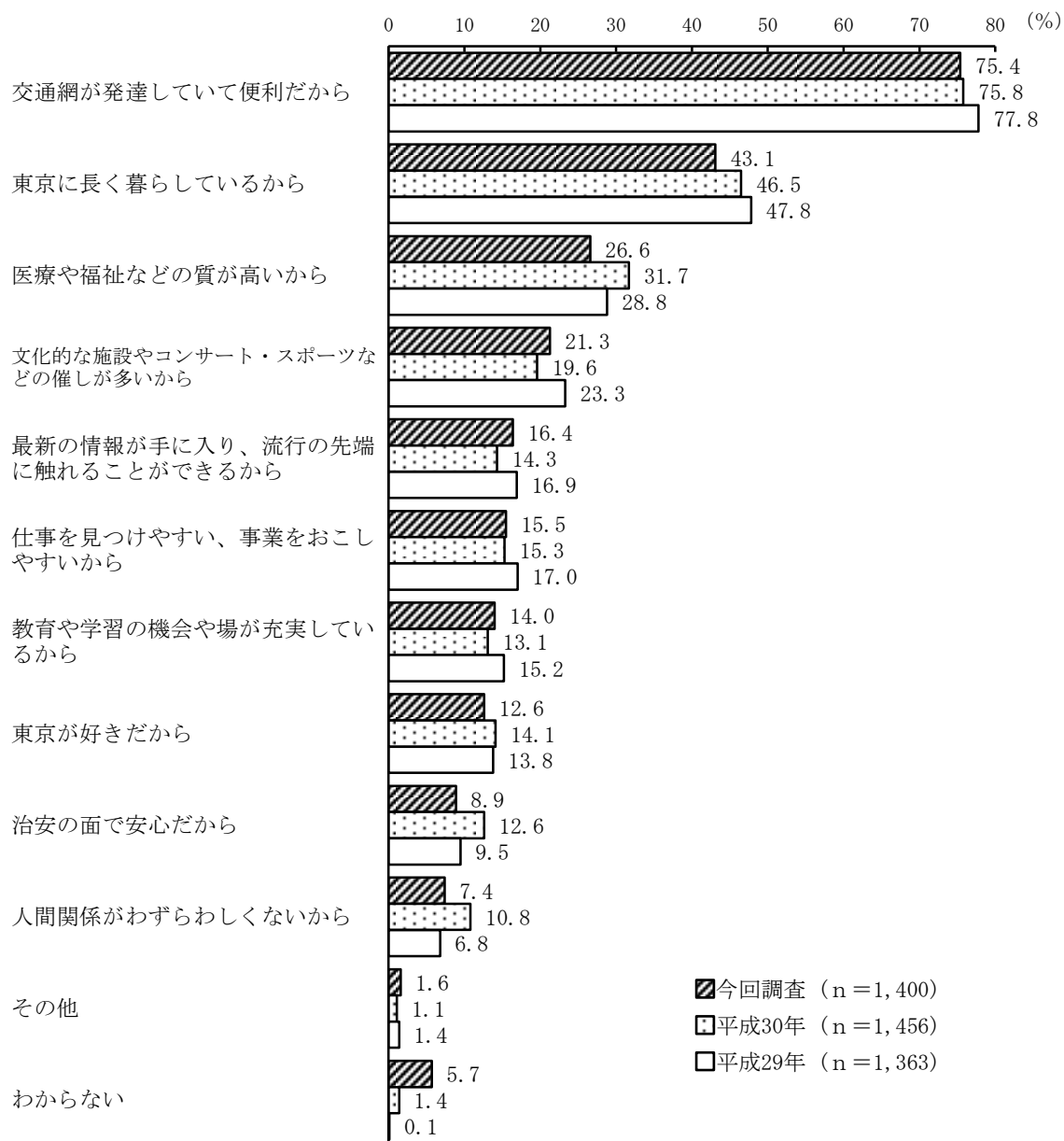
東京の住みよさ（Q10 P60）との関係でみると、東京は“住みよい”と答えた人で、東京に「住みたい」と思っている人は9割を超えて多くなっている。一方、東京は“住みにくい”と答えた人で東京に「住みたくない」と思っている人は6割近くと多くなっている。（図3-2-6）

図3-2-6 東京定住意向－地域定住意向別、東京の住みよさ別

		住みたい ↓ わからない ↓ 住みたくない ↓ (%)		
n				
全	体 (1,845)	75.9	14.3	9.9
<地域定住意向別>				
住	み	87.4		
たい	(1,413)		7.6	5.0
住	み			
たくない	(209)	44.5	12.9	42.6
<東京の住みよさ別>				
住	み	91.8		
よい	(1,160)		6.2	2.0
住	み			
にくい	(118)	27.1	14.4	58.5
どちらとも	いえない (528)	54.4	29.0	16.7

東京に住みたい理由を過去との比較でみると、「最新の情報が手に入り、流行の先端に触れることができるから」と「文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから」は昨年よりも2ポイント増加している。一方、「医療や福祉などの質が高いから」は昨年よりも5ポイント減少している。（図3-2-7）

図3-2-7 東京に住みたい理由－過去との比較



東京に住みたい理由をエリア別にみると、特に大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、「東京に長く暮らしているから」は男女とも70歳以上で5割台と多くなっている。「医療や福祉などの質が高いから」は男女とも70歳以上で4割台と多くなっている。また、「教育や学習の機会や場が充実しているから」は男女とも40代で3割台と多くなっている。(表3-2-1)

表3-2-1 東京に住みたい理由－エリア別、性・年齢別

(%)

	n	交通網が発達して いて便利だから	東京に長く暮らして いるから	医療や福祉などの 質が高いから	文化的な施設やコ ンサート・スポ ーツなどの催しが多 いから	最新の情報が手に入 り、流行の先端に 触れることができる から	仕事をみつけやすい 、事業をおこしやす いから	教育や学習の機会や 場が充実しているか ら	東京が好きだから	治安の面で安心だか ら	人間関係がわずらわ しくないから	その他	わからない
全 体	1,400	75.4	43.1	26.6	21.3	16.4	15.5	14.0	12.6	8.9	7.4	1.6	5.7
< エリア別 >													
区 部 (計)	918	75.8	43.2	25.9	20.0	15.5	15.4	12.5	13.8	7.8	7.3	1.6	7.4
センター・コア	236	75.8	39.0	30.5	19.1	11.9	13.6	11.4	13.1	8.1	5.1	2.1	11.0
区部東部・北部	299	75.6	44.8	25.8	16.7	16.7	14.7	12.0	13.0	7.4	8.7	1.7	5.0
区部西部・南部	383	76.0	44.6	23.2	23.2	16.7	17.0	13.6	14.9	8.1	7.6	1.3	7.0
市町村部 (計)	482	74.5	42.7	28.0	23.7	18.0	15.8	16.8	10.4	10.8	7.7	1.7	2.5
多摩東部	152	80.3	37.5	24.3	27.0	19.7	14.5	14.5	7.9	11.8	6.6	2.6	2.6
多摩中央部北	78	71.8	50.0	29.5	15.4	17.9	14.1	15.4	9.0	10.3	6.4	1.3	3.8
多摩中央部南	216	73.6	43.5	30.1	25.0	17.1	17.6	18.5	12.5	9.3	7.4	1.4	2.3
多摩西部・島しょ	36	61.1	44.4	27.8	19.4	16.7	13.9	19.4	11.1	16.7	16.7	-	-
< 性・年齢別 >													
男 性 (計)	690	76.8	41.3	27.8	18.4	14.6	14.3	13.6	13.0	8.7	5.9	2.0	5.9
18・19歳	7	85.7	42.9	28.6	14.3	28.6	28.6	14.3	-	-	-	-	14.3
20代	71	73.2	25.4	7.0	40.8	25.4	8.5	9.9	19.7	2.8	-	2.8	7.0
30代	112	75.0	25.0	13.4	21.4	25.0	21.4	21.4	8.9	2.7	5.4	3.6	7.1
40代	87	82.8	32.2	20.7	17.2	17.2	24.1	34.5	16.1	2.3	2.3	2.3	3.4
50代	128	76.6	46.9	24.2	20.3	10.9	18.0	12.5	9.4	7.0	7.0	-	7.0
60代	116	81.9	50.0	35.3	14.7	8.6	10.3	10.3	12.9	14.7	7.8	1.7	4.3
70歳以上	169	72.8	53.3	47.3	8.9	8.3	6.5	2.4	14.8	16.0	8.9	2.4	5.9
女 性 (計)	710	73.9	44.8	25.5	24.1	18.0	16.6	14.4	12.3	9.0	8.9	1.3	5.5
18・19歳	4	100.0	25.0	25.0	75.0	25.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-
20代	85	77.6	20.0	4.7	37.6	31.8	27.1	16.5	4.7	5.9	3.5	1.2	10.6
30代	106	76.4	34.9	20.8	19.8	24.5	29.2	23.6	10.4	4.7	9.4	1.9	5.7
40代	110	70.0	40.0	20.9	21.8	23.6	21.8	30.0	10.0	4.5	6.4	0.9	8.2
50代	114	78.9	52.6	22.8	22.8	18.4	21.9	15.8	12.3	5.3	7.0	1.8	3.5
60代	97	74.2	50.5	26.8	30.9	13.4	10.3	3.1	12.4	16.5	11.3	1.0	5.2
70歳以上	194	69.6	56.7	40.7	18.0	7.2	2.6	4.1	17.5	13.9	12.4	1.0	3.1

職業別にみると、「東京に長く暮らしているから」は無職の主婦・主夫で5割を超えて多くなっている。
「医療や福祉などの質が高いから」はその他の無職、無職の主婦・主夫で3割台と多くなっている。
(表3-2-2)

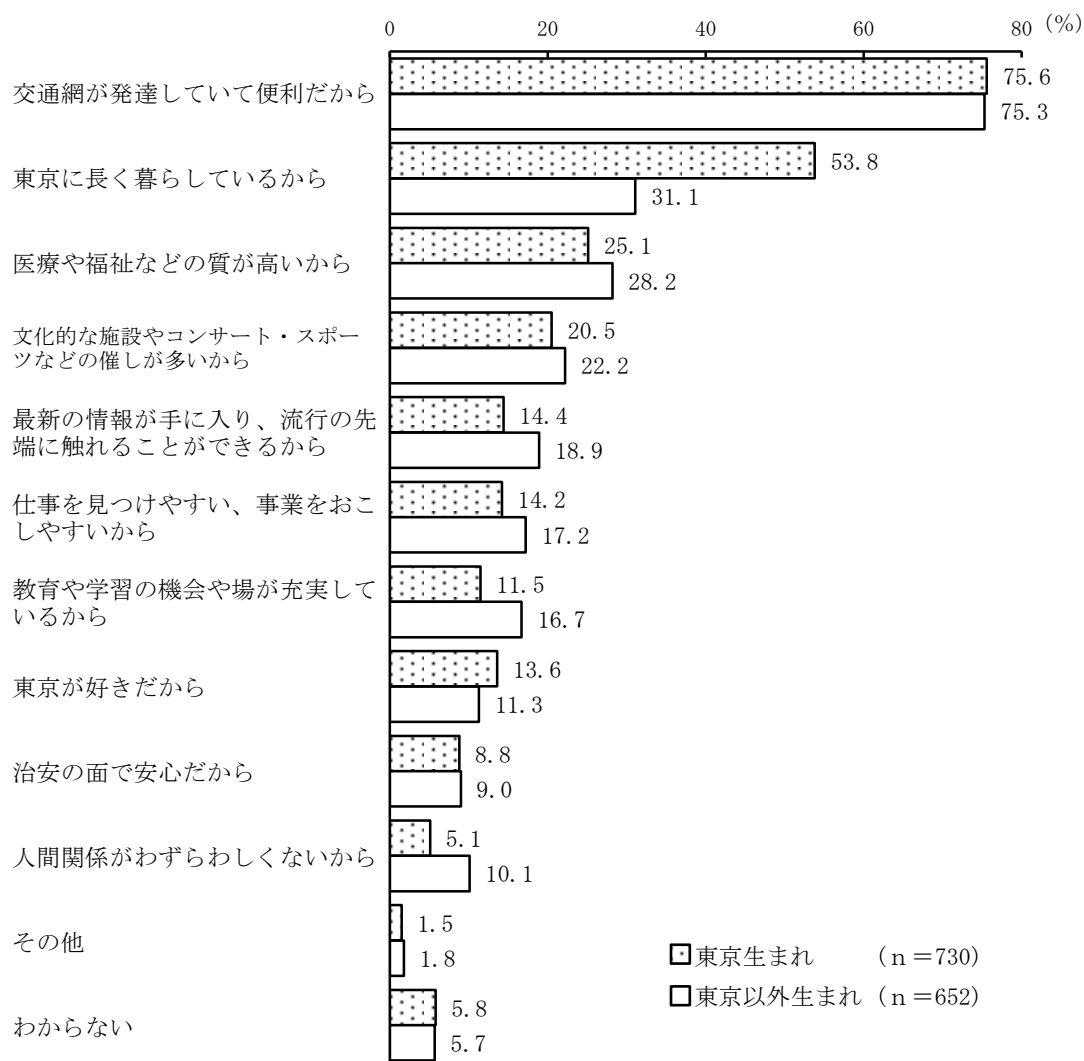
表3-2-2 東京に住みたい理由－職業別

(%)

	n	交通網が発達して いて便利だから	東京に長く暮ら しているから	医療や福祉など の質が高いから	文化的な施設や コンサート・ス ポーツなどの催 しが多いから	最新の情報が手 に入り、流行の先 端に触れること ができるから	仕事をみつけ やすい、事業を おこしやす いから	教育や学習の 機会や場が充 実している から	東京が好きだ から	治安の面で安 心だから	人間関係がわ ずらわしくない から	その他	わからない
全 体	1,400	75.4	43.1	26.6	21.3	16.4	15.5	14.0	12.6	8.9	7.4	1.6	5.7
< 職 業 別 >													
自営・家族従業(計)	174	71.3	47.7	24.1	16.7	12.1	16.1	10.9	15.5	7.5	7.5	2.9	9.2
勤 め(計)	720	79.0	38.2	22.4	22.5	19.0	21.9	18.2	9.7	6.4	6.1	1.3	5.6
経 営 ・ 管 理 職	47	76.6	40.4	34.0	25.5	12.8	21.3	21.3	4.3	6.4	-	-	10.6
専 門 ・ 技 術 職	19	68.4	31.6	26.3	31.6	36.8	5.3	21.1	5.3	5.3	5.3	-	15.8
事 務 職	407	80.3	37.1	19.9	24.1	18.9	22.9	18.9	8.6	5.2	6.1	1.5	5.4
労 務 ・ 技 能 職	99	78.8	41.4	30.3	16.2	16.2	24.2	17.2	9.1	10.1	10.1	1.0	4.0
販売・サービス職	101	77.2	44.6	19.8	19.8	22.8	22.8	11.9	15.8	7.9	5.0	2.0	2.0
無職の主婦・主夫	292	71.6	53.1	36.0	21.2	11.6	4.5	9.2	15.4	15.4	11.0	1.4	4.8
学 生	43	81.4	30.2	11.6	44.2	32.6	16.3	20.9	16.3	-	-	4.7	4.7
そ の 他 の 無 職	146	66.4	45.9	39.0	13.0	13.0	6.2	4.1	15.1	13.0	8.2	2.1	3.4

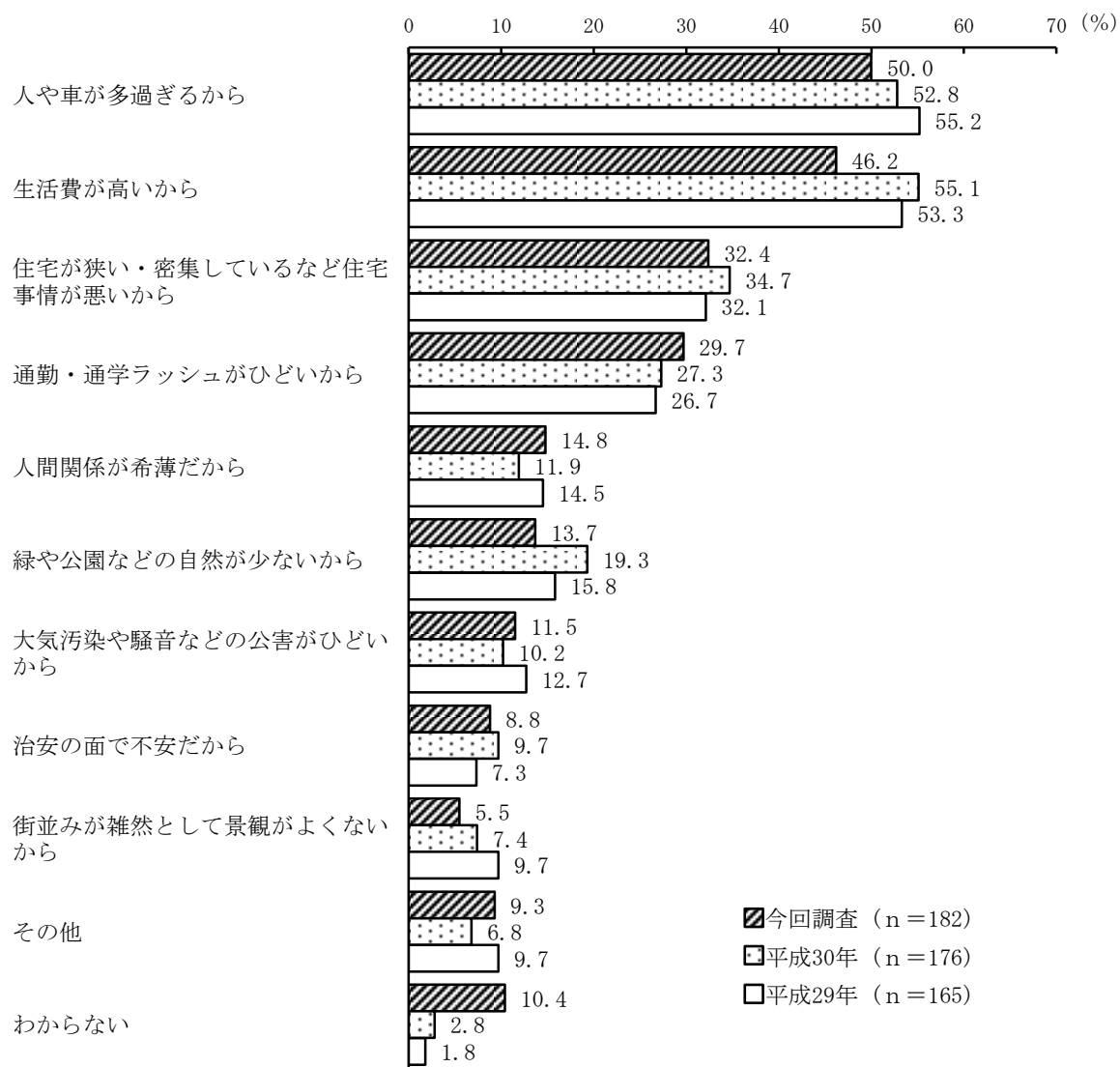
東京生まれか否か別にみると、東京生まれの人は東京以外生まれの人よりも「東京に長く暮らしているから」が23ポイント高くなっている。一方、東京以外生まれの人は東京生まれの人よりも「人間関係がわずらわしくないから」が5ポイント高くなっている。(図3-2-8)

図3-2-8 東京に住みたい理由－東京生まれか否か別



東京に住みたくない理由を過去との比較でみると、「人間関係が希薄だから」は昨年よりも3ポイント増加している。一方、「生活費が高いから」は昨年よりも9ポイント、「緑や公園などの自然が少ないから」は6ポイント減少している。(図3-2-9)

図3-2-9 東京に住みたくない理由—過去との比較



エリア別と性別にみると、特に大きな差はみられない。

年齢別にみると、「人間関係が希薄だから」は50代で2割半ばとなっている。（表3-2-3）

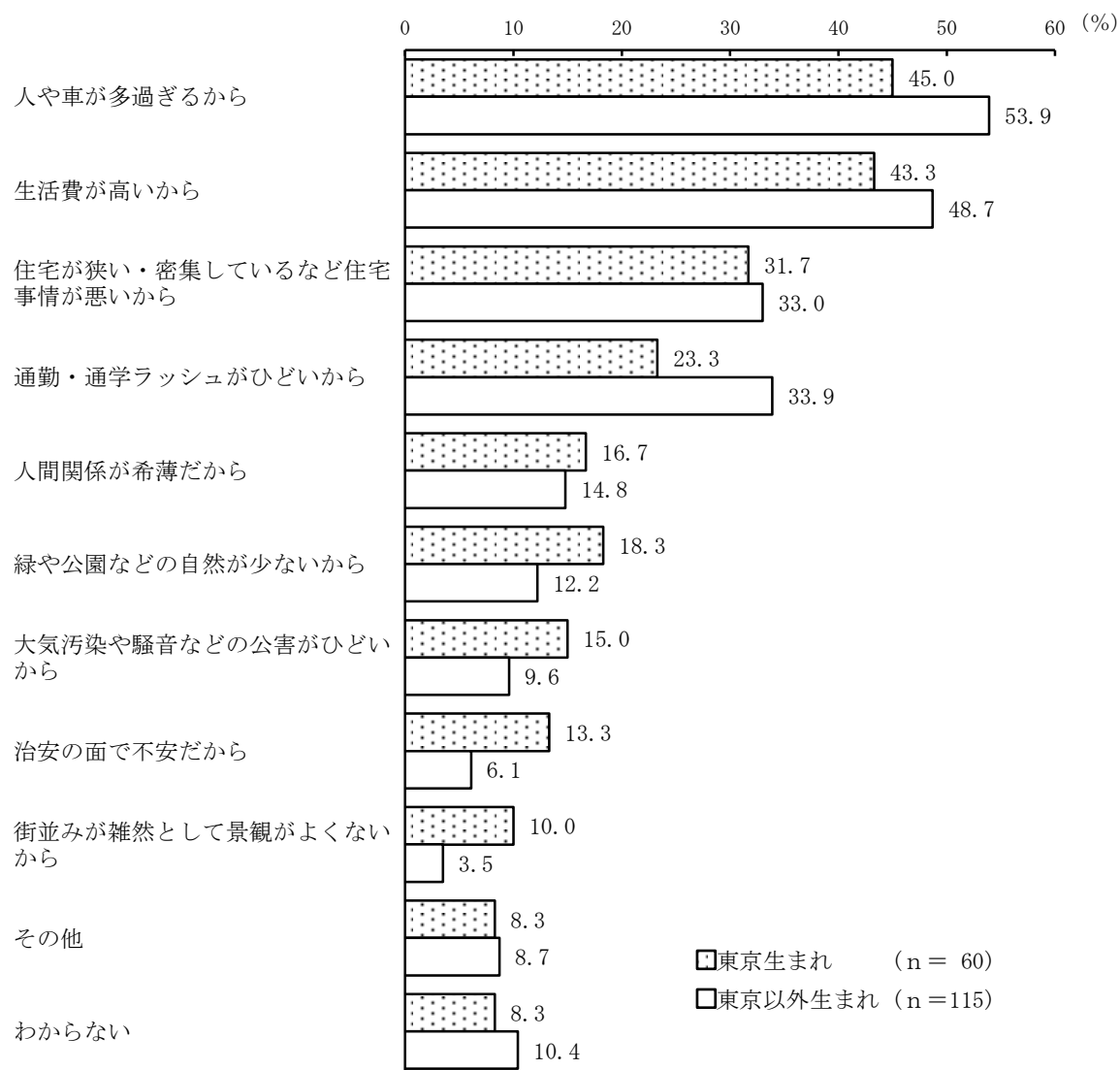
表3-2-3 東京に住みたくない理由－エリア別、性別、年齢別

(%)

	n	人や車が多過ぎるから	生活費が高いから	住宅が狭い・密集している	通勤・通学ラッシュがひどい	人間関係が希薄だから	緑や公園などの自然が少ない	大気汚染や騒音などの公害	治安の面で不安だから	街並みが雑然として景観がよくない	その他	わからない
全 体	182	50.0	46.2	32.4	29.7	14.8	13.7	11.5	8.8	5.5	9.3	10.4
< エ リ ア 別 >												
区 部 (計)	116	50.9	49.1	31.9	30.2	12.9	13.8	12.1	5.2	4.3	6.9	12.9
セ ン タ ー ・ コ ア	25	48.0	40.0	36.0	24.0	16.0	16.0	20.0	4.0	4.0	12.0	4.0
区 部 東 部 ・ 北 部	36	50.0	44.4	38.9	25.0	16.7	16.7	16.7	13.9	－	5.6	11.1
区 部 西 部 ・ 南 部	55	52.7	56.4	25.5	36.4	9.1	10.9	5.5	－	7.3	5.5	18.2
市 町 村 部 (計)	66	48.5	40.9	33.3	28.8	18.2	13.6	10.6	15.2	7.6	13.6	6.1
多 摩 東 部	23	52.2	43.5	30.4	26.1	4.3	17.4	13.0	13.0	8.7	4.3	13.0
多 摩 中 央 部 北	7	57.1	28.6	42.9	28.6	57.1	14.3	－	－	－	14.3	－
多 摩 中 央 部 南	32	46.9	43.8	34.4	34.4	9.4	9.4	9.4	18.8	6.3	21.9	3.1
多 摩 西 部 ・ 島 しょ	4	25.0	25.0	25.0	－	100.0	25.0	25.0	25.0	25.0	－	－
< 性 別 >												
男 性	98	52.0	54.1	28.6	34.7	14.3	16.3	12.2	13.3	7.1	6.1	6.1
女 性	84	47.6	36.9	36.9	23.8	15.5	10.7	10.7	3.6	3.6	13.1	15.5
< 年 齢 別 >												
18 ・ 19 歳	3	33.3	33.3	－	33.3	－	－	－	－	－	33.3	33.3
20 代	28	42.9	50.0	17.9	35.7	17.9	17.9	7.1	7.1	－	10.7	14.3
30 代	30	73.3	40.0	26.7	53.3	6.7	10.0	10.0	3.3	－	6.7	10.0
40 代	31	54.8	32.3	32.3	25.8	6.5	25.8	9.7	9.7	9.7	9.7	16.1
50 代	40	52.5	42.5	40.0	35.0	27.5	12.5	12.5	5.0	7.5	5.0	7.5
60 代	20	35.0	70.0	55.0	5.0	5.0	10.0	25.0	15.0	10.0	5.0	10.0
70 歳 以 上	30	36.7	53.3	30.0	13.3	20.0	6.7	10.0	16.7	6.7	16.7	3.3

東京生まれか否か別にみると、東京以外生まれの人は東京生まれの人より「通勤・通学ラッシュがひどいから」が11ポイント高くなっている。（図3-2-10）

図3-2-10 東京に住みたくない理由－東京生まれか否か別



4 都政への要望

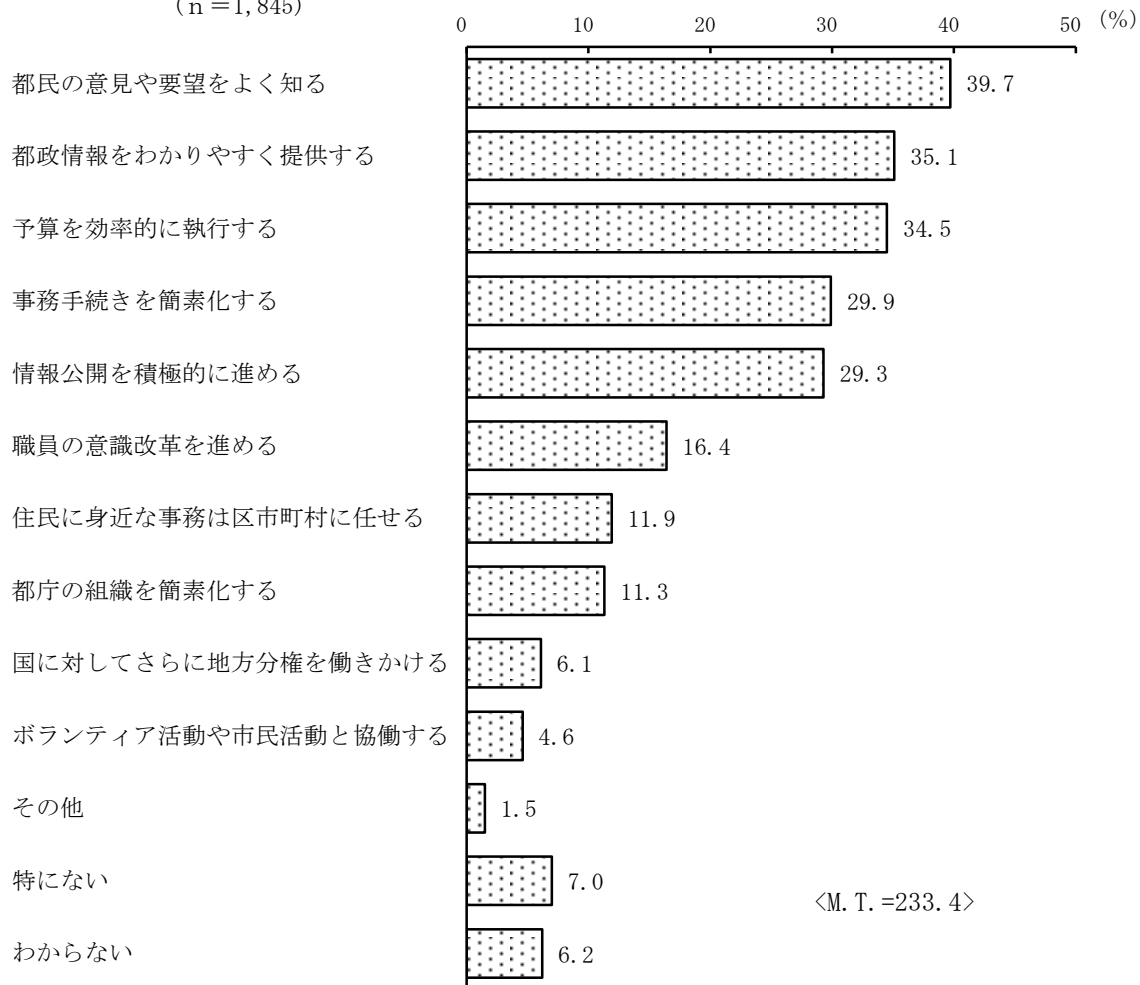
※4-1 これからの都政の進め方

図4-1-1

(全員に)

Q12 あなたは、これからの都政の進め方に対して、どんなことを望みますか。この中から特に望むことを3つまでお答えください。(3M. A.)

(n=1,845)

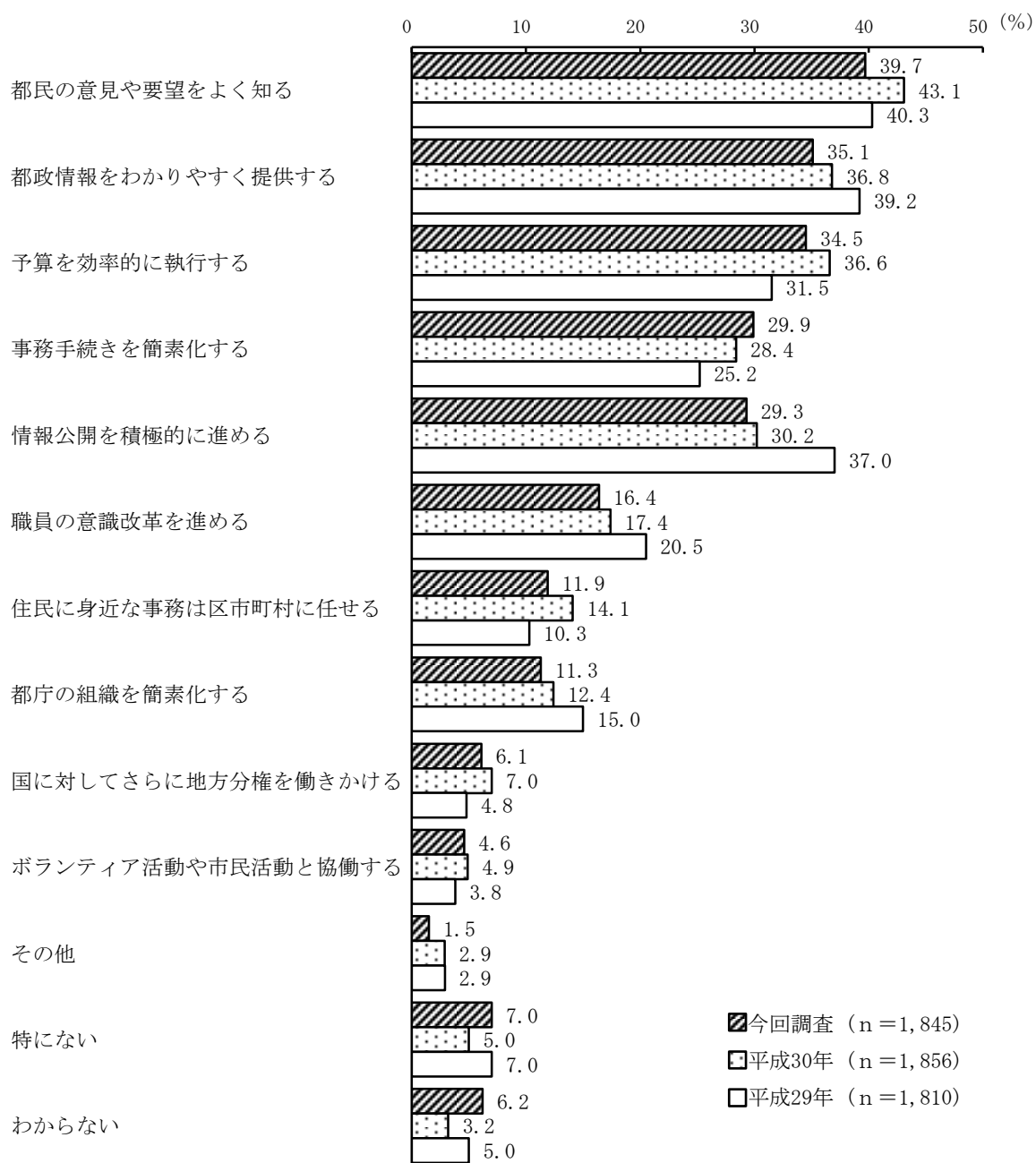


これからの都政の進め方に対して、特に望むことを3つまで選んでもらったところ、「都民の意見や要望をよく知る」が40%で最も多く、次いで「都政情報をわかりやすく提供する」、「予算を効率的に執行する」35%、「事務手続きを簡素化する」30%、「情報公開を積極的に進める」29%などの順となっている。(図4-1-1)

これからの都政の進め方を過去との比較でみると、「事務手続きを簡素化する」が昨年よりも2ポイント増加している。一方、「都民の意見や要望をよく知る」は昨年よりも3ポイント減少している。

(図4-1-2)

図4-1-2 これからの都政の進め方—過去との比較



エリア別にみると、「住民に身近な事務は区市町村に任せる」は市町村部（計）で1割半ばとなっている。

性・年齢別にみると、「都民の意見や要望をよく知る」は女性50代で5割を超えて多くなっている。「事務手続きを簡素化する」は男性40代で4割を超えて多くなっている。（表4-1-1）

表4-1-1 これからの都政の進め方－エリア別、性・年齢別

(%)

	n	都民の意見や要望をよく知る	都政情報をわかりやすく提供する	予算を効率的に執行する	事務手続きを簡素化する	情報公開を積極的に進める	職員の意識改革を進める	住民に身近な事務は区市町村に任せる	都庁の組織を簡素化する	国に対してさらに地方分権を働きかける	ボランティア活動や市民活動と協働する	その他	特にない	わからない
全体	1,845	39.7	35.1	34.5	29.9	29.3	16.4	11.9	11.3	6.1	4.6	1.5	7.0	6.2
< エリア別 >														
区部（計）	1,206	38.3	33.7	34.2	31.2	29.4	16.8	10.0	12.6	4.9	4.1	1.7	7.1	6.7
センター・コア	297	35.7	34.0	31.0	27.3	34.0	16.8	9.4	13.1	3.7	3.0	3.0	8.1	7.4
区部東部・北部	392	40.8	32.9	32.4	32.9	21.9	20.2	10.5	8.9	5.4	4.6	0.8	8.9	6.4
区部西部・南部	517	37.9	34.2	37.3	32.1	32.3	14.3	10.1	15.1	5.2	4.3	1.5	5.2	6.6
市町村部（計）	639	42.3	37.6	35.2	27.4	29.3	15.6	15.3	8.9	8.3	5.5	1.3	6.7	5.2
多摩東部	221	40.7	35.3	32.6	29.4	28.1	15.8	14.9	11.8	7.2	3.6	1.4	6.8	4.5
多摩中央部北	92	41.3	44.6	29.3	23.9	30.4	13.0	16.3	6.5	9.8	6.5	2.2	5.4	7.6
多摩中央部南	280	42.5	37.9	38.9	28.9	30.4	16.1	13.9	8.6	8.6	6.4	0.7	7.9	3.6
多摩西部・島しょ	46	50.0	32.6	37.0	15.2	26.1	17.4	23.9	2.2	8.7	6.5	2.2	2.2	13.0
< 性・年齢別 >														
男性（計）	929	36.9	32.9	38.2	29.4	28.7	17.1	10.7	13.3	6.9	4.0	2.2	7.5	5.8
18・19歳	8	50.0	50.0	12.5	25.0	50.0	-	-	12.5	-	-	-	12.5	12.5
20代	98	43.9	25.5	42.9	28.6	30.6	17.3	4.1	9.2	9.2	2.0	2.0	7.1	2.0
30代	152	34.2	30.9	42.8	32.9	32.2	13.8	5.9	7.9	5.3	3.3	4.6	7.2	8.6
40代	151	31.8	31.1	37.1	41.1	25.8	13.2	11.9	13.9	4.6	2.6	2.6	7.3	6.0
50代	177	39.5	38.4	41.8	30.5	25.4	18.1	11.3	12.4	7.9	5.1	0.6	6.8	6.2
60代	144	33.3	33.3	37.5	26.4	31.3	22.9	14.6	20.1	8.3	6.3	1.4	6.3	2.8
70歳以上	199	39.2	33.7	31.7	19.6	27.6	18.1	13.6	15.1	7.0	4.0	2.0	9.5	7.0
女性（計）	916	42.5	37.2	30.8	30.3	29.9	15.7	13.1	9.3	5.2	5.1	0.9	6.4	6.6
18・19歳	9	55.6	22.2	22.2	22.2	44.4	11.1	11.1	-	11.1	-	-	-	22.2
20代	116	39.7	32.8	31.0	29.3	27.6	7.8	5.2	8.6	4.3	4.3	0.9	9.5	11.2
30代	154	45.5	37.7	37.7	33.8	31.2	14.9	9.7	7.8	5.2	1.9	1.9	4.5	4.5
40代	150	43.3	38.0	35.3	36.7	31.3	17.3	12.7	9.3	2.7	4.0	2.0	2.7	6.7
50代	147	51.7	42.2	38.8	33.3	32.0	21.1	10.9	8.2	5.4	4.1	-	2.7	2.7
60代	120	40.0	37.5	27.5	27.5	37.5	15.0	12.5	12.5	6.7	6.7	-	6.7	6.7
70歳以上	220	35.9	35.9	19.5	24.1	23.2	16.4	21.8	10.0	6.4	8.6	0.5	11.4	7.3

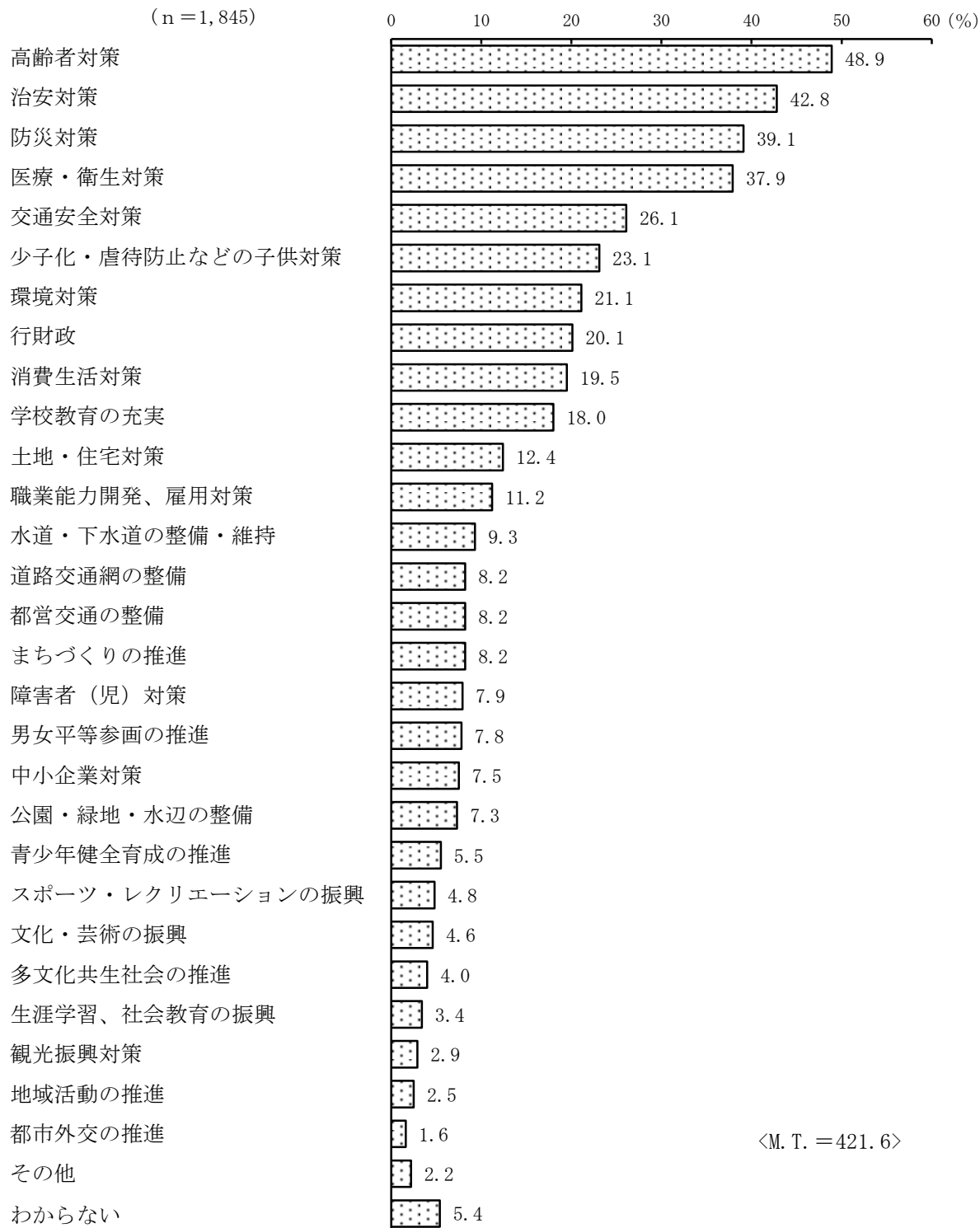
※4-2 都政への要望

図4-2-1

(全員に)

Q13 これからの都政全体について考えた場合、ここにあげてあることのどれに力を入れてほしいと思いますか。特に都に力を入れて取り組んでもらいたいものを5つまで選んでください。(5M. A.)

(n=1,845)

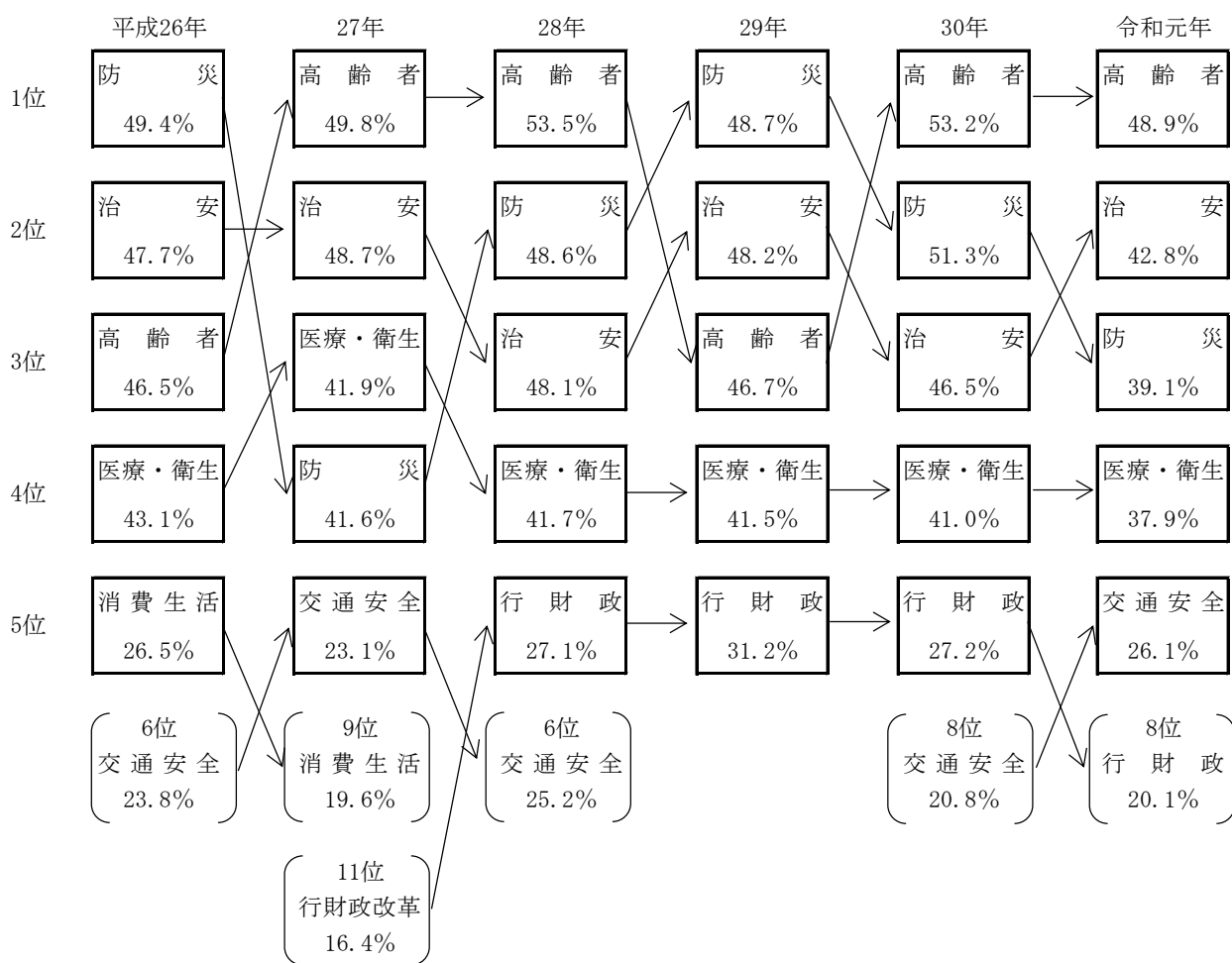


東京都が実施している諸施策をあげ、特に力を入れてほしい施策を5つまで選んでもらった。要望の上位5位は、第1位「高齢者対策」49%、第2位「治安対策」43%、第3位「防災対策」39%、第4位「医療・衛生対策」38%、第5位「交通安全対策」26%の順となっている。(図4-2-1)

都政への要望の経年変化をみると、「高齢者対策」は昨年同様、第1位だが4ポイント減少している。昨年第2位だった「防災対策」は12ポイント減少し、第3位となっており、昨年第8位の「交通安全」は5ポイント増加し、第5位となっている。昨年第5位の「行財政」は7ポイント減少し、第8位となっている。
(図4-2-2)

なお、都政への要望の昭和50年からの時系列比較を巻末の付属資料（P154 表4）に掲載している。

図4-2-2 都政への要望－上位5位の推移



(注) 平成28年から「行財政改革」を「行財政」、「市民活動の促進」を「地域活動の推進」に表現を変えている。

都政への要望をエリア別にみると、「高齢者対策」は全てで第1位となっている。「治安対策」は多摩西部・島しょを除き、第2位となっている。(表4-2-1)

表4-2-1 都政への要望上位5位－エリア別

(%)						
	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	1,845	高 齢 者 48.9	治 安 42.8	防 災 39.1	医 療 ・ 衛 生 37.9	交 通 安 全 26.1
区 部 (計)	1,206	高 齢 者 48.9	治 安 43.9	防 災 40.1	医 療 ・ 衛 生 38.6	交 通 安 全 25.8
センター・コア	297	高 齢 者 46.8	治 安 45.8	防 災 40.4	医 療 ・ 衛 生 36.7	交 通 安 全 22.9
区部東部・北部	392	高 齢 者 49.2	治 安 43.9	防 災 42.1	医 療 ・ 衛 生 37.0	交 通 安 全 29.1
区部西部・南部	517	高 齢 者 49.9	治 安 42.7	医 療 ・ 衛 生 40.8	防 災 38.5	交 通 安 全 25.0
市町村部 (計)	639	高 齢 者 49.0	治 安 40.7	防 災 37.2	医 療 ・ 衛 生 36.8	交 通 安 全 26.6
多 摩 東 部	221	高 齢 者 44.8	治 安 43.9	防 災 38.0	医 療 ・ 衛 生 34.4	交 通 安 全 27.6
多摩中央部北	92	高 齢 者 53.3	治 安 35.9	防 災 ／ 医 療 ・ 衛 生 31.5		子 供 対 策 29.3
多摩中央部南	280	高 齢 者 49.3	治 安 39.6	防 災 38.9	医 療 ・ 衛 生 37.5	交 通 安 全 28.2
多 摩 西 部 ・ 島 し ょ	46	高 齢 者 58.7	医 療 ・ 衛 生 54.3	治 安 41.3	防 災 34.8	環 境 対 策 ／ 学 校 教 育 30.4

* 子供対策：少子化・虐待防止などの子供対策

性・年齢別にみると、「高齢者対策」は、男女とも50代以上で第1位となっている。「治安対策」は、男性30代、40代、女性20代、40代で第1位となっている。「防災対策」は男性20代で第1位となっている。
(表4-2-2)

表4-2-2 都政への要望上位5位－性・年齢別

(%)

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	1,845	高 齢 者 48.9	治 安 42.8	防 災 39.1	医 療・衛 生 37.9	交 通 安 全 26.1
男 性 (計)	929	高 齢 者 48.1	治 安 42.9	防 災 38.0	医 療・衛 生 34.2	交 通 安 全 27.1
18・19 歳	8	交 通 安 全 / 防 災 / 高 齢 者 50.0			環 境 37.5	行 財 政 な ど 計 8 項 目 * 25.0
20 代	98	防 災 35.7	交 通 安 全 28.6	行 財 政 26.5	医 療・衛 生 24.5	治 安 23.5
30 代	152	治 安 48.7	防 災 32.9	子 供 対 策 32.2	医 療・衛 生 30.9	学 校 教 育 28.3
40 代	151	治 安 47.0	防 災 38.4	高 齢 者 37.7	交 通 安 全 33.8	子 供 対 策 / 学 校 教 育 28.5
50 代	177	高 齢 者 53.7	防 災 46.3	治 安 43.5	医 療・衛 生 32.2	環 境 28.8
60 代	144	高 齢 者 70.1	治 安 44.4	医 療・衛 生 34.7	防 災 34.0	行 財 政 29.9
70 歳 以 上	199	高 齢 者 69.3	医 療・衛 生 48.7	治 安 44.2	防 災 37.7	交 通 安 全 24.1
女 性 (計)	916	高 齢 者 49.8	治 安 42.6	医 療・衛 生 41.7	防 災 40.3	子 供 対 策 26.5
18・19 歳	9	学 校 教 育 66.7	治 安 44.4	防 災 / 高 齢 者 / 子 供 対 策 33.3		
20 代	116	治 安 41.4	防 災 36.2	子 供 対 策 33.6	医 療・衛 生 31.9	交 通 安 全 / 職 業 能 力 開 発、雇 用 26.7
30 代	154	子 供 対 策 45.5	治 安 40.3	防 災 35.1	医 療・衛 生 34.4	学 校 教 育 32.5
40 代	150	治 安 49.3	防 災 46.0	高 齢 者 / 医 療・衛 生 42.0		交 通 安 全 / 学 校 教 育 29.3
50 代	147	高 齢 者 57.1	防 災 45.6	医 療・衛 生 41.5	治 安 38.8	交 通 安 全 29.3
60 代	120	高 齢 者 69.2	治 安 / 防 災 46.7		医 療・衛 生 45.8	消 費 生 活 22.5
70 歳 以 上	220	高 齢 者 72.7	医 療・衛 生 50.5	治 安 40.5	防 災 35.5	消 費 生 活 22.3

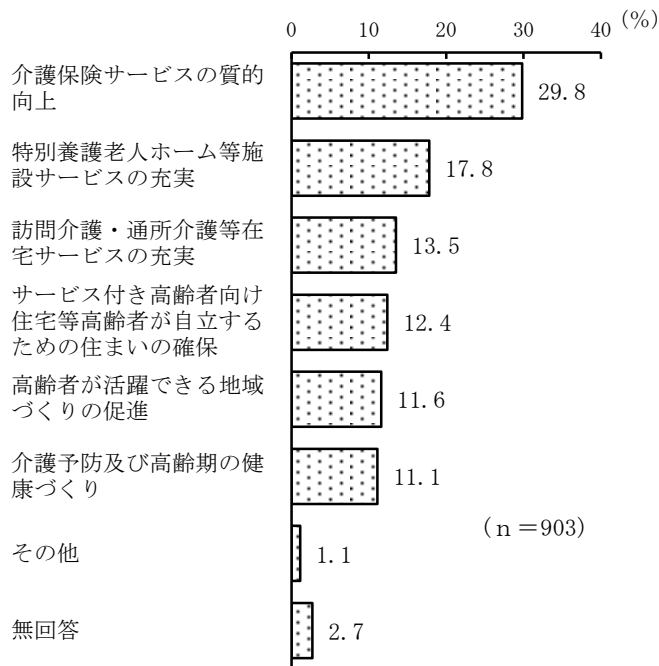
* 「行財政」「治安」「職業能力開発、雇用対策」「男女平等参画の推進」「障害者（児）対策」「少子化・虐待防止などの子供対策」「医療・衛生」「学校教育の充実」

4-3 具体的な要望施策

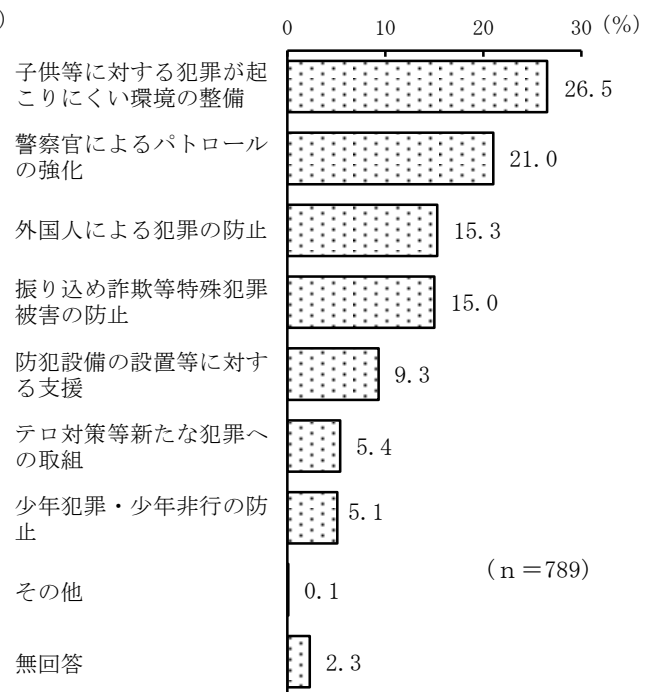
5つまで選んでもらった要望の各分野について、具体的な内容を示して1つだけ答えてもらった結果が図4-3である。(図4-3)

図4-3 具体的な要望施策

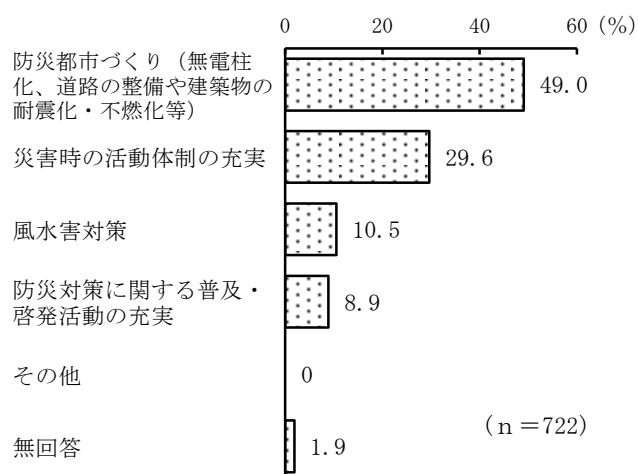
1 高齢者対策



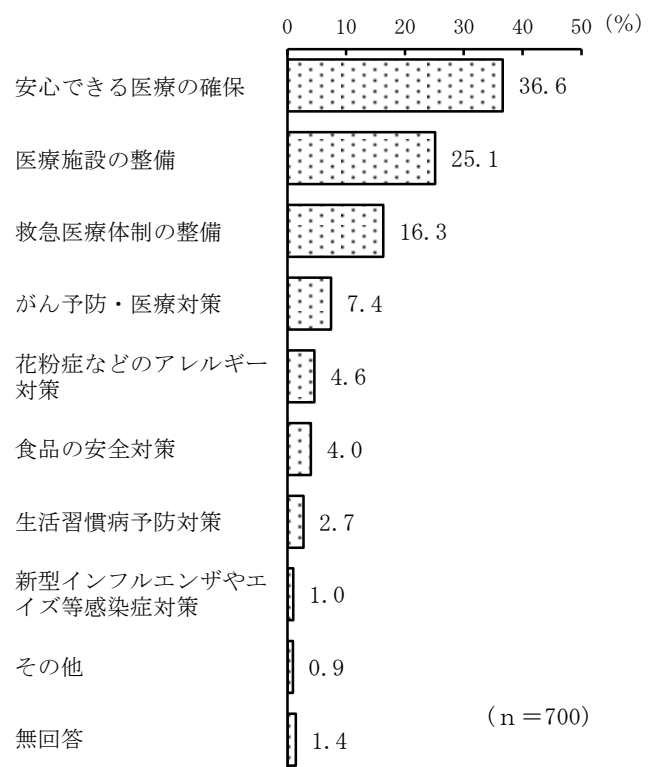
2 治安対策



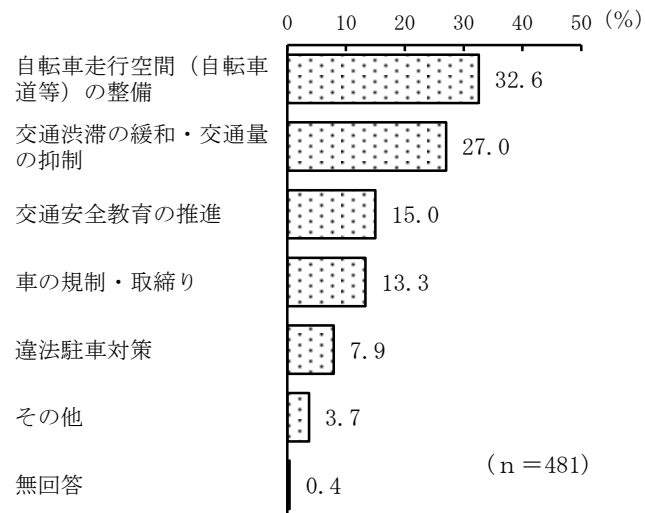
3 防災対策



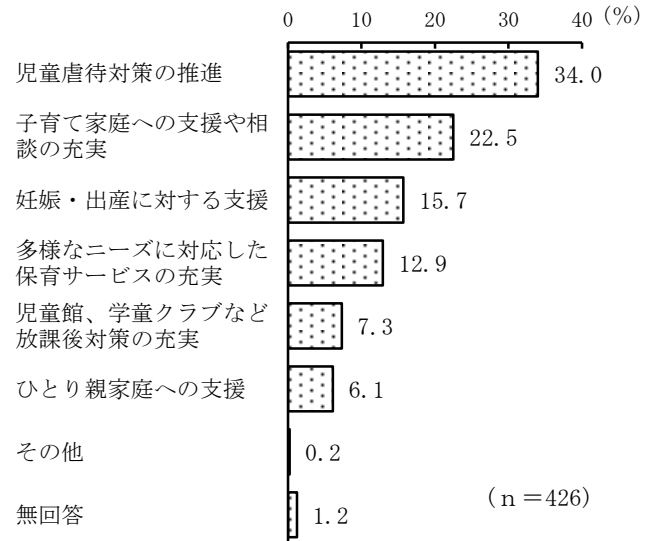
4 医療・衛生対策



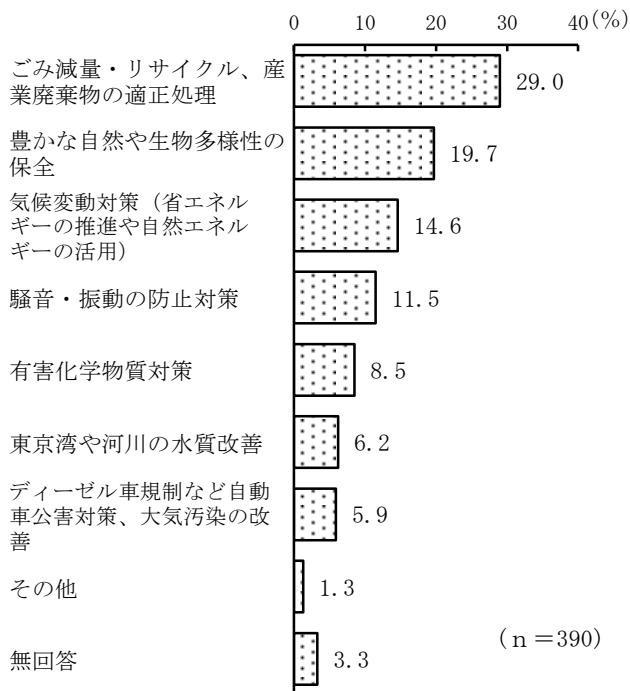
5 交通安全対策



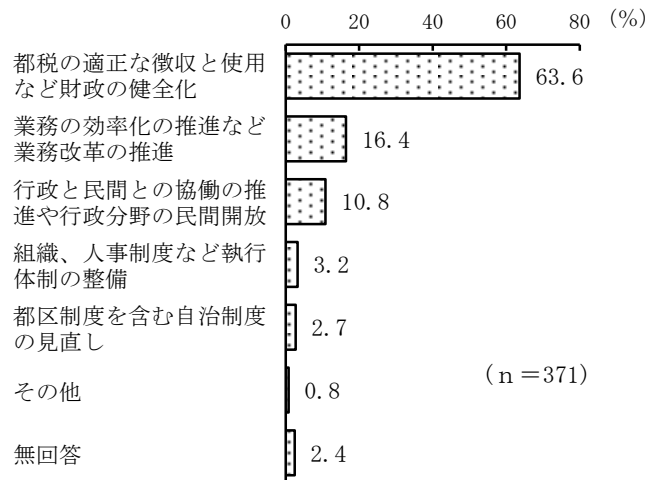
6 少子化・虐待防止などの子供対策



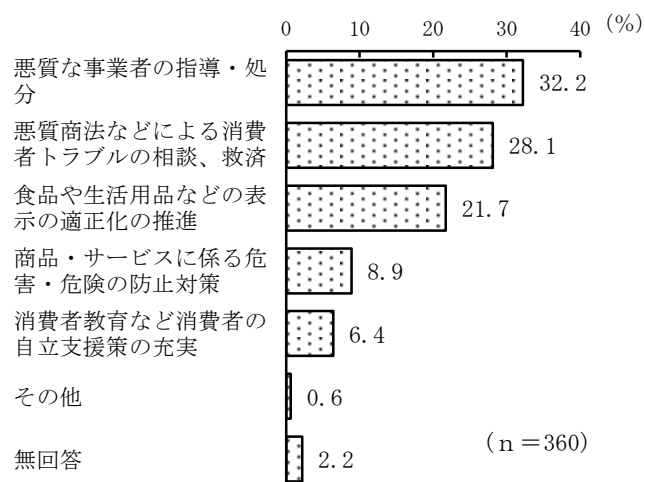
7 環境対策



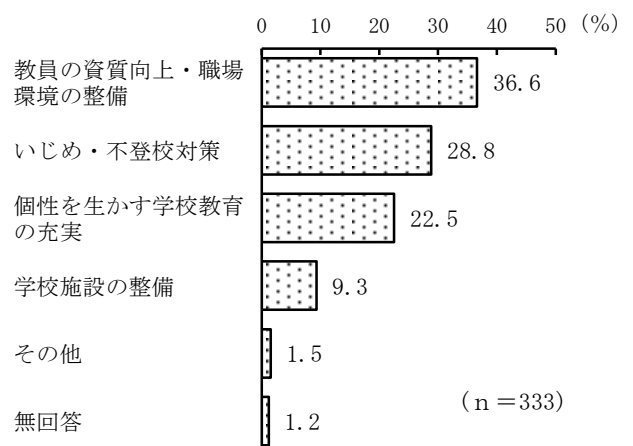
8 行財政



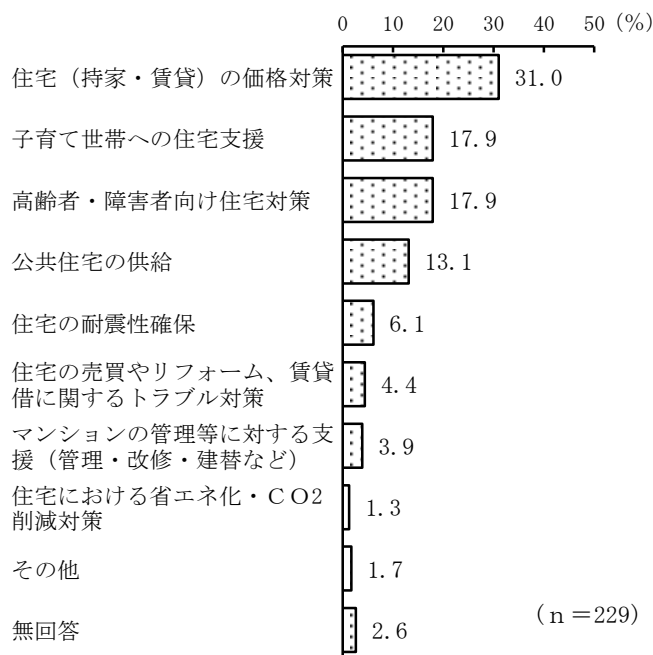
9 消費生活対策



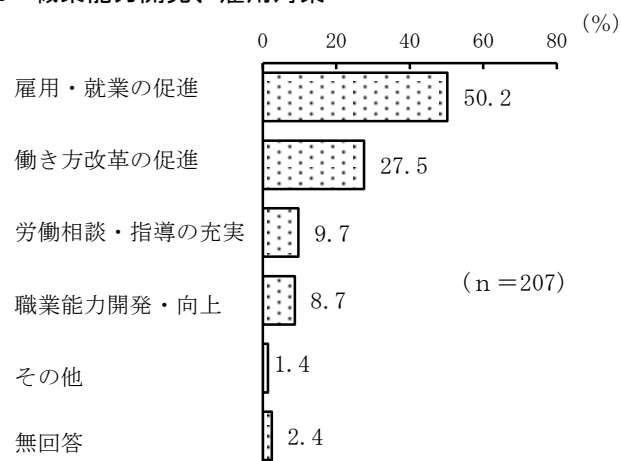
10 学校教育の充実



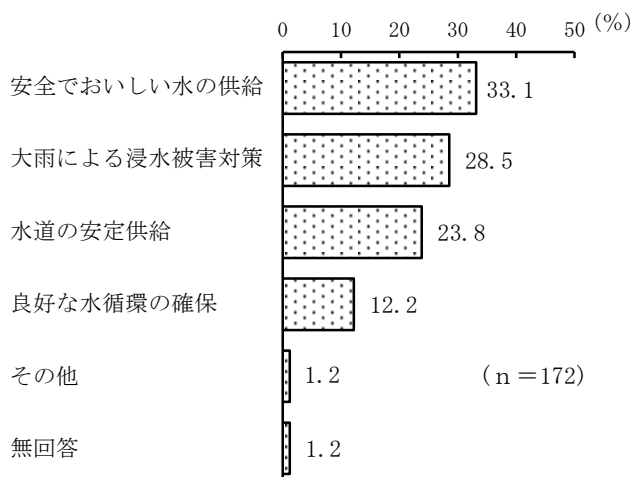
11 土地・住宅対策



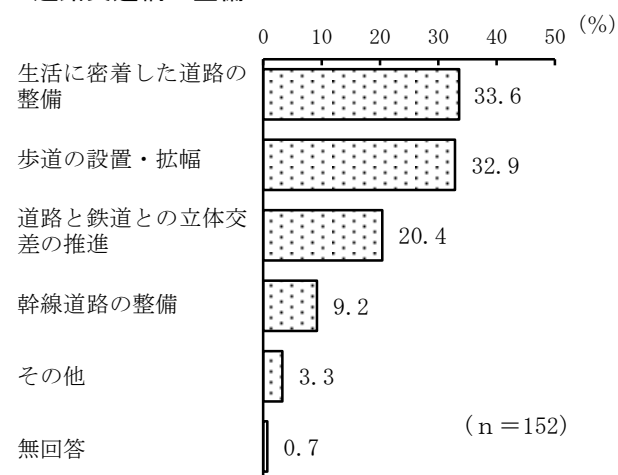
12 職業能力開発、雇用対策



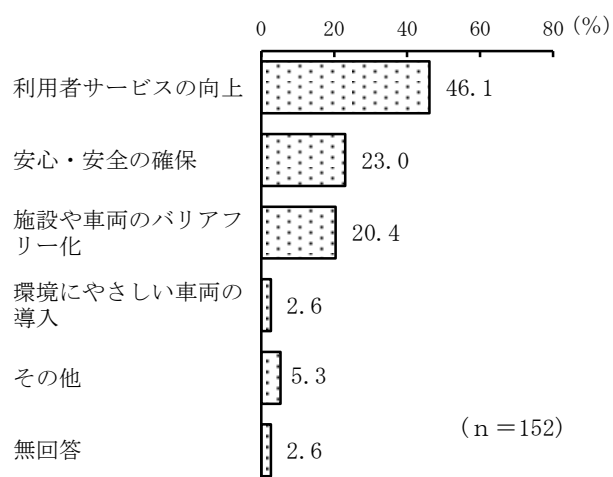
13 水道・下水道の整備・維持



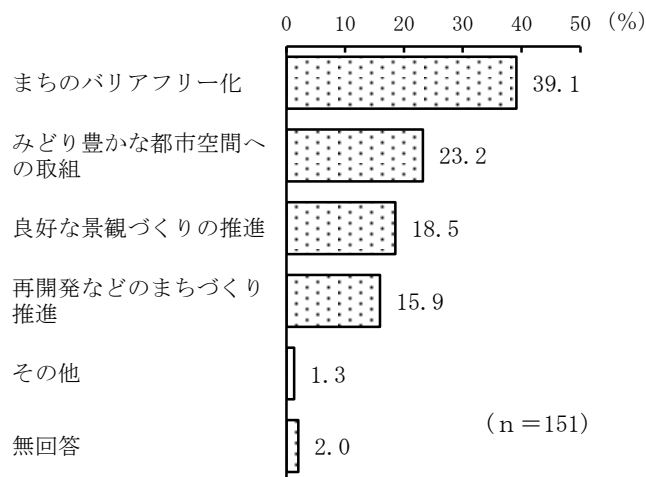
14 道路交通網の整備



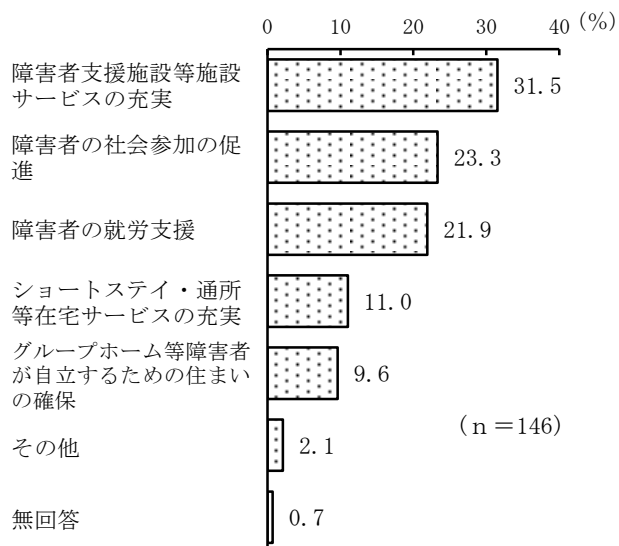
15 都営交通の整備



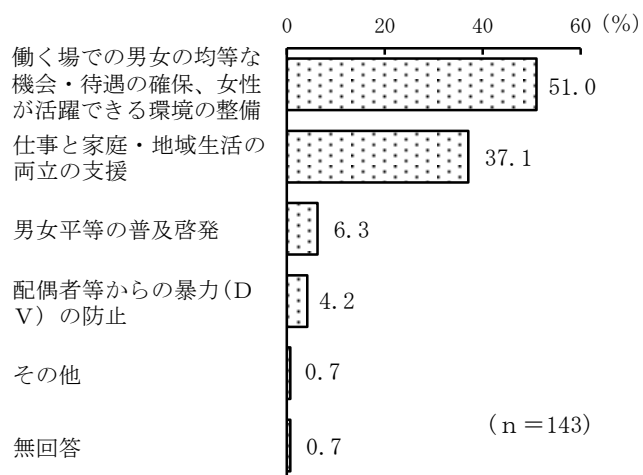
16 まちづくりの推進



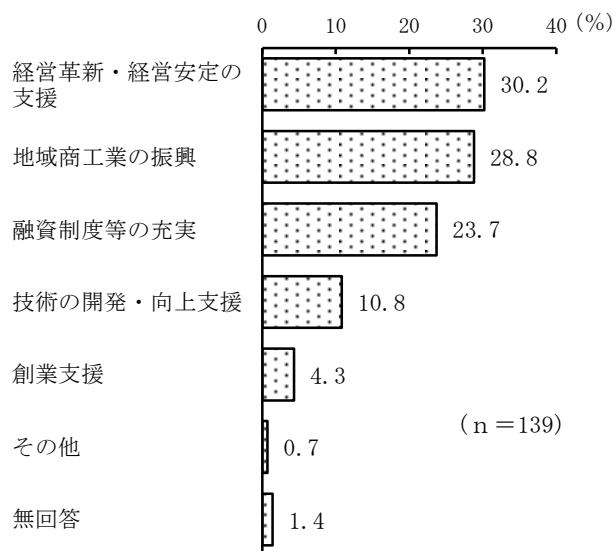
17 障害者（児）対策



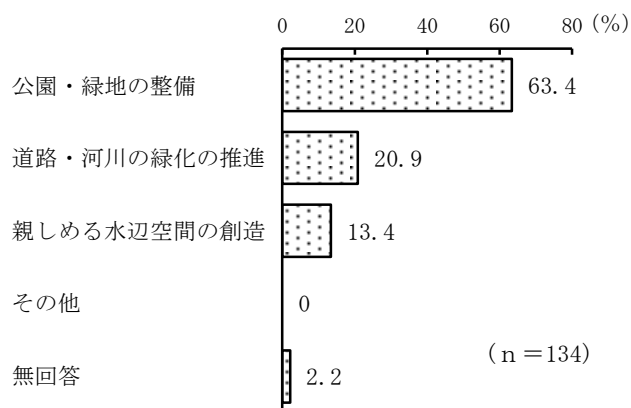
18 男女平等参画の推進



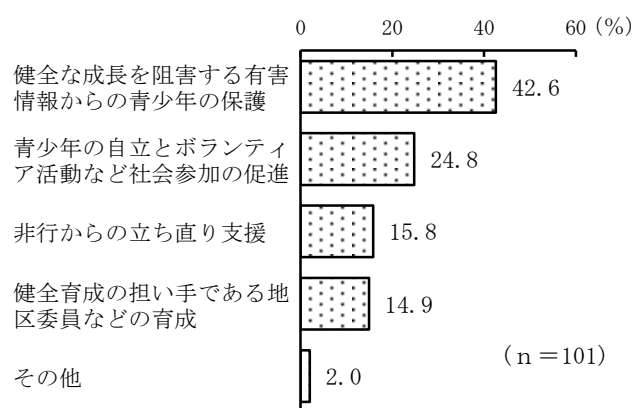
19 中小企業対策



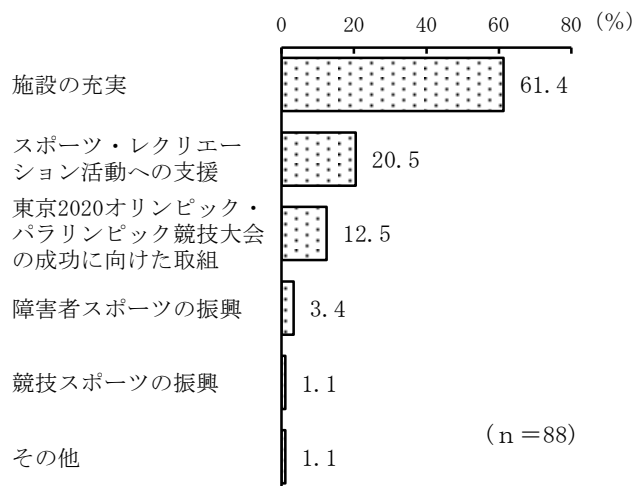
20 公園・緑地・水辺の整備



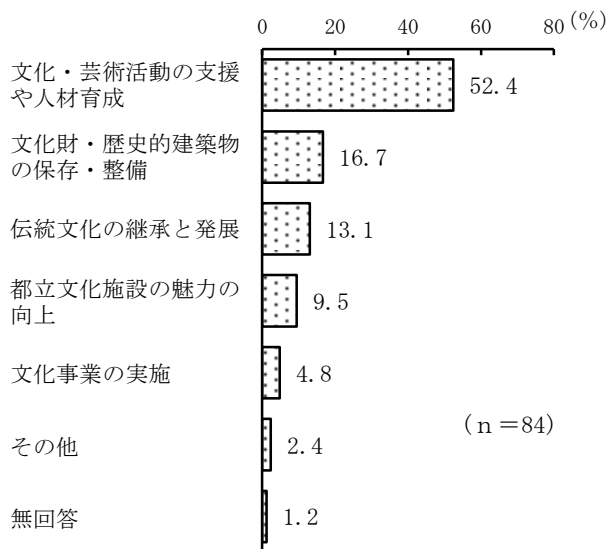
21 青少年健全育成の推進



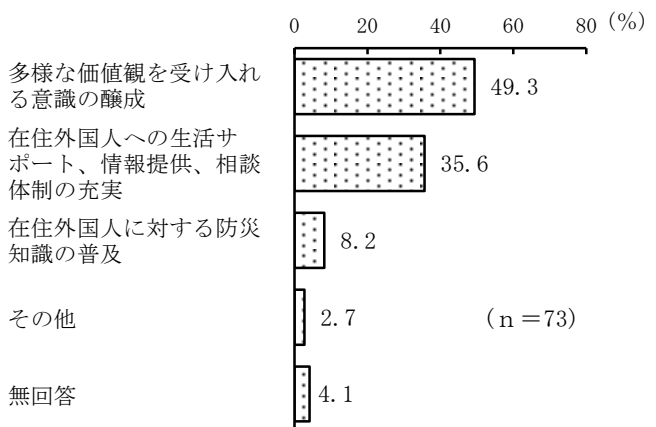
22 スポーツ・レクリエーションの振興



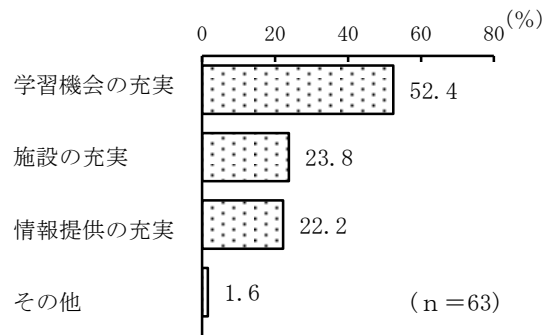
23 文化・芸術の振興



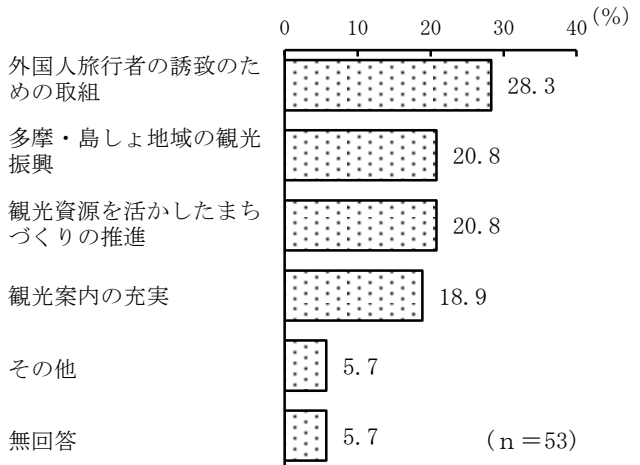
24 多文化共生社会の推進



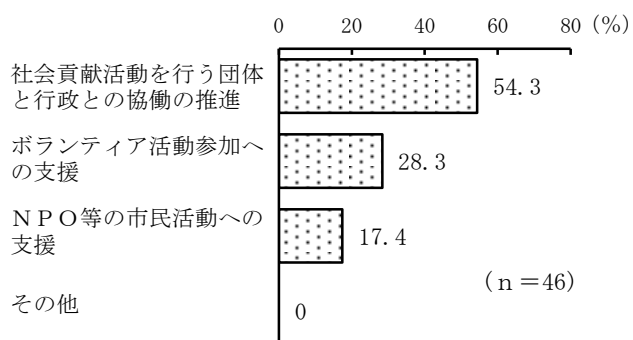
25 生涯学習、社会教育の振興



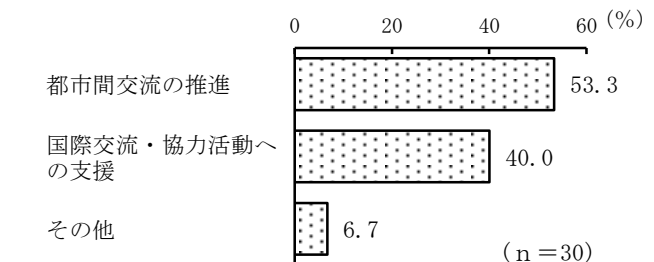
26 観光振興対策



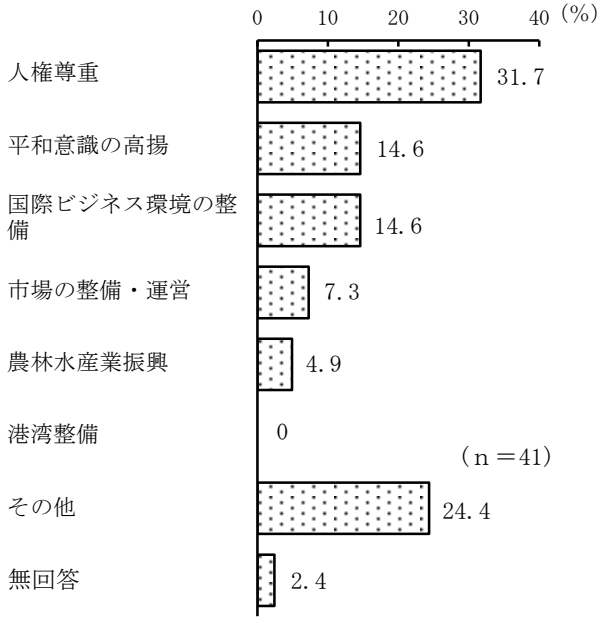
27 地域活動の推進



28 都市外交の推進



29 その他



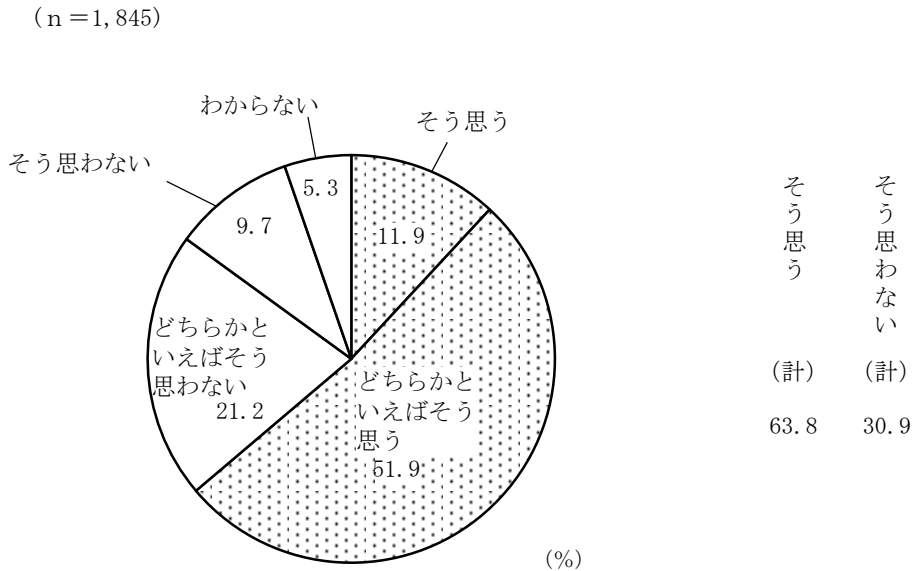
5 人権

※5-1 日本社会の人権尊重の有無

図5-1-1

(全員に)

Q14 あなたは、今の日本は、人権が尊重されている社会だと思いますか。



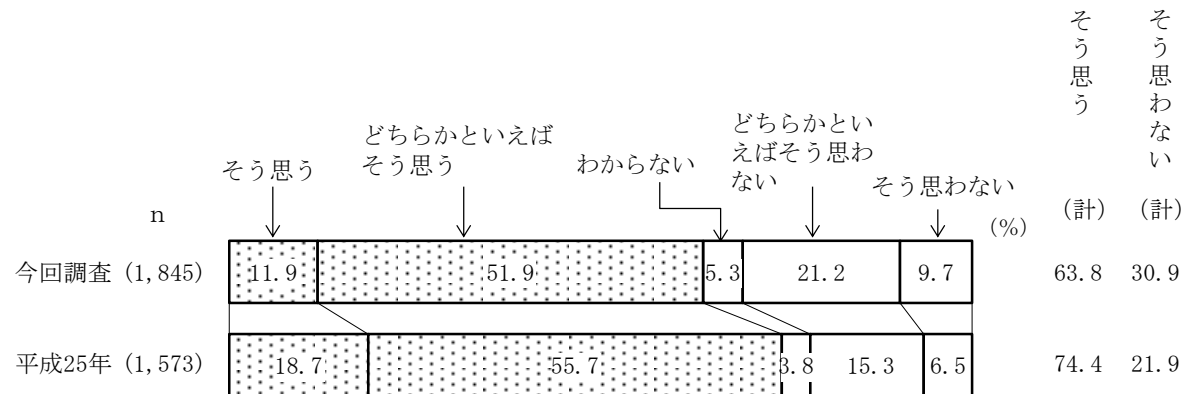
(注) 『そう思う (計)』は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計

『そう思わない (計)』は「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計

今の日本は、人権が尊重されている社会であるかについては、『そう思う (計)』は64%、『そう思わない (計)』は31%となっている。(図5-1-1)

日本社会の人権尊重の有無を平成25年11月に実施した「人権に関する世論調査」と比較すると、『そう思う (計)』は11ポイント減少し、『そう思わない (計)』が9ポイント増加している。(図5-1-2)

図5-1-2 日本社会の人権尊重の有無—過去との比較



(注) 平成25年は「人権に関する世論調査」(平成25年11月調査)

エリア別にみると、特に大きな差はみられない。

性・年齢別にみると、『そう思う（計）』は男性で7割近くと多く、女性よりも9ポイント高くなっている。一方、『そう思わない（計）』は女性60代で4割半ばと多くなっている。（図5-1-3）

図5-1-3 日本社会の人権尊重の有無－エリア別、性・年齢別

図5-1-3 日本社会の人権尊重の有無－エリア別、性・年齢別

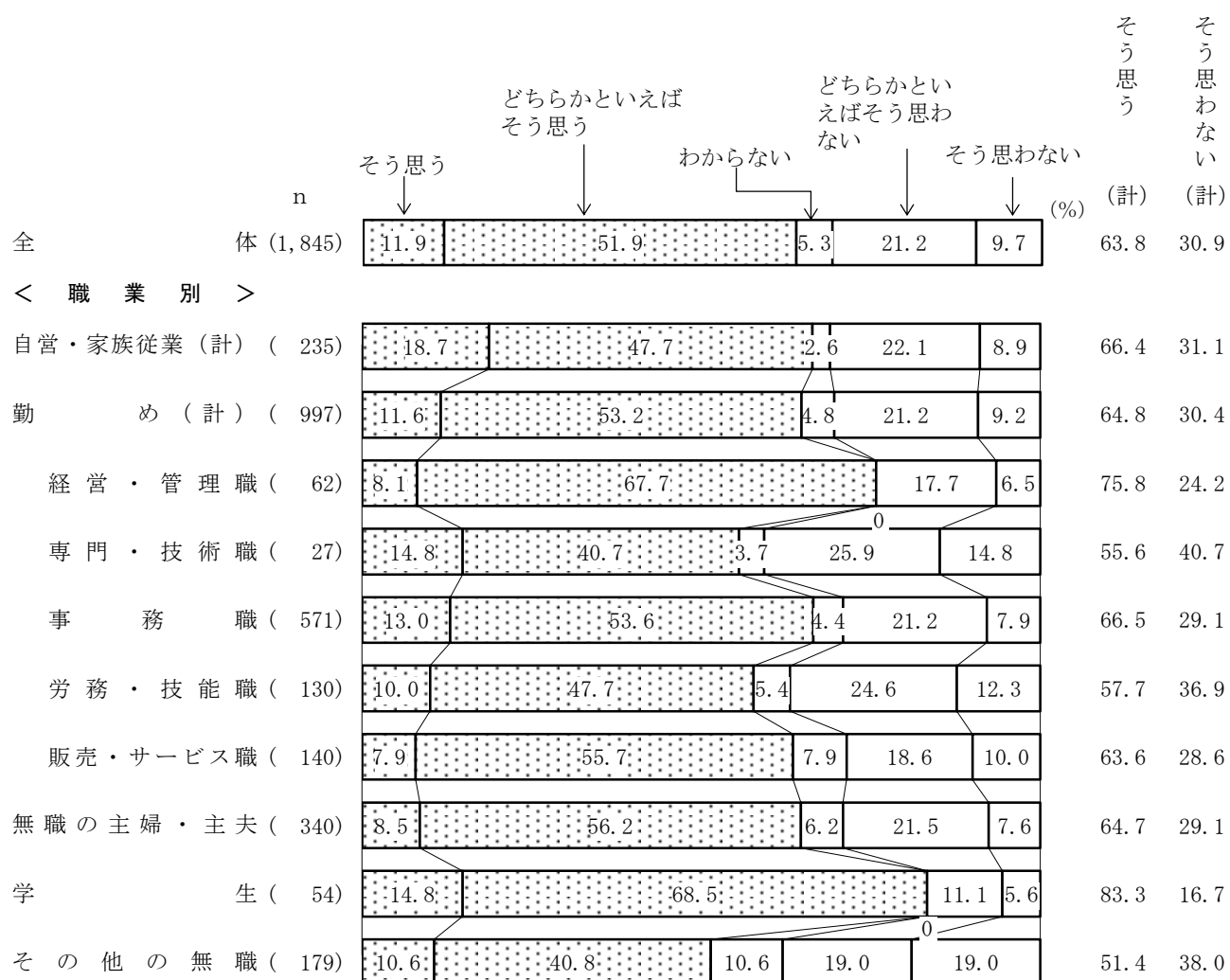
			どちらかといえ ばそう思う		どちらかとい えばそう思わ ない		そう思う		そう思わ ない		
	n		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	(%)	(計)
全	体 (1,845)		11.9	51.9	5.3	21.2	9.7				63.8
< エリア別 >											
区	部 (計) (1,206)		11.9	50.6	6.2	21.7	9.6				62.4
	センター・コア (297)		13.5	48.1	6.1	22.2	10.1				61.6
	区部東部・北部 (392)		11.7	50.3	7.1	20.9	9.9				62.0
	区部西部・南部 (517)		11.0	52.2	5.6	22.1	9.1				63.2
市町村部	(計) (639)		11.9	54.5	3.4	20.3	9.9				66.4
	多摩東部 (221)		10.0	55.7	3.2	24.0	7.2				65.6
	多摩中央部北 (92)		15.2	54.3	3.3	17.4	9.8				69.6
	多摩中央部南 (280)		11.4	55.0	3.6	17.9	12.1				66.4
	多摩西部・島しょ (46)		17.4	45.7	4.3	23.9	8.7				63.0
< 性・年齢別 >											
男	性 (計) (929)		16.5	51.6	3.3	19.3	9.4				68.0
	18・19歳 (8)		0	75.0	0	25.0	0				75.0
	20代 (98)		19.4	50.0	3.1	19.4	8.2				69.4
	30代 (152)		19.7	51.3	5.3	15.1	8.6				71.1
	40代 (151)		13.9	55.6	3.3	15.9	11.3				69.5
	50代 (177)		13.0	52.0	2.8	24.3	7.9				65.0
	60代 (144)		13.9	52.8	2.1	23.6	7.6				66.7
	70歳以上 (199)		20.1	47.2	3.5	18.1	11.1				67.3
女	性 (計) (916)		7.2	52.3	7.2	23.3	10.0				59.5
	18・19歳 (9)		11.1	77.8	0	0	11.1				88.9
	20代 (116)		3.4	50.0	8.6	26.7	11.2				53.4
	30代 (154)		10.4	49.4	7.1	24.0	9.1				59.7
	40代 (150)		8.7	52.0	7.3	24.0	8.0				60.7
	50代 (147)		4.8	59.9	3.4	20.4	11.6				64.6
	60代 (120)		5.0	45.8	5.0	35.0	9.2				50.8
	70歳以上 (220)		8.6	53.2	10.5	16.8	10.9				61.8

（注）『そう思う（計）』は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計

『そう思わない（計）』は「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計

職業別にみると、『そう思う（計）』は学生で8割を超えて多くなっている。（図5-1-4）

図5-1-4 日本社会の人権尊重の有無－職業別



(注)『そう思う（計）』は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計

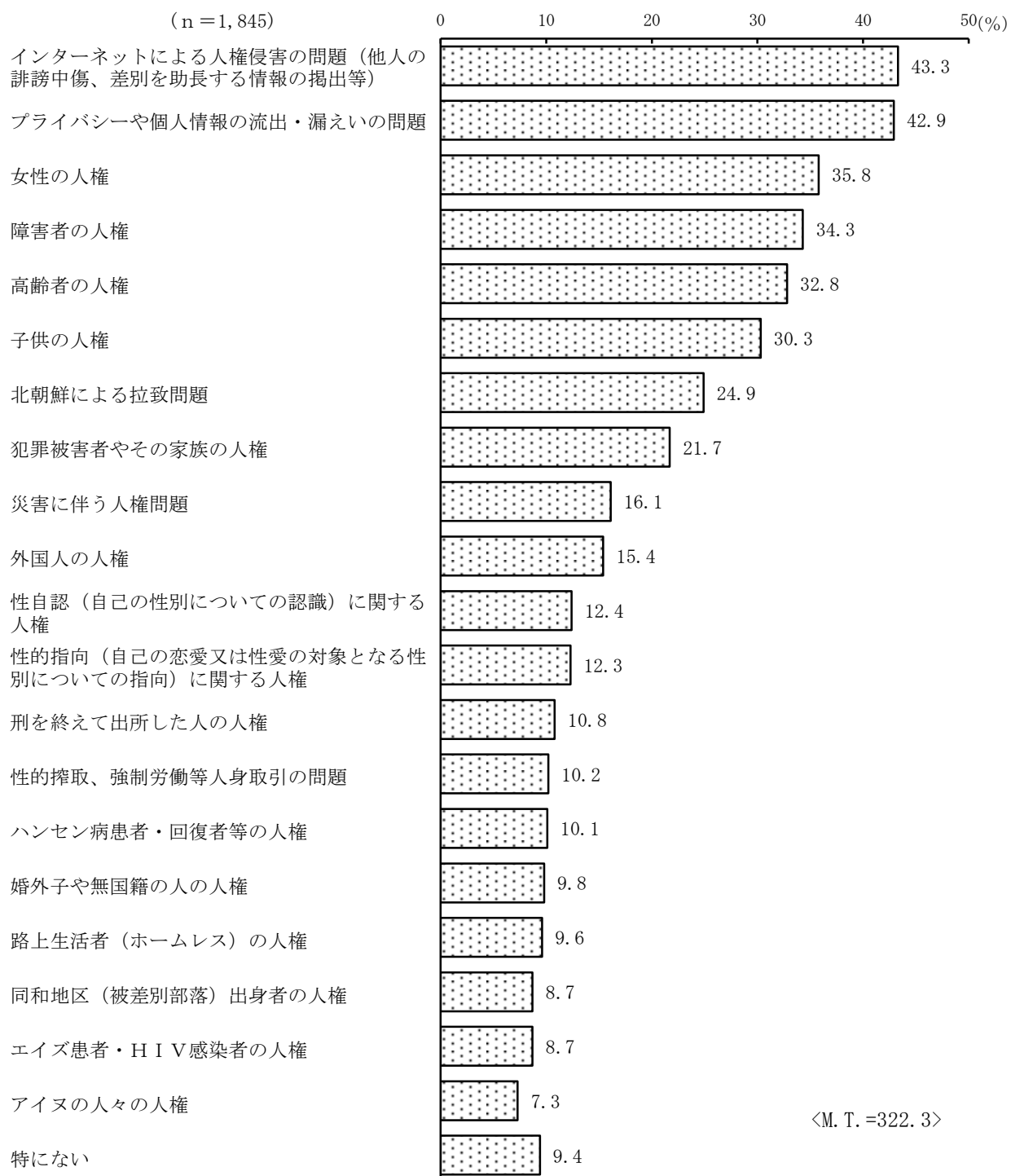
『そう思わない（計）』は「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の合計

※5-2 関心のある人権問題

図5-2-1

(全員に)

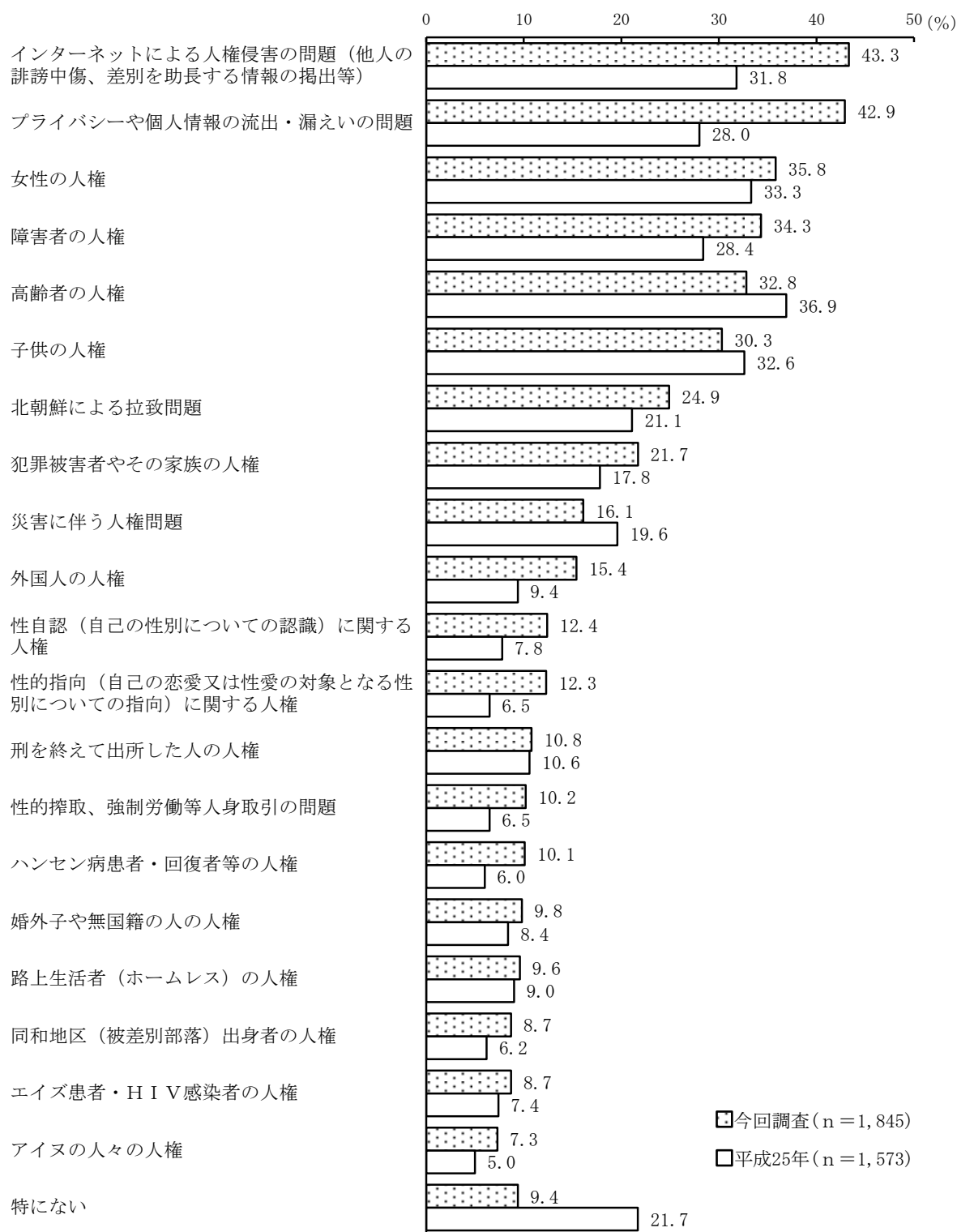
Q15 人権に関わる問題のうち、あなたが関心のあるものをすべてお答えください。(M. A.)



人権に関わる問題で関心のあるものは、「インターネットによる人権侵害の問題 (他人の誹謗中傷、差別を助長する情報の掲出等)」、「プライバシーや個人情報の流出・漏えいの問題」が43%で最も多く、次いで「女性の人権」36%、「障害者の人権」34%、「高齢者の人権」33%などの順となっている。(図5-2-1)

関心のある人権問題を過去との比較でみると、「プライバシーや個人情報の流出・漏えいの問題」が15ポイント、「インターネットによる人権侵害の問題（他人の誹謗中傷、差別を助長する情報の掲出等）」が12ポイント増加している。一方、「高齢者の人権」は4ポイント減少している。（図5-2-2）

図5-2-2 関心のある人権問題－過去との比較



（注1）平成25年の調査では「性自認（自己の性別についての認識）に関する人権」を「性同一性障害（生物学的性と心の性が一致しない状態にある人）に関する人権」、「性的指向（自己の恋愛又は性愛の対象となる性別についての指向）に関する人権」を「性的指向（同性愛・両性愛等）に関する人権」、「災害に伴う人権問題」を「震災に伴う人権問題」と表現していた。

（注2）平成25年は「人権に関する世論調査」（平成25年11月調査）

関心のある人権問題（上位15位）について、エリア別にみると、「女性の人権」は区部西部・南部で4割を超えて多くなっている。

性・年齢別にみると、「女性の人権」は女性で4割半ばと多く、特に女性20代から50代で5割から6割と多くなっている。「高齢者の人権」は男性70歳以上、女性60代以上で4割から5割と多くなっている。

（表5－2－1）

表5－2－1 関心のある人権問題（上位15位）－エリア別、性・年齢別

(%)

	n	人 の 誹 謗 ネ ッ ト に よ る 人 権 侵 害 の 問 題 （ 他 の 差 別 を 助 長 す る 情 報 の 掲 出 等 ）	プ ラ イ バ シ ー や 個 人 情 報 の 流 出 ・ 漏 え い の 問 題	女 性 の 人 権	障 害 者 の 人 権	高 齢 者 の 人 権	子 供 の 人 権	北 朝 鮮 に よ る 拉 致 問 題	犯 罪 被 害 者 や そ の 家 族 の 人 権	災 害 に 伴 う 人 権 問 題	外 国 人 の 人 権	性 自 認 （ 自 己 の 性 別 に つ い て の 認 識 ） に 関 する 人 権	性 的 指 向 （ 自 己 の 恋 愛 又 は 性 愛 の 対 象 と な る 性 別 に つ い て の 指 向 ） に 関 する 人 権	刑 を 終 え て 出 所 し た 人 の 人 権	性 的 搾 取 、 強 制 労 働 等 人 身 取 引 の 問 題	ハ ン セ ン 病 患 者 ・ 回 復 者 等 の 人 権
全 体	1,845	43.3	42.9	35.8	34.3	32.8	30.3	24.9	21.7	16.1	15.4	12.4	12.3	10.8	10.2	10.1
< エリア別 >																
区 部（計）	1,206	42.7	43.3	36.2	33.9	33.4	30.3	25.0	21.2	16.1	15.8	12.6	12.3	10.0	10.4	10.2
センター・コア	297	45.5	43.8	33.3	36.4	34.0	29.0	26.9	23.9	15.2	14.5	13.1	11.1	10.8	12.8	12.8
区部東部・北部	392	39.0	42.9	29.8	27.6	30.1	26.0	22.4	21.7	14.8	13.8	9.4	11.0	9.4	6.6	6.9
区部西部・南部	517	43.9	43.3	42.6	37.3	35.6	34.4	25.7	19.3	17.6	18.2	14.7	13.9	10.1	11.8	11.2
市町村部（計）	639	44.4	42.3	35.1	34.9	31.8	30.2	24.9	22.7	16.1	14.7	11.9	12.4	12.4	10.0	9.9
多摩東部	221	42.5	43.9	35.7	33.5	27.6	27.6	25.3	19.9	10.9	15.8	13.1	12.7	11.3	8.1	14.5
多摩中央部北	92	47.8	35.9	30.4	28.3	30.4	25.0	21.7	18.5	14.1	9.8	10.9	8.7	4.3	9.8	5.4
多摩中央部南	280	44.6	44.3	37.9	39.6	35.4	34.3	24.6	25.4	21.1	16.1	12.9	14.6	15.0	11.4	8.6
多摩西部・島しょ	46	45.7	34.8	23.9	26.1	32.6	28.3	30.4	28.3	15.2	10.9	2.2	4.3	17.4	10.9	4.3
< 性・年齢別 >																
男 性（計）	929	44.6	40.6	25.7	34.6	29.6	28.6	24.4	22.3	15.2	17.2	10.7	9.9	11.1	10.5	10.5
18 ・ 19 歳	8	50.0	50.0	25.0	50.0	12.5	－	25.0	37.5	37.5	37.5	12.5	－	12.5	12.5	－
20 代	98	44.9	44.9	20.4	32.7	8.2	29.6	12.2	24.5	13.3	23.5	19.4	24.5	19.4	5.1	9.2
30 代	152	52.6	46.7	28.3	27.0	13.8	27.6	13.8	22.4	9.9	20.4	13.8	13.8	14.5	9.2	7.2
40 代	151	47.0	42.4	29.1	33.1	24.5	39.7	23.2	23.2	13.2	19.2	11.3	8.6	9.9	12.6	11.9
50 代	177	50.8	44.1	25.4	40.1	31.6	26.0	26.0	24.9	20.9	16.9	7.9	7.3	9.6	11.3	8.5
60 代	144	44.4	36.1	27.8	40.3	36.8	30.6	31.3	22.9	16.7	17.4	12.5	9.0	10.4	11.8	13.2
70 歳 以 上	199	30.7	32.2	22.6	32.7	49.7	22.6	33.2	17.1	14.6	9.5	4.5	4.0	7.0	11.1	13.1
女 性（計）	916	42.0	45.3	46.0	34.0	36.1	32.0	25.4	21.2	17.0	13.6	14.1	14.7	10.6	9.9	9.6
18 ・ 19 歳	9	55.6	33.3	55.6	22.2	－	44.4	－	22.2	33.3	－	33.3	44.4	－	－	－
20 代	116	54.3	50.0	62.1	35.3	24.1	36.2	20.7	20.7	14.7	19.0	18.1	22.4	9.5	9.5	2.6
30 代	154	46.1	48.1	63.0	33.1	23.4	40.9	14.9	20.1	18.2	16.9	22.1	23.4	10.4	11.0	11.0
40 代	150	44.7	50.7	52.0	37.3	28.7	41.3	26.7	23.3	18.7	15.3	22.0	24.0	17.3	14.0	12.0
50 代	147	47.6	51.7	50.3	36.1	36.7	35.4	31.3	27.9	19.7	14.3	14.3	11.6	5.4	12.9	14.3
60 代	120	46.7	45.8	34.2	30.0	48.3	25.0	30.0	24.2	14.2	11.7	7.5	6.7	11.7	10.8	10.8
70 歳 以 上	220	24.1	33.2	24.5	32.7	50.9	18.2	29.1	14.5	15.5	8.6	3.6	3.6	10.0	4.5	7.3

職業別にみると、「インターネットによる人権侵害の問題（他人の誹謗中傷、差別を助長する情報の掲出等）」は経営・管理職で約6割と多くなっている。「プライバシーや個人情報の流出・漏えいの問題」は事務職で5割近くと多くなっている。「高齢者の人権」は無職の主婦・主夫、その他の無職で4割台と多くなっている。（表5-2-2）

表5-2-2 関心のある人権問題（上位15位）－職業別

																(%)
	n	人の誹謗中傷 インターネットによる人権侵害の問題（他 人の誹謗中傷 差別を助長する情報の掲出等）	プライバシーや個人情報の流出・漏えい の問題	女性の人権	障害者の人権	高齢者の人権	子供の人権	北朝鮮による拉致問題	犯罪被害者やその家族の人権	災害に伴う人権問題	外国人の人権	性自認（自己の性別についての認識）に 関する人権	性的指向（自己の恋愛又は性愛の対象となる性 別についての指向）に関する人権	刑を終えて出所した人の人権	性的搾取、強制労働等人身取引の問題	ハンセン病患者・回復者等の人権
全 体	1,845	43.3	42.9	35.8	34.3	32.8	30.3	24.9	21.7	16.1	15.4	12.4	12.3	10.8	10.2	10.1
< 職 業 別 >																
自営・家族従業（計）	235	46.8	44.3	31.1	38.7	31.5	28.9	31.5	22.1	14.9	16.2	9.8	11.5	10.6	11.9	14.9
勤 め（計）	997	48.0	45.5	38.1	32.9	27.2	31.8	21.2	22.5	15.9	17.4	14.5	14.0	11.0	9.9	9.8
経 営 ・ 管 理 職	62	59.7	48.4	35.5	35.5	24.2	22.6	24.2	25.8	17.7	17.7	16.1	8.1	9.7	12.9	4.8
専 門 ・ 技 術 職	27	51.9	37.0	48.1	33.3	33.3	37.0	18.5	14.8	11.1	22.2	22.2	22.2	14.8	18.5	11.1
事 務 職	571	51.0	48.9	39.2	34.0	25.2	34.2	20.5	23.5	17.0	19.1	15.4	14.5	11.6	8.6	10.0
労 務 ・ 技 能 職	130	37.7	36.9	30.8	32.3	32.3	26.9	19.2	22.3	11.5	17.7	6.9	10.0	10.8	8.5	9.2
販売・サービス職	140	39.3	39.3	37.9	28.6	27.1	32.1	22.9	17.9	14.3	10.7	15.7	13.6	9.3	12.9	10.7
無職の主婦・主夫	340	35.0	39.1	33.5	33.2	46.5	27.4	32.9	19.7	17.1	9.7	8.5	7.4	11.5	9.4	8.8
学 生	54	51.9	51.9	48.1	44.4	14.8	38.9	13.0	33.3	24.1	27.8	31.5	37.0	18.5	7.4	9.3
そ の 他 の 無 職	179	27.9	31.8	28.5	33.5	46.4	25.1	27.9	19.0	15.1	12.3	6.7	7.8	7.8	11.2	9.5

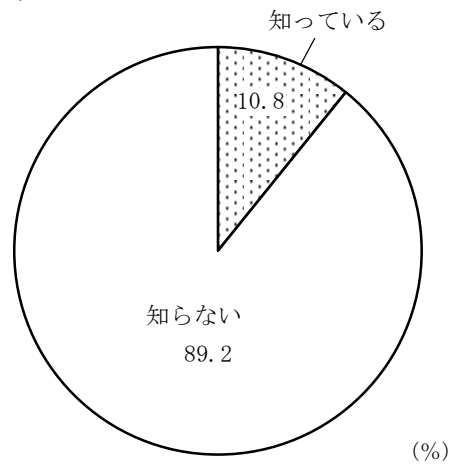
5-3 人権尊重に関する条例制定の認知度

図5-3-1

(全員に)

Q16 あなたは、東京都で「オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例」が制定されたことを知っていますか。

(n=1,845)



東京都で「オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例」が制定されたことを知っているか聞いたところ、「知っている」11%、「知らない」89%となっている。(図5-3-1)

条例制定の認知度について性・年齢別にみると、「知っている」は男性70歳以上で2割近くとなっている。

職業別にみると、特に大きな差はみられない。(図5-3-2)

図5-3-2 人権尊重に関する条例制定の認知度－性・年齢別、職業別

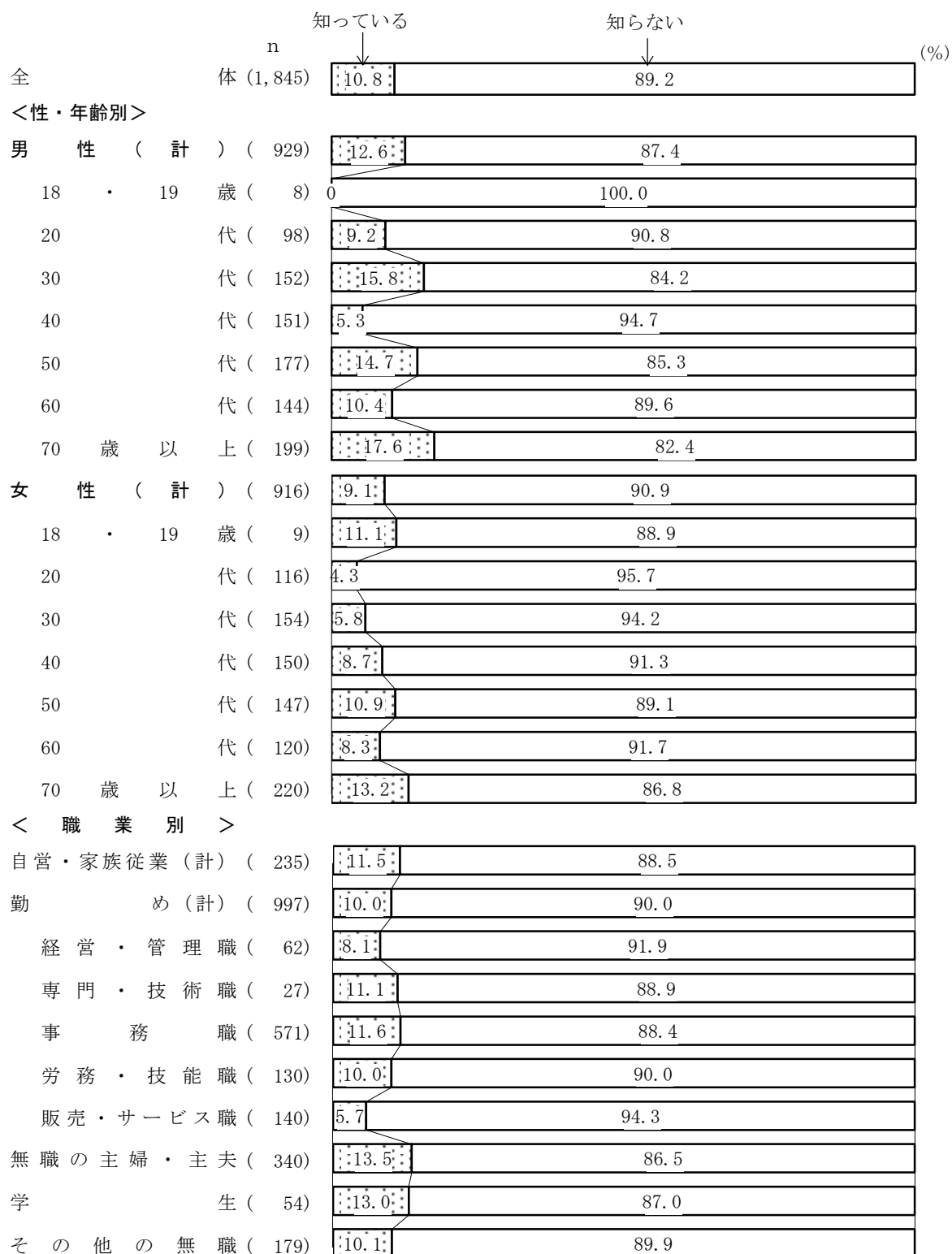
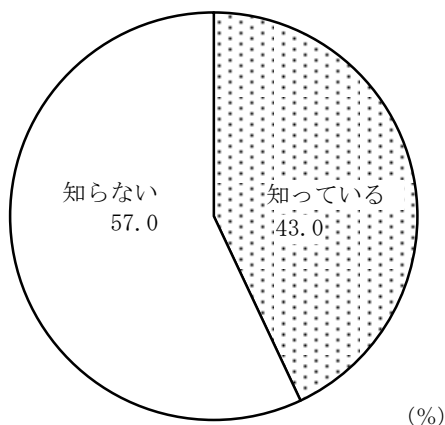


図5-3-3

(Q16で「知っている」と答えた方に)

S Q 1 あなたは「東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例」の中で「性自認及び性的指向」に関する規定があることを知っていますか。

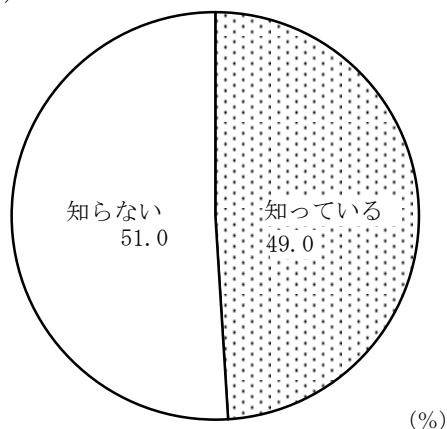
(n = 200)



(Q16で「知っている」と答えた方に)

S Q 2 あなたは「東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例」の中で「本邦外出身者（他の民族や国籍の人々）に対する差別的な言動（いわゆるヘイトスピーチ）」に関する規定があることを知っていますか。

(n = 200)

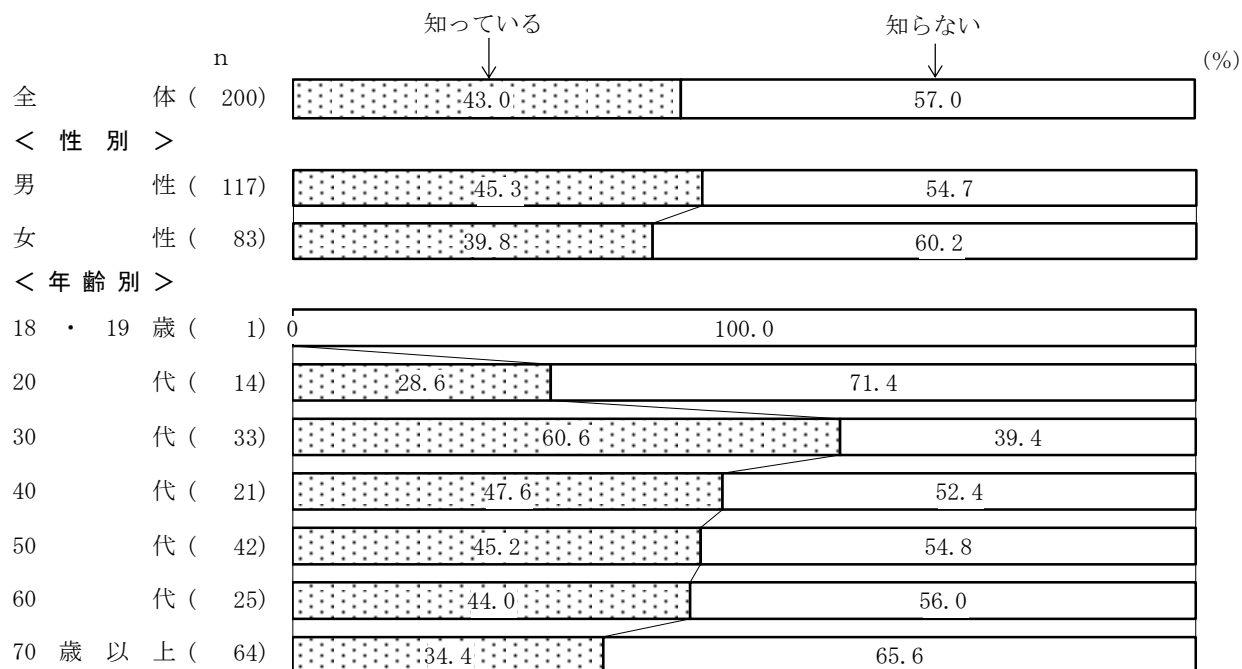


人権尊重に関する条例制定を「知っている」と答えた人（200人）に「東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例」の中で「性自認及び性的指向」に関する規定があることを知っているか聞いたところ、「知っている」43%、「知らない」57%となっている。（図5-3-3）

また、同条例の中で「本邦外出身者（他の民族や国籍の人々）に対する差別的な言動（いわゆるヘイトスピーチ）」に関する規定があることを知っているか聞いたところ、「知っている」49%、「知らない」51%となっている。（図5-3-3）

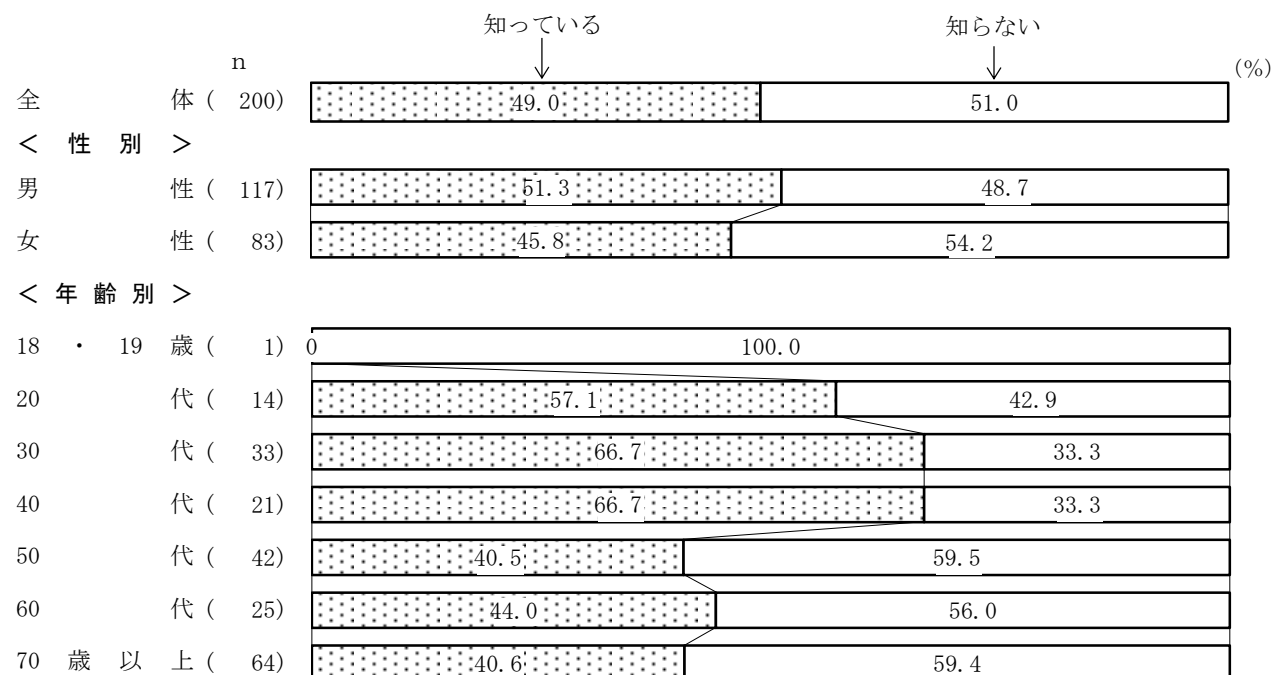
性自認及び性的指向に関する条例の規定の認知度について、性別にみると、大きな差はみられない。
 年齢別にみると、条例に性自認及び性的指向の規定があることを「知っている」人は、30代で6割と
 なっている。(図5-3-4)

図5-3-4 性自認及び性的指向に関する規定の認知度－性別、年齢別



ヘイトスピーチに関する条例の規定の認知度について、性別にみると、大きな差はみられない。
 年齢別にみると、条例にヘイトスピーチに関する規定があることを「知っている」人は、30代・40代
 で7割近くとなっている。(図5-3-5)

図5-3-5 ヘイトスピーチに関する規定の認知度－性別、年齢別

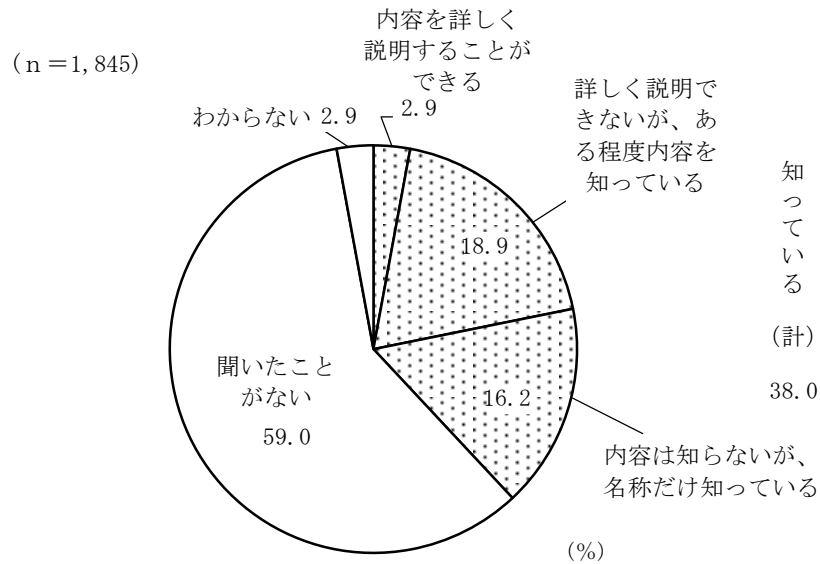


5-4 「性自認」の理解度

図5-4-1

(全員に)

Q17 性自認という言葉について、知っていますか。



(注) 『知っている (計)』は「内容を詳しく説明することができる」「詳しく説明できないが、ある程度内容を知っている」「内容は知らないが、名称だけ知っている」の合計

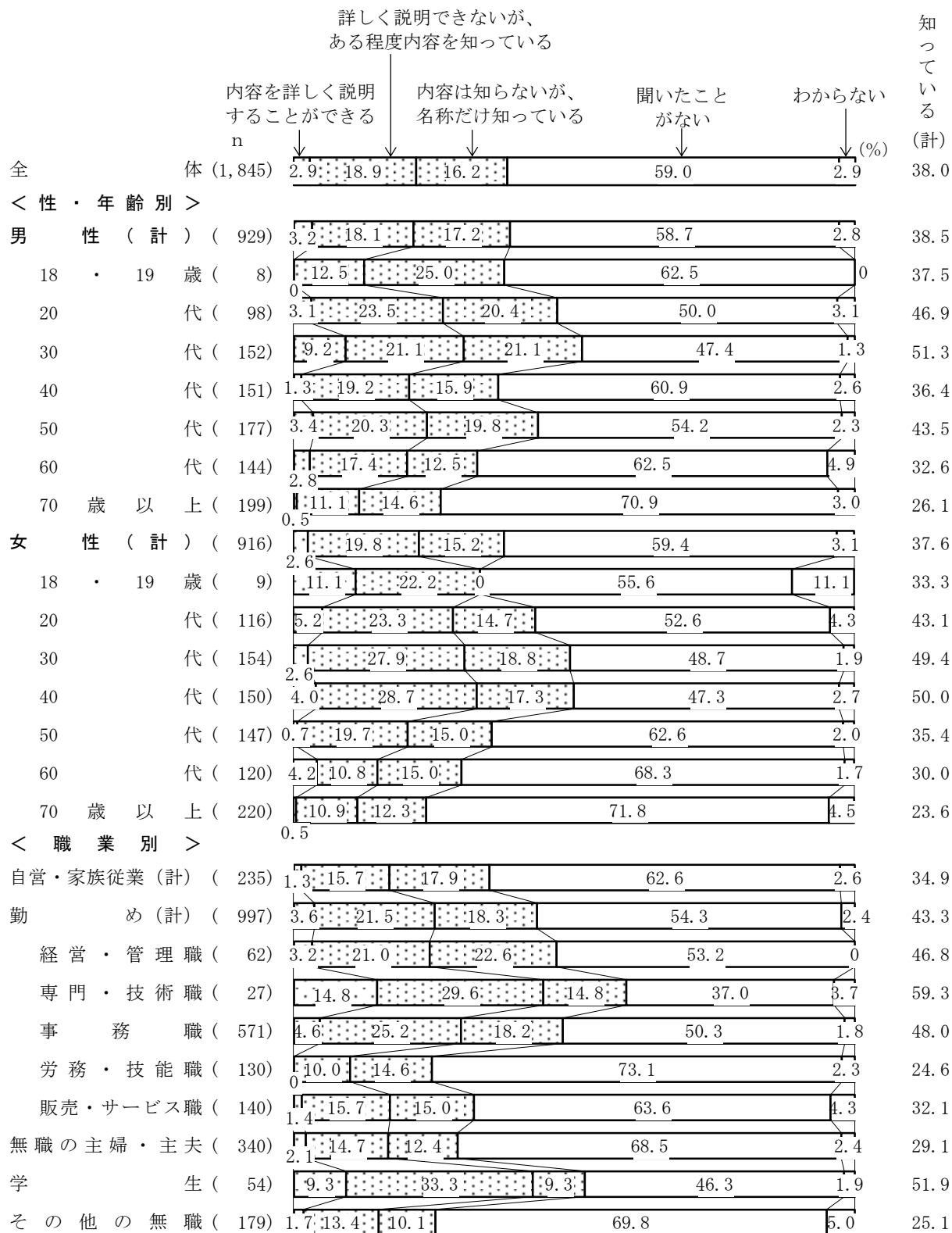
性自認という言葉を知っているか聞いたところ、『知っている (計)』は38%、「聞いたことがない」は59%となっている。(図5-4-1)

※性自認：自己の性別についての認識。P96参照

性・年齢別にみると、性自認という言葉が『知っている（計）』は男性30代と女性30代と40代で4割から5割と多くなっている。一方、「聞いたことがない」は男女とも70歳以上で7割台と多くなっている。

職業別にみると、『知っている（計）』は事務職で5割近くと多くなっている。一方、「聞いたことがない」は労務・技能職で7割を超えて多くなっている。（図5-4-2）

図5-4-2 「性自認」の理解度－性・年齢別、職業別

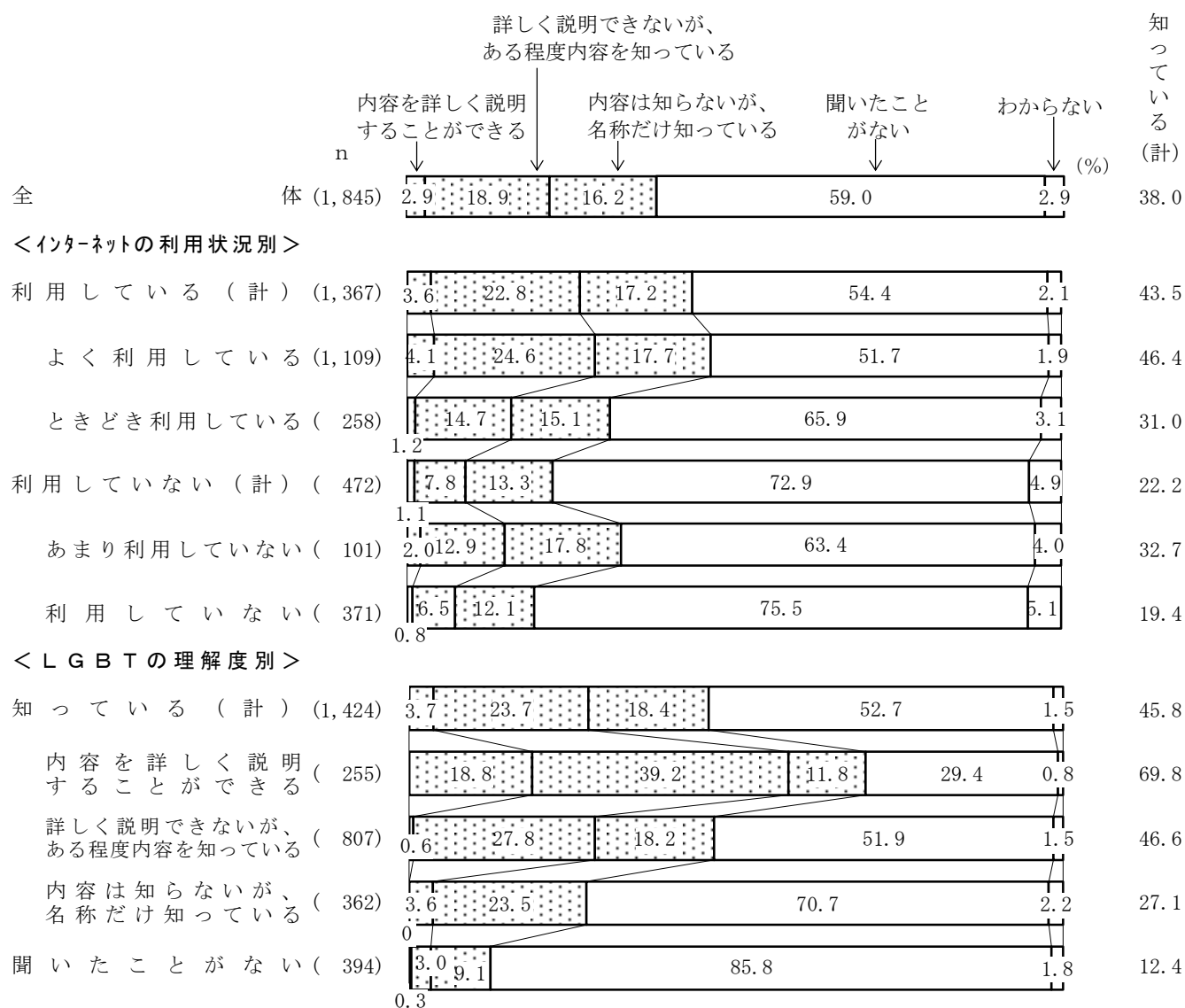


(注) 『知っている（計）』は「内容を詳しく説明することができる」「詳しく説明できないが、ある程度内容を知っている」「内容は知らないが、名称だけ知っている」の合計

インターネットの利用状況別にみると、『知っている（計）』は利用している（計）で4割半ばと多くなっている。一方、「聞いたことがない」は利用していない（計）で7割を超えて多くなっている。

LGBTの理解度別（Q19 P109）にみると、（性自認を）『知っている（計）』は“（LGBTを）知っている（計）”で4割半ばと多く、“（LGBTを）聞いたことがない”よりも33ポイント高くなっている。（図5-4-3）

図5-4-3 「性自認」の理解度－インターネットの利用状況別、LGBTの理解度別



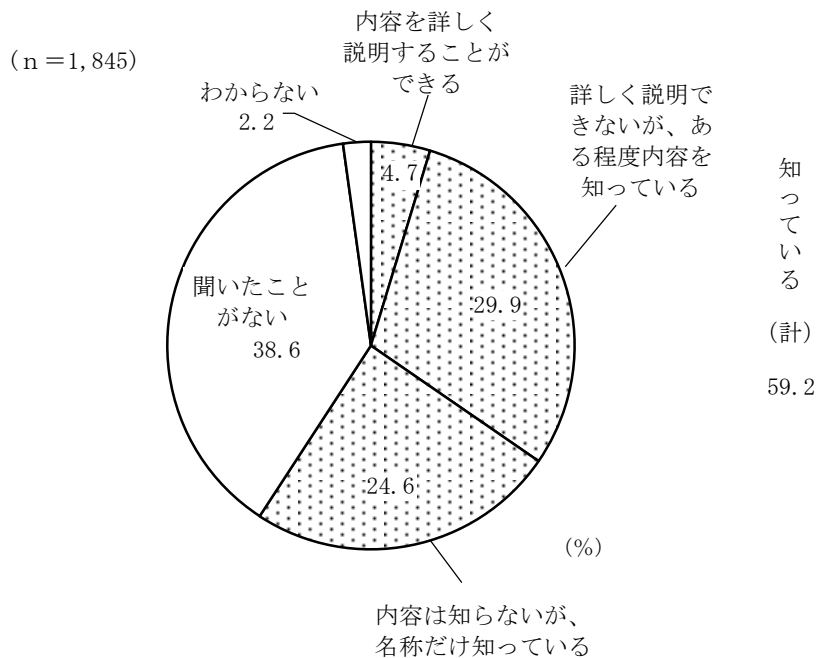
（注）『知っている（計）』は「内容を詳しく説明することができる」「詳しく説明できないが、ある程度内容を知っている」「内容は知らないが、名称だけ知っている」の合計

5-5 「性的指向」の理解度

図5-5-1

(全員に)

Q18 性的指向という言葉について、知っていますか。



(注) 『知っている (計)』は「内容を詳しく説明することができる」「詳しく説明できないが、ある程度内容を知っている」「内容は知らないが、名称だけ知っている」の合計

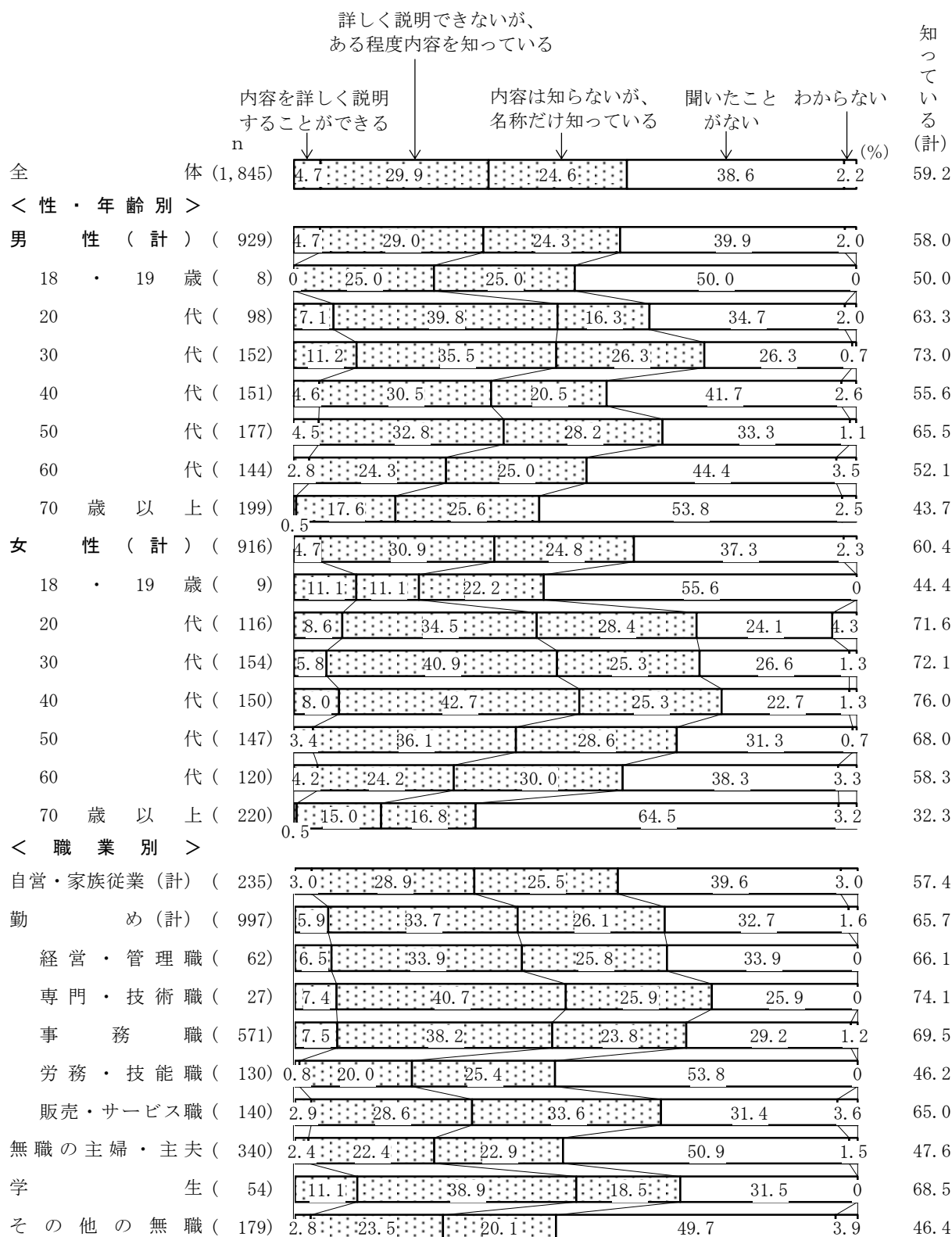
性的指向という言葉を知っているか聞いたところ、『知っている (計)』は59%、「聞いたことがない」は39%となっている。(図5-5-1)

※性的指向：自己の恋愛又は性愛の対象となる性別についての指向。P96参照

性・年齢別にみると、性的指向という言葉が『知っている（計）』は男性30代、女性20代から40代で7割台と多くなっている。一方、「聞いたことがない」は男女とも70歳以上で5割から6割と多くなっている。

職業別にみると、『知っている（計）』は事務職で約7割と多くなっている。一方、「聞いたことがない」は労務・技能職、無職の主婦・主夫で5割台と多くなっている。（図5-5-2）

図5-5-2 「性的指向」の理解度－性・年齢別、職業別

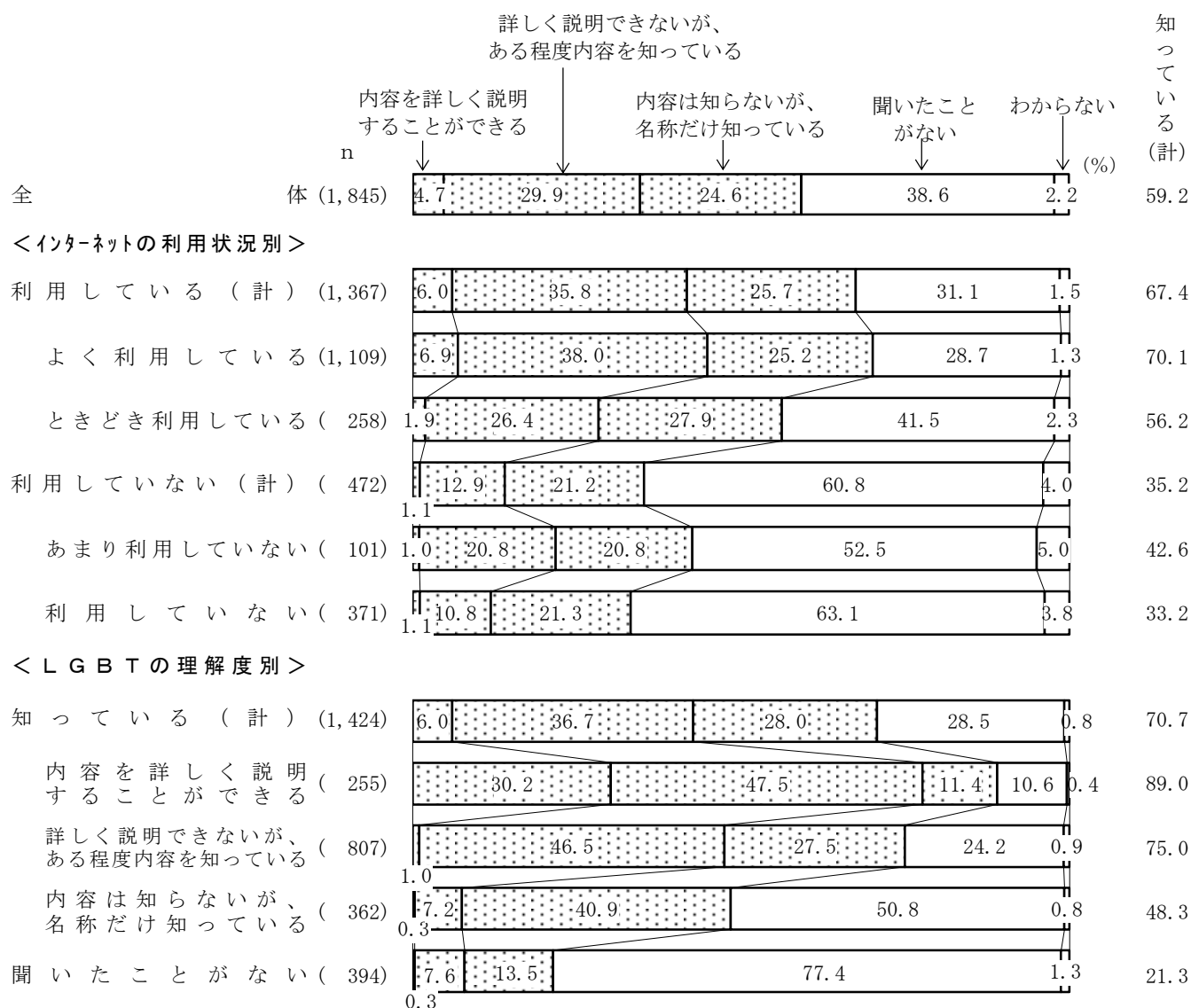


(注) 『知っている（計）』は「内容を詳しく説明することができる」「詳しく説明できないが、ある程度内容を知っている」「内容は知らないが、名称だけ知っている」の合計

インターネットの利用状況別にみると、性的指向という言葉が『知っている（計）』は利用している（計）で7割近くと多く、利用していない（計）よりも32ポイント高くなっている。

LGBTの理解度別（Q19 P109）にみると、（性的指向を）『知っている（計）』は“（LGBTを）知っている（計）”で7割を超えて多く、“（LGBTを）聞いたことがない”よりも49ポイント高くなっている。（図5-5-3）

図5-5-3 「性的指向」の理解度－インターネットの利用状況別、LGBTの理解度別



（注）『知っている（計）』は「内容を詳しく説明することができる」「詳しく説明できないが、ある程度内容を知っている」「内容は知らないが、名称だけ知っている」の合計

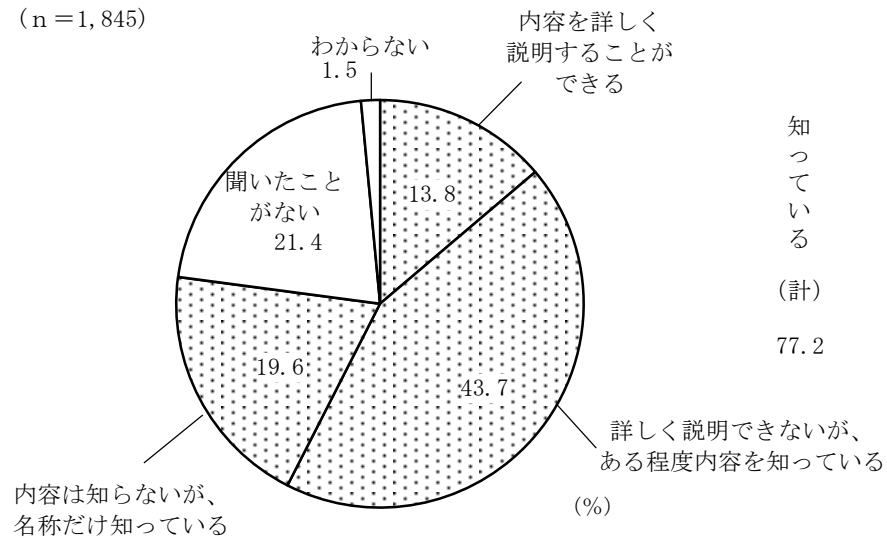
5-6 「LGBT」の理解度

図5-6-1

(全員に)

Q19 LGBTという言葉について、知っていますか。

(n = 1,845)



(注)『知っている (計)』は「内容を詳しく説明することができる」「詳しく説明できないが、ある程度内容を知っている」「内容は知らないが、名称だけ知っている」の合計

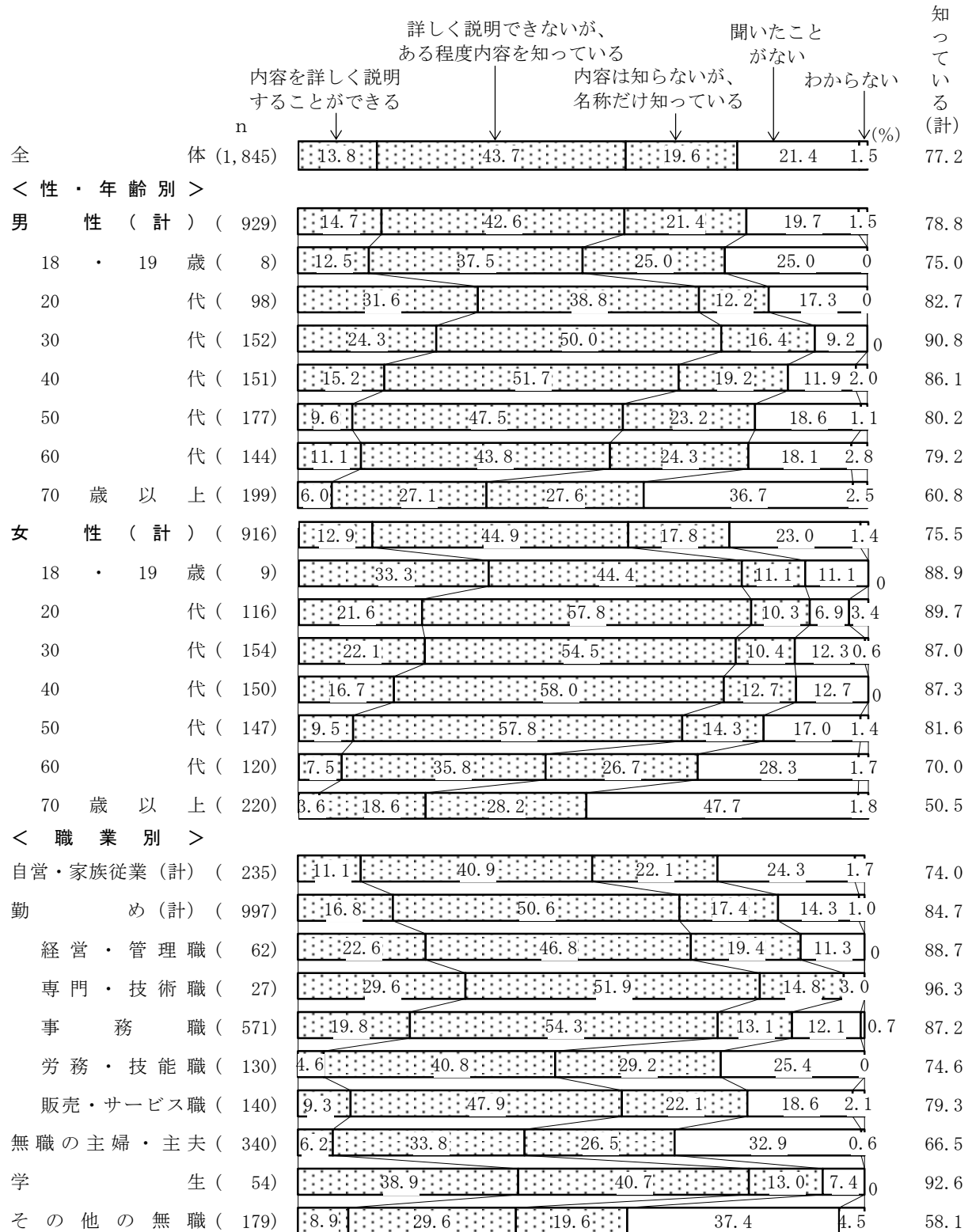
LGBTという言葉を知っているか聞いたところ、『知っている (計)』は77%、「聞いたことがない」は21%となっている。(図5-6-1)

※LGBT：代表的な性的マイノリティ（性的少数者）の頭文字をとって作られた言葉。P138参照

性・年齢別にみると、LGBTという言葉が『知っている（計）』は男性30代、40代、女性20代から40代で8割から9割と多くなっている。一方、「聞いたことがない」は男女とも70歳以上で3割半ばから5割近くと多くなっている。

職業別にみると、『知っている（計）』は学生、事務職で8割から9割と多くなっている。一方、「聞いたことがない」はその他の無職、無職の主婦・主夫で3割台と多くなっている。（図5-6-2）

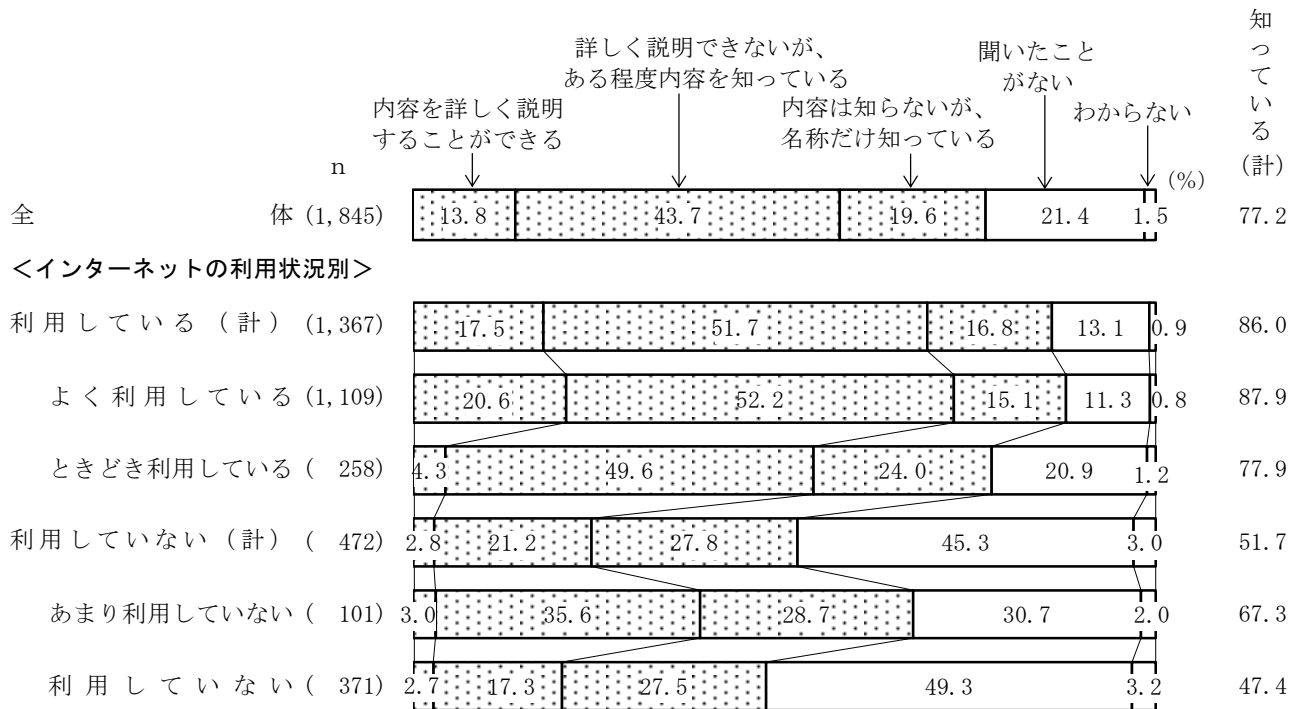
図5-6-2 「LGBT」の理解度－性・年齢別、職業別



(注) 『知っている（計）』は「内容を詳しく説明することができる」「詳しく説明できないが、ある程度内容を知っている」「内容は知らないが、名称だけ知っている」の合計

インターネットの利用状況別にみると、『知っている（計）』は利用している（計）で8割半ばと多く、『利用していない（計）』よりも34ポイント高くなっている。（図5-6-3）

図5-6-3 「LGBT」の理解度－インターネットの利用状況別



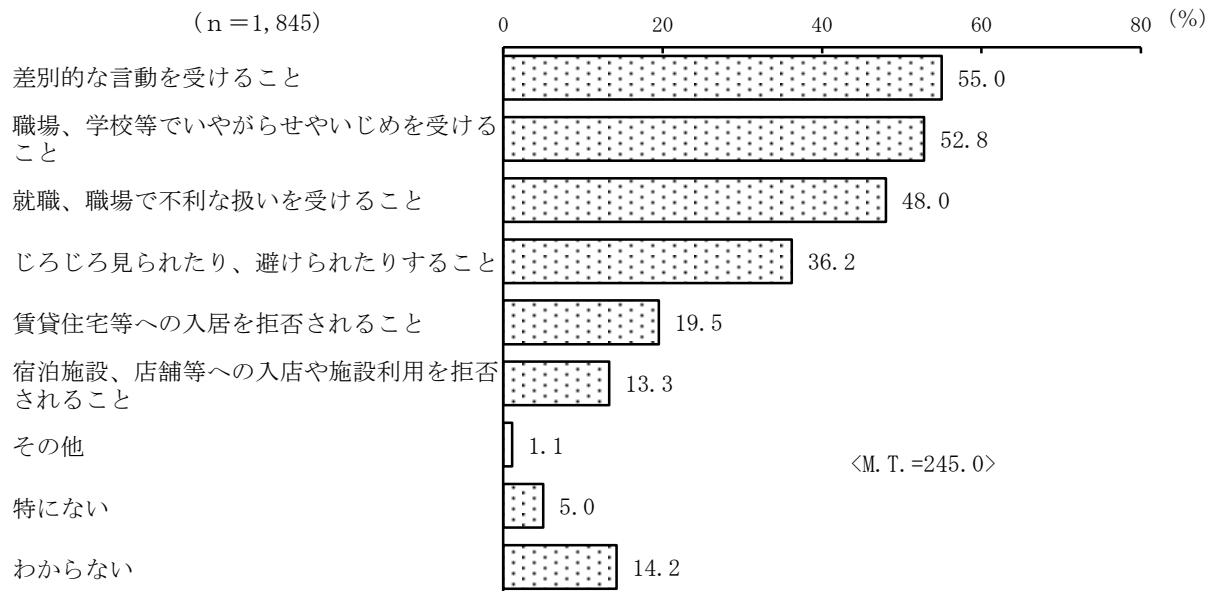
（注）『知っている（計）』は「内容を詳しく説明することができる」「詳しく説明できないが、ある程度内容を知っている」「内容は知らないが、名称だけ知っている」の合計

5-7 L G B T等に関する人権問題

図5-7-1

(全員に)

Q20 L G B T等の性的少数者に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。この中から当てはまるものをいくつでもお答えください。(M. A.)



L G B T等の性的少数者に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思うか聞いたところ、「差別的な言動を受けること」が55%で最も多く、次いで「職場、学校等でいやがらせやいじめを受けること」53%、「就職、職場で不利な扱いを受けること」48%、「じろじろ見られたり、避けられたりすること」36%、「賃貸住宅等への入居を拒否されること」20%などの順となっている。(図5-7-1)

性・年齢別にみると、女性20代から40代で「差別的な言動を受けること」は7割台、「職場、学校等
いやがらせやいじめを受けること」は6割半ばから7割と多くなっている。(表5-7-1)

表5-7-1 L G B T等に関する人権問題－性・年齢別、職業別

(%)										
	n	差別的な言動を受けること	職場、学校等 でいやがらせやいじめを受 けること	就職、職場で不利な扱いを受けること	じろじろ見られたり、避けられたりする こと	賃貸住宅等への入居を拒否されること	宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を 拒否されること	その他	特 に な い	わ か ら な い
全 体	1,845	55.0	52.8	48.0	36.2	19.5	13.3	1.1	5.0	14.2
< 性・年齢別 >										
男 性 (計)	929	51.7	50.7	46.2	34.1	16.6	11.5	1.1	5.5	14.3
18 ・ 19 歳	8	62.5	62.5	37.5	50.0	-	-	-	12.5	12.5
20 代	98	61.2	61.2	50.0	40.8	17.3	17.3	2.0	4.1	5.1
30 代	152	59.9	56.6	48.0	44.7	17.8	15.1	2.6	3.9	10.5
40 代	151	57.6	55.6	51.7	31.1	16.6	12.6	0.7	2.6	13.9
50 代	177	53.7	52.0	51.4	34.5	17.5	7.9	0.6	3.4	11.3
60 代	144	49.3	47.9	45.8	27.8	19.4	13.9	0.7	7.6	17.4
70 歳 以 上	199	35.7	37.7	34.7	28.6	13.1	7.0	0.5	9.5	22.6
女 性 (計)	916	58.4	54.9	49.9	38.2	22.4	15.2	1.1	4.5	14.1
18 ・ 19 歳	9	77.8	44.4	33.3	44.4	22.2	22.2	-	-	11.1
20 代	116	72.4	67.2	56.9	44.8	27.6	21.6	0.9	0.9	6.9
30 代	154	70.8	70.8	58.4	49.4	24.7	22.7	-	1.9	3.9
40 代	150	70.0	65.3	63.3	46.0	26.0	16.0	4.0	2.7	8.7
50 代	147	64.6	61.2	55.8	40.1	26.5	19.7	1.4	1.4	9.5
60 代	120	55.0	45.8	48.3	30.0	22.5	9.2	0.8	6.7	15.0
70 歳 以 上	220	31.4	31.4	28.6	24.5	12.7	5.9	-	10.5	31.4
< 職 業 別 >										
自営・家族従業(計)	235	51.5	47.2	46.4	32.8	18.7	12.3	1.3	3.4	17.0
勤 め (計)	997	61.5	57.8	52.8	38.8	22.5	14.5	1.4	3.4	10.0
経 営 ・ 管 理 職	62	62.9	58.1	62.9	38.7	24.2	11.3	-	1.6	11.3
専 門 ・ 技 術 職	27	74.1	59.3	51.9	48.1	29.6	7.4	7.4	-	7.4
事 務 職	571	63.0	58.7	53.4	39.4	23.1	16.3	1.8	3.3	8.4
労 務 ・ 技 能 職	130	49.2	49.2	46.2	30.0	20.0	10.0	-	6.2	16.9
販 売 ・ サ ー ビ ス 職	140	60.7	60.0	58.6	40.0	18.6	15.7	1.4	3.6	7.9
無 職 の 主 婦 ・ 主 夫	340	45.9	47.6	44.1	32.6	17.6	12.9	-	7.9	18.5
学 生	54	64.8	66.7	50.0	53.7	14.8	18.5	1.9	1.9	3.7
そ の 他 の 無 職	179	38.0	39.7	32.4	26.8	11.2	7.8	0.6	11.2	25.7

5-8 ヘイトスピーチを見聞きした経験

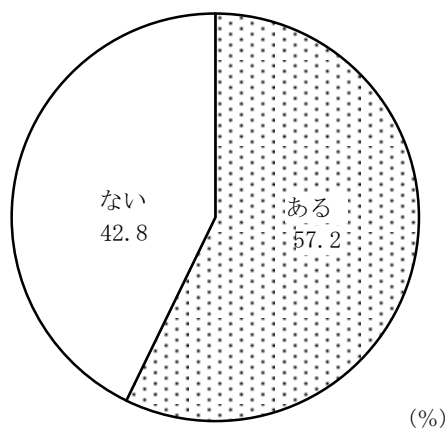
図5-8-1

(全員に)

Q21 特定の国の出身者であること又はその子孫であることのみを理由に、日本社会から追い出そうとしたり危害を加えようとしたりするなどの一方的な内容の言動が、一般に「ヘイトスピーチ」と呼ばれています。

あなたは、ヘイトスピーチを伴うデモ、集会、街宣活動等を見聞きしたことがありますか。
テレビや新聞報道等で見聞きした場合も含みます。

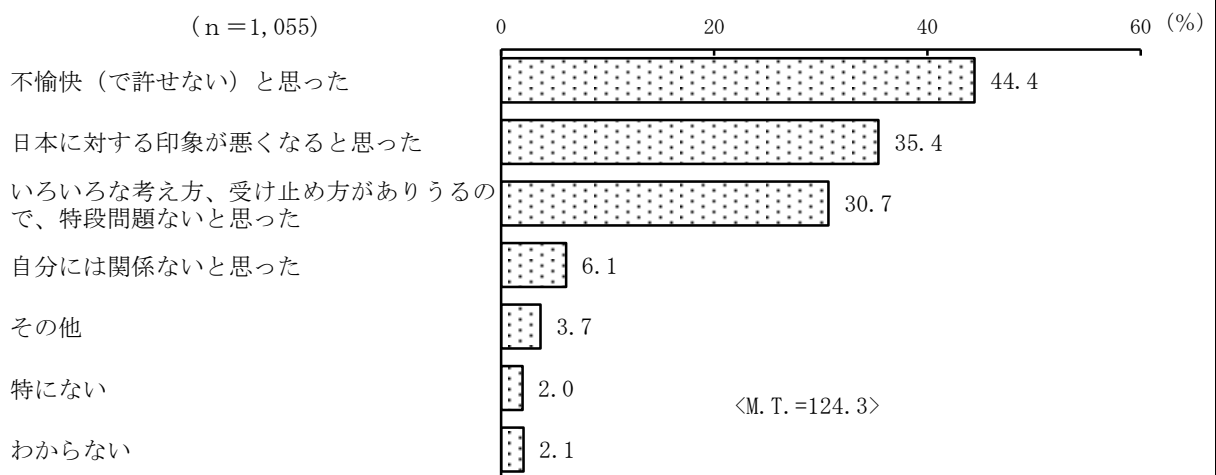
(n = 1,845)



(Q21で「ある」と答えた方に)

SQ あなたは、そのようなデモ等を見聞きしてどのように思いましたか。この中から当てはまるものをいくつかもお答えください。(M. A.)

(n = 1,055)



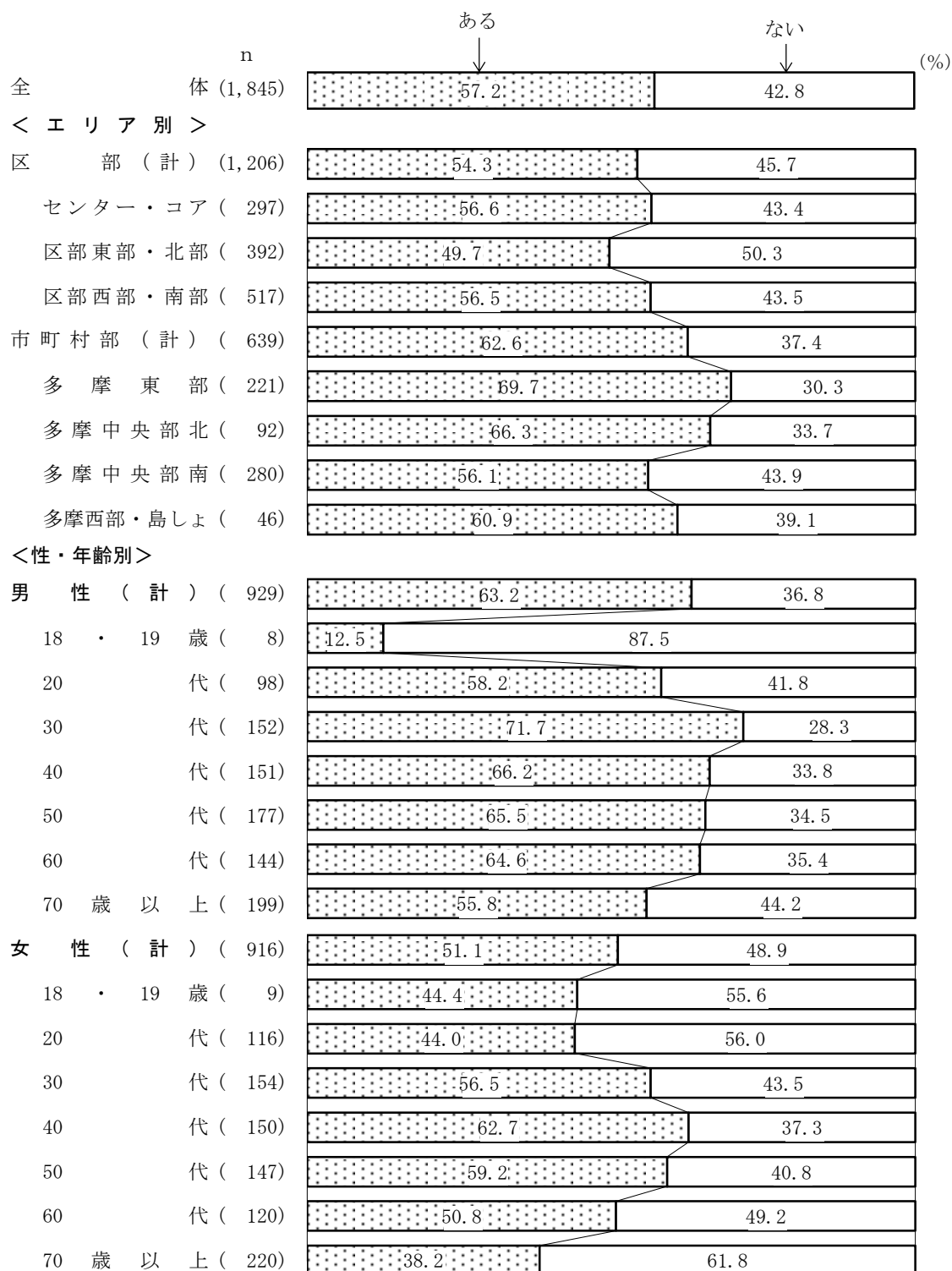
ヘイトスピーチを伴うデモ、集会、街宣活動等を見聞きしたことがあるか聞いたところ「ある」が57%、「ない」が43%となっている。

ヘイトスピーチを伴うデモ、集会、街宣活動等を見聞きしたことが「ある」と答えた人(1,055人)に見聞きした際の感想を聞いたところ、「不愉快(で許せない)と思った」が44%で最も多く、次いで「日本に対する印象が悪くなったと思った」35%、「いろいろな考え方、受け止め方がありうるので、特段問題ないと思った」31%、「自分には関係ないと思った」6%などの順となっている。(図5-8-1)

ヘイトスピーチを見聞きした経験をエリア別にみると、「ある」は市町村部（計）で6割を超えて多くなっている。一方、「ない」は区部東部・北部で約5割と多くなっている。

性・年齢別にみると、「ある」は男性で6割を超えて多く、女性よりも12ポイント高くなっている。特に男性30代で7割を超えて多くなっている。一方、「ない」は女性20代、70歳以上で5割から6割と多くなっている。（図5-8-2）

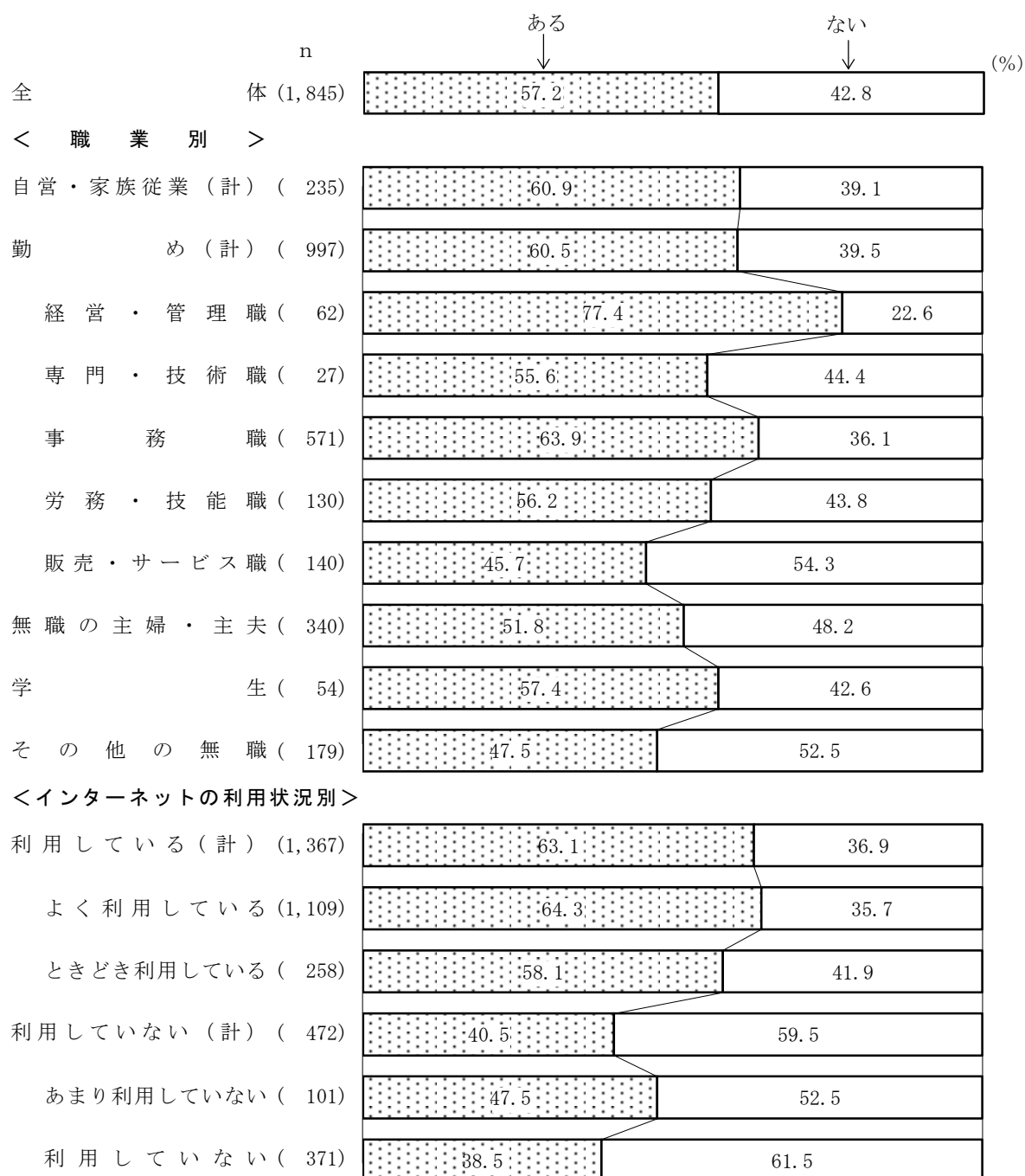
図5-8-2 ヘイトスピーチを見聞きした経験－エリア別、性・年齢別



ヘイトスピーチを見聞きした経験を職業別にみると、「ある」は経営・管理職、事務職で6割から7割と多くなっている。一方、「ない」は販売・サービス職、その他の無職で5割台と多くなっている。

インターネットの利用状況別にみると、「ある」は利用している（計）で6割を超えて多く、利用していない（計）よりも23ポイント高くなっている。（図5-8-3）

図5-8-3 ヘイトスピーチを見聞きした経験－職業別、インターネットの利用状況別



見聞きした際の感想を性・年齢別にみると、「自分には関係ないと思った」は男性20代で1割半ばとなっている。

職業別にみると、特に大きな差はみられない。(表5-8-1)

表5-8-1 見聞きした際の感想－性・年齢別、職業別

(%)

	n	思 不 つ 愉 快 (で 許 せ な い) と	な 日 本 に 対 す る 印 象 が 悪 く	特 止 め ろ う な 考 え 方 、 受 け 取 る 問 題 な い と 思 っ た	た 自 分 に は 関 係 な い と 思 っ た	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い
全 体	1,055	44.4	35.4	30.7	6.1	3.7	2.0	2.1
< 性・年齢別 >								
男 性 (計)	587	42.1	38.5	30.0	6.6	3.9	2.9	1.5
18 ・ 19 歳	※	※	※	※	※	※	※	※
20 代	57	35.1	42.1	28.1	15.8	3.5	1.8	1.8
30 代	109	36.7	31.2	40.4	9.2	8.3	0.9	2.8
40 代	100	38.0	35.0	28.0	5.0	5.0	3.0	1.0
50 代	116	43.1	42.2	28.4	4.3	3.4	2.6	0.9
60 代	93	50.5	38.7	23.7	4.3	1.1	5.4	1.1
70 歳 以 上	111	45.9	43.2	29.7	5.4	1.8	3.6	1.8
女 性 (計)	468	47.2	31.4	31.6	5.3	3.4	0.9	2.8
18 ・ 19 歳	※	※	※	※	※	※	※	※
20 代	51	41.2	29.4	37.3	3.9	3.9	2.0	-
30 代	87	41.4	28.7	29.9	3.4	4.6	-	4.6
40 代	94	48.9	31.9	31.9	6.4	6.4	1.1	-
50 代	87	47.1	28.7	31.0	5.7	2.3	2.3	5.7
60 代	61	55.7	44.3	29.5	1.6	1.6	-	1.6
70 歳 以 上	84	50.0	28.6	29.8	9.5	-	-	3.6
< 職 業 別 >								
自営・家族従業(計)	143	42.0	32.9	35.0	2.8	3.5	1.4	2.1
勤 め (計)	603	41.6	35.2	31.8	6.6	4.3	1.8	1.3
経 営 ・ 管 理 職	48	52.1	33.3	29.2	2.1	4.2	2.1	-
専 門 ・ 技 術 職	15	46.7	26.7	46.7	-	6.7	-	-
事 務 職	365	41.9	36.7	29.6	6.3	5.5	1.4	0.8
労 務 ・ 技 能 職	73	41.1	35.6	32.9	8.2	1.4	4.1	1.4
販 売 ・ サ ー ビ ス 職	64	32.8	35.9	39.1	10.9	1.6	1.6	6.3
無 職 の 主 婦 ・ 主 夫	176	52.3	38.1	27.3	6.8	1.1	2.8	2.8
学 生	31	41.9	35.5	29.0	12.9	9.7	-	-
そ の 他 の 無 職	85	54.1	35.3	23.5	3.5	2.4	3.5	3.5

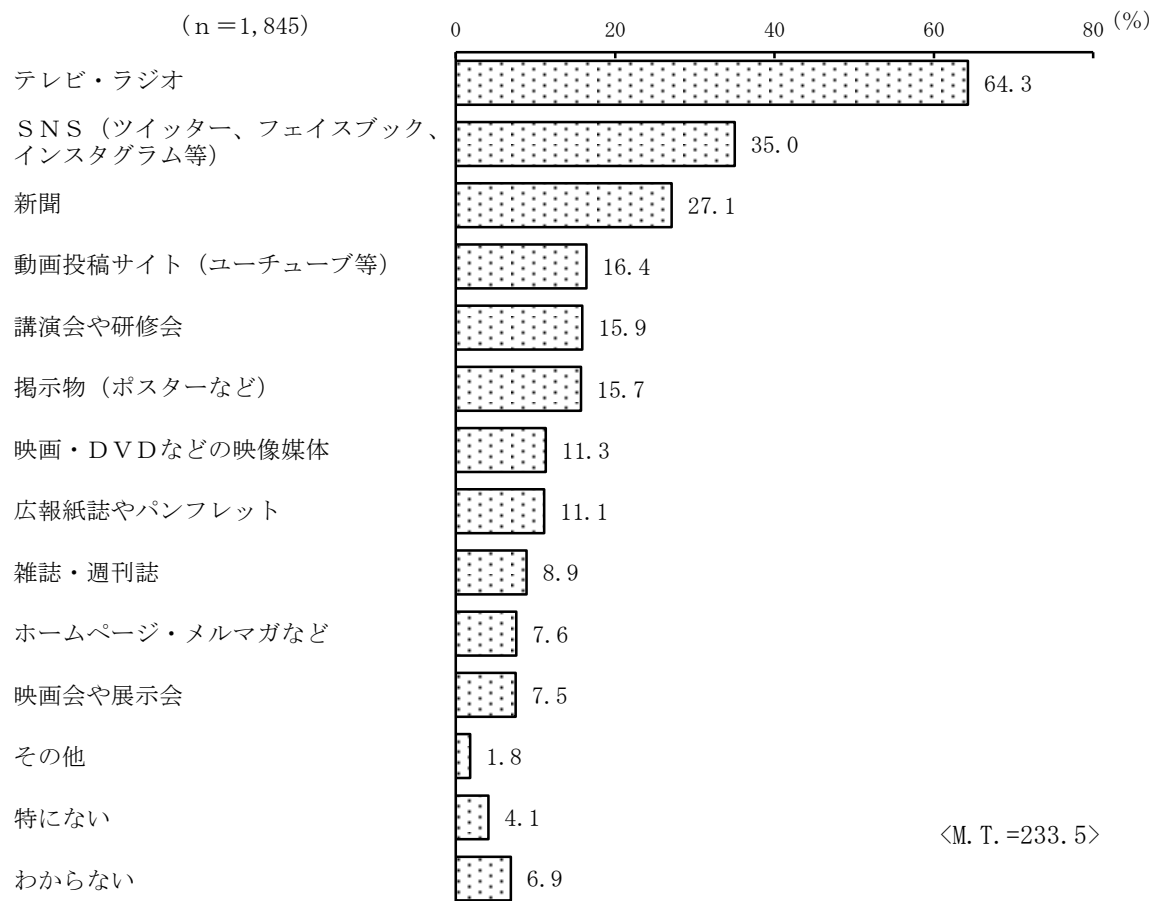
(注) 一部の項目について、マスキングを行っています。

※5-9 効果があると思う啓発手段

図5-9-1

(全員に)

Q22 人権問題について、さまざまな方法で啓発活動が行われていますが、あなたの印象として、特に効果があると思う啓発手段は何ですか。この中から当てはまるものを3つまでお答えください。(3M. A.)

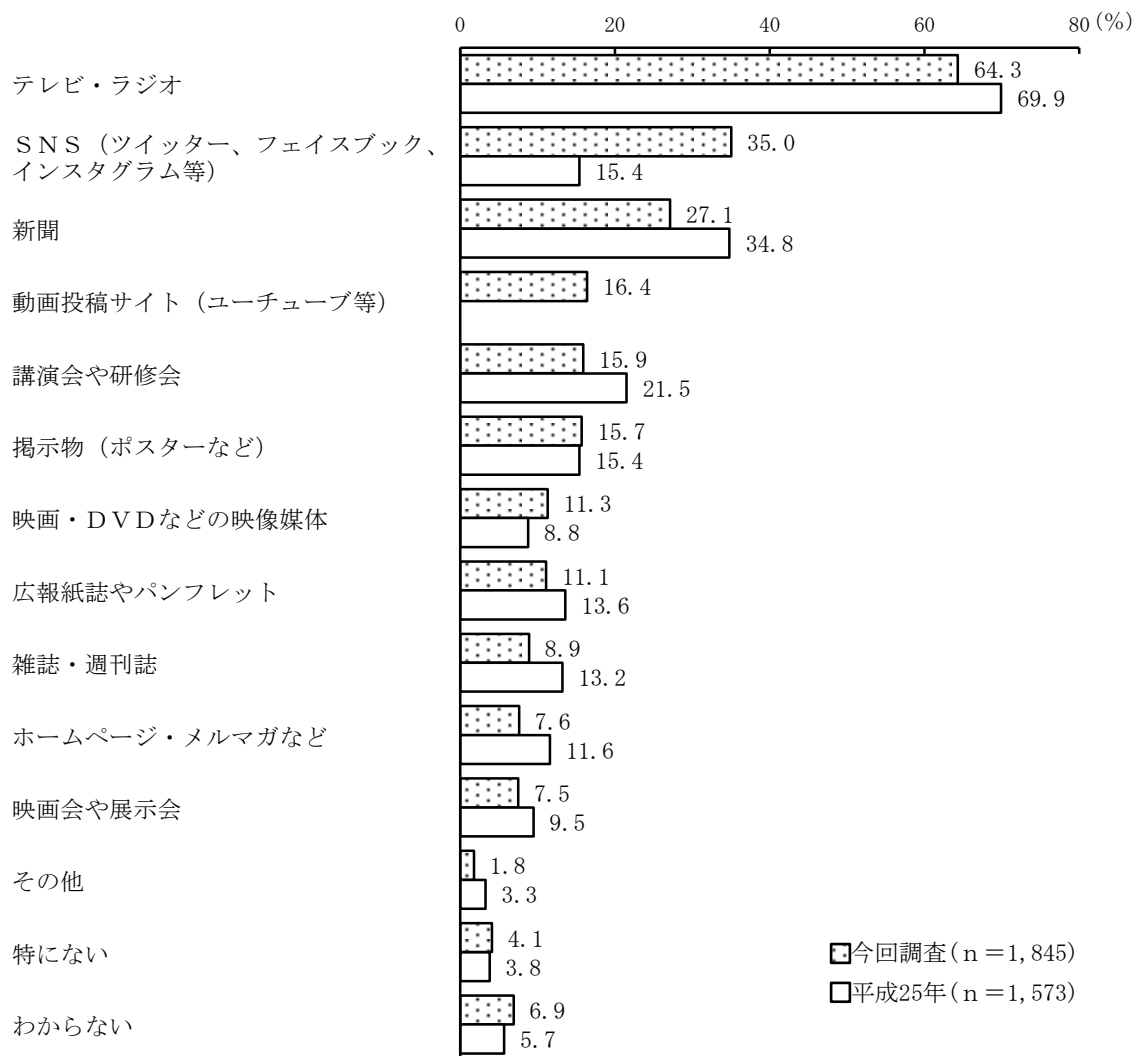


人権問題について、さまざまな啓発活動が行われているが、特に効果のあると思う啓発手段は、「テレビ・ラジオ」が64%で最も多く、次いで「SNS (ツイッター、フェイスブック、インスタグラム等)」35%、「新聞」27%、「動画投稿サイト (ユーチューブ等)」、「講演会や研修会」、「掲示物 (ポスターなど)」16%などの順となっている。(図5-9-1)

効果があると思う啓発手段を過去との比較でみると、「SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラム等）」が20ポイント増加している。一方、「新聞」は8ポイント、「テレビ・ラジオ」と「講演会や研修会」が6ポイント減少している。

(図5-9-2)

図5-9-2 効果があると思う啓発手段－過去との比較



(注1) 「SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラム等）」は、平成25年は「SNS（ツイッター、フェイスブック等）」

(注2) 「動画投稿サイト（ユーチューブ等）」は今回調査で追加

(注3) 平成25年は「人権に関する世論調査」（平成25年11月調査）

効果があると思う啓発手段について、性・年齢別にみると、「SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラム等）」は男性20代から30代で5割近くから6割近く、女性20代から30代で6割半ばと多くなっている。「新聞」は男女とも70歳以上で4割近くから5割と多くなっている。

職業別にみると、「SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラム等）」は学生で7割近く、勤め（計）で4割を超えて多くなっている。「新聞」は無職の主婦・主夫、自営・家族従業（計）で3割半ばから4割近くと多くなっている。（表5-9-1）

表5-9-1 効果があると思う啓発手段－性・年齢別、職業別

(%)

	n	テレビ・ラジオ	SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラム等）	新聞	動画投稿サイト（ユーチューブ等）	講演会や研修会	掲示物（ポスターなど）	映画・DVDなどの映像媒体	広報紙誌やパンフレット	雑誌・週刊誌	ホームページ・メルマガなど	映画会や展示会	その他	特にない	わからない
全 体	1,845	64.3	35.0	27.1	16.4	15.9	15.7	11.3	11.1	8.9	7.6	7.5	1.8	4.1	6.9
< 性・年齢別 >															
男 性（計）	929	64.5	32.9	30.4	15.9	15.0	15.1	10.1	11.4	9.7	9.1	6.5	2.2	4.5	5.7
18・19 歳	8	62.5	62.5	12.5	50.0	-	50.0	-	12.5	-	12.5	-	-	-	-
20 代	98	53.1	57.1	13.3	29.6	12.2	9.2	13.3	8.2	4.1	8.2	6.1	4.1	6.1	3.1
30 代	152	57.9	48.0	15.1	27.0	12.5	15.8	14.5	8.6	6.6	11.8	4.6	2.0	7.9	2.0
40 代	151	65.6	39.1	22.5	17.2	9.9	16.6	9.3	7.3	9.9	6.6	6.0	4.6	2.0	7.3
50 代	177	73.4	29.4	32.8	14.7	12.4	14.1	11.3	9.0	14.7	13.0	7.9	1.7	4.0	4.5
60 代	144	69.4	26.4	36.1	6.9	20.1	14.6	7.6	15.3	10.4	10.4	7.6	1.4	5.6	7.6
70 歳以上	199	62.8	11.6	50.8	6.0	21.1	16.1	7.0	17.6	10.1	5.0	6.5	0.5	3.0	8.5
女 性（計）	916	64.1	37.0	23.8	16.8	16.9	16.4	12.6	10.7	8.1	6.0	8.6	1.4	3.6	8.1
18・19 歳	9	55.6	66.7	-	33.3	-	-	11.1	11.1	22.2	-	22.2	-	-	22.2
20 代	116	55.2	65.5	6.0	31.9	10.3	7.8	16.4	1.7	6.9	3.4	7.8	-	6.9	9.5
30 代	154	62.3	63.6	14.3	23.4	15.6	15.6	18.8	6.5	7.8	9.1	11.7	1.9	1.3	3.2
40 代	150	66.0	43.3	21.3	22.0	16.7	25.3	18.0	8.7	3.3	8.7	8.0	3.3	2.0	4.7
50 代	147	65.3	38.1	22.4	21.1	15.6	22.4	16.3	10.9	8.2	7.5	8.2	2.0	0.7	7.5
60 代	120	70.8	22.5	34.2	5.8	20.8	17.5	5.0	21.7	12.5	5.8	8.3	-	4.2	8.3
70 歳以上	220	64.5	5.0	37.7	3.2	20.9	11.4	4.1	13.6	9.1	2.7	7.3	0.9	6.4	12.7
< 職 業 別 >															
自営・家族従業（計）	235	63.4	29.8	35.3	13.2	17.4	13.2	12.8	11.1	11.5	8.5	7.7	1.7	2.1	9.4
勤 め（計）	997	64.2	42.3	21.3	20.3	14.5	18.5	12.4	9.4	7.7	8.9	7.5	2.3	4.0	5.2
経 営・管 理 職	62	59.7	32.3	30.6	14.5	19.4	22.6	14.5	9.7	12.9	16.1	4.8	4.8	3.2	3.2
専 門・技 術 職	27	63.0	29.6	22.2	14.8	7.4	18.5	11.1	11.1	14.8	3.7	3.7	3.7	11.1	7.4
事 務 職	571	64.3	46.2	17.9	21.7	14.4	19.4	13.5	10.3	7.0	8.9	8.9	2.6	2.5	4.2
労 務・技 能 職	130	72.3	31.5	30.0	14.6	16.2	14.6	10.8	6.9	10.0	6.2	4.6	-	8.5	4.6
販 売・サ ー ビ ス 職	140	62.9	45.7	22.1	25.7	12.9	15.0	10.7	5.7	5.0	8.6	5.7	1.4	5.7	7.9
無 職 の 主 婦・主 夫	340	70.6	21.2	38.5	7.4	23.2	11.8	8.8	16.8	10.6	5.6	7.4	0.6	2.4	7.4
学 生	54	57.4	68.5	9.3	33.3	11.1	13.0	18.5	7.4	13.0	3.7	11.1	3.7	1.9	1.9
そ の 他 の 無 職	179	59.8	19.0	31.8	10.6	11.7	12.8	7.3	11.2	7.8	3.9	7.3	0.6	8.4	11.7

インターネットの利用状況別にみると、「SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラム等）」は利用している（計）で4割半ばと多く、利用していない（計）よりも33ポイント高くなっている。「新聞」は利用していない（計）で4割近くと多く、利用している（計）よりも14ポイント高くなっている。
(表5-9-2)

表5-9-2 効果があると思う啓発手段－インターネットの利用状況別

(%)

	n	テレビ・ラジオ	SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラム等）	新聞	動画投稿サイト（ユーチューブ等）	講演会や研修会	掲示物（ポスターなど）	映画・DVDなどの映像媒体	広報紙誌やパンフレット	雑誌・週刊誌	ホームページ・メルマガなど	映画会や展示会	その他	特にない	わからない
全 体	1,845	64.3	35.0	27.1	16.4	15.9	15.7	11.3	11.1	8.9	7.6	7.5	1.8	4.1	6.9
<インターネットの利用状況別>															
利用している（計）	1,367	64.1	43.6	23.6	19.8	15.1	16.5	13.2	10.1	8.6	8.7	8.5	2.1	3.4	4.9
よく利用している	1,109	63.0	46.5	22.5	21.6	14.5	16.1	13.6	9.6	8.2	9.5	8.7	2.4	3.2	4.5
ときどき利用している	258	68.6	31.0	28.3	12.0	17.4	18.2	11.6	12.0	10.1	5.4	7.8	0.8	4.3	6.6
利用していない（計）	472	65.3	10.2	37.5	6.6	18.2	13.8	5.7	14.0	10.0	4.4	4.9	0.6	5.9	12.3
あまり利用していない	101	62.4	21.8	24.8	9.9	20.8	20.8	8.9	11.9	6.9	6.9	5.9	－	3.0	12.9
利用していない	371	66.0	7.0	41.0	5.7	17.5	11.9	4.9	14.6	10.8	3.8	4.6	0.8	6.7	12.1

調査票及び単純集計結果

都民生活に関する世論調査

【調査主体】

東京都 生活文化局 広報広聴部 都民の声課 調査担当

【調査実施機関】

東京都中央区日本橋3-13-5 KDX日本橋313ビル 6階
株式会社サーベイリサーチセンター
電話 0120-227-244

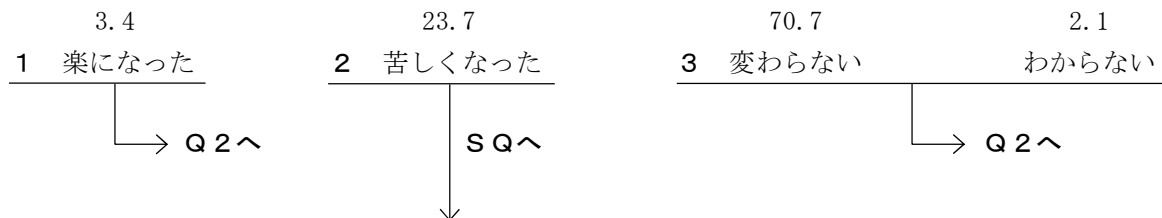


令和元年 6 月

【暮らし】

(全員に)

※Q1〔回答票1〕さっそくですが、お宅の暮らしは、昨年の今ごろとくらべて楽になりましたか、苦しくなりましたか、それとも、変わりませんか。〈n=1,845〉



(Q1で「2 苦しくなった」と答えた方に)

※SQ〔回答票1-1〕それはなぜでしょうか。この中から、いくつでもあげてください。〈n=438〉

- | | | |
|------|---|--------------------------|
| 37.7 | 1 | 営業不振などで給料や収益が増えない、又は減った |
| 18.9 | 2 | 失業、退職、病気などで働き手が減った |
| 11.2 | 3 | 利率の低下などにより預貯金が目減りした |
| 28.3 | 4 | 家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた |
| 14.2 | 5 | 結婚、出産、病気など特別の出費があった |
| 19.9 | 6 | 教育費が増えた |
| 16.2 | 7 | 家や自動車、家電などの支出が増えた |
| 32.9 | 8 | 税金や保険料の支払いが増えた |
| 3.7 | 9 | 営業経費が増えた |
| 7.3 | | その他（具体的に |
| 2.1 | | 特に理由はない、わからない |

M. T. =192.2

(全員に)

※Q2〔回答票2〕お宅の暮らしは、このように分けるとどれに当たりますか。あなたの感じ方に一番近いものを1つだけ選んでください。〈n=1,845〉

- | | | | | | |
|------|---|----------------|------|---|------------------|
| 5.9 | 1 | 今の暮らしで十分余裕がある | 39.6 | 3 | 今の暮らしではまだまだ余裕がない |
| 47.9 | 2 | 今の暮らしであればまあまあだ | 6.0 | 4 | 今の暮らしではとてもやりきれない |
| | | | 0.7 | | わからない |

(全員に)

※Q3〔回答票3〕お宅の生活程度は、世間一般からみて、この中のどれに入りますか。〈n=1,845〉

1.5	1	上	45.0	3	中の中	10.0	5	下
12.1	2	中の上	27.4	4	中の下	3.9		わからない

(全員に)

※Q4〔回答票4〕あなたの暮らしむきは、これから1年間楽になると思いますか、苦しくなると思いますか。それとも変わらないと思いますか。〈n=1,845〉

0.3	4.5	54.5	29.0	6.3	5.4
1	2	3	4	5	
かなり楽になる	やや楽になる	変わらない	やや苦しくなる	かなり苦しくなる	わからない
	→ Q5へ		SQへ		→ Q5へ

(Q4で「4 やや苦しくなる」「5 かなり苦しくなる」と答えた方に)

※SQ〔回答票4-1〕では、今後、切りつめていこうと思うものがありますか。この中からいくつでもお答えください。〈n=651〉

39.8	1	食費	16.6	10	保健、医療費
23.3	2	嗜好品費(酒、タバコなど)	22.1	11	理・美容、化粧品費
20.1	3	住居費(光熱水費を含む)	33.0	12	趣味、教養・娯楽費
36.9	4	被服費(身の回り品を含む)	30.7	13	旅行
18.3	5	装飾品費(宝石、貴金属類など)	43.6	14	外食費
21.5	6	家具、家電製品、車などの購入費	13.4	15	家族のこづかい
10.0	7	交通費(車の燃料・経費を含む)	11.5	16	冠婚葬祭、交際費
18.6	8	通信費(電話、インターネット接続など)	3.4		その他(具体的に)
8.0	9	教育費(塾を含む)	5.5		特にない

M. T. =376.3

(全員に)

※Q5〔回答票5〕あなたは、現在のご自分の生活に満足していますか。〈n=1,845〉

4.4	1	大変満足している	33.2	3	やや不満である	6.3	わからない
48.8	2	まあ満足している	7.3	4	大変不満である		
↓		SQ1へ	↓		SQ2へ	↓	
						Q6へ	

(Q5で「1 大変満足している」「2 まあ満足している」と答えた方に)

※SQ1〔回答票5-1〕どのような理由で満足されていますか。この中から当てはまるものをいくつでもお答えください。〈n=982〉

69.1	1	健康であるから	13.8	8	スポーツやレジャー活動が充実しているから
19.0	2	衣生活が豊かだから	20.6	9	仕事や勉強がうまくいっているから
29.5	3	食生活が豊かだから	26.0	10	趣味、教養の時間が十分とれて充実しているから
25.6	4	住生活が豊かだから	10.0	11	家具、車など耐久消費財がそろっているから
57.5	5	家族との生活が充実しているから	4.1	12	十分な貯蓄があるから
40.9	6	友人、知人との人間関係が充実しているから	12.0	13	悩みや心配ごとがないから
7.1	7	地域活動やボランティア活動などで社会に貢献しているから	1.1		その他(具体的に)
			0.7		わからない

M. T. =337.2

(Q5で「3 やや不満である」「4 大変不満である」と答えた方に)

※SQ2〔回答票5-2〕どのような理由で不満であると感じていますか。この中から当てはまるものをいくつかもお答えください。<n=747>

22.9	1	健康でないから	15.4	8	スポーツやレジャー活動が思うようにできないから
8.6	2	衣生活が不十分だから	15.7	9	仕事や勉強がうまくいっていないから
12.4	3	食生活が不十分だから	25.8	10	趣味、教養の時間が十分にとれないから
18.1	4	住生活が不十分だから	20.9	11	家具、車など、欲しいものが買えないから
5.4	5	家族との生活がうまくいっていないから	68.0	12	貯蓄が十分でないから
			26.0	13	悩みや心配ごとがあるから
1.9	6	友人、知人との人間関係がうまくいっていないから	6.8		その他（具体的に）
			0.9		わからない
9.5	7	社会に貢献しているという充実感がないから			

M. T. =258.2

(全員に)

※Q6〔回答票6〕あなたが、今後の生活を考えたとき、不安に感じることはありませんか。この中からいくつかもお答えください。<n=1,845>

61.6	1	自分の健康・病気	32.8	9	親などの介護
53.3	2	家族の健康・病気	50.3	10	老後の生活
11.7	3	自分の就職、結婚などの問題	6.7	11	家族・親族間の人間関係
9.3	4	家族の就職、結婚などの問題	4.1	12	近隣・地域の人間関係
16.3	5	子育て、子供の教育	14.9	13	仕事や職場のこと
45.5	6	今後の収入	1.1		その他（具体的に）
32.1	7	貯蓄や資産（借金や負債）	3.1		不安に感じることはない
33.9	8	税金や保険料（などの負担）			

M. T. =376.7

(全員に)

※Q7〔回答票7〕あなたは、税金について関心がありますか。<n=1,845>

34.7	46.2	15.3	3.8
1	2	3	
大いに関心がある	少し関心がある	関心がない	わからない
↓ SQへ		→ Q8へ	

(Q7で「1 大いに関心がある」「2 少し関心がある」と答えた方に)

※SQ〔回答票7-1〕では、今、関心をもっているのはどのようなことですか。この中から当てはまるものをいくつかあげてください。<n=1,493>

59.4	1	自分の納める税額	46.2	6	所得税や住民税などの減税
18.4	2	申告・納税のしかた	33.6	7	新税の導入や増税
70.5	3	税金の使われ方	2.0		その他（具体的に）
34.9	4	税負担の不公平さ	0.6		わからない
12.3	5	隠し所得や脱税の摘発			

M. T. =278.0

【住んでいる地域】

(全員に)

※Q8〔回答票8〕ところで、あなたが、今住んでいらっしゃるところは、住みよいところだと思いますか。それとも、思いませんか。〈n=1,845〉

85.1	9.8	5.1
1 住みよいところだと思う	2 住みよいところだとは思わない	わからない

(全員に)

※Q9〔回答票9〕あなたは、今お住まいのこの地域に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたの今のお気持ちをお答えください。〈n=1,845〉

76.6	11.3	12.1
1 住みたい	2 住みたくない	わからない
↓ S Q 1 へ	↓ S Q 2 へ	↓ Q10 へ

(Q9で「1 住みたい」と答えた方に)

※SQ1〔回答票9-1〕そう思うのはなぜですか。この中から3つまでお答えください。〈n=1,413〉

39.3 1 通勤・通学に便利なところだから 53.9 2 買物など日常の生活環境が整っているから 34.7 3 地域に愛着を感じているから (住み慣れているから) 35.8 4 自分の土地や家があるから 13.9 5 親や子供、親類が近くにいてから 4.3 6 仕事や商売に都合がよいから 22.2 7 静かで住環境がよいから 14.1 8 緑などの自然環境がよいから 3.8 9 文化や教育の面で環境がよいから 3.3 10 福祉サービスが充実しているから 3.0 11 防災の面で安心だから 11.0 12 治安の面で安心だから 1.0 その他(具体的に) 7.1 わからない	M. T. =247.6
--	--------------

(Q9で「2 住みたくない」と答えた方に)

※SQ2〔回答票9-2〕そう思うのはなぜですか。この中から3つまでお答えください。〈n=209〉

21.1 1 通勤・通学に不便なところだから 17.7 2 買物など日常の生活環境が整っていないから 24.4 3 地域に愛着を感じないから 17.7 4 家賃など住居費が高いから 6.7 5 親や子供、親類が近くにいないから 23.4 6 騒音・振動・大気汚染など周辺環境がよくないから 6.2 7 緑などの自然環境がよくないから 6.7 8 文化や教育の面で環境がよくないから 9.6 9 福祉サービスが充実していないから 12.4 10 防災の面で不安だから 9.6 11 治安の面で不安だから 13.9 その他(具体的に) 8.1 わからない	M. T. =177.5
---	--------------

【東京】

(全員に)

※Q10〔回答票10〕ところで、あなたにとって東京は、全般的にみて、住みよいところですか、それとも、住みにくいところですか。〈n=1,845〉

62.9	6.4	28.6	2.1
1 住みよい	2 住みにくい	3 どちらともいえない	わからない

(全員に)

※Q11〔回答票11〕あなたは、東京に今後もずっと住みたいと思いますか、それとも、住みたくないと思いますか。あなたの今のお気持ちをお答えください。＜n=1,845＞

75.9	1 住みたい	9.9	2 住みたくない	14.3	わからない
	SQ1へ		SQ2へ		Q12へ
(Q11で「1 住みたい」と答えた方に)			(Q11で「2 住みたくない」と答えた方に)		
※SQ1〔回答票11-1〕そう思うのはなぜですか。			※SQ2〔回答票11-2〕そう思うのはなぜですか。		
この中から3つまでお答えください。			この中から3つまでお答えください。		
＜n=1,400＞			＜n=182＞		
75.4	1 交通網が発達していて便利だから	50.0	1 人や車が多過ぎるから		
21.3	2 文化的な施設やコンサート・スポーツなどの催しが多いから	29.7	2 通勤・通学ラッシュがひどいから		
16.4	3 最新の情報が手に入り、流行の先端に触れることができるから	46.2	3 生活費が高いから		
15.5	4 仕事を見つけやすい、事業をおこしやすいから	32.4	4 住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから		
14.0	5 教育や学習の機会や場が充実しているから	13.7	5 緑や公園などの自然が少ないから		
26.6	6 医療や福祉などの質が高いから	11.5	6 大気汚染や騒音などの公害がひどいから		
8.9	7 治安の面で安心だから	8.8	7 治安の面で不安だから		
12.6	8 東京が好きだから	14.8	8 人間関係が希薄だから		
43.1	9 東京に長く暮らしているから	5.5	9 街並みが雑然として景観がよくないから		
7.4	10 人間関係がわずらわしくないから	9.3	その他（具体的に）		
1.6	その他（具体的に）	10.4	わからない		
5.7	わからない				M. T. =232.4
M. T. =248.5					

【都政への要望】

(全員に)

※Q12〔回答票12〕あなたは、これからの都政の進め方に対して、どんなことを望みますか。この中から特に望むことを3つまでお答えください。＜n=1,845＞

35.1	1 都政情報をわかりやすく提供する	11.9	8 住民に身近な事務は区市町村に任せる
29.3	2 情報公開を積極的に進める	6.1	9 国に対してさらに地方分権を働きかける
39.7	3 都民の意見や要望をよく知る	4.6	10 ボランティア活動や市民活動と協働する
29.9	4 事務手続きを簡素化する	1.5	その他（具体的に）
11.3	5 都庁の組織を簡素化する	7.0	特にない
16.4	6 職員の意識改革を進める	6.2	わからない
34.5	7 予算を効率的に執行する		

M. T. =233.4

(全員に)

※Q13〔回答票13〕 これからの都政全体について考えた場合、ここにあげてあることのどれに力を入れてほしいと思いますか。特に都に力を入れて取り組んでもらいたいものを5つまで選んでください。

< n =1,845>

S Q〔回答票13-1〕 それでは、今あげられたことについて、それぞれ具体的にどのようなことを望まれますか。この中から1つだけお答えください。

〔Q13 都政への要望〕	〔S Q 分野別要望〕
20.1 1 行財政	10.8 1 行政と民間との協働の推進や行政分野の民間開放 16.4 2 業務の効率化の推進など業務改革の推進 3.2 3 組織、人事制度など執行体制の整備 63.6 4 都税の適正な徴収と使用など財政の健全化 2.7 5 都区制度を含む自治制度の見直し 0.8 その他 () 2.4 無回答 < n =371>
1.6 2 都市外交の推進	53.3 1 都市間交流の推進 40.0 2 国際交流・協力活動への支援 6.7 その他 () < n =30>
42.8 3 治安対策	21.0 1 警察官によるパトロールの強化 26.5 2 子供等に対する犯罪が起こりにくい環境の整備 5.1 3 少年犯罪・少年非行の防止 9.3 4 防犯設備の設置等に対する支援 15.3 5 外国人による犯罪の防止 15.0 6 振り込め詐欺等特殊犯罪被害の防止 5.4 7 テロ対策等新たな犯罪への取組 0.1 その他 () 2.3 無回答 < n =789>
26.1 4 交通安全対策	27.0 1 交通渋滞の緩和・交通量の抑制 7.9 2 違法駐車対策 13.3 3 車の規制・取締り 15.0 4 交通安全教育の推進 32.6 5 自転車走行空間（自転車道等）の整備 3.7 その他 () 0.4 無回答 < n =481>
39.1 5 防災対策	49.0 1 防災都市づくり（無電柱化、道路の整備や建築物の耐震化・不燃化等） 29.6 2 災害時の活動体制の充実 8.9 3 防災対策に関する普及・啓発活動の充実 10.5 4 風水害対策 その他 () 1.9 無回答 < n =722>
7.5 6 中小企業対策	28.8 1 地域商工業の振興 23.7 2 融資制度等の充実 4.3 3 創業支援 10.8 4 技術の開発・向上支援 30.2 5 経営革新・経営安定の支援 0.7 その他 () 1.4 無回答 < n =139>

〔Q13 都政への要望〕	〔S Q 分野別要望〕
11.2 7 職業能力開発、 雇用対策	50.2 1 雇用・就業の促進 8.7 2 職業能力開発・向上 9.7 3 労働相談・指導の充実 27.5 4 働き方改革の推進 1.4 その他（ ） 2.4 無回答 < n = 207 >
2.9 8 観光振興対策	28.3 1 外国人旅行者の誘致のための取組 18.9 2 観光案内の充実 20.8 3 多摩・島しょ地域の観光振興 20.8 4 観光資源を活かしたまちづくりの推進 5.7 その他（ ） 5.7 無回答 < n = 53 >
19.5 9 消費生活対策	28.1 1 悪質商法などによる消費者トラブルの相談、救済 32.2 2 悪質な事業者の指導・処分 21.7 3 食品や生活用品などの表示の適正化の推進 8.9 4 商品・サービスに係る危害・危険の防止対策 6.4 5 消費者教育など消費者の自立支援策の充実 0.6 その他（ ） 2.2 無回答 < n = 360 >
7.8 10 男女平等参画の 推進	51.0 1 働く場での男女の均等な機会及び待遇の確保、女性が活躍できる 環境の整備 37.1 2 仕事と家庭・地域生活の両立の支援 4.2 3 配偶者等からの暴力(DV)の防止 6.3 4 男女平等の普及啓発 0.7 その他（ ） 0.7 無回答 < n = 143 >
2.5 11 地域活動の推進	17.4 1 NPO等の市民活動への支援 54.3 2 社会貢献活動を行う団体と行政との協働の推進 28.3 3 ボランティア活動参加への支援 - その他（ ） < n = 46 >
5.5 12 青少年健全育成 の推進	24.8 1 青少年の自立とボランティア活動など社会参加の促進 42.6 2 健全な成長を阻害する有害情報(不健全図書、インターネット利用) からの青少年の保護 14.9 3 健全育成の担い手である地区委員などの育成 15.8 4 非行からの立ち直り支援 2.0 その他（ ） < n = 101 >
21.1 13 環境対策	14.6 1 気候変動対策(省エネルギーの推進や自然エネルギーの活用) 5.9 2 ディーゼル車規制など自動車公害対策、大気汚染の改善 11.5 3 騒音・振動の防止対策 8.5 4 有害化学物質対策 19.7 5 豊かな自然や生物多様性の保全 6.2 6 東京湾や河川の水質改善 29.0 7 ごみ減量・リサイクル、産業廃棄物の適正処理 1.3 その他（ ） 3.3 無回答 < n = 390 >

〔Q13 都政への要望〕	〔S Q 分野別要望〕
48.9 14 高齢者対策	29.8 1 介護保険サービスの質的向上 13.5 2 訪問介護・通所介護等在宅サービスの充実 17.8 3 特別養護老人ホーム等施設サービスの充実 12.4 4 サービス付き高齢者向け住宅等高齢者が自立するための住まいの確保 11.1 5 介護予防及び高齢期の健康づくり 11.6 6 高齢者が活躍できる地域づくりの促進 1.1 その他 () 2.7 無回答 ＜ n = 903 ＞
7.9 15 障害者(児)対策	11.0 1 ショートステイ・通所等在宅サービスの充実 31.5 2 障害者支援施設等施設サービスの充実 9.6 3 グループホーム等障害者が自立するための住まいの確保 23.3 4 障害者の社会参加の促進 21.9 5 障害者の就労支援 2.1 その他 () 0.7 無回答 ＜ n = 146 ＞
23.1 16 少子化・虐待防止などの 子供対策	34.0 1 児童虐待対策の推進 12.9 2 多様なニーズに対応した保育サービスの充実 6.1 3 ひとり親家庭への支援 7.3 4 児童館、学童クラブなど放課後対策の充実 22.5 5 子育て家庭への支援や相談の充実 15.7 6 妊娠・出産に対する支援 0.2 その他 () 1.2 無回答 ＜ n = 426 ＞
37.9 17 医療・衛生対策	25.1 1 医療施設の整備 16.3 2 救急医療体制の整備 7.4 3 がん予防・医療対策 36.6 4 安心できる医療の確保 2.7 5 生活習慣病予防対策 1.0 6 新型インフルエンザやエイズ等感染症対策 4.6 7 花粉症などのアレルギー対策 4.0 8 食品の安全対策 0.9 その他 () 1.4 無回答 ＜ n = 700 ＞
8.2 18 まちづくりの 推進	39.1 1 まちのバリアフリー化 15.9 2 再開発などのまちづくり推進 18.5 3 良好な景観づくりの推進 23.2 4 みどり豊かな都市空間への取組 1.3 その他 () 2.0 無回答 ＜ n = 151 ＞
7.3 19 公園・緑地・ 水辺の整備	20.9 1 道路・河川の緑化の推進 63.4 2 公園・緑地の整備 13.4 3 親しめる水辺空間の創造 — その他 () 2.2 無回答 ＜ n = 134 ＞

〔Q13 都政への要望〕	〔S Q 分野別要望〕
9.3 20 水道・下水道の整備・維持	23.8 1 水道の安定供給 33.1 2 安全でおいしい水の供給 28.5 3 大雨による浸水被害対策 12.2 4 良好な水循環の確保 1.2 その他（ ） 1.2 無回答 < n =172>
8.2 21 道路交通網の整備	9.2 1 幹線道路の整備 33.6 2 生活に密着した道路の整備 20.4 3 道路と鉄道との立体交差の推進 32.9 4 歩道の設置・拡幅 3.3 その他（ ） 0.7 無回答 < n =152>
8.2 22 都営交通の整備	46.1 1 利用者サービスの向上 2.6 2 環境にやさしい車両の導入 23.0 3 安心・安全の確保 20.4 4 施設や車両のバリアフリー化 5.3 その他（ ） 2.6 無回答 < n =152>
12.4 23 土地・住宅対策	13.1 1 公共住宅の供給 17.9 2 子育て世帯への住宅支援 17.9 3 高齢者・障害者向け住宅対策 6.1 4 住宅の耐震性確保 31.0 5 住宅（持家・賃貸）の価格対策 1.3 6 住宅における省エネ化・CO2削減対策 4.4 7 住宅の売買やリフォーム、賃貸借に関するトラブル対策 3.9 8 マンションの管理等に対する支援（管理・改修・建替など） 1.7 その他（ ） 2.6 無回答 < n =229>
18.0 24 学校教育の充実	22.5 1 個性を生かす学校教育の充実 36.6 2 教員の資質向上のための研修の充実 9.3 3 学校施設の整備 28.8 4 いじめ・不登校対策 1.5 その他（ ） 1.2 無回答 < n =333>
3.4 25 生涯学習、社会教育の振興	52.4 1 学習機会の充実 23.8 2 施設の充実 22.2 3 情報提供の充実 1.6 その他（ ） < n =63>
4.6 26 文化・芸術の振興	9.5 1 都立文化施設の魅力の向上 52.4 2 文化・芸術活動の支援や人材育成 13.1 3 伝統文化の継承と発展 16.7 4 文化財・歴史的建築物の保存・整備 4.8 5 文化事業の実施 2.4 その他（ ） 1.2 無回答 < n =84>

〔Q13 都政への要望〕	〔S Q 分野別要望〕
4.8 27 スポーツ・レクリエーションの振興	61.4 1 施設の充実 20.5 2 スポーツ・レクリエーション活動への支援 1.1 3 競技スポーツの振興 3.4 4 障害者スポーツの振興 12.5 5 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けた取組 1.1 その他（ ） < n =88 >
4.0 28 多文化共生社会の推進	35.6 1 在住外国人への生活サポート、情報提供、相談体制の充実 49.3 2 多様な価値観を受け入れる意識の醸成 8.2 3 在住外国人に対する防災知識の普及 2.7 その他（ ） 4.1 無回答 < n =73 >
2.2 29 その他	31.7 1 人権尊重 14.6 2 平和意識の高揚 4.9 3 農林水産業振興 - 4 港湾整備 7.3 5 市場の整備・運営 14.6 6 国際ビジネス環境の整備 24.4 その他（ ） 2.4 無回答 < n =41 >
5.4 わからない	

M. T. =421.6

【人権について】

(全員に)

※Q14〔回答票14〕あなたは、今の日本は、人権が尊重されている社会だと思いますか。＜n=1,845＞

- | | | | | | |
|------|---|--------------|------|---|----------------|
| 11.9 | 1 | そう思う | 21.2 | 3 | どちらかといえばそう思わない |
| 51.9 | 2 | どちらかといえばそう思う | 9.7 | 4 | そう思わない |
| | | | 5.3 | | わからない |
-

(全員に)

それぞれの人権問題の説明資料

※Q15〔回答票15〕人権に関わる問題のうち、あなたが関心のあるものをすべてお答えください。

＜n=1,845＞

- | | | |
|------|----|--|
| 35.8 | 1 | 女性の人権 |
| 30.3 | 2 | 子供の人権 |
| 32.8 | 3 | 高齢者の人権 |
| 34.3 | 4 | 障害者の人権 |
| 8.7 | 5 | 同和地区（被差別部落）出身者の人権 |
| 7.3 | 6 | アイヌの人々の人権 |
| 15.4 | 7 | 外国人の人権 |
| 8.7 | 8 | エイズ患者・HIV感染者の人権 |
| 10.1 | 9 | ハンセン病患者・回復者等の人権 |
| 21.7 | 10 | 犯罪被害者やその家族の人権 |
| 12.4 | 11 | 性自認（自己の性別についての認識）に関する人権 |
| 12.3 | 12 | 性的指向（自己の恋愛又は性愛の対象となる性別についての指向）に関する人権 |
| 10.8 | 13 | 刑を終えて出所した人の人権 |
| 9.6 | 14 | 路上生活者（ホームレス）の人権 |
| 42.9 | 15 | プライバシーや個人情報の流出・漏えいの問題 |
| 43.3 | 16 | インターネットによる人権侵害の問題（他人の誹謗中傷、差別を助長する情報の掲出等） |
| 9.8 | 17 | 婚外子や無国籍の人の人権 |
| 24.9 | 18 | 北朝鮮による拉致問題 |
| 16.1 | 19 | 災害に伴う人権問題 |
| 10.2 | 20 | 性的搾取、強制労働等人身取引の問題 |
| 9.4 | | 特になし |

M. T. =322.3

(全員に)

条例の説明資料

Q16〔回答票16〕あなたは、東京都で「オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例」が制定されたことを知っていますか。＜n=1,845＞

10.8 1 知っている

89.2 2 知らない

S Q 1 へ

S
Q
2
へ

(Q16で「知っている」と答えた方に)

S Q 1〔回答票16-1〕あなたは「東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例」の中で「性自認及び性的指向」に関する規定があることを知っていますか。＜n=200＞

43.0 1 知っている

57.0 2 知らない

(Q16で「知っている」と答えた方に)

S Q 2〔回答票16-2〕あなたは「東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例」の中で「本邦外出身者（他の民族や国籍の人々）に対する差別的な言動（いわゆるヘイトスピーチ）」に関する規定があることを知っていますか。＜n=200＞

49.0 1 知っている

51.0 2 知らない

(全員に)

Q17〔回答票17〕性自認という言葉について、知っていますか。＜n=1,845＞

2.9 1 内容を詳しく説明することができる

16.2 3 内容は知らないが、名称だけ知っている

18.9 2 詳しく説明できないが、ある程度内容を
知っている

59.0 4 聞いたことがない
2.9 わからない

(全員に)

Q18〔回答票18〕性的指向という言葉について、知っていますか。＜n=1,845＞

4.7 1 内容を詳しく説明することができる

24.6 3 内容は知らないが、名称だけ知っている

29.9 2 詳しく説明できないが、ある程度内容を
知っている

38.6 4 聞いたことがない
2.2 わからない

(全員に)

Q19〔回答票19〕LGBTという言葉について、知っていますか。＜n=1,845＞

13.8 1 内容を詳しく説明することができる

19.6 3 内容は知らないが、名称だけ知っている

43.7 2 詳しく説明できないが、ある程度内容を
知っている

21.4 4 聞いたことがない
1.5 わからない

(全員に)

LGBTの説明資料

Q20〔回答票20〕LGBT等の性的少数者に関して、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。
この中から当てはまるものをいくつかもお答えください。＜n=1,845＞

- 52.8 1 職場、学校等でいやがらせやいじめを受けること
48.0 2 就職、職場で不利な扱いを受けること
55.0 3 差別的な言動を受けること
19.5 4 賃貸住宅等への入居を拒否されること
13.3 5 宿泊施設、店舗等への入店や施設利用を拒否されること
36.2 6 じろじろ見られたり、避けられたりすること
1.1 その他（具体的に）
5.0 特にない
14.2 わからない

M. T. =245.0

(全員に)

Q21〔回答票21〕特定の国の出身者であること又はその子孫であることのみを理由に、日本社会から追い出そうとしたり危害を加えようとしたりするなどの一方的な内容の言動が、一般に「ヘイトスピーチ」と呼ばれています。

あなたは、ヘイトスピーチを伴うデモ、集会、街宣活動等を見聞きしたことがありますか。

テレビや新聞報道等で見聞きした場合も含みます。＜n=1,845＞

57.2 1 ある 42.8 2 ない

SQへ

(Q21で「ある」と答えた方に)

SQ〔回答票21-1〕あなたは、そのようなデモ等を見聞きしてどのように思いましたか。この中から当てはまるものをいくつかもお答えください。＜n=1,055＞

- 44.4 1 不愉快（で許せない）と思った
35.4 2 日本に対する印象が悪くなったと思った
6.1 3 自分には関係ないと思った
30.7 4 いろいろな考え方、受け止め方がありうるので、特段問題ないと思った
3.7 その他（具体的に）
2.0 特にない
2.1 わからない

M. T. =124.3

(全員に)

※Q22〔回答票22〕人権問題について、さまざまな方法で啓発活動が行われていますが、あなたの印象として、特に効果があると思う啓発手段は何ですか。この中から当てはまるものを3つまでお答えください。

＜n=1,845＞

- | | |
|----------------------|-------------------------------------|
| 15.9 1 講演会や研修会 | 15.7 8 掲示物（ポスターなど） |
| 7.5 2 映画会や展示会 | 7.6 9 ホームページ・メルマガなど |
| 11.1 3 広報紙誌やパンフレット | 35.0 10 SNS（ツイッター、フェイスブック、インスタグラム等） |
| 64.3 4 テレビ・ラジオ | 16.4 11 動画投稿サイト（ユーチューブ等） |
| 11.3 5 映画・DVDなどの映像媒体 | 1.8 その他（具体的に） |
| 27.1 6 新聞 | 4.1 特にない |
| 8.9 7 雑誌・週刊誌 | 6.9 わからない |

M. T. =233.5

〔人権関係説明資料〕

Q15 人権に関わる問題で関心のあるもの（問題例）

1	女性	セクシャル・ハラスメントや配偶者等からの暴力、ストーカー行為、管理職の少なさや賃金格差	11	性自認	自己の性別についての認識のこと。 心の性の認識と身体の性が異なる場合があることの無理解による偏見や差別
2	子供	児童虐待、いじめや体罰、児童買春	12	性的指向	自己の恋愛又は性愛の対象となる性別についての指向のこと。同性愛者や両性愛者の人々が興味本位で見られたり、職場や学校で受ける嫌がらせやいじめ
3	高齢者	年齢を理由とした就職差別や住宅の賃貸拒否、虐待、高齢者狙いの悪質商法	13	刑を終えて出所した人	住居の確保や就職が困難、悪意のあるうわさの流布、家族に対する偏見や差別
4	障害者	段差や車いす対応トイレの不足等日常生活や職場での施設の未整備、差別待遇や無理解による偏見	14	路上生活者（ホームレス）	無理解に基づく地域住民とのあつれき、偏見や嫌がらせ
5	同和地区（被差別部落）出身者	就職や結婚等での差別、インターネット上の悪質な書き込みによる差別	15	プライバシーや個人情報の流出・漏えい	行政情報、商品やサービスの顧客データ等の個人情報の流出や漏えい
6	アイヌの人々	就職差別や結婚差別	16	インターネットによる人権侵害の問題	掲示板等への個人情報の無断公開や差別を助長する誹謗中傷等の情報掲出、不正アクセスによる個人情報の取得
7	外国人	文化などの違いの無理解による差別や偏見、住宅や就労での差別、ヘイトスピーチ（特定の民族や国籍の人々を排斥する差別的言動）	17	婚外子や無国籍	法律上婚姻関係にある男女の間に生まれた子（嫡出子）とそうでない子（婚外子、非嫡出子）との差別、日本人と外国人の間で生まれた子が認知されないため無国籍となる問題
8	エイズ患者・HIV感染者	病気への無理解による日常生活や職場などでの差別	18	北朝鮮による拉致問題	多くの日本人が拉致され、未だ帰国できない人々が多く存在する問題
9	ハンセン病患者・回復者等	病気への無理解による日常生活や職場などでの差別	19	災害に伴う人権問題	避難所等でのプライバシーや女性、高齢者等への配慮の不足、風評に基づく嫌がらせ
10	犯罪被害者やその家族	身体的・財産的被害への無理解、メディアの過剰取材、周囲の人々のうわさや中傷・偏見	20	性的搾取、強制労働等人身取引	人身取引（トラフィッキング）による性的搾取、強制労働

Q16 人権尊重に関する条令制定の認知度

＜参考＞東京都オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念の実現を目指す条例（平成30年10月15日公布）

東京都が、いかなる種類の差別も許されないという、オリンピック憲章にうたわれる人権尊重の理念が広く浸透した都市となることを目的としています。

あわせて、多様な性の理解及び本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組を推進することを趣旨としています。

Q20 L G B T の理解度

＜参考＞LGBT とは？

LGBT は代表的な性的マイノリティの頭文字をとって作られた言葉です。

Lesbian	レズビアン（女性同性愛者）
Gay	ゲイ（男性同性愛者）
Bisexual	バイセクシャル（両性愛者）
Transgender	トランスジェンダー（身体の性と異なる 性別で生きる人、あるいは生きたいと望む人）

※こうした LGBT の枠に当てはまらない人もいます。

<フェイスシート>

ご意見をおうかがいすることは以上で終わりですが、お答えを統計的に分析するために必要なことを、
少しうかがわせてください。

F 1 <性 別> <n=1,845>

50.4 1 男 性

49.6 2 女 性

F 2 <年 齢> あなたの年齢は、おいくつですか。 <n=1,845>

0.9 1 18・19歳

7.6 6 40～44歳

8.1 11 65～69歳

4.9 2 20～24歳

8.7 7 45～49歳

9.2 12 70～74歳

6.7 3 25～29歳

9.1 8 50～54歳

13.6 13 75歳以上

7.7 4 30～34歳

8.5 9 55～59歳

8.9 5 35～39歳

6.2 10 60～64歳

F 3 <職 業> [回答票 F 3] あなたのお仕事はこの中のどれですか。 <n=1,845>

10.9 1 自営業主

18.4 5 無職の主婦・主夫 → F 4 へ

1.8 2 家族従業（家業手伝い）

2.9 6 学生 → F 4 へ

42.8 3 勤め（全日）

9.7 7 その他の無職 → F 4 へ

11.2 4 勤め（短時間）

2.2 無回答

（F 3 で「1 自営業主」「2 家族従業（家業手伝い）」と答えた方に）

S Q 1 <仕事内容> 自営業主または家族従業の方にお聞きします。あなたの仕事の内容を具体的にお聞
かせください。（商店主、文筆業、開業医などのように、している仕事を具体的に記入する。）

<n=235>

（仕事内容）

〔調査員分類記入〕

2.1 1 農林漁業

74.0 2 商工・サービス業

20.0 3 自由業

3.8 無回答

（F 3 で「3 勤め（全日）」「4 勤め（短時間）」と答えた方に）

S Q 2 <雇用形態> [回答票 F 3-2] お勤めの方にお聞きします。あなたの働き方は次のどれでしょうか。

<n=997>

64.0 1 正社員、正規職員

33.3 2 派遣、契約・嘱託・パート・アルバイトなど

2.7 無回答

（F 3 で「3 勤め（全日）」「4 勤め（短時間）」と答えた方に）

S Q 3 <仕事内容／役職> お勤めの方にお聞きします。あなたの仕事の内容を具体的にお聞かせくだ
さい。役職などございますか。（経理事務、運転手などのように、している仕事を具体的に記入する。）

<n=997>

（仕事内容）

役職名

〔調査員分類記入〕

6.2 1 経営・管理職

57.3 3 事務職

14.0 5 販売・サービス職

2.7 2 専門・技術職

13.0 4 労務・技能職

6.7 無回答

F 4 <住居形態>〔回答票 F 4〕現在のお住まいは、この中のどれにあたりますか。<n=1,845>

- 50.5 1 持家（一戸建）
 14.6 2 持家（分譲マンションなど集合住宅）
 2.0 3 民間の借家（一戸建）
 22.7 4 民間の借家（賃貸マンション・アパートなど集合住宅）
 5.6 5 都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅・アパート
 2.2 6 社宅・公務員住宅など給与住宅
 0.5 7 住み込み・寮・寄宿舍など
 0.7 8 その他（具体的に
 1.2 無回答

F 5 <未・既婚>〔回答票 F 5〕あなたは、結婚していらっしゃいますか。この中のどれにあたりますか。
 <n=1,845>

- 27.8 1 未婚
 57.9 2 既婚（有配偶）
 13.4 3 既婚（離・死別）
 0.9 無回答
- F 6へ
 SQへ
 → F 6へ

（F 5で「2 既婚（有配偶）」と答えた方に）

SQ<共働き有無>ご夫婦とも働いていますか。<n=1069>

- 48.3 1 はい
 47.7 2 いいえ
 4.0 無回答

F 6 <子供の数>〔回答票 F 6〕お子さんは何人いらっしゃいますか。同居・別居は問いません。亡くなった方は除いてお答えください。<n=1,845>

- 39.3 1 いない
 15.3 2 1人
 32.7 3 2人
 10.1 4 3人
 1.5 5 4人
 0.1 6 5人以上
 1.0 無回答
- F 7へ
 SQへ

（F 6で「2 1人」～「6 5人以上」と答えた方に）

SQ<子供の成長段階>〔回答票 F 6-1〕それぞれどんな段階の方ですか。すべてのお子様についてお答えください。<n=1,101>

- 2.7 1 乳児（0歳）
 8.3 2 1～3歳
 8.4 3 4歳以上で小学校入学前
 15.3 4 小学生
 8.3 5 中学生
 8.8 6 高校生
 8.6 7 大学生・大学院生
 61.7 8 学校教育終了
 0.6 その他（具体的に
 1.5 無回答
 M. T. =122.8

F 7 <家族人数>〔回答票 F 7〕今、一緒に暮らしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。

<n=1,845>

- 20.2 1 1人
 27.8 2 2人
 21.7 3 3人
 18.0 4 4人
 7.5 5 5人
 2.8 6 6人
 1.0 7 7人以上
 1.0 無回答

F 8<出生地>〔回答票 F 8〕あなたは、生まれてからずっとこの地域にお住まいですか。それとも、他の地域からいらしたのですか。＜n=1,845＞

26.9 1 生まれてからずっとこの地域に住んでいる 72.8 2 他の地域からきた 0.3 無回答
(一時的にこの地域を離れた人も含む)

F 9<地域居住年数>〔回答票 F 9〕では、この地域にお住みになってから何年になりますか。
＜n=1,845＞

2.7	1	1 年未満	11.7	4	5～10年未満	14.4	7	20～30年未満
6.3	2	1～3 年未満	10.4	5	10～15年未満	41.6	8	30年以上
5.6	3	3～5 年未満	6.5	6	15～20年未満	0.3		わからない
						0.7		無回答

F 10<東京生まれ>〔回答票 F 10〕あなたは、生まれてからずっと東京にお住まいですか。それとも、東京以外からいらしたのですか。＜n=1,845＞

47.7 1 生まれてからずっと東京に住んでいる 50.2 2 東京以外からきた 2.1 無回答
(一時的に東京を離れた人も含む)

F 11<東京都居住年数>〔回答票 F 11〕では、東京都にお住みになってから何年になりますか。
＜n=1,845＞

1.0	1	1 年未満	6.4	4	5～10年未満	14.1	7	20～30年未満
2.3	2	1～3 年未満	6.7	5	10～15年未満	60.3	8	30年以上
2.7	3	3～5 年未満	5.5	6	15～20年未満	0.3		わからない
						0.7		無回答

F 12<世帯年収>〔回答票 F 12〕お宅全体の昨年 1 年間の収入はおよそどのくらいでしたか。
＜n=1,845＞

9.8	1	200 万円未満	7.4	7	900～1,100 万円未満
10.4	2	200～300 万円未満	4.6	8	1,100～1,300 万円未満
10.3	3	300～400 万円未満	1.8	9	1,300～1,500 万円未満
8.8	4	400～500 万円未満	2.3	10	1,500～2,000 万円未満
13.1	5	500～700 万円未満	2.3	11	2,000 万円以上
9.3	6	700～900 万円未満	15.1		わからない
			4.8		無回答

F 13<インターネットの利用>〔回答票 F 13〕あなたはインターネットを利用していますか。
＜n=1,845＞

60.1	1	よく利用している	5.5	3	あまり利用していない
14.0	2	ときどき利用している	20.1	4	利用していない
			0.3		無回答

付 属 資 料

東京都では、世論調査を開始して以来、毎年様々な項目について世論調査を実施しているが、その一部については経年変化をみるため、同一項目を毎年継続調査している。

そこで、比較的長期にわたって調査している項目について、毎年変化を追えるように付属資料としてまとめた。

※「暮らしむきの変化」については、消費者物価上昇率、景気の動向など主な経済・社会の変化を合わせて掲載した。

図1 暮らしむきの変化

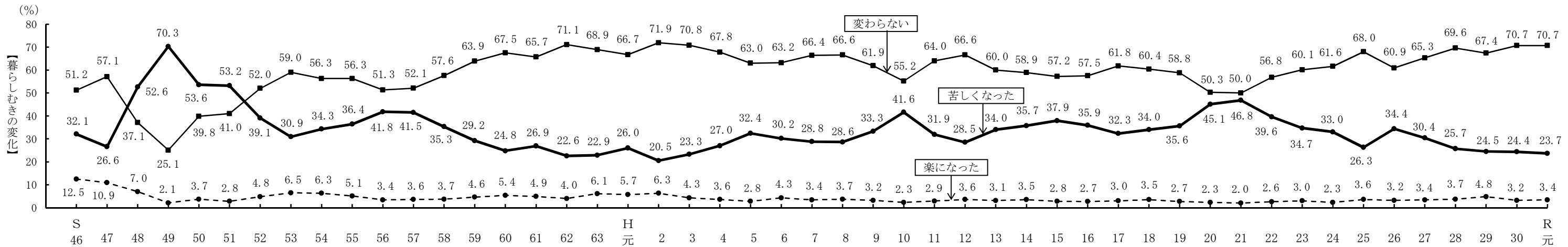


図2 消費者物価上昇率

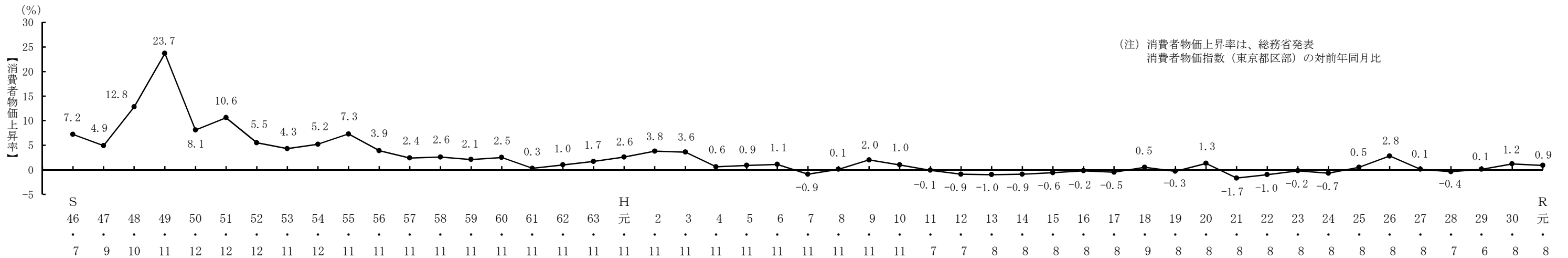


図3 社会経済の年表

[illegible]

表1 暮らしの余裕

		(計) 余裕がある	十分 余裕があ	今の暮らし であ	今の暮らし であ	(計) 余裕がない	今の暮らし であ	今の暮らし であ	(%) わからない
昭和46年	(2, 264)	51.1	3.9	47.2	46.8	41.1	5.7	2.1	
47	(2, 291)	53.5	4.7	48.8	43.5	39.7	3.8	3.0	
48	(2, 186)	44.5	2.1	42.4	54.2	44.4	9.8	1.3	
49	(2, 168)	35.5	1.9	33.6	63.8	45.6	18.2	0.8	
50	(2, 191)	45.1	2.4	42.7	53.0	44.8	8.2	1.9	
51	(2, 181)	43.1	2.3	40.8	55.3	45.3	10.0	1.6	
52	(2, 210)	48.2	3.3	44.9	50.1	41.5	8.6	1.5	
53	(2, 268)	53.9	3.2	50.7	45.4	39.2	6.2	0.7	
54	(2, 104)	52.4	3.4	49.0	46.4	39.8	6.6	1.2	
55	(2, 193)	50.8	3.0	47.8	47.8	40.3	7.5	1.5	
56	(2, 202)	47.6	4.0	43.6	50.6	41.6	9.0	1.9	
57	(2, 172)	49.1	3.6	45.5	49.6	42.6	7.0	1.3	
58	(2, 150)	51.2	3.4	47.8	47.3	39.7	7.6	1.5	
59	(2, 165)	56.3	4.2	52.1	42.0	36.7	5.3	1.7	
60	(2, 188)	57.2	4.8	52.4	41.7	36.4	5.3	1.1	
61	(2, 178)	55.2	4.4	50.8	43.6	38.2	5.4	1.2	
62	(2, 209)	53.9	5.2	48.7	45.0	40.0	5.0	1.1	
63	(2, 143)	54.8	4.4	50.4	44.0	38.3	5.7	1.2	
平成元年	(2, 219)	57.1	5.5	51.6	41.9	37.6	4.3	0.9	
2	(2, 230)	59.1	5.4	53.7	40.4	35.7	4.7	0.5	
3	(2, 106)	59.0	5.2	53.8	40.5	36.1	4.4	0.6	
4	(2, 107)	62.6	5.3	57.3	37.0	33.2	3.8	0.4	
5	(2, 111)	57.9	5.0	52.9	41.7	36.0	5.7	0.4	
6	(2, 136)	58.2	4.6	53.7	41.4	36.4	5.1	0.3	
7	(2, 190)	60.7	5.9	54.8	39.0	33.8	5.2	0.2	
8	(2, 115)	58.9	5.3	53.6	40.8	35.3	5.5	0.4	
9	(2, 165)	57.6	4.6	53.1	41.7	36.3	5.4	0.6	
10	(2, 132)	53.9	4.3	49.7	44.9	36.8	8.1	1.2	
11	(2, 074)	56.8	5.1	51.7	42.6	35.4	7.2	0.6	
12	(2, 115)	57.3	5.8	51.5	42.1	34.7	7.4	0.6	
13	(2, 124)	52.1	4.1	48.0	46.0	37.1	8.9	1.9	
14	(2, 132)	52.1	3.8	48.2	45.5	37.6	7.9	2.4	
15	(1, 873)	50.3	4.2	46.2	47.5	38.1	9.5	2.1	
16	(1, 857)	44.3	2.9	41.4	53.2	42.1	11.1	2.5	
17	(2, 031)	49.7	4.3	45.4	48.6	38.3	10.3	1.7	
18	(2, 081)	48.6	3.7	44.8	50.3	41.1	9.2	1.2	
19	(2, 084)	46.7	3.1	43.6	51.3	41.8	9.5	2.0	
20	(2, 030)	46.9	3.0	43.9	51.2	41.1	10.0	1.9	
21	(2, 025)	42.5	2.8	39.7	56.6	46.4	10.2	0.9	
22	(2, 013)	45.9	4.0	41.9	53.4	45.4	8.0	0.7	
23	(2, 009)	49.2	4.0	45.2	48.3	40.5	7.8	2.5	
24	(2, 002)	48.3	3.6	44.7	49.3	41.0	8.3	2.4	
25	(2, 010)	48.8	4.8	43.9	48.7	41.2	7.4	2.6	
26	(1, 850)	50.4	4.5	45.9	48.9	40.4	8.4	0.7	
27	(1, 900)	49.8	3.6	46.2	49.3	41.7	7.6	0.9	
28	(1, 805)	51.9	4.7	47.1	47.2	40.1	7.1	0.9	
29	(1, 810)	54.9	5.4	49.6	43.0	36.7	6.3	2.1	
30	(1, 856)	54.3	5.2	49.1	44.9	38.1	6.8	0.8	
令和元年	(1, 845)	53.7	5.9	47.9	45.6	39.6	6.0	0.7	

(注1)『余裕がある(計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計『余裕がない(計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計
(注2) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

表2 これからの暮らしむき

		(計) 楽になる	かなり 楽にな	やや 楽にな	変わらない	(計) 苦しくなる	やや 苦しく	かなり 苦し	(%) わからない
昭和55年	(1, 048)	8.3	1.2	7.1	51.9	39.8	34.8	5.0	-
56	(1, 099)	8.3	1.0	7.3	60.6	31.1	26.9	4.2	-
57	(1, 083)	7.3	0.8	6.5	55.3	36.4	31.8	4.6	1.0
58	(1, 110)	6.1	0.6	5.5	55.0	34.8	29.9	4.9	4.1
59	(1, 199)	6.7	0.5	6.2	65.0	28.1	25.1	3.0	0.2
60	(2, 134)	9.0	1.0	8.0	63.7	26.6	23.0	3.6	0.7
61	(2, 143)	8.3	0.7	7.6	63.1	28.7	23.8	4.9	-
62	(2, 119)	9.1	0.7	8.4	61.9	29.0	24.9	4.1	-
63	(2, 029)	8.8	1.1	7.7	66.8	24.3	21.4	2.9	-
平成元年	(2, 106)	7.2	0.7	6.5	67.4	25.4	22.7	2.7	-
2	(2, 157)	9.9	1.0	8.9	68.4	21.6	20.3	1.3	-
3	(2, 207)	9.8	1.0	8.7	67.6	22.4	19.4	3.0	0.1
4	(2, 132)	7.7	1.0	6.7	58.5	33.9	26.3	7.6	-
5	(2, 117)	7.9	0.7	7.2	58.9	33.3	24.0	9.3	-
6	(2, 123)	7.8	0.6	7.2	62.8	29.3	23.4	5.9	-
7	(2, 190)	8.3	0.5	7.9	61.7	28.9	25.2	3.7	1.1
8	(2, 115)	8.7	0.4	8.2	56.2	33.7	29.3	4.4	1.5
9	(2, 165)	5.6	0.6	5.0	52.3	40.7	36.3	4.5	1.4
10	(2, 132)	3.5	0.4	3.0	49.3	44.2	37.6	6.6	3.0
11	(2, 074)	5.8	0.4	5.4	56.8	34.8	30.4	4.4	2.6
12	(2, 115)	6.5	0.8	5.7	59.5	31.5	26.9	4.6	2.5
13	(2, 124)	2.9	0.3	2.6	46.2	44.5	35.4	9.1	6.4
14	(2, 132)	4.7	0.5	4.2	50.7	38.4	30.0	8.4	6.2
15	(1, 873)	4.1	1.0	3.2	47.6	40.5	30.5	10.0	7.7
16	(1, 857)	4.1	0.2	3.9	51.3	35.3	25.6	9.7	9.3
17	(2, 031)	4.3	0.3	4.0	50.1	37.9	29.2	8.7	7.8
18	(2, 081)	4.8	0.4	4.4	51.4	37.5	28.2	9.3	6.4
19	(2, 084)	3.9	0.3	3.6	47.8	40.6	31.1	9.5	7.6
20	(2, 030)	2.3	0.1	2.2	38.1	53.1	40.5	12.5	6.6
21	(2, 025)	2.8	0.2	2.6	40.0	50.4	35.9	14.5	6.9
22	(2, 013)	3.2	0.1	3.1	47.1	43.6	32.1	11.5	6.0
23	(2, 009)	3.6	0.3	3.3	47.9	40.6	31.8	8.8	7.8
24	(2, 002)	3.1	0.3	2.7	46.9	43.4	33.2	10.2	6.6
25	(2, 010)	4.3	0.4	3.8	50.6	38.0	29.0	9.1	7.1
26	(1, 850)	4.5	0.4	4.1	48.7	42.3	32.8	9.5	4.5
27	(1, 900)	3.9	0.3	3.6	53.2	38.2	29.3	8.8	4.7
28	(1, 805)	4.4	0.5	3.9	55.8	35.0	28.3	6.7	4.8
29	(1, 810)	6.2	0.6	5.6	54.2	32.3	25.7	6.6	7.3
30	(1, 856)	4.4	0.1	4.3	56.3	33.9	27.6	6.3	5.4
令和元年	(1, 845)	4.8	0.3	4.5	54.5	35.3	29.0	6.3	5.4

(注1)『楽になる(計)』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
『苦しくなる(計)』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計
(注2) 平成6年までは「都民要望に関する世論調査」、平成7年から平成9年は「都市生活に関する世論調査」

表3 生活満足度

(%)

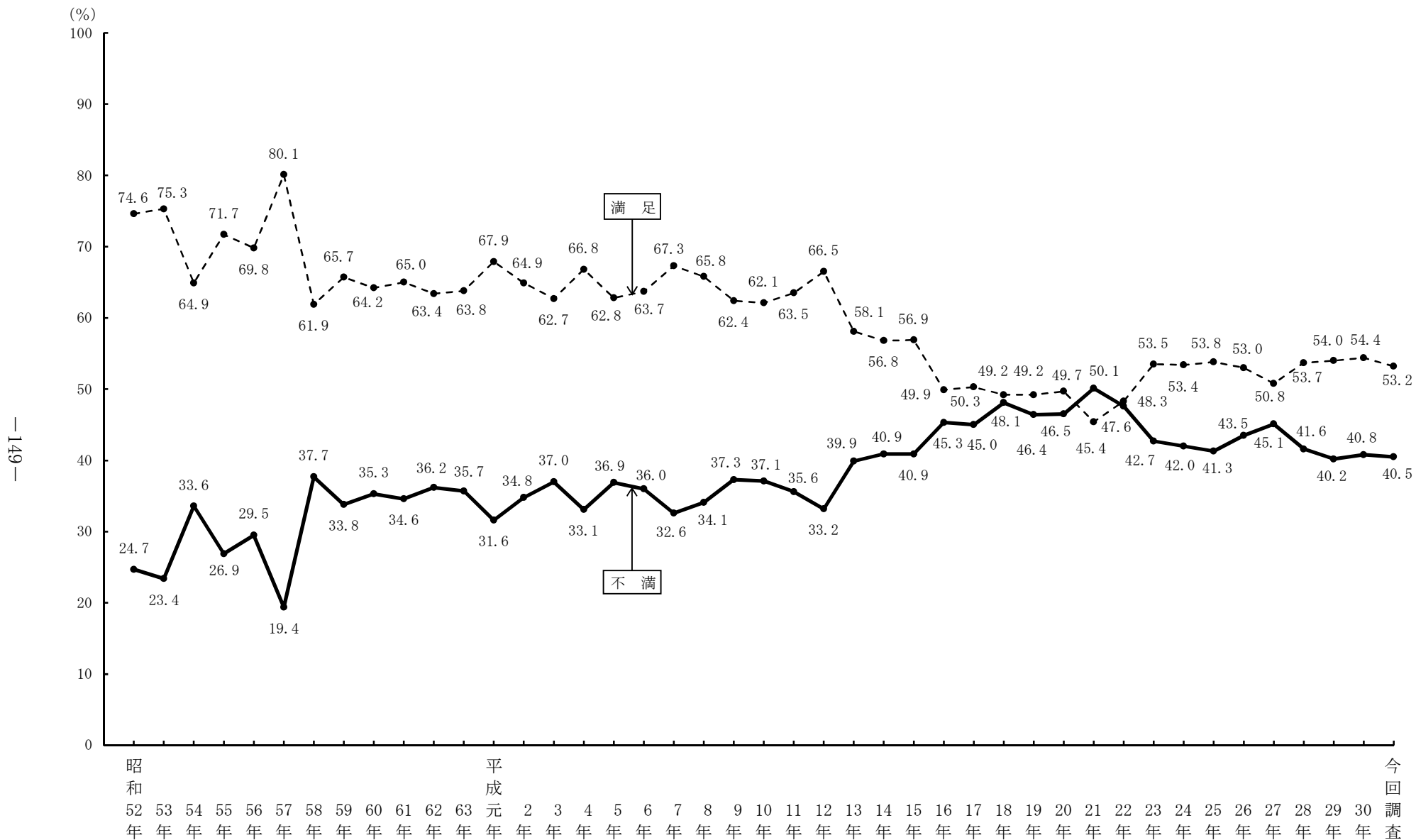
	n	満足 (計)	大変 満足	まあ 満足	不満 (計)	やや 不満	大変 不満	わからない
昭和52年	(2, 210)	74.6	9.9	64.7	24.7	21.4	3.3	0.6
53	(2, 268)	75.3	10.8	64.5	23.4	20.5	2.9	1.3
54	(2, 104)	64.9	5.6	59.3	33.6	27.9	5.7	1.6
55	(2, 193)	71.7	8.1	63.6	26.9	22.3	4.6	1.4
56	(2, 202)	69.8	8.7	61.1	29.5	25.2	4.3	0.7
57	(2, 172)	80.1	15.1	65.0	19.4	17.7	1.7	0.5
58	(2, 150)	61.9	5.4	56.5	37.7	30.6	7.1	0.4
59	(2, 165)	65.7	5.4	60.3	33.8	28.9	4.9	0.5
60	(2, 188)	64.2	7.5	56.7	35.3	30.2	5.1	0.4
61	(2, 178)	65.0	6.8	58.2	34.6	29.7	4.9	0.4
62	(2, 209)	63.4	6.8	56.6	36.2	31.5	4.7	0.4
63	(2, 143)	63.8	7.0	56.8	35.7	30.8	4.9	0.6
平成元年	(2, 219)	67.9	6.1	61.8	31.6	27.2	4.4	0.5
2	(2, 230)	64.9	5.2	59.7	34.8	29.1	5.7	0.3
3	(2, 106)	62.7	6.0	56.7	37.0	31.7	5.3	0.3
4	(2, 107)	66.8	6.3	60.5	33.1	28.6	4.5	0.1
5	(2, 111)	62.8	5.6	57.2	36.9	31.1	5.8	0.3
6	(2, 136)	63.7	6.0	57.6	36.0	30.9	5.1	0.3
7	(2, 190)	67.3	6.1	61.1	32.6	27.7	4.9	0.2
8	(2, 115)	65.8	6.5	59.3	34.1	29.0	5.1	0.1
9	(2, 165)	62.4	4.7	57.7	37.3	32.1	5.1	0.3
10	(2, 132)	62.1	3.4	58.6	37.1	29.9	7.2	0.8
11	(2, 074)	63.5	5.9	57.7	35.6	29.7	5.9	0.9
12	(2, 115)	66.5	4.5	61.9	33.2	27.0	6.1	0.3
13	(2, 124)	58.1	3.7	54.4	39.9	32.5	7.3	2.1
14	(2, 132)	56.8	3.4	53.4	40.9	32.5	8.4	2.3
15	(1, 873)	56.5	3.9	53.0	40.9	31.7	9.2	2.2
16	(1, 857)	49.9	2.0	47.9	45.3	34.0	11.3	4.7
17	(2, 031)	50.3	4.2	46.0	45.0	35.6	9.4	4.7
18	(2, 081)	49.2	3.7	45.6	48.1	37.4	10.6	2.7
19	(2, 084)	49.2	2.4	46.8	46.4	35.6	10.8	4.4
20	(2, 030)	49.7	3.2	46.5	46.5	37.0	9.5	3.8
21	(2, 025)	45.4	2.8	42.6	50.1	37.5	12.6	4.5
22	(2, 013)	47.6	2.9	44.8	48.3	36.8	11.5	4.1
23	(2, 009)	53.5	4.0	49.4	42.7	34.1	8.6	3.8
24	(2, 002)	53.4	3.6	49.9	42.0	33.9	8.0	4.6
25	(2, 010)	53.8	4.3	49.5	41.3	32.6	8.7	4.9
26	(1, 850)	53.0	3.6	49.4	43.5	34.0	9.5	3.6
27	(1, 900)	50.8	3.0	47.8	45.1	35.9	9.1	4.1
28	(1, 805)	53.7	4.4	49.3	41.6	33.1	8.4	4.8
29	(1, 810)	54.0	4.5	49.4	40.2	33.3	7.0	5.8
30	(1, 856)	54.4	4.5	49.9	40.8	33.6	7.2	4.7
令和元年	(1, 845)	53.2	4.4	48.8	40.5	33.2	7.3	6.3

(注1)『満足(計)』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計

『不満(計)』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

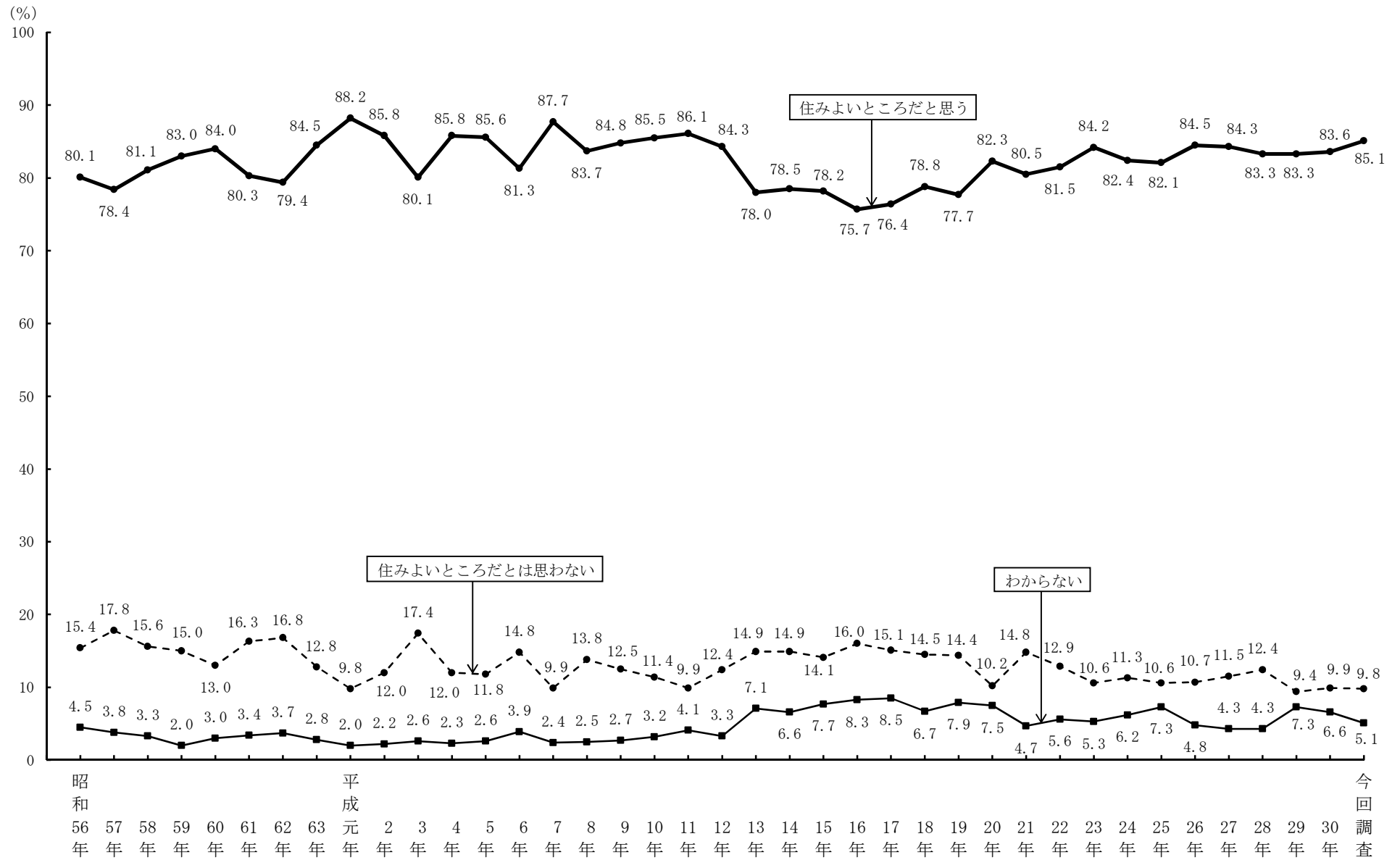
(注2) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

図4 生活満足度



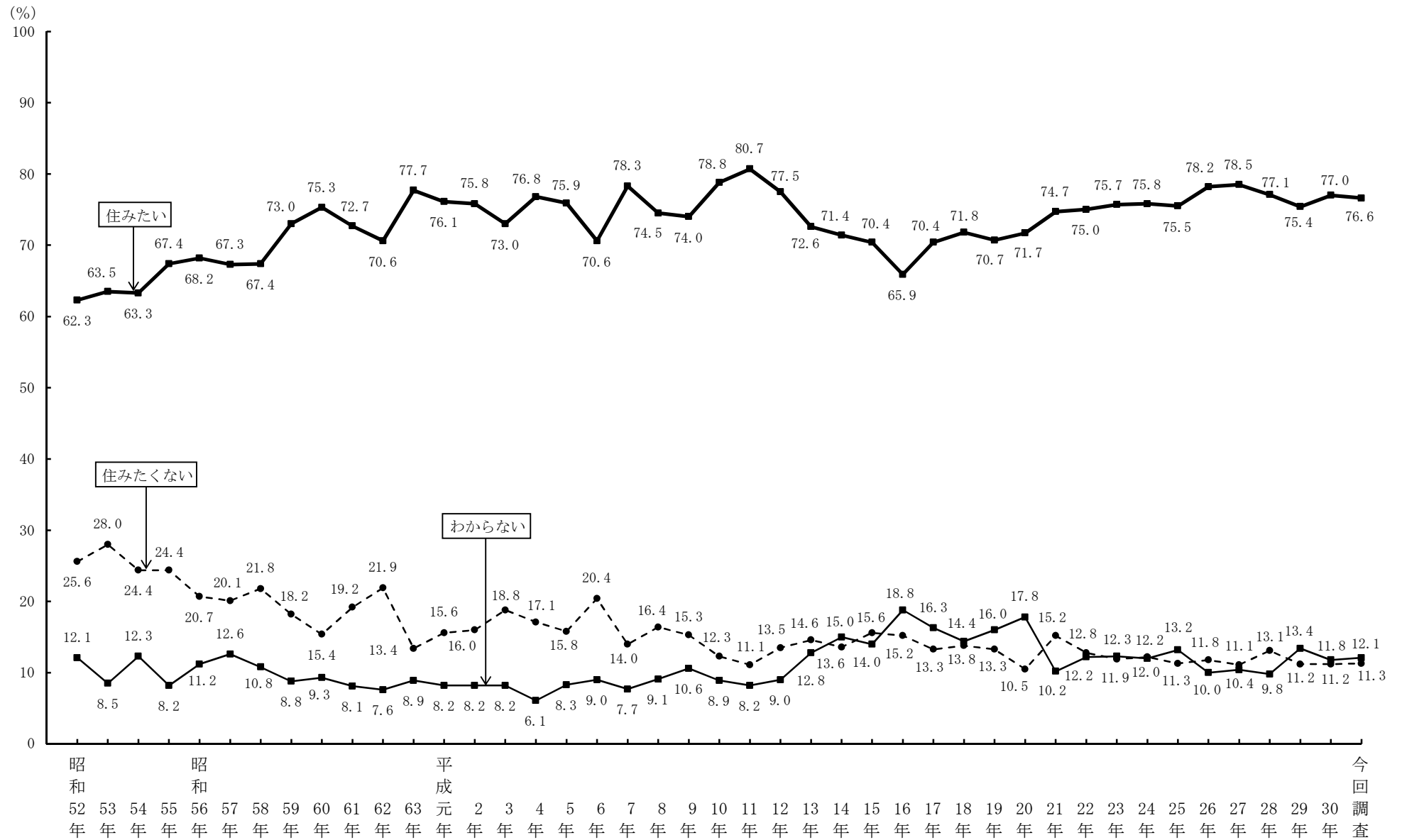
(注) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

図5 地域の住みよさ



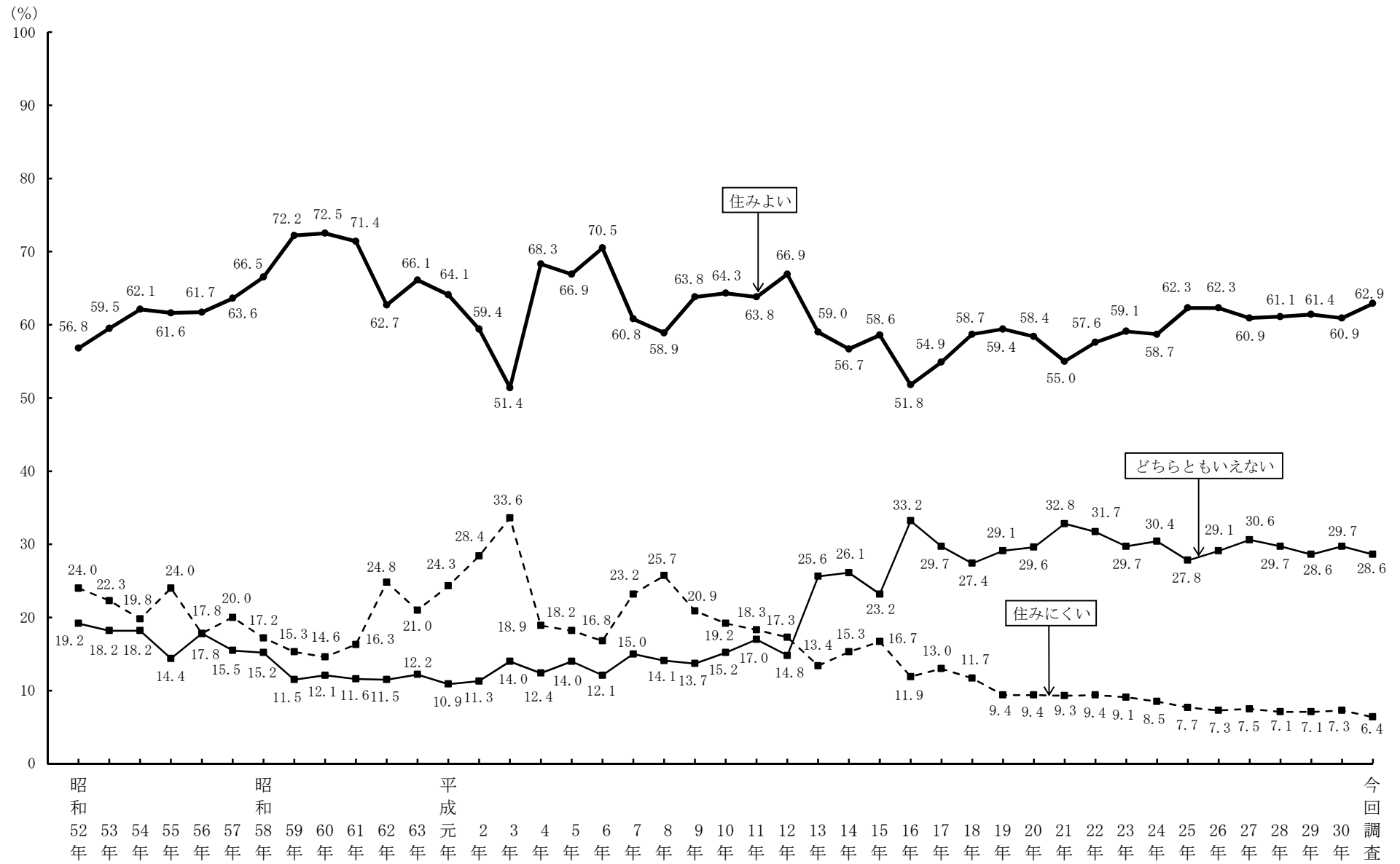
(注) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

図6 地域定住意向



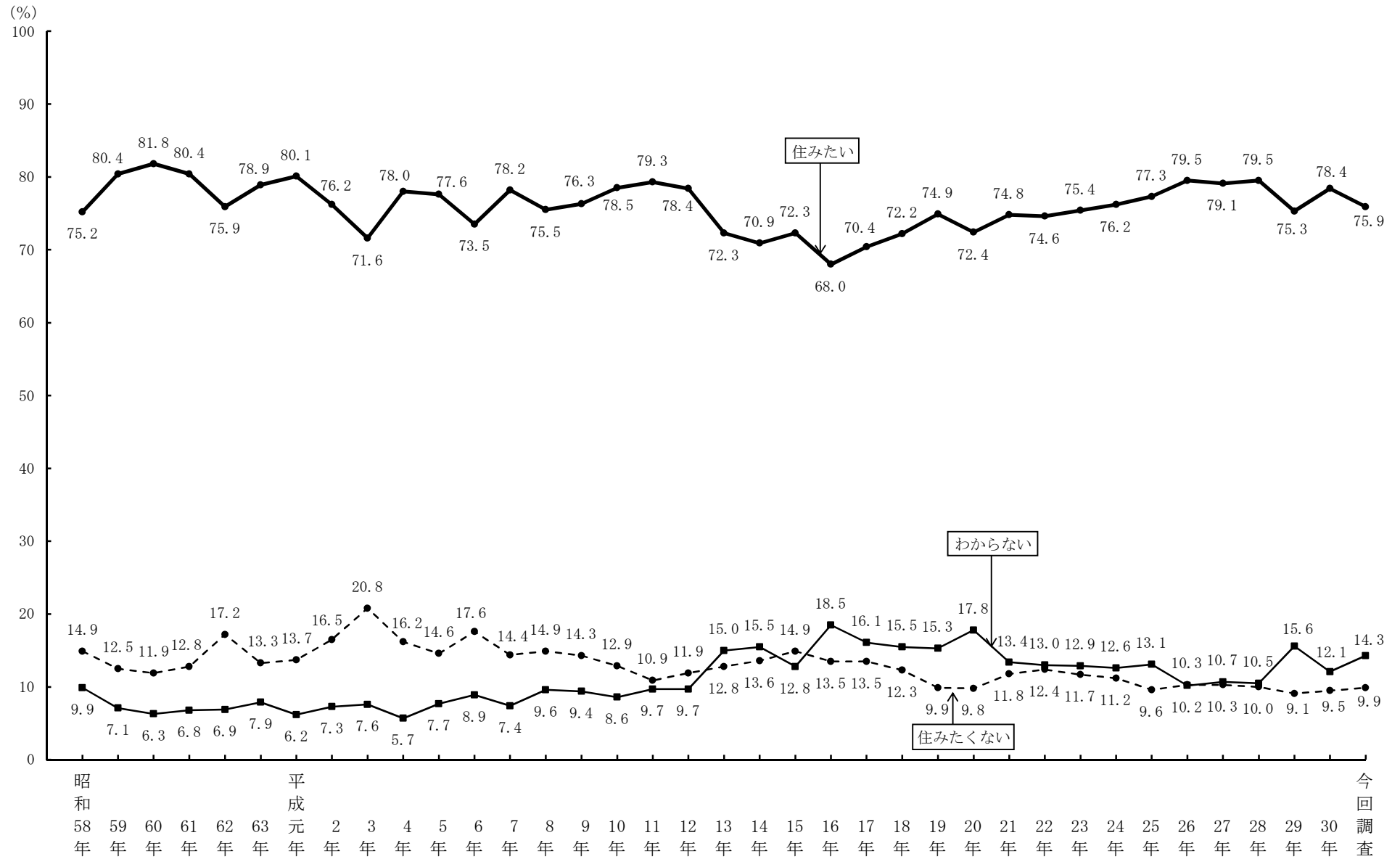
(注) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

図7 東京の住みよさ



(注) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

図8 東京定住意向



(注) 平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

表4 都政への要望（昭和50年～令和元年）

(%)

順位	昭和50年	昭和51年	昭和52年	昭和53年	昭和54年	昭和55年	昭和56年	昭和57年	昭和58年	昭和59年	昭和60年	昭和61年										
1	物価・消費者	57	物価・消費者	62	物価・消費者	50	物価・消費者	67	物価・消費者	54	物価・消費者	48	物価・消費者	38	物価・消費者	32	物価・消費者	30	物価・消費者	34	高 齢 者	32
2	医療・衛生	32	住 宅	36	医療・衛生	34	医療・衛生	33	医療・衛生	32	医療・衛生	33	医療・衛生	32	医療・衛生	32	医療・衛生	30	医療・衛生	33	医療・衛生	30
3	住 宅	31	医療・衛生	28	住 宅	30	住 宅	26	住 宅	23	住 宅	23	老 人	26	高 齢 者	26	高 齢 者	30	高 齢 者	31	物価・消費者	27
4	公 害	30	公 害	27	老 人	20	老 人	22	老 人	22	住 宅	25	住 宅	20	住 宅	19	学校教育	17	住 宅	21	公園・緑化	19
5	老 人	19	老 人	21	震災	19	震災	22	震災	19	公 害	19	公園・緑化	17	学校教育	17	公園・緑化	16	公園・緑化	17	住 宅	17
6	公園・緑化	16	交通災害	15	公 害	18	公 害	17	公 害	20	青 少 年	18	公 害	16	防 災	15	公 害	15	学校教育	12	学校教育	16
7	下 水道	12	震災	14	公園・緑化	16	公園・緑化	12	文 教	15	公園・緑化	14	震 災	16	学校教育	13	公園・緑化	13	住 宅	15	道 路	11
8	交通災害	12	公園・緑化	14	交通災害	12	下 水道	12	公園・緑化	12	下 水道	13	公園・緑化	15	交通災害	10	公 害	12	心身障害者	12	心身障害者	10
9	心身障害者	10	心身障害者	12	文 教	12	交通災害	12	中小企業	12	青 少 年	12	交通災害	14	防 災	10	青 少 年	11	防 災	11	生涯教育	10
10	震 災	10	ゴ ミ	12	下 水道	11	心身障害者	11	交通災害	10	交通災害	11	心身障害者	11	青 少 年	9	心身障害者	9	青 少 年	9	公 害	10
11	ゴ ミ	10	下 水道	10	心身障害者	11	中小企業	10	下 水道	10	心身障害者	10	道 路	9	防 犯 者	9	交通災害	8	防 犯 者	9	青 少 年	8
12	中小企業	9	中小企業	9	中小企業	11	中小企業	9	心身障害者	9	中小企業	10	下 水道	8	心身障害者	9	生涯教育	8	道 路	8	防 災	7
13	文 教	9	文 教	9	ご み	10	青 少 年	8	青 少 年	8	道 路	9	中小企業	8	中小企業	7	上下水道	8	交通災害	8	上下水道	6
14	道 路	8	青 少 年	9	青 少 年	9	文 教	7	道 路	8	文 教	8	道 路	7	道 路	7	道 路	7	上下水道	8	交通災害	6
15	青 少 年	8	道 路	7	道 路	9	文 教	6	道 路	7	道 路	7	文 教	6	上下水道	7	防 犯 者	7	道 路	7	都市再開発	6
16	都営交通	5	都営交通	4	都営交通	3	都営交通	4	都営交通	7	都営交通	3	都営交通	4	生涯教育	5	中小企業	6	中小企業	6	防 犯 者	6
17	婦 人	2	婦 人	2	婦 人	3	婦 人	2	上 水道	4	婦 人	2	婦 人	2	ご み	5	ご み	5	都市再開発	5	ご み	6
18	上 水道	1	上 水道	1	上 水道	1	上 水道	2	婦 人	3	上 水道	1	上 水道	0	都市再開発	4	都市再開発	4	生涯教育	4	中小企業	5
19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	婦 人	4	文化・芸術	4	勤 労 者	3	文化・芸術	5
20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	文化・芸術	3	婦 人	3	文化・芸術	3	婦 人	4
21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	都営交通	2	勤 労 者	3	婦 人	3	都営交通	2
22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	勤 労 者	2	都営交通	2	都営交通	2	勤 労 者	2
23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 回答項目について、昭和57年調査で、新たに若干の施策を加えるとともに一部表現を変更し、平成3年から新たに「国際交流の推進」を加えたので、過去の調査との比較は、この点を留意する必要がある。なお、平成元年から「婦人」は「女性」に、平成2年から「生涯教育」を「生涯学習」に表現を変えている。

(%)

順位	昭62年	昭63年	平成元年	平成 2年	平成 3年	平成 4年	平成 5年	平成 6年	平成 7年	平成 8年	平成 9年	平成10年												
1	高 齢 者	37	高 齢 者	63	高 齢 者	38	高 齢 者	40	高 齢 者	37	高 齢 者	43	高 齢 者	45	高 齢 者	42	高 齢 者	43	高 齢 者	40	高 齢 者	39	高 齢 者	54
2	医療・衛生	28	物価・消費者	33	医療・衛生	33	医療・衛生	35	医療・衛生	31	物価・消費者	30	ご み	30	ご み	32	物価・消費者	28	医療・衛生	32	医療・衛生	34	医療・衛生	28
3	物価・消費者	26	住 宅	30	医療・衛生	27	物価・消費者	31	ご み	30	住 宅	29	医療・衛生	27	ご み	31	物価・消費者	23	物価・消費者	32	物価・消費者	28	環 境	27
4	住 宅	24	医療・衛生	27	住 宅	26	住 宅	24	物価・消費者	29	ご み	28	物価・消費者	25	医療・衛生	29	ご 住 宅	23	ご 住 宅	25	ご 住 宅	19	ご 住 宅	26
5	公園・緑化	20	公園・緑化	19	公 害	17	ご 住 宅	23	住 宅	29	医療・衛生	26	住 宅	24	住 宅	25	防 災	22	住 宅	15	公 害	16	物価・消費者	24
6	道 路	13	道 路	18	公園・緑化	15	道 路	15	公園・緑化	18	公 害	18	公園・緑化	18	道 路	16	医 療・衛 生	14	防 災	19	公 害	16	防 災	14
7	学校教育	13	公 害	15	道 路	14	公園・緑化	15	公 害	16	道 路	17	道 路	16	公 害	15	公園・緑化	14	公 害	13	学校教育	14	少子化・子ども	11
8	公 害	12	学校教育	11	学校教育	11	公 害	13	道 路	13	公園・緑化	15	公園・緑化	15	公園・緑化	13	防 道 路	13	公園・緑化	13	公園・緑化	13	土地・住宅	11
9	心身障害者	9	心身障害者	10	ご 住 宅	10	学校教育	11	心身障害者	10	学校教育	10	心身障害者	9	心身障害者	10	心身障害者	13	道 道 路	12	道 道 路	10	学校教育	10
10	上下水道	9	心身障害者	8	心身障害者	9	心身障害者	11	学校教育	10	防 犯 者	7	学校教育	8	交通災害	8	交通災害	11	学校教育	12	防 災	10	防 犯 者	9
11	都市再開発	8	交通災害	8	防 犯 者	8	交通災害	9	交通災害	7	心身障害者	7	防 災	8	学校教育	7	都市再開発	6	心身障害者	8	心身障害者	9	道 路	9
12	生涯教育	7	都市再開発	7	防 災	7	生涯学習	8	都市再開発	6	交通災害	6	生涯学習	8	学校教育	6	生涯学習	7	交通災害	6	防 犯 者	8	中小企業	8
13	交通災害	7	青 少 年	6	交通災害	6	都市再開発	6	上下水道	5	上下水道	6	交通災害	6	都市再開発	6	青 少 年	6	防 犯 者	6	交通災害	6	自動車交通	7
14	ご 住 宅	6	ご 住 宅	6	上下水道	5	防 災	6	生涯学習	5	生涯学習	5	防 犯 者	5	防 災	6	心身障害者	6	生涯学習	6	青 少 年	6	障 害 者	7
15	防 災	5	生涯教育	6	都市再開発	5	上下水道	5	防 災	5	都市再開発	5	都市再開発	5	防 犯 者	5	中小企業	5	都市再開発	5	都市再開発	5	公園・緑地・水辺	6
16	青 少 年	5	防 犯 者	6	文化・芸術	4	文化・芸術	4	文化・芸術	4	青 少 年	5	文化・芸術	4	中小企業	5	生涯学習	5	青 少 年	4	生涯学習	5	職業・雇用	6
17	中小企業	5	上下水道	5	生涯教育	4	青 少 年	4	防 犯 者	4	防 災	4	文化・芸術	3	勤 労 者	4	勤 労 者	4	文化・芸術	4	文化・芸術	5	青 少 年	4
18	防 犯 者	5	中小企業	4	中小企業	3	女 性	3	青 少 年	4	中小企業	4	青 少 年	3	上下水道	4	文化・芸術	3	中小企業	3	中小企業	4	まちづくり	4
19	文化・芸術	4	文化・芸術	4	文化・芸術	3	中小企業	3	中小企業	3	都営交通	2	中小企業	3	青 少 年	4	都営交通	3	勤 労 者	3	女 性	3	生涯学習	3
20	勤 労 者	3	都営交通	3	都営交通	2	防 犯 者	3	女 性	2	文化・芸術	2	女 性	3	女 性	3	交通災害	3	女 性	3	勤 労 者	3	都営交通	3
21	婦 人	3	婦 人	2	女 性	2	勤 労 者	1	国際交流	2	女 性	2	勤 労 者	2	都営交通	3	女 性	2	都営交通	2	都営交通	2	文化・芸術	2
22	都営交通	2	勤 労 者	2	勤 労 者	2	都営交通	1	勤 労 者	2	国際交流	2	勤 労 者	2	文化・芸術	3	上下水道	2	上下水道	1	上下水道	2	水道・下水道	2
23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	国際交流	1	国際交流	2	国際交流	1	国際交流	1	男女平等	1
24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	国際交流	1

(%)

順位	平成11年		平成12年		平成13年		平成14年		平成15年		平成16年		平成17年		平成18年		平成19年		平成20年		平成21年		平成22年	
1	高 齢 者	48	高 齢 者	45	高 齢 者	48	医療・衛生	50	高 齢 者	47	治 安	62	治 安	63	治 安	61	治 安	58	治 安	54	治 安	55	治 安	51
2	ごみ・産業廃棄物	33	医療・衛生	37	医療・衛生	40	高 齢 者	46	医療・衛生	44	高 齢 者	43	防 災	46	高 齢 者	48	高 齢 者	44	高 齢 者	46	医療・衛生	55	高 齢 者	49
3	医療・衛生	30	ごみ・産業廃棄物	25	環 境	25	環 境	28	環 境	24	医療・衛生	40	高 齢 者	44	防 災	38	医療・衛生	42	医療・衛生	43	高 齢 者	51	医療・衛生	49
4	環 境	25	環 境	25	防 災	18	消費生活	22	防 災	20	環 境	38	環 境	39	医療・衛生	36	防 災	39	消費生活	38	防 災	42	防 災	33
5	物価・消費者	25	消費生活	16	学校教育	16	学校教育	16	少子化・子ども	17	交通安全	32	環 境	33	環 境	30	環 境	32	環 境	29	消費生活	25	行 財 政	25
6	土地・住宅	13	学校教育	14	自動車交通	14	防 災	14	消費生活	17	消費生活	31	消費生活	29	消費生活	27	消費生活	30	環 境	29	消費生活	25	行 財 政	25
7	学校教育	12	少子化・子ども	13	消費生活	14	少子化・子ども	12	学校教育	12	防 災	30	交通安全	21	交通安全	25	交通安全	24	交通安全	23	行 財 政	24	消費生活	25
8	防 災	12	防 災	12	少子化・子ども	13	廃 棄 物	12	学校教育	10	学 校 災	21	行 財 政	19	行 財 政	22	行 財 政	20	交通安全	22	交通安全	24	交通安全	24
9	少子化・子ども	12	防 災	12	廃 棄 物	12	防 災	8	防 災	9	青 少 年	19	土地・住宅	17	行 財 政	20	学校教育	18	学校教育	18	少子化・子ども	21	少子化・子ども	22
10	障 害 者	11	自動車交通	12	防 災	9	障害者(児)	7	交通安全	8	土地・住宅	18	少子化・子ども	16	学校教育	18	少子化・子ども	16	少子化・子ども	17	土地・住宅	20	土地・住宅	21
11	防 災	9	公園・緑地・水辺	11	土地・住宅	9	公園・緑地・水辺	7	土地・住宅	8	少子化・子ども	17	学校教育	15	土地・住宅	17	土地・住宅	16	土地・住宅	15	学校教育	14	学校教育	13
12	自動車交通	9	土地・住宅	10	公園・緑地・水辺	8	土地・住宅	7	障害者(児)	8	まちづくり	14	青 少 年	15	青 少 年	15	青 少 年	13	公園・緑地・水辺	11	まちづくり	12	まちづくり	12
13	公園・緑地・水辺	7	道 路	9	障害者(児)	7	道 路	7	公園・緑地・水辺	8	行 財 政	14	まちづくり	13	公園・緑地・水辺	10	公園・緑地・水辺	12	青 少 年	11	青 少 年	12	青 少 年	10
14	職業・雇用	7	障害者(児)	7	職業・雇用	7	交通安全	7	道 路	6	道 路	11	公園・緑地・水辺	10	まちづくり	9	道 路 交 通	8	まちづくり	8	職業・雇用	8	公園・緑地・水辺	9
15	道 路	7	青 少 年	6	道 路	6	職業・雇用	6	職業・雇用	6	公園・緑地・水辺	10	道 路	10	職業・雇用	9	まちづくり	9	水道・下水道	7	公園・緑地・水辺	8	職業・雇用	9
16	中小企業	7	中小企業	6	中小企業	5	生涯学習	5	青 少 年	5	中小企業	9	職業・雇用	8	道 路	9	障害者(児)	7	中小企業	6	水道・下水道	7	中小企業	8
17	青 少 年	4	職業・雇用	5	青 少 年	5	青 少 年	5	中小企業	5	職業・雇用	9	水道・下水道	8	水道・下水道	7	中小企業	6	職業・雇用	6	道 路 交 通	7	道 路 交 通	7
18	まちづくり	3	文化・芸術	4	生涯学習	5	まちづくり	5	男女平等	4	障害者(児)	7	文化・芸術	7	障害者(児)	7	職業・雇用	6	スポ-ツ・レクリエ-ション	6	中小企業	6	障害者(児)	7
19	生涯学習	3	生涯学習	4	まちづくり	4	文化・芸術	5	生涯学習	4	水道・下水道	7	中小企業	7	水道・下水道	6	水道・下水道	6	障害者(児)	6	水道・下水道	7	水道・下水道	7
20	文化・芸術	3	まちづくり	3	文化・芸術	4	中小企業	4	まちづくり	4	男女平等	7	生涯学習	6	文化・芸術	6	スポ-ツ・レクリエ-ション	6	道 路 交 通	6	文化・芸術	5	男女平等	6
21	水道・下水道	2	国際交流	3	水道・下水道	3	水道・下水道	3	文化・芸術	4	都営交通	7	障害者(児)	5	男女平等	6	男女平等	5	男女平等	5	男女平等	5	文化・芸術	5
22	都営交通	2	都営交通	2	男女平等	3	男女平等	3	水道・下水道	3	生涯学習	6	男女平等	5	生涯学習	6	文化・芸術	5	文化・芸術	5	スポ-ツ・レクリエ-ション	5	都営交通	5
23	男女平等	2	男女平等	2	国際交流	2	行政サービス	2	都営交通	2	文化・芸術	5	都営交通	4	都営交通	4	生涯学習、社会教育	5	生涯学習、社会教育	5	都営交通	3	スポ-ツ・レクリエ-ション	5
24	国際交流	1	水道・下水道	1	都営交通	2	国際交流	2	行政サービス	2	都市外交	3	都市外交	3	都市外交	3	都営交通	4	都営交通	4	都市外交	3	生涯学習、社会教育	4
25	—	—	—	—	—	—	国際交流	1	国際交流	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(%)

順位	平成23年			平成24年			平成25年			平成26年			平成27年			平成28年			平成29年			平成30年			令和元年		
1	防 災	53	防 災	55	防 災	53	防 災	49	高 齢 者	50	高 齢 者	54	防 災	49	高 齢 者	53	高 齢 者	49	高 齢 者	51	高 齢 者	49	高 齢 者	43			
2	治 安	44	治 安	48	治 安	48	治 安	48	治 安	49	治 安	49	防 災	49	防 災	48	防 災	48	防 災	47	防 災	47	防 災	39			
3	高 齢 者	44	高 齢 者	44	高 齢 者	44	高 齢 者	47	医 療・衛 生	42	医 療・衛 生	42	治 安	48	高 齢 者	48	防 災	48	防 災	47	防 災	47	防 災	39			
4	医 療・衛 生	41	医 療・衛 生	42	医 療・衛 生	38	医 療・衛 生	43	防 災	42	医 療・衛 生	42	医 療・衛 生	42	医 療・衛 生	41	医 療・衛 生	41	医 療・衛 生	41	医 療・衛 生	41	医 療・衛 生	38			
5	環 境	28	環 境	26	環 境	27	消費生活	27	交 通 安 全	23	行 財 政	27	行 財 政	31	行 財 政	31	行 財 政	31	行 財 政	27	行 財 政	27	行 財 政	26			
6	消費生活	23	消費生活	23	消費生活	23	交 通 安 全	24	土 地・住 宅	22	土 地・住 宅	25	土 地・住 宅	25	土 地・住 宅	24	土 地・住 宅	24	土 地・住 宅	24	土 地・住 宅	24	土 地・住 宅	23			
7	行 財 政	23	行 財 政	23	行 財 政	23	環 境	24	少 子 化・子 供	22	環 境	22	環 境	22	環 境	23	少 子 化・子 供	21	環 境	23	少 子 化・子 供	21	環 境	21			
8	交 通 安 全	23	交 通 安 全	22	土 地・住 宅	21	土 地・住 宅	20	環 境	21	少 子 化・子 供	22	少 子 化・子 供	22	少 子 化・子 供	23	交 通 安 全	21	交 通 安 全	21	交 通 安 全	21	行 財 政	20			
9	少 子 化・子 供	20	少 子 化・子 供	20	少 子 化・子 供	20	少 子 化・子 供	18	消費生活	20	消費生活	20	消費生活	21	消費生活	20	消費生活	20	消費生活	20	消費生活	20	消費生活	20			
10	土 地・住 宅	18	土 地・住 宅	17	少 子 化・子 供	19	行 財 政	17	学 校 教 育	18	学 校 教 育	16	学 校 教 育	16	学 校 教 育	15	学 校 教 育	15	学 校 教 育	15	学 校 教 育	15	学 校 教 育	18			
11	学 校 教 育	15	学 校 教 育	16	学 校 教 育	16	学 校 教 育	16	行 財 政	16	土 地・住 宅	16	土 地・住 宅	12	土 地・住 宅	12	土 地・住 宅	14	土 地・住 宅	14	土 地・住 宅	12	土 地・住 宅	12			
12	ま ち づ く り	13	ま ち づ く り	12	ま ち づ く り	11	ま ち づ く り	14	ま ち づ く り	13	職 業・雇 用	12	職 業・雇 用	12	職 業・雇 用	12	職 業・雇 用	10	職 業・雇 用	10	職 業・雇 用	11	職 業・雇 用	9			
13	青 少 年	9	青 少 年	11	青 少 年	9	公 園・緑 地・水 辺	10	道 路 交 通	10	公 園・緑 地・水 辺	9	公 園・緑 地・水 辺	9	公 園・緑 地・水 辺	9	公 園・緑 地・水 辺	9	道 路 交 通	8	道 路 交 通	8	道 路 交 通	8			
14	職 業・雇 用	9	職 業・雇 用	8	職 業・雇 用	9	道 路 交 通	8	青 少 年	9	道 路 交 通	8	道 路 交 通	8	道 路 交 通	8	道 路 交 通	8	道 路 交 通	8	道 路 交 通	8	道 路 交 通	8			
15	文 化・芸 術	8	文 化・芸 術	8	公 園・緑 地・水 辺	9	職 業・雇 用	8	青 少 年	9	道 路 交 通	8	道 路 交 通	8	道 路 交 通	8	道 路 交 通	8	道 路 交 通	8	道 路 交 通	8	道 路 交 通	8			
16	中 小 企 業	8	中 小 企 業	8	中 小 企 業	7	水 道・下 水 道	8	男 女 平 等	8	男 女 平 等	8	男 女 平 等	8	男 女 平 等	8	男 女 平 等	8	男 女 平 等	8	男 女 平 等	8	男 女 平 等	8			
17	公 園・緑 地・水 辺	7	公 園・緑 地・水 辺	7	文 化・芸 術	7	青 少 年	8	水 道・下 水 道	8	水 道・下 水 道	8	水 道・下 水 道	8	水 道・下 水 道	8	水 道・下 水 道	8	水 道・下 水 道	8	水 道・下 水 道	8	水 道・下 水 道	8			
18	都 市 外 交	7	都 市 外 交	7	道 路 交 通	7	男 女 平 等	7	中 小 企 業	7	文 化・芸 術	7	文 化・芸 術	7	文 化・芸 術	7	文 化・芸 術	7	文 化・芸 術	7	文 化・芸 術	7	文 化・芸 術	7			
19	道 路 交 通	6	道 路 交 通	7	水 道・下 水 道	7	中 小 企 業	7	文 化・芸 術	7	男 女 平 等	6	男 女 平 等	6	男 女 平 等	6	男 女 平 等	6	男 女 平 等	6	男 女 平 等	6	男 女 平 等	6			
20	ス ポー ツ・リ ク レー シ ョ ン	6	ス ポー ツ・リ ク レー シ ョ ン	6	都 市 外 交	6	文 化・芸 術	6	職 業・雇 用	7	青 少 年	5	青 少 年	5	青 少 年	5	青 少 年	5	青 少 年	5	青 少 年	5	青 少 年	5			
21	障 害 者（児）	6	障 害 者（児）	6	男 女 平 等	6	ス ポー ツ・リ ク レー シ ョ ン	6	ス ポー ツ・リ ク レー シ ョ ン	6	都 営 交 通	5	都 営 交 通	5	都 営 交 通	5	都 営 交 通	5	都 営 交 通	5	都 営 交 通	5	都 営 交 通	5			
22	水 道・下 水 道	5	水 道・下 水 道	6	ス ポー ツ・リ ク レー シ ョ ン	6	障 害 者（児）	5	都 営 交 通	6	ス ポー ツ・リ ク レー シ ョ ン	4	ス ポー ツ・リ ク レー シ ョ ン	4	ス ポー ツ・リ ク レー シ ョ ン	4	ス ポー ツ・リ ク レー シ ョ ン	4	ス ポー ツ・リ ク レー シ ョ ン	4	ス ポー ツ・リ ク レー シ ョ ン	4	ス ポー ツ・リ ク レー シ ョ ン	4			
23	男 女 平 等	5	男 女 平 等	5	障 害 者（児）	5	生 涯 学 習・社 会 教 育	4	障 害 者（児）	6	生 涯 学 習・社 会 教 育	4	生 涯 学 習・社 会 教 育	4	生 涯 学 習・社 会 教 育	4	生 涯 学 習・社 会 教 育	4	生 涯 学 習・社 会 教 育	4	生 涯 学 習・社 会 教 育	4	生 涯 学 習・社 会 教 育	4			
24	生 涯 学 習・社 会 教 育	3	生 涯 学 習・社 会 教 育	3	都 営 交 通	4	都 市 外 交	4	都 市 外 交	4	都 市 外 交	3	都 市 外 交	3	都 市 外 交	3	都 市 外 交	3	都 市 外 交	3	都 市 外 交	3	都 市 外 交	3			
25	都 営 交 通	3	都 営 交 通	3	生 涯 学 習・社 会 教 育	4	都 営 交 通	4	都 市 外 交	3	観 光 振 興	3	観 光 振 興	3	観 光 振 興	3	観 光 振 興	3	観 光 振 興	3	観 光 振 興	3	観 光 振 興	3			
26	市 民 活 動	2	市 民 活 動	3	市 民 活 動	3	市 民 活 動	2	観 光 振 興	2	市 民 活 動	2	市 民 活 動	2	市 民 活 動	2	市 民 活 動	2	市 民 活 動	2	市 民 活 動	2	市 民 活 動	2			
27	観 光 振 興	2	観 光 振 興	2	観 光 振 興	1	観 光 振 興	2	市 民 活 動	2	地 域 活 動	3	地 域 活 動	3	地 域 活 動	3	地 域 活 動	3	地 域 活 動	3	地 域 活 動	3	地 域 活 動	3			
28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			

(注 1) 平成9年までは「都民要望に関する世論調査」

(注 2) 平成10年から選択肢の表現を下記のとおり一部変更・追加した。

「ごみ対策」を「ごみ・産業廃棄物対策」、「公害対策」を「環境対策」、「住宅対策」を「土地・住宅対策」、「公園・緑化などの環境対策」を「公園・緑地・水辺の整備」、「心身障害者対策」を「障害者対策」、「交通安全対策」を「自動車交通対策」、「都市再開発などの市街地の整備」を「まちづくりの推進」、「女性の地位向上などの推進」を「男女平等の確立」、「上下水道の整備」を「水道・下水道の整備」、「職業訓練・雇用対策など勤労者対策」を「職業能力開発・雇用対策」に変更した。新たに、「少子化・子ども対策」を追加した。

(注 3) 平成11年から「都営交通対策」を「都営交通の整備」に表現を変えている。

(注 4) 平成12年から「障害者対策」を「障害者(児)対策」、「物価・消費者対策」を「消費生活対策」に表現を変えている。

(注 5) 平成13年から「ごみ・産業廃棄物対策」を「廃棄物対策」に表現を変えている。

(注 6) 平成14年から新たに、「行政サービスの電子化」を追加した。

(注 7) 平成14年から「男女平等の確立」を「男女平等参画の推進」に、「自動車交通対策」を「交通安全対策」に表現を変えている。

(注 8) 平成16年から「防災対策」を「治安対策」に、「少子化・子ども対策」を「少子化・虐待防止などの子ども対策」に、「水道・下水道の整備」を「水道・下水道の整備・維持」に、「国際交流の推進」を「都市外交の推進」に、それぞれ表現を変えている。

(注 9) 平成16年から「行政サービスの電子化」は、新たに追加された「行政財政改革」に含めることとし、「廃棄物対策」は、「環境対策」に含めることとした。

(注10) 平成16年から選択可能な数を3つから5つに変更した。

(注11) 平成17年から新たに、「観光振興対策」を追加した。

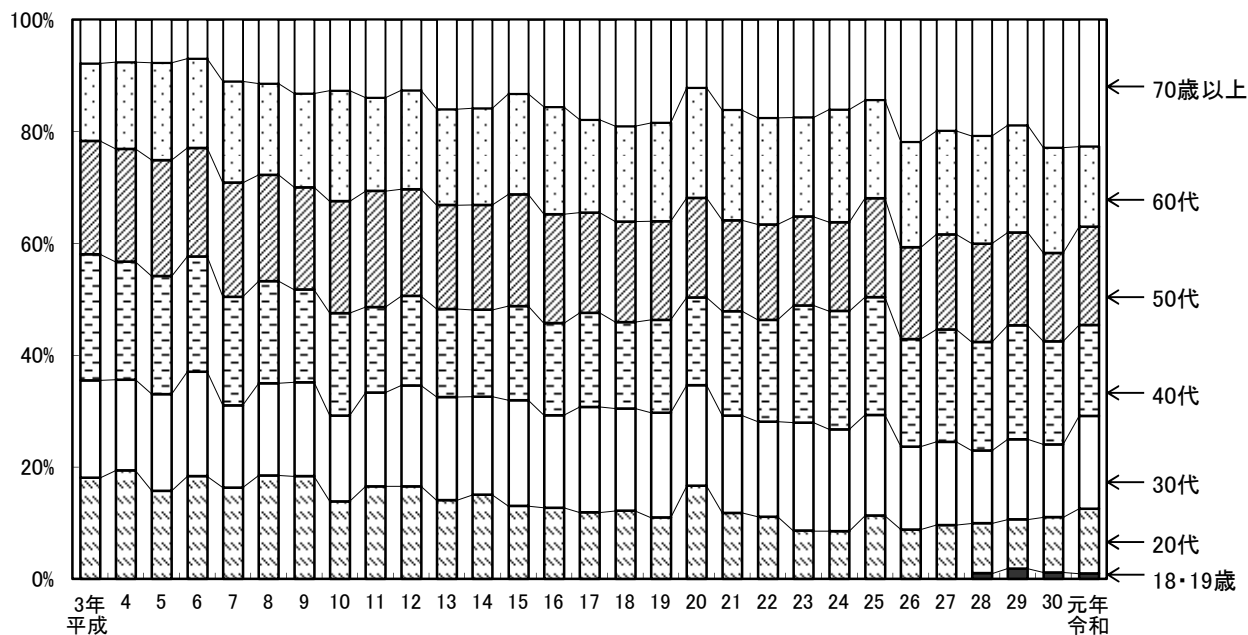
(注12) 平成19年から「生涯学習、スポーツ・レクリエーションの振興」を「スポーツ・レクリエーションの振興」と「生涯学習、社会教育の振興」に分け、新たに「市民活動の促進」を追加した。

(注13) 平成28年から「行財政改革」を「行財政」、「市民活動の促進」を「地域活動の促進」に表現を変えている。

(注14) 平成29年から新たに、「多文化共生」を追加した。

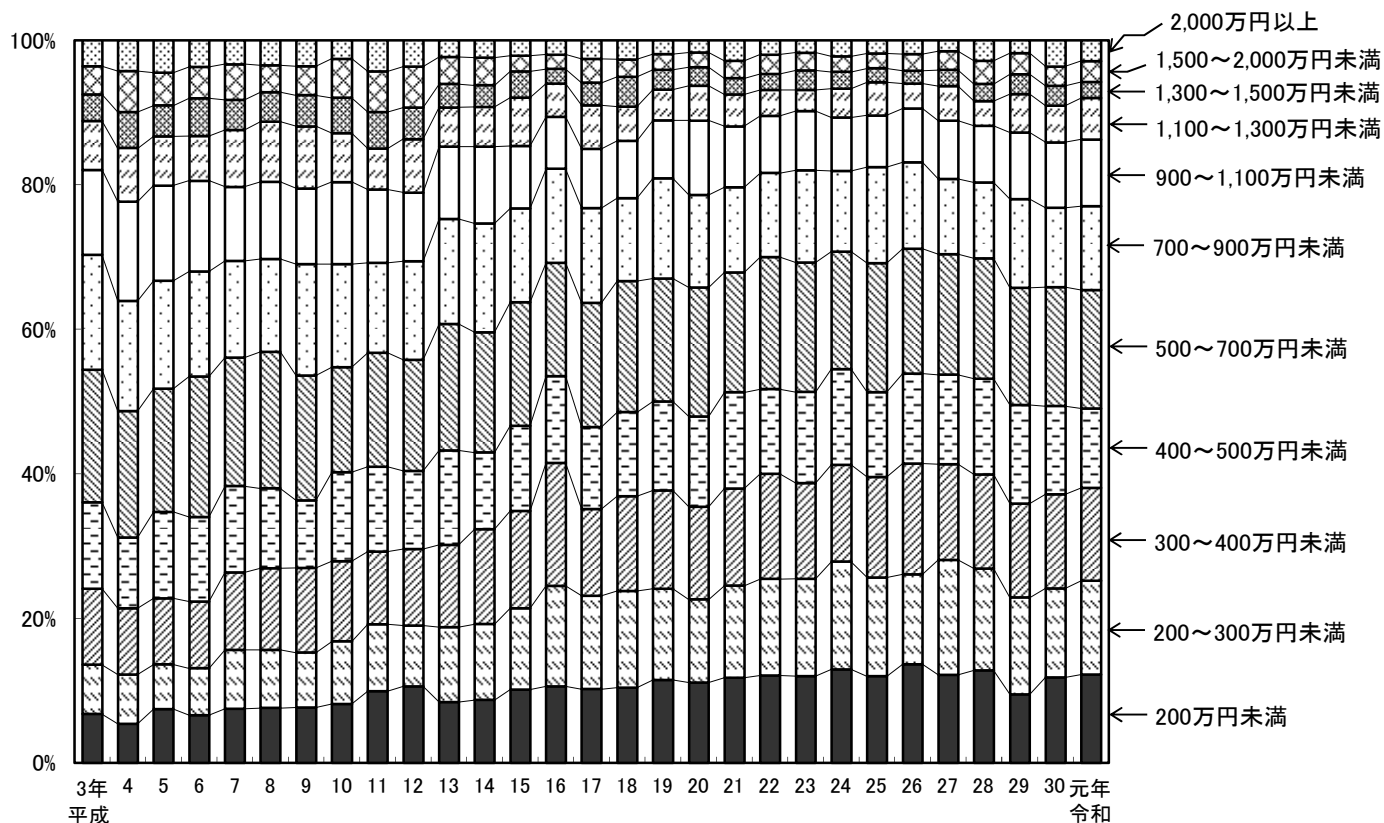
<参考：有効回収標本の年齢構成及び世帯年収の推移>

図9 年齢構成（平成3年～令和元年）



（注）平成28年から「18・19歳」を追加した

図10 世帯年収（平成3年～令和元年）



（注1）図9・10とも、各年の有効回収標本（回答者）の構成比を示す。図10は「わからない」を除く。

（注2）平成9年までは「都市生活に関する世論調査」

「都民生活に関する世論調査」

登録番号 (31) 46

令和元年 1 1 月発行

編集・発行 東京都生活文化局広報広聴部都民の声課
東京都新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号
電 話 0 3 (5 3 8 8) 3 1 3 3

印 刷 株式会社 三交社
東京都新宿区市谷砂土原町三丁目四番
電 話 0 3 (3 2 6 7) 3 6 4 1

< お 願 い >

この報告書の内容を引用される場合、その旨を下記にご連絡ください。なお、印刷物の場合はその掲載部分の写しをお送りくだされば幸いです。

東 京 都 生 活 文 化 局
広報広聴部都民の声課調査担当

〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号

電 話 03(5388)3133

FAX 03(5388)1222

E-mail : S0000010@section.metro.tokyo.jp